

原子力発電所周辺の環境放射能調査

平成24年度年報

(2012)

平成25年10月

福井県環境放射能測定技術会議

はじめに

福井県環境放射能測定技術会議は、平成24年度（2012年度）の調査結果を四半期毎にとりまとめ、平成24年度第1報～第4報として、第180回～第183回福井県原子力環境安全管理協議会に報告し公表してきました。この報告書はこれらをとりまとめ、年報としたものです。

この報告書では、「平成24年度調査計画（FERC第44巻6号）」に基づく定期的な調査結果のほか、各種環境試料中の放射化学分析結果や年間降水量など四半期報告書で報告していないもの、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に関連した放射能調査の結果を収載しました。また、発電所の運転状況や放射性廃棄物の放出管理の状況などを「5 参考資料」に示しましたのでご参照下さい。

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故の県内への影響については一部の試料からセシウム-134、セシウム-137等が検出されましたが、環境安全上問題となるレベルに比べ、はるかに低い濃度であるとともに、チェルノブイリ事故時との比較においてもその影響は十分小さかったことを確認しています。

また、同事故を受けて、福井県では原子力発電所から30km圏内のモニタリング体制を強化するため、21箇所にモニタリングポストを増設し、平成25年4月1日より、運用を開始しました。

今後、原子力災害対策指針の適宜見直しが進められるとともに、環境放射線モニタリング指針の見直しが行われますが、本会議では、それらも反映しつつ、一層の信頼が寄せられるよう、綿密な環境放射線(能)調査を行い、原子力発電所周辺環境の放射線安全の確保・確認に万全を期したいと考えています。

平成25年10月

福井県環境放射能測定技術会議

福井県環境放射能測定技術会議

構 成 機 関

福井県安全環境部原子力安全対策課

福井県原子力環境監視センター

福 井 県 水 産 試 験 場

日 本 原 子 力 発 電 株 式 会 社

関 西 電 力 株 式 会 社

独立行政法人日本原子力研究開発機構

目 次

1	環境放射線モニタリングの目的と調査概要	1
2	調査結果	4
2.1	調査結果の概要	4
2.1.1	周辺公衆の線量評価	5
2.1.2	変動傾向および蓄積状況の評価	9
2.2	線量評価に関連した調査	11
2.2.1	空間線量	11
2.2.2	大気・浮遊じん、大気中水分	16
2.2.3	陸水	16
2.2.4	農産物、指標植物	16
2.2.5	海産食品、指標海産生物	17
2.2.6	海水	18
2.3	変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査	19
2.3.1	浮遊じん放射能の連続測定	19
2.3.2	陸土	20
2.3.3	指標植物、松葉	21
2.3.4	降下物	22
2.3.5	海水	23
2.3.6	海底土	24
2.3.7	指標海産生物	24
	(参考) 今年度のセシウム-137分析結果	25

3 添付資料

3.1 調査方法

3.1.1 調査地点(概要)	27
3.1.2 調査方法(概要)	27
3.1.3 調査の分担実績	29
3.1.4 測定値の取り扱いについて	30

3.2 調査地点図表

第1図 各放射線監視テレメータシステムの主なデータ収集・送信系統図	35
第2図 空間線量率連続測定・積算線量測定地点(全域)	36
第3図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)周辺の試料採取地点	38
第4図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点	39
第5図 美浜発電所周辺の試料採取地点	40
第6図 大飯発電所周辺の試料採取地点	41
第7図 高浜発電所周辺の試料採取地点	42
第8図 対照地区(嶺北地区)の試料採取地点	43
第1表 調査地点の詳細	44

3.3 測定法

第2表 空間線量測定法	48
第3表 浮遊じん放射能の連続測定法	49
第4表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法	50
第4-2表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の検出目標値	51
第5表 液体シンチレーション検出器によるトリチウム測定法	51
第6表 ストロンチウム-90・プルトニウム測定法	51
第7表 測定器	52

3.4 測定結果

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム	53
第9表 〃 その2 施設者のテレメータシステム	59
第10表 積算線量測定結果	81
第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果	88
第12表 大気中のヨウ素-131分析結果	94
第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん	96
第14表 〃 その2 陸水	101
第15表 〃 その3 陸土	103
第16表 〃 その4 指標植物	104
第17表 〃 その5 松葉(2年葉)	105
第18表 〃 その6 農産物	106
第19表 〃 その7 原乳	107
第20表 〃 その8 降下物	108
第21表 〃 その9 海水	112
第22表 〃 その10 海底土	113
第23表 〃 その11 海産食品	116
第24表 〃 その12 指標海産生物	118

第 25 表	トリチウム分析結果	その 1	陸水	120
第 26 表	〃	その 2	大気中水分	122
第 27 表	〃	その 3	雨水	126
第 28 表	〃	その 4	海水	127
第 29 表	放射化学分析等による ^{90}Sr , ^{137}Cs , ^{239}Pu 分析結果			130
第 30 表	年間降下物の ^{90}Sr , ^{22}Na , ^{60}Co , ^{137}Cs , ^{239}Pu 分析結果 (参考: 定期外調査)			134
第 31 表	各地の積雪量(2012 年 12 月～2013 年 3 月) [参考データ]			135

4 付

4.1	県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率及び気象の調査結果	137
	各地の気象 その 1 降雨(降雪)、風速、気温	139
	各地の気象 その 2 3ヶ月毎の風向出現率	147
	空間線量率と降雨量の測定結果(2012年4月～2013年3月)	151
	各地の風配図	160
4.2	大気中水分、雨水(降下物)のトリチウム分析結果について	164
4.3	東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所事故に関連した放射能調査	166
4.4	環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果	172

5 参 考 資 料

5.1	平成 24 年度福井県環境放射能測定技術会議議事経過	177
5.2	(1)各発電所の設備の概要、建設経過	183
	(2)主要設備の改造および新設工事	185
5.3	(1)原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)廃止措置作業状況	187
	(2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況	188
5.4	各発電所の運転実績	189
5.5	各発電所の発電停止状況	191
5.6	各発電所の放射性廃棄物放出実績(気体廃棄物)	192
5.7	各発電所の放射性廃棄物放出実績(液体廃棄物)	197
5.8	各発電所の液体廃棄物中の核種存在比	200
5.9	各発電所の年度別放射性廃棄物放出量	204
5.10	緊急時モニタリングルートでの線量率調査	208

平成 24 年度に刊行した福井県環境放射能測定技術会議報告書の訂正	218
-----------------------------------	-----

1 環境放射線モニタリングの目的と調査概要

我が国における原子力発電所周辺の環境モニタリングを規定している「環境放射線モニタリング指針（平成20年3月、原子力安全委員会）」は、環境放射線モニタリングの基本目的を「原子力施設の周辺住民等の健康と安全を守るため、環境における原子力施設に起因する放射性物質又は放射線による周辺住民等の線量が、1年間の線量限度を十分に下回っていることを確認し、その結果を周辺住民等に提供することである」としている。さらに、「異常事態又は緊急事態が発生した場合に、速やかに対応できるモニタリング体制を整備することにある」とし、具体的には次の四項目に要約している。

- (a) 周辺住民等の線量の推定及び評価
- (b) 環境における放射性物質の蓄積状況の把握
- (c) 原子力施設からの予期しない放射性物質または放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価
- (d) 異常事態または緊急事態が発生した場合における環境放射線モニタリングの実施体制の整備

各種試料等の測定の間々の目的は下記のとおりである。

- ①空間線量【線量率】：連続測定による環境放射線の短期的変動の把握および体外からの放射線による外部被ばく線量の推定
- 【積算線量】：体外からの放射線による外部被ばく積算線量の推定（3ヶ月毎）
- 【モニタリングカー】：緊急時モニタリングルートでの線量率確認
- ②大気・浮遊じん、大気中水分：空気の吸入による内部被ばくの推定
- ③陸水、農産物、海産食品：飲食物の摂取による内部被ばくの推定
- ④指標植物、指標海産生物：環境における放射性物質の変動傾向および蓄積状況の把握、ならびに農産物、海産食品の調査の補完
- ⑤陸土、海底土：環境における放射性物質の変動傾向および蓄積状況の把握
- ⑥海水：環境における放射性物質の変動傾向および蓄積状況の把握（ならびに海産食品への濃縮を通じての潜在的な内部被ばくの推定）
- ⑦降下物：放射性物質の降下量の把握、検出された核種の起源の推定

このうち①の空間線量については、平常の変動幅との比較等から必要に応じて更に詳細な調査を行って発電所寄与の有無を判断することとしている。また内部被ばくに係わる③の飲食物等については、地区別年間平均核種濃度を算出し、それをもとにまず過去の核実験等の寄与分も含めた線量を推定して安全を確認し、次いで起源の判断を加え県内の原子力発電所寄与分を推定している。④の指標植物、指標海産生物は、内部被ばくに関する線量推定の際の補完的試料として評価しているほか、上記(c)の目的にも役立てている。

各地区毎では、大別して以下のような調査を行った。

- (イ) テレメータシステム等による線量調査
- (ロ) ゲルマニウム(Ge)半導体検出器による核種分析調査
- (ハ) 陸水等のトリチウム調査
- (ニ) 放射化学分析によるストロンチウム-90、プルトニウム-239(注1)等の調査

今年度の調査地点・測定の数値を第1表(p.2~p.3)に示す。

なお、本報告書では、空間放射線モニタリングにおける自然放射線のレベル、および環境試料中の放射能モニタリングにおける過去の核実験影響等の外因によるレベルをバックグラウンドレベルと表記した。

(注1) アルファ線スペクトロメトリによるプルトニウム分析では、プルトニウム-239 およびプルトニウム-240 のアルファ線を分離できないため、正確にはプルトニウム-239(+240)と表記すべきであるが、本報告書では簡略にプルトニウム-239 と表示する。

本報告書で用いる調査機関の略称名称は、以下のとおりとする。

- ①福井県原子力環境監視センター：県または福井県（記号；A）
- ②日本原子力発電株式会社：原電（記号；B）
- ③関西電力株式会社：関電（記号；C）
- ④独立行政法人日本原子力研究開発機構：原子力機構または機構（記号；D）

第1表 調査地点・測定の数

県：福井県原子力環境監視センター
 関電：関西電力株式会社

原電：日本原子力発電株式会社
 機構：独立行政法人日本原子力研究開発機構

(イ) 連続測定調査

調査項目		調査地区						合計	頻度(回/年)
		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)		
線量率(テレメータシステム)		20	7	14	16	14		71	連続
積算線量(3ヶ月積算値)	地点数	26	14	22	26	25	10	123	4
	測定数	104	56	88	104	100	40	492	
浮遊じん(テレメータシステム)		2	2	2	2	3		11	連続

(ロ) 核種分析調査

・定期調査

調査項目		調査地区						合計	頻度(回/年)	
		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)			
大気中ヨウ素-131	地点数	1	1	1	1	1		5	12	
	測定数	24	24	24	24	24		120		
浮遊じん	地点数	5	3	3	3	5	1	20	4~12	
	測定数	52	28	28	28	44	12	192		
陸水	水道水	地点数	2	1	2	1	3	1	10	2~4
		測定数	8	8	6	6	8	4	40	
	河川水	地点数			1				1	
		測定数			2				2	
陸土	地点数	2	1	1	2	2	2	10	2~4	
	測定数	8	4	4	4	4	3	27		
指標植物(ヨモギ)	地点数	2	2	1	1	1	1	8	1~6	
	測定数	7	7	7	7	7	7	42		
松葉(2年葉)	地点数	2	1	1	1	1	1	7	1~2	
	測定数	4	2	2	2	2	1	13		
農産物(大根葉)	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1	
	測定数	1	1	1	1	1	1	6		
原乳	地点数			1			1	2	3	
	測定数			3			3	6		
降下物(雨水・ちり)	地点数	2	2	2	2	2	1	11	12	
	測定数	24	24	24	24	24	12	132		
海水	地点数	3	2	2	1	2	1	11	2~6	
	測定数	10	6	12	6	12	2	48		
海底土	地点数	7	6	8	4	7		32	1~6	
	測定数	25	15	25	12	21		98		
海産食品	魚類(近海魚)	10	6	9	6	6	3	40	1~3	
	貝類(サザエ、アワビ)	4	4	5	4	4	1	22	1~2	
	藻類(ワカメ、モズク)	4	4	5	4	4	2	23	1~2	
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数	6	1	2	2	5	1	17	1~8	
	測定数	24	8	16	8	20	4	80		
測定数合計		205	141	173	136	181	55	891		

(ハ) トリチウム分析調査

調査項目		調査地区						合計	頻度(回/年)
		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)		
陸水(水道水)	地点数	2	1	2	1	3	1	10	2~8
	測定数	8	8	6	6	8	4	40	
大気中水分(除湿水)	地点数	5	2	2	2	2	1	14	12
	測定数	60	24	24	23	24	12	167	
雨水(降下物)	地点数	2	2	2	2	2	1	11	4
	測定数	8	8	8	8	8	4	44	
海水(表層水)	地点数	3	2	3	2	4	1	15	2~10
	測定数	18	10	16	10	32	2	88	
測定数合計		94	50	54	47	72	22	339	

(二) 放射化学分析による⁹⁰Sr、²³⁹Pu調査

・⁹⁰Sr

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
指標植物(ヨモギ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1
	測定数		1	1	1	1	1	1	6	
指標海産生物 (ホンダワラ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1
	測定数		1	1	1	1	1	1	6	
測定数合計			2	2	2	2	2	2	12	

・²³⁹Pu

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
陸土	地点数			1				1	2	1~4
	測定数			4				1	5	
指標植物(ヨモギ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1~7
	測定数		1	7	1	1	1	1	12	
農産物(大根葉)	地点数			1					1	1
	測定数			1					1	
海底土	地点数		2	5	1	1	1		10	1~9
	測定数		2	9	1	1	1		14	
海産食品	魚類(近海魚)			6					6	1~2
	貝類(サザエ、アワビ)			4					4	1~2
	藻類(ワカメ)		1	4	1	1	1	1	9	1
指標海産生物 (ホンダワラ)	地点数		2	1	2	1	1	1	8	1~4
	測定数		2	4	2	1	1	1	11	
測定数合計			6	39	5	4	4	4	62	

(ホ) ¹³⁷Cs(アンチコインシデンス測定)

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
海底土	地点数		2	1	3	1	2		9	1
	測定数		2	1	3	1	2		9	
海産食品	藻類(ワカメ)		1	1	1	1	1	1	6	1
	貝類(サザエ)		1	1	1	1	1	1	6	1
指標海産生物 (ホンダワラ)	地点数		2	1	1	1	1		6	1
	測定数		2	1	1	1	1		6	
測定数合計			6	4	6	4	5	2	27	

(ヘ) 定期外調査

・年間降下物

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
γ線スペクトロメトリ	²² Na	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1
		測定数	2	2	2	2	2	1	11	
	⁶⁰ Co	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1
		測定数	2	2	2	2	2	1	11	
¹³⁷ Cs	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1	
	測定数	2	2	2	2	2	1	11		
放射化学分析	⁹⁰ Sr	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1
		測定数	1	1	1	1	1	1	6	
	²³⁹ Pu	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1
		測定数	1	1	1	1	1	1	6	
測定数合計			8	8	8	8	5	45		

※各地点における月間降下物測定試料(パウデックス樹脂)の12ヶ月分を混ぜ合わせ、灰化物集合試料として測定

2 調査結果

2.1 調査結果の概要

本年度の調査結果を要約すれば次のとおりである。

(1) 周辺公衆の線量評価

原子力発電所の運転に起因する放射線による周辺公衆の線量に関しては、線量限度（年間1ミリベクト）はもとより発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値（年間0.05ミリベクト）をはるかに下まわっていた。

① 外部被ばくに関して

- ・県および施設者のテレメータシステムによる線量率連続測定では、原子力発電所からの放射性物質の放出に起因する有意な線量率上昇は認められなかった。
- ・年間積算線量では、各地区のいずれの地点でも自然線量と比較して有意な線量上昇は認められなかった。

② 内部被ばくに関して

- ・内部被ばくを評価するために核種分析を行っている大気・浮遊じん、指標植物および海産食品の一部の試料から、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-134が、また、海産食品の一部の試料から同事故の影響と考えられる銀-110mが検出された。上記の試料に加えて農産物および指標海産生物の一部の試料からはセシウム-137が過去の核実験フォールアウト影響として検出される濃度と同程度検出された。検出されたこれらの核種は、いずれも環境安全上問題となるレベルに比べはるかに低い濃度であった。なお、セシウム-137が検出された環境試料の中で、セシウム-134が同時に検出された試料については、過去の核実験フォールアウト影響に福島第一原子力発電所事故の影響が加わったものと考えられる。
- ・大気中水分および海水から発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

(2) 変動傾向および蓄積状況の評価

- ・変動傾向および蓄積状況を評価するために調査している陸土、指標植物、松葉、降下物、海水、海底土および指標海産生物については、平成23年2月までは過去の核実験フォールアウト影響としてセシウム-137が検出されていた。しかしながら、福島第一原子力発電所事故後は、セシウム-137の他にヨウ素-131およびセシウム-134が検出されており、今年度も、陸土、指標植物、松葉および降下物の一部試料からセシウム-134が昨年度に引き続き検出されている。検出されたセシウム-134の濃度はチェルノブイリ事故時のレベル以下であり、検出頻度、検出濃度はともに減少傾向にある。
- ・昨年度と同様に、雨水、海水から発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出された。
- ・年間降下物の一部試料からストロンチウム-90が過去実績を超えて検出されたが、過去の核実験フォールアウト影響によるものと考えられる。
- ・各種環境試料からプルトニウム-239が検出されているが、昨年までと同様に、過去の核実験フォールアウト影響によるものと考えられる。

したがって、平成24年度の県内各原子力発電所の運転等による周辺公衆の被ばく線量は無視できるレベルである。

注2（p.5）に参考として、発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に相当する放射能濃度を示す。

2.1.1 周辺公衆の線量評価

外部被ばくと内部被ばくに区分して原子力発電所ごとに周辺公衆の線量評価を行い、年間で定められている公衆の線量限度等と比較した。また、福島第一原子力発電所事故および過去の核実験の影響として検出されている核種の濃度を基に、県内原子力発電所の影響とは区別して線量評価を行った。

評価の結果、今年度の発電所の運転等による発電所周辺公衆の線量については、外部被ばくと内部被ばくを合計しても、いずれの地区とも年線量限度はもとより発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値をはるかに下回っていた。

(1) 外部被ばく

第1-1表に、今年度の空間線量測定結果から評価された発電所寄与による外部被ばくの推定線量をまとめた。県および施設者のテレメータシステムによる線量率連続測定ならびに積算線量測定結果では、発電所に起因する有意な線量上昇は認められなかった。また、各発電所の放射性廃棄物の放出量から計算した外部被ばく線量は0.001ミリシーベルト以下であった。したがって、発電所に起因する線量影響は無視できる程度であった。

第1-1表 実効線量（外部被ばく） (ミリシーベルト/年)

	放射線監視テレメータシステムによる調査結果	積算線量の調査結果*1	(参考) 放出量から計算した外部被ばく
敦賀発電所	—	—	0.001以下
ふげんもんじゅ	—	—	0.001以下
美浜発電所	—	—	0.001以下
大飯発電所	—	—	0.001以下
高浜発電所	—	—	0.001以下
参考：過去の核実験影響等	—	—	

(注) —は有意な影響なし

*1：検出限界はほぼ0.05ミリシーベルト/年

(注2) 成人の預託実効線量が0.05ミリシーベルトとなる大気および食品中の核種濃度

(単位：大気 (mBq/m³)、その他 (Bq/kg 生))

	大気	魚類	無脊椎動物	藻類	葉菜
¹³¹ I	410	43	420	210	170
¹³⁴ Cs	300	36	360	180	140
¹³⁷ Cs	150	53	520	260	210
³ H		16,000	160,000	81,000	32,000
⁹⁰ Sr		24	240	120	98
²³⁹ Pu		2.7	27	14	11
1日あたりの摂取量	22.2 m ³	200 g	20 g	40 g	100 g

1日あたり最下段の量を1年間摂取し続けるとした場合の濃度。トリチウム (³H) 以外の核種において葉菜の除染係数を0.5とした。海藻や葉菜の保存後の放射能の減衰は考慮されていない。トリチウムは有機結合型トリチウムとした場合の値

(2) 内部被ばく

内部被ばくを評価する試料から、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-134 およびセシウム-137 が、また、トリチウムや過去の核実験の寄与と考えられるセシウム-137 などが検出されていることより、例年と同様、各種試料中の年間平均濃度をもとに内部被ばくに関する預託実効線量の計算を行った。計算に当たっての具体的事項は注 3 に示した。

内部被ばくに関する預託実効線量の計算結果を第 1-2 表に、計算に用いた試料毎の平均値を第 2 表から第 4 表に示す。評価の結果、福島第一原子力発電所事故および県内発電所の運転に起因する内部被ばくは無視できる程度であった。

第 1-2 表 検出値から計算した預託実効線量(内部被ばく) (ミリシーベルト)

	内部被ばくの預託実効線量*1				
	呼 吸	飲 料 水	葉 菜	牛 乳	海 産 物
敦 賀 発 電 所 ふ げ ん	0.001以下*2	—	—	—	—
も ん じ ゆ	0.001以下*2	—	—	—	—
美 浜 発 電 所	0.001以下*2	—	—	—	—
大 飯 発 電 所	0.001以下*2	—	—	—	—
高 浜 発 電 所	0.001以下*2	—	—	—	—
参考：過去の核実験影響等*3	0.001以下	0.001以下*2	0.001以下	0.001以下	0.001以下

*1：1年間の摂取に基づく、摂取後50年間にわたって個人が受ける積算の線量。

計算の基礎として指標植物(ヨモギ)および指標海産生物(ホンダワラ)を含む。付 4.4 参照。

*2：各発電所近傍で観測した大気中水分等のトリチウムによるもの。付 4.2 参照。

*3：福島第一原子力発電所事故影響のセシウム-137、セシウム-134 および過去の核実験影響のセシウム-137、ストロンチウム-90、プルトニウムによるもの。

(注 3) 通常食用とはしない指標生物のヨモギおよびホンダワラを食品と同等に摂取するものとして取扱い、地区別の年平均核種濃度の計算に加えた。年平均値の算定には検出値のあるものだけを用いたので、実際の食品レベルよりは高くなっており、安全側に見積られている。線量計算は「発電用軽水型原子炉施設周辺線量目標値に対する評価指針(原子力安全委員会)」(以下、評価指針という)に従い、上記の年平均核種濃度の食品等を、成人で1日当たり葉菜 100g、牛乳 200ml、魚 200g、無脊椎動物 20g、海藻 40g ずつ、呼吸率を 22.2m³/日として1年間摂取し続けるとして計算を行った。

飲料水の摂取量は ICRP Publ.23 により 2.65ℓ/日とした。

内部被ばくを評価するにあたり、各試料から検出された核種と濃度については以下のとおりであった。

ゲルマニウム半導体検出器による核種分析において、目的核種(添付資料第4表(p.50)参照)のうち、セシウム-137が、また、目的核種以外にもセシウム-134と銀-110mが検出された。セシウム-134とセシウム-137が同時に検出された試料や銀-110mが検出された試料は福島第一原子力発電所事故の影響を受けていると考えられるが、県内発電所の運転による影響はなく、いずれも環境安全上問題となるレベルと比べ、はるかに低い濃度であった(第2表)。

第2表 検出された目的核種等の試料毎の平均値

	試料	単位	核種	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸上	大気中ヨウ素	mBq/m ³	—	—	—	—	—	—	/
	浮遊じん	mBq/m ³	Cs-134	0.0	—	—	—	—	—
			Cs-137	0.0	—	—	—	—	—
	陸水(飲料水)	mBq/l	—	—	—	—	—	—	
	指標植物(ヨモギ)	Bq/kg生	Cs-134	—	—	—	0.1	—	—
			Cs-137	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2
	農産物	〃	Cs-137	0.0	—	—	—	0.0	—
原乳	Bq/l	Cs-137	/	/	—	/	/	—	
海洋	海産食品(魚類)	Bq/kg生	Cs-134	0.2	—	—	—	0.1	—
			Cs-137	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	海産食品(貝類)	〃	Cs-137	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
			Ag-110m	—	—	—	0.1	0.1	0.0
	海産食品(藻類)	〃	Cs-137	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標海産生物	〃	Cs-137	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	—	

- (注) ①—は検出されなかったことを示す。
 ②/は調査対象外であることを示す。
 ③平均値は検出されたもののみから計算した。0.0は0.05未満であることを示す。
 (①～③について、以下の第3表～第7表まで同様)
 ④Cs-137はアンチコインシデンスによる測定結果を含む。

各地区の陸水(飲料水)のトリチウムからは、いずれも発電所の影響は観測されなかった。

大気中水分および海水から、発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、いずれも環境安全上問題となるレベルと比べ、はるかに低い濃度であった(第3表)。参考として、成人の預託実効線量が0.05ミリシーベルトになるトリチウム濃度を脚注4に示した。

第3表 トリチウム測定結果(平均値) 単位: 陸水、海水 Bq/l、大気中水分 Bq/m³

試料	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸水(飲料水)	0.9	0.8	1.0	0.7	0.8	0.6
大気中水分	0.039	0.019	0.025	0.040	0.12	0.0069
海水	0.6	0.7	1.0	0.8	1.2	0.6

- (注) 大気中水分のトリチウム濃度については、検出された水分あたりの平均濃度(Bq/l)を年間平均気温、年間平均相対湿度を基に大気中濃度(Bq/m³)に換算した。

ストロンチウム-90 とプルトニウム-239 は、各種環境試料から検出されているが、これらは例年の傾向や対照地区での調査結果、および放射性廃棄物放出実績とその核種存在比（参考資料 5.7～5.8(p.197～p.203)参照）から過去の核実験のフォールアウトと見なすことができる。濃度はこれまでと同程度であった（第4表）。

第4表 Sr-90, Pu-239 の測定結果（全地区平均値） 単位：Bq/kg 生

核種	指標植物	大根葉	魚類	貝類	藻類	指標海産生物
Sr-90	0.23	/	/	/	/	0.028
Pu-239	0.00075	0.00033	0.0024	0.029	0.0021	0.011

（注4）①成人の預託実効線量 0.05 ミシーベルトになるトリチウム濃度

飲料水	大気中水分
2,900 Bq/l	340 Bq/m ³

②トリチウムが海水から海産物（魚貝藻類）へ移行し、それを成人が年間摂取した場合に預託実効線量が 0.05mSv となる海水中濃度は約 12,000Bq/l である。ただし、有機結合型トリチウムとし、実効線量係数 4.2×10^{-8} mSv/Bq を用いた。

2.1.2 変動傾向および蓄積状況の評価

変動傾向および蓄積状況を把握するために浮遊じん放射能の連続測定、核種分析、トリチウム、放射化学分析の測定結果について考察した。核種分析結果において福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-134が検出されたが、その濃度はチェルノブイリ事故のレベル以下であった。

(1) 浮遊じん放射能の連続測定

大気中の発電所由来の人工放射性核種を連続的に監視する目的で行っている浮遊じん連続測定の結果では、その指標となるベータ/アルファ放射能濃度比において、発電所の運転に起因する変動は従来と同様に観測されなかった（添付資料第11表(p.88～p.93)参照）。

(2) 核種分析

福島第一原子力発電所事故以前の調査では、過去の核実験フォールアウト影響として、セシウム-137のみが検出されていたが、事故後は一部の試料でセシウム-137に加え、ヨウ素-131、セシウム-134が検出された。

ヨウ素-131は事故後2ヶ月で不検出となったが、セシウム-134は、事故後2年目となる今年度も引き続き検出されている（第5-1表、第5-2表参照）。

なお、昨年度と比較して、多くの試料でセシウム-134、セシウム-137の検出頻度、検出濃度ともに減少傾向にある。

第5-1表 検出された目的核種等の試料毎の平均値
(上段：今年度、下段(括弧内)：昨年度)

	試料	単位	核種	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸上	陸土	Bq/kg乾土	Cs-134	— (—)	— (—)	— (—)	0.6 (0.7)	0.8 (0.5)	0.5 (0.3)
			Cs-137	15 (15)	1.7 (1.6)	3.8 (4.1)	33 (35)	7.5 (5.4)	6.9* (48)
	指標植物 (ヨモギ)	Bq/kg生	Cs-134	— (0.4)	— (0.2)	— (0.3)	0.1 (0.3)	— (0.5)	— (0.7)
			Cs-137	0.2 (0.3)	0.2 (0.3)	0.3 (0.3)	0.2 (0.4)	0.1 (0.6)	0.2 (0.3)
	松葉	Bq/kg生	Cs-134	— (0.7)	— (0.9)	— (0.8)	0.3 (1.2)	0.3 (1.5)	— (0.8)
			Cs-137	0.2 (0.8)	— (1.1)	0.4 (0.9)	0.3 (1.1)	0.5 (1.8)	0.3 (1.5)
	降下物	Bq/m ²	Cs-134	— (3.7)	— (4.1)	— (5.9)	— (7.1)	— (8.1)	0.1 (3.9)
			Cs-137	— (3.8)	— (3.4)	— (6.2)	— (7.4)	— (8.4)	0.1 (3.2)
海洋	海水	mBq/ℓ	Cs-137	1.6 (1.8)	1.5 (1.7)	1.9 (1.7)	2.0 (2.0)	1.7 (2.2)	1.7 (2.0)
	海底土	Bq/kg乾土	Cs-137	2.1 (2.1)	— (—)	4.2 (5.2)	1.5 (1.5)	1.0 (1.0)	— (—)
	指標海産物	Bq/kg生	Cs-137	0.0 (0.0)	0.1 (0.0)	0.1 (0.1)	0.0 (0.0)	0.1 (0.1)	— (—)

(注) Cs-137はアンチコインシデンスによる測定結果を含む。

(*)今年度から採取地点を約800m移動している。

第5-2表 目的核種等の試料毎の検出頻度（検出数／年間検体数）

（上段：今年度、下段（括弧内）：昨年度）

	試料	単位	核種	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	
陸上	陸土	Bq/kg乾土	Cs-134	0/8 (0/8)	0/4 (0/4)	0/4 (0/4)	2/4 (2/4)	2/4 (1/4)	3/3 (1/3)	
			Cs-137	8/8 (8/8)	4/4 (4/4)	4/4 (4/4)	4/4 (4/4)	4/4 (4/4)	3/3 (3/3)	
	指標植物 (ヨモギ)	Bq/kg生	Cs-134	0/7 (2/7)	0/7 (4/7)	0/7 (2/7)	1/7 (4/7)	0/7 (6/7)	0/7 (1/7)	
			Cs-137	3/7 (5/7)	1/7 (5/7)	6/7 (6/7)	1/7 (4/7)	1/7 (6/7)	3/7 (3/7)	
	松葉	Bq/kg生	Cs-134	0/4 (3/4)	0/2 (2/2)	0/2 (2/2)	1/2 (2/2)	1/2 (2/2)	0/1 (1/1)	
			Cs-137	1/4 (4/4)	0/2 (2/2)	1/2 (2/2)	1/2 (2/2)	1/2 (2/2)	1/1 (1/1)	
	降下物	Bq/m ²	Cs-134	0/24 (8/24)	0/24 (5/24)	0/24 (5/24)	0/24 (7/24)	0/24 (8/24)	1/12 (7/12)	
			Cs-137	0/24 (8/24)	0/24 (6/24)	0/24 (5/24)	0/24 (7/24)	0/24 (8/24)	3/12 (8/12)	
	海	海水	mBq/l	Cs-137	9/10 (9/10)	6/6 (6/6)	7/12 (8/12)	4/6 (2/6)	7/12 (7/12)	2/2 (2/2)
		海底土	Bq/kg乾土	Cs-137	3/25 (3/25)	0/15 (0/15)	10/25 (9/25)	2/12 (3/12)	21/21 (19/21)	/ (/)
洋	指標海産物 生	Bq/kg生	Cs-137	0/24 (0/24)	1/8 (0/8)	2/16 (2/16)	0/8 (0/8)	2/20 (2/20)	0/4 (0/4)	

(3) トリチウム

第6表にトリチウム測定結果のまとめを示す。ここに示す平均値は各地区で検出された値から計算した。

平成23年度まで雨水および海水から、発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されており、今年度も同様に検出された。

第6表 トリチウム測定結果（平均値）

単位：Bq/l

試料	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
雨水	2.2	0.8	1.2	2.2	3.7	0.6
海水	0.6	0.7	1.0	0.8	1.2	0.6

(4) 放射化学分析

放射化学分析の結果の概要を第7表に示す。ストロンチウム-90とプルトニウム-239が、各種環境試料から検出されている。

ストロンチウム-90については、年間降下物が1地点で過去実績を超えて検出されたが、過去の核実験フォールアウト影響によるものと考えられる。

プルトニウム-239については、昨年までと同様に、過去の核実験フォールアウト影響によるものと考えられる。

第7表 Sr-90, Pu-239の測定結果（全地区平均値）

核種	陸土 Bq/kg乾土	指標植物 Bq/kg生	降下物 Bq/m ² ・年	海底土 Bq/kg乾土	指標海産物 Bq/kg生
Sr-90	/	0.23	0.30	/	0.028
Pu-239	0.14	0.00075	0.0054	0.49	0.011

（注）陸土では、勝山市池ヶ原（奥越高原牧場）の結果を含めて計算した。

以下に、線量評価に関連した調査、変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査について、調査試料毎に詳細に述べる。

2.2 線量評価に関連した調査

2.2.1 空間線量

(1) 線量率連続測定

第1表と第1図に、今年度のテレメータシステムによる線量率の連続測定結果の概要を示す。線量率の短期的変動の評価として第1表に示したように、「平均値+標準偏差(σ)の3倍」(測定値の取り扱い(1)(p.30)参照)を超えたものについて原因の調査を行っている。今年度の「平均値+3 σ 」は、春から秋にかけてはほぼ平均値+8.6nGy/hであり、冬期はおよそ平均値+16.0nGy/hであった。降雨量の多かった11月から1月にかけて3 σ が大きくなる傾向が見られた。「平均値+3 σ 」を超える線量率が各観測局で年間114~245時間観測されているが、敦賀地区において静穏時の大気中ラドン娘核種濃度の上昇による影響が1~2時間認められた以外は、いずれも降雨、降雪によるものであり、原子力発電所からの放射性物質放出に起因する線量率上昇は観測されなかった。

第1表 テレメータシステムによる線量率連続測定結果の概要 線量率単位:nGy/h

地区	観測局	年間 平均 線量率	年間 最高値	M+3 σ を超えた 原因とその時間数 ^{*1}			地区	観測局	年間 平均 線量率	年間 最高値	M+3 σ を超えた 原因とその時間数 ^{*1}		
				降雨	降雨以外 ^{*2}	発電所					降雨	降雨以外 ^{*2}	発電所
敦賀	敦賀A	59.3	106.8	158	2	0	美浜	新庄C	56.2	104.2	184	0	0
	浦底A	74.6	132.7	187	0	0		郷市C	35.7	97.3	202	0	0
	立石A	69.7	104.0	175	0	0		早瀬C	34.3	75.5	191	0	0
	河野A	47.2	93.8	215	0	0		日向C	39.0	89.1	200	0	0
	ふげん北D	62.4	125.5	183	0	0		三方C	33.6	102.8	214	0	0
	立石B	88.7	110.6	113	1	0		小浜A	47.9	77.0	138	0	0
	立石山頂B	75.6	135.2	174	0	0		日角浜A	43.2	95.5	186	0	0
	ふげん西D	38.4	108.1	194	0	0		宮留A	37.2	84.5	203	0	0
	猪ヶ池B	80.1	144.8	170	0	0		阿納尻A	32.2	110.8	223	0	0
	浦底B	75.6	131.2	188	0	0		長井A	37.5	97.8	220	0	0
	水試裏B	79.5	133.2	158	0	0	宮留C	40.2	95.5	220	0	0	
	色ヶ浜B	79.8	126.2	185	0	0	日角浜C	37.5	94.6	215	0	0	
	沓D	55.1	112.6	179	0	0	本郷C	42.7	89.2	219	0	0	
	赤崎D	49.9	100.9	207	0	0	加斗C	46.9	100.1	218	0	0	
	五幡B	47.7	106.5	201	0	0	小浜C	47.5	103.9	233	0	0	
	阿曽D	48.2	107.6	207	0	0	西津C	36.4	96.5	212	0	0	
	杉津B	51.5	111.5	190	0	0	堅海C	39.9	90.8	209	0	0	
	甲楽城B	43.7	100.3	217	0	0	川上C	49.5	108.6	190	0	0	
	今庄B	45.6	97.2	165	0	0	鹿野C	42.4	92.3	207	0	0	
	越前厨D	39.2	82.8	213	0	0	名田庄C	44.8	84.3	192	0	0	
白木	白木A	80.4	138.3	188	0	0	上中C	37.1	101.8	227	0	0	
	白木峠A	80.8	137.0	189	0	0	小黒飯A	40.8	84.1	245	0	0	
	松ヶ崎D	61.8	111.9	189	0	0	音海A	45.3	97.9	238	0	0	
	白木ID	66.1	117.8	147	0	0	神野浦A	30.7	80.3	233	0	0	
	白木IID	38.7	94.2	175	0	0	山中A	29.0	98.9	221	0	0	
	白木IIID	54.5	102.3	166	0	0	音海C	44.2	93.3	243	0	0	
	白木IIVD	45.5	81.5	164	0	0	田ノ浦C	39.0	80.2	230	0	0	
美浜	丹生A	60.6	116.7	200	0	0	小黒飯C	37.4	83.0	232	0	0	
	竹波A	72.3	128.1	199	0	0	神野浦C	29.9	80.2	231	0	0	
	坂尻A	62.8	129.0	208	0	0	日引C	36.0	83.7	215	0	0	
	奥浦C	62.4	128.1	182	0	0	青郷C	39.5	147.7	199	0	0	
	丹生C	49.0	99.0	189	0	0	高浜C	36.7	78.4	221	0	0	
	丹生寮C	46.1	103.7	192	0	0	和田C	37.5	88.2	226	0	0	
	竹波C	76.2	124.4	154	0	0	田井C	43.5	85.3	218	0	0	
	菅浜C	33.1	87.2	183	0	0	夕潮台C	30.8	65.6	202	0	0	
	佐田C	54.2	97.0	205	0	0							

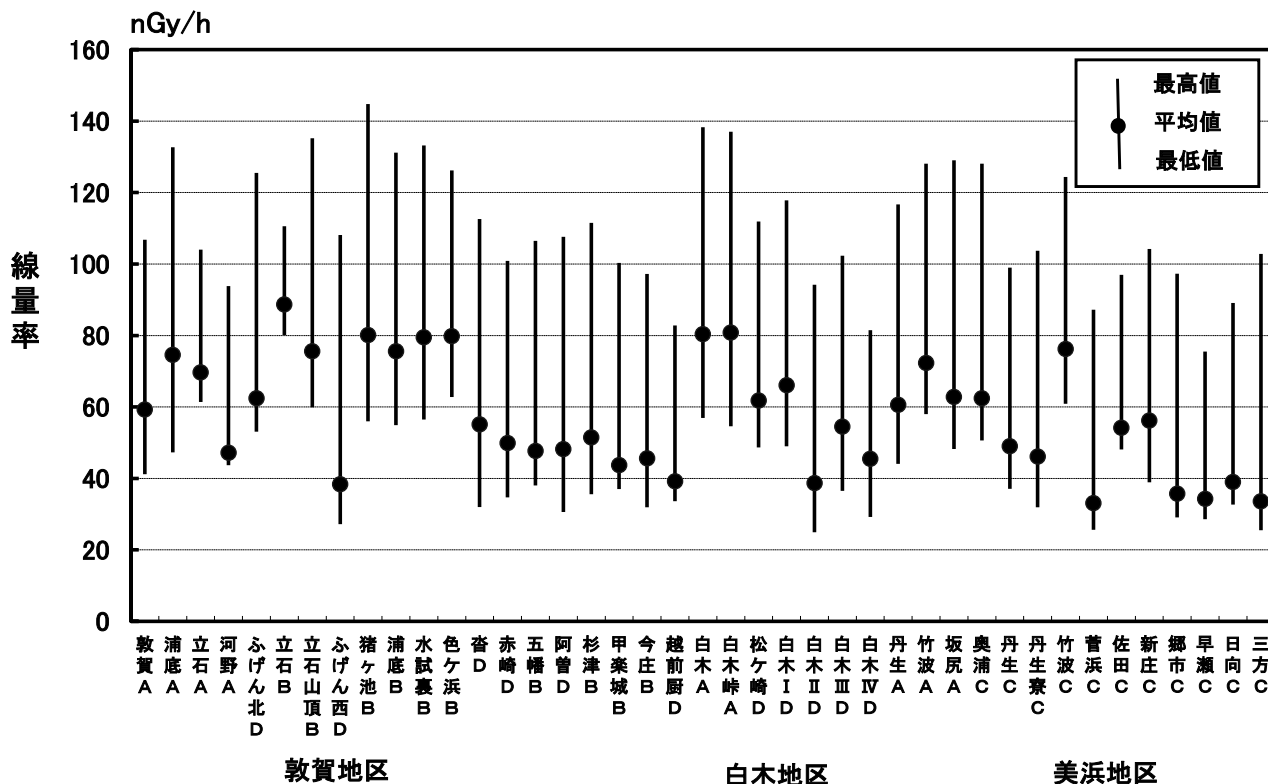
(注) 表中に示した結果は1時間値を基に算出した。降雨には降雪も含まれる。

*1: 月毎に算出した数の和である。Mは月平均値、 σ は月間標準偏差である。

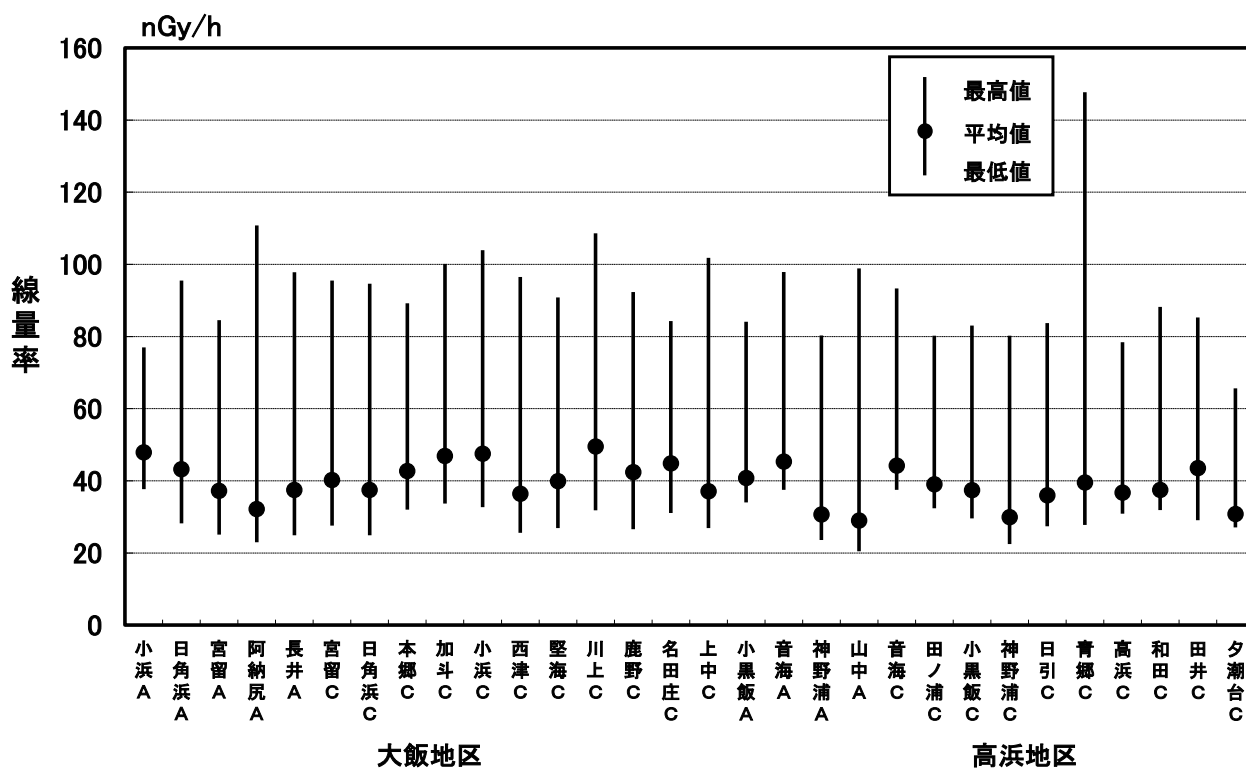
*2: 降雨以外の欄は、静穏時の大気中ラドン娘核種濃度の上昇など自然現象による。

第1図(1~2)に、各測定地点の1時間値を基に算出した年間の平均値、最高値、最低値を示す。

第1図(1) 空間線量率連続測定結果 (敦賀、白木、美浜地区)



第1図(2) 空間線量率連続測定結果 (大飯、高浜地区)



(2) 積算線量

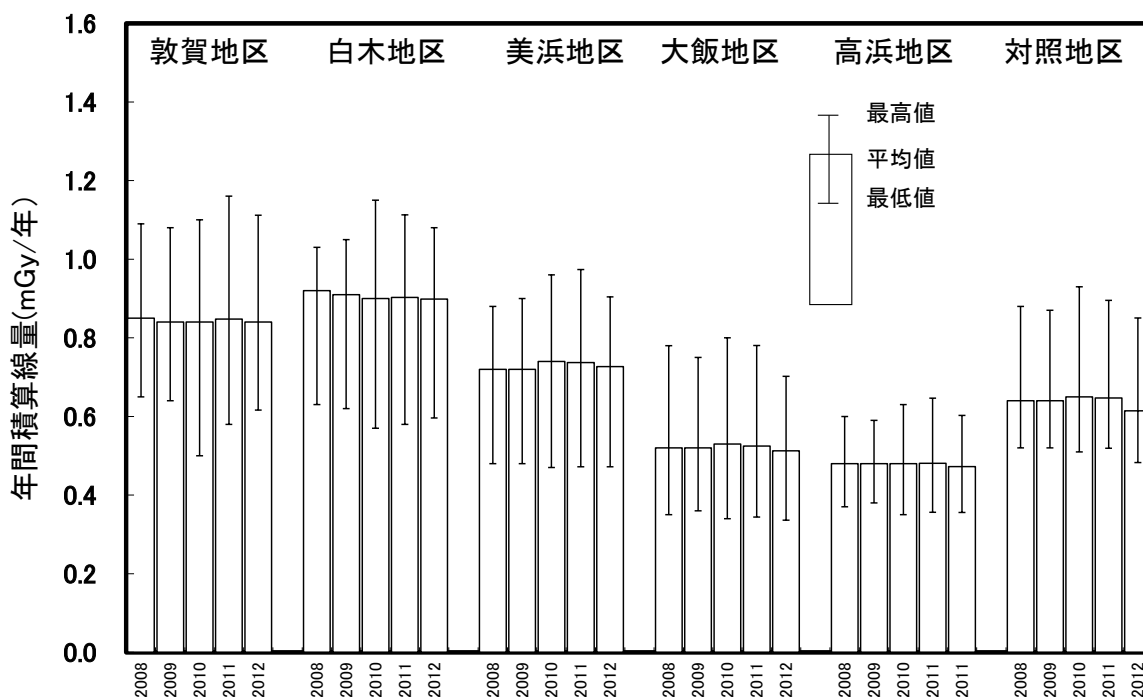
熱ルミネッセンス線量計（TLD）、電子線量計および蛍光ガラス線量計を用いた3ヶ月毎の積算線量については、すでに四半期毎に報告したとおり、発電所に起因する有意な線量上昇は認められなかった。以下に年間積算線量について述べる。

第2表に今年度の年間積算線量の各地区の平均値、最高値、最低値を、第2図に地区別の平均値、最高値、最低値の5年間の推移を、それぞれ示す。年間積算線量は3ヶ月値の和である。

第2表 今年度の各地区の年間積算線量 単位：mGy/年

	敦賀地区	白木地区	美浜地区	大飯地区	高浜地区	対照地区
平均値	0.84	0.90	0.73	0.51	0.47	0.61
最高値	1.11	1.08	0.90	0.70	0.60	0.85
最低値	0.62	0.60	0.47	0.34	0.36	0.48

第2図 年間積算線量の地区別平均値、最高値、最低値の推移(mGy/年)

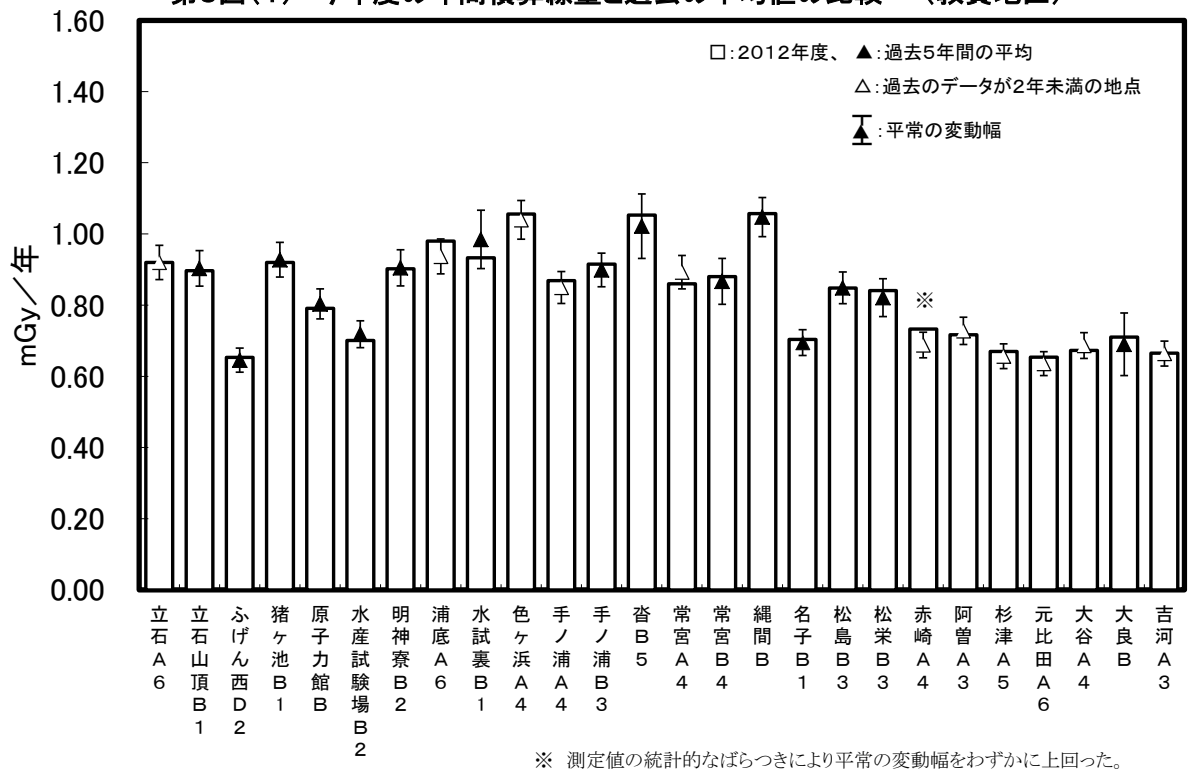


地区および地点により大きな差があるのは、地質によって天然放射性核種の濃度が違うためである。敦賀半島先端部の花崗岩地帯は、第9表の陸土の測定結果(p. 20)に示すとおり、カリウム-40、トリウム系列核種、ウラン系列核種が高濃度であるため線量が高くなっている。

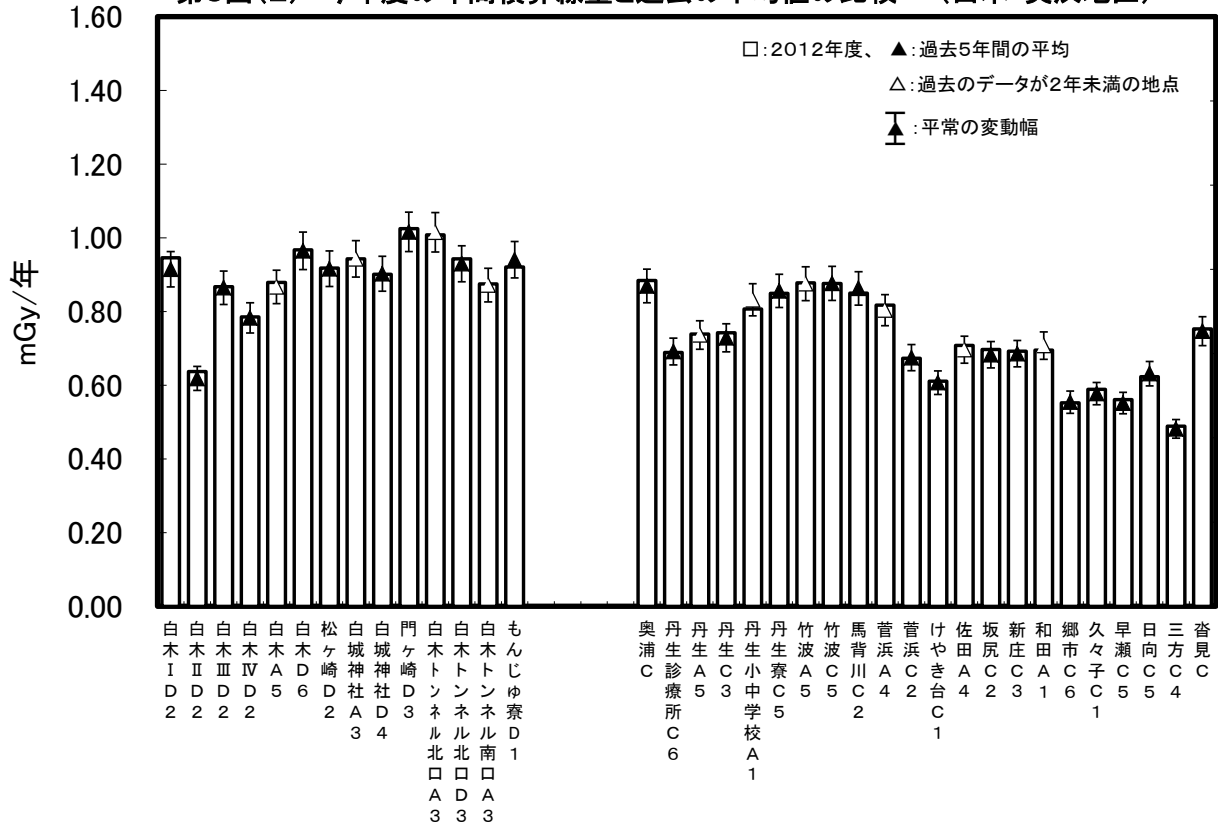
第3図(1~4)に地点毎の今年度の年間積算線量と過去(5ケ年)の平均値およびその平常の変動幅(注6)との比較を示す。いずれの地点でも、発電所の運転による線量上昇は観測されなかった。

(注6) 積算線量の平常の変動幅については、基本的に「標準偏差(σ)の3倍」の考え方に従って、各地点の過去5ケ年の測定結果の変動から求めている。「測定値の取扱い(2)(p. 30)」参照。

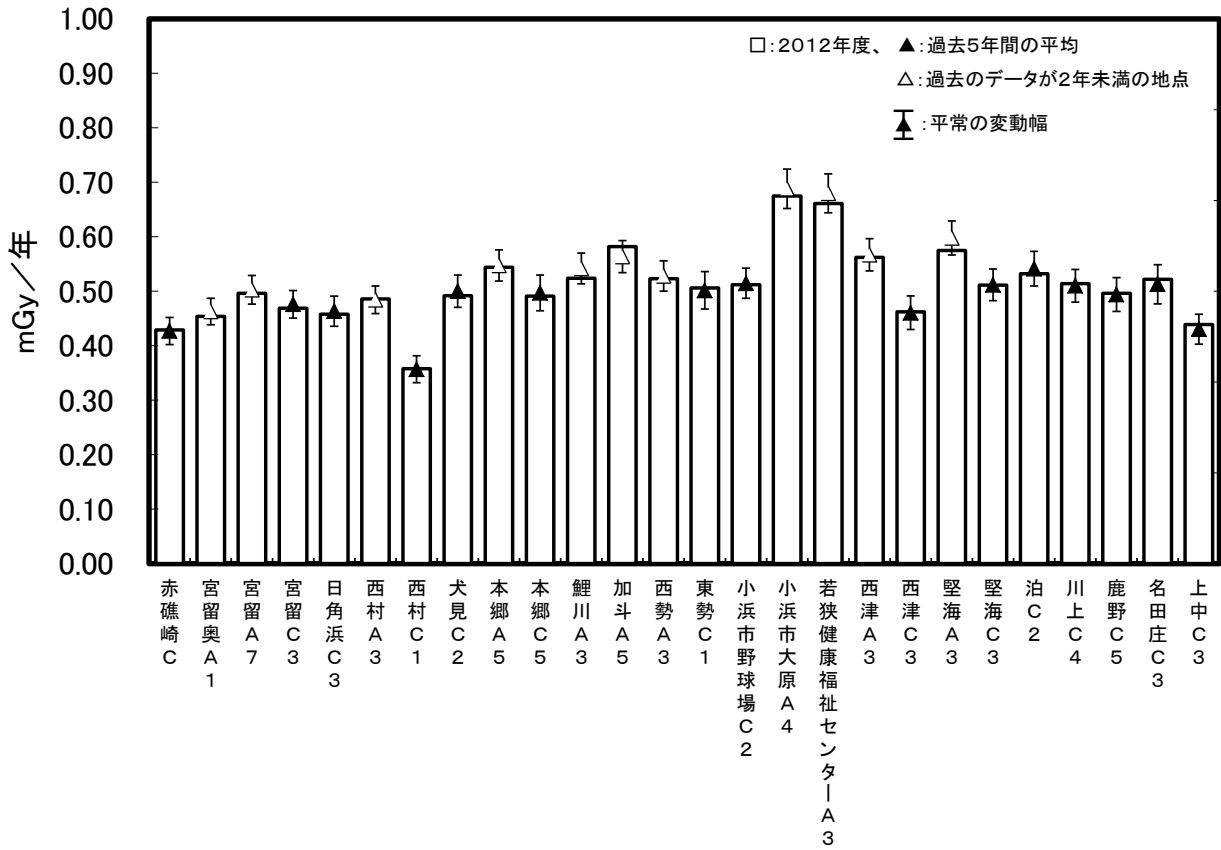
第3図(1) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (敦賀地区)



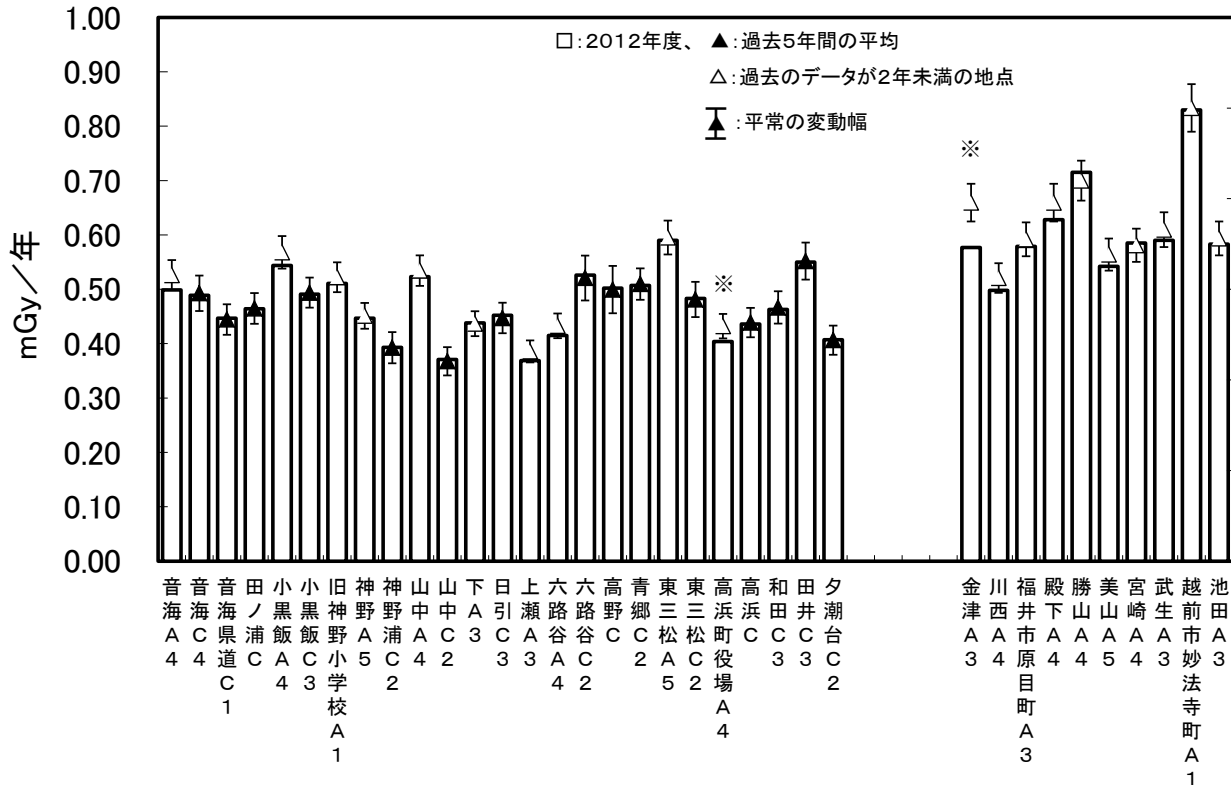
第3図(2) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (白木・美浜地区)



第3図(3) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (大飯地区)



第3図(4) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (高浜・対照地区)



※ 統計的なばらつきと自然変動により平常の変動幅を下回った。

2.2.2 大気・浮遊じん、大気中水分

第3表に今年度の大気・浮遊じん、大気中水分の調査結果の概要を示す。大気・浮遊じんはゲルマニウム半導体検出器による核種分析を、大気中水分はトリチウム分析をそれぞれ行っている。大気・浮遊じんの調査結果では、一部の試料からセシウム-137 およびセシウム-134 がごく僅か検出された^(*)。また、対照地区を除く各地区の大気中水分に、発電所寄与のトリチウムが検出されたが、すでに述べたように(p.7)、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

第3表 大気中核種の地区別濃度範囲

核種分析：mBq/m³、³H：Bq/m³

地区	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	³ H
敦賀	—	—	—	—	—	ND～0.0*	ND～0.0*	0.010 ～ 0.11
白木	—	—	—	—	—	—	—	0.0054 ～ 0.044
美浜	—	—	—	—	—	—	—	0.0079 ～ 0.058
大飯	—	—	—	—	—	—	—	0.0075 ～ 0.12
高浜	—	—	—	—	—	—	—	0.012 ～ 0.31
対照	—	—	—	—	—	—	—	ND ～ 0.010

(注) —は検出例が1例もないもの、NDは検出限界値未満を示す(以下の第4表～第7表まで同様)。ヨウ素-131濃度については、大気中ヨウ素および浮遊じんを対象としている。

トリチウム濃度については、月平均気温、月平均相対湿度をもとに算出した(付4.2参照)。実効線量が0.05ミリシーベルト/年に相当する大気中トリチウム濃度は340Bq/m³である。

(*) 今年度試料のうち県が採取した1件から福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134、Cs-137がともに0.0mBq/m³検出された。県が浮遊じん測定に使用しているロール状のろ紙には、製造過程で福島第一原子力発電所事故影響と考えられる放射性セシウムの混入が確認されており、検出された濃度からろ紙汚染濃度を差し引いた値で評価を行っている。このため、検出された原因が土壌の舞い上がりによるものか、ろ紙汚染濃度のばらつきなどによるものかは特定できなかった。詳細はp.166を参照。

2.2.3 陸水

第4表に今年度の陸水(飲料水)の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、各地区ともトリチウム以外の核種は検出されなかった。トリチウムからは発電所の影響は観測されず、環境安全上の問題はなかった。

第4表 飲料水の地区別核種濃度範囲

核種分析：mBq/l、³H：Bq/l

地区	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	³ H
敦賀	—	—	—	—	—	0.6～1.1
白木	—	—	—	—	—	0.5～1.0
美浜	—	—	—	—	—	0.9～1.1
大飯	—	—	—	—	—	0.6～0.9
高浜	—	—	—	—	—	ND～1.1
対照	—	—	—	—	—	ND～0.6

(注)実効線量が0.05ミリシーベルト/年に相当する飲料水のトリチウム濃度は2,900 Bq/lである。

2.2.4 農産物、指標植物

指標植物(ヨモギ、ヒメムカシヨモギ)は通常食用とはしないが、農産物が入手困難な季節でも各発電所近傍で採取が可能なこと、および形状も比較的葉菜に近く、評価の基礎データに用いることができることから調査対象としている。第5表に農産物、指標植物の

今年度の調査結果の概要を示す。指標植物の一部の試料からは、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-134 およびセシウム-137 が検出されたが、その検出頻度と検出濃度は昨年度と比較して減少している。なお、セシウム-137 はその他の試料からも検出されているが、過去の核実験フォールアウト等^(注)の影響と考えられる。

一方、放射化学分析ではストロンチウム-90 とプルトニウム-239 が検出されているが、過去の核実験のフォールアウト影響によるものと考えられ、環境安全上問題はなかった。

第5表 葉菜、指標植物の地区別核種濃度範囲

単位：Bq/kg生

地区	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	⁹⁰ Sr	²³⁹ Pu
敦賀	—	—	—	—	—	ND～0.3	—	0.14	—
白木	—	—	—	—	—	ND～0.2	—	0.10	ND～0.00084
美浜	—	—	—	—	—	ND～0.5	—	0.16	—
大飯	—	—	—	—	—	ND～0.2	ND～0.1	0.22	—
高浜	—	—	—	—	—	ND～0.1	—	0.57	—
対照	—	—	—	—	—	ND～0.2	—	0.22	—

(注) ⁹⁰Sr、²³⁹Pu は放射化学分析の結果

2.2.5 海産食品、指標海産生物

指標海産生物(ホンダワラ)は通常食用とはしないが、食用魚貝藻類が入手困難な季節でも各発電所近傍の定点で採取が可能なこと、および生態が食品と似ていて濃縮係数も比較的高いと考えられ、評価の基礎データに用いることができることから調査対象としている。

第6表に今年度の海産食品(近海魚、サザエ、アワビ、ワカメ、モズク等)、指標海産生物の測定結果の概要を示す。今年度の調査結果では、一部の試料から福島第一原子力発電所事故影響と考えられるセシウム-134 およびセシウム-137 が検出された。検出されたセシウム-134 濃度は昨年度と同レベルであった。また、その他の試料からセシウム-137 のみが検出されたが、過去の核実験フォールアウト等^(注)の影響と考えられる。

一方、放射化学分析ではストロンチウム-90 とプルトニウム-239 が検出されているが、過去の核実験のフォールアウト影響によるものと考えられ、環境安全上問題はなかった。

(注) 過去の核実験フォールアウト等とは、過去の核実験フォールアウトに加え、チェルノブイリ事故や福島第一原子力発電所事故の影響を含む。

第6表 海産食品、指標海産生物の地区別核種濃度範囲

単位：Bq/kg生

地区	種類	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	⁹⁰ Sr	²³⁹ Pu
敦賀	魚	—	—	—	—	/	ND～0.5	ND～0.3	/	/
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.0	—	/	/
	藻	—	—	—	—	—	ND～0.0	—	0.022	0.0013～0.016
白木	魚	—	—	—	—	/	0.1	—	/	ND～0.0024
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.0	—	/	0.008～0.038
	藻	—	—	—	—	—	ND～0.1	—	0.029	0.0017～0.025
美浜	魚	—	—	—	—	/	0.0～0.1	—	/	/
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.0	—	/	/
	藻	—	—	—	—	—	ND～0.1	—	0.017	0.0018～0.012
大飯	魚	—	—	—	—	/	0.1～0.2	—	/	/
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.0	—	/	/
	藻	—	—	—	—	—	ND～0.0	—	0.022	0.0017～0.0042
高浜	魚	—	—	—	—	/	0.1～0.3	ND～0.1	/	/
	貝	—	—	—	—	/	ND～0.0	—	/	/
	藻	—	—	—	—	—	ND～0.1	—	0.038	0.003～0.01
対照	魚	—	—	—	—	/	0.1	—	/	/
	貝	—	—	—	—	/	—	—	/	/
	藻	—	—	—	—	—	ND～0.0	—	0.037	0.0026～0.0084

- ① 0.0は0.05未満を示す。/は調査対象外であることを示す。
- ② 指標海産生物のホンダワラは、藻類に含めた。
- ③ ¹³⁷Csはアンチコインシデンスによる測定結果を含む。
- ④ ⁹⁰Srと²³⁹Puは放射化学分析により求めた。

2.2.6 海水

第7表に今年度の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、セシウム-137とトリチウムが検出された。

セシウム-137の平均濃度は各地区とも2mBq/l程度で昨年度までと同様の値であり、対照地区の福井とも同レベルであることから過去の核実験フォールアウト等^(注)の影響とみなすことができる。

トリチウムについては、今年度、発電所寄与と考えられる値(2Bq/l以上)が検出されたのは美浜地区および高浜地区で合わせて3例あった(第28表(p.127～129)参照)。これらはいずれも発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うものであり、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

第7表 海水の地区別核種濃度範囲

核種分析：mBq/l、³H：Bq/l

地区	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	³ H ^(注)
敦賀	—	—	—	ND～2.1	ND～1.0
白木	—	—	—	1.1～1.9	ND～0.9
美浜	—	—	—	ND～2.3	ND～2.2
大飯	—	—	—	ND～2.3	ND～1.2
高浜	—	—	—	ND～2.2	ND～2.4
対照	—	—	—	1.5～1.9	ND～0.6

(注；8ページの(注4)参照)

(注) 過去の核実験フォールアウト等とは、過去の核実験フォールアウトに加え、チェルノブイリ事故や福島第一原子力発電所事故の影響を含む。

2.3 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査

2.3.1 浮遊じん放射能の連続測定

第8表に年間の測定結果の概要を示す。各地点の今年度の放射能濃度測定値はいずれも天然放射能（空気中のラドン娘核種濃度）のレベルであった。発電所由来の人工放射性核種を監視する指標としているベータ/アルファ放射能濃度比では、「平均値（M）＋標準偏差（ σ ）の3倍」を超えるものが、各観測局で7例～16例観測されている。いずれも「平均値（M）＋標準偏差（ σ ）の3倍」をわずかに超えたもの、もしくは濃度が低い時に観測されたものであることから、すべて天然放射能の変動によるものと考えられる。

なお、ゲルマニウム半導体検出器による核種分析結果において、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-134等の人工放射性核種が検出されたが、その濃度は天然放射能レベルに比べて十分低かった。

第8表 浮遊じんの連続測定結果の概要 単位：Bq/m³

地区	観測局	ベータ（ β ） 放射能濃度		アルファ（ α ） 放射能濃度		β/α 放射能 濃度比（%）		β/α 比の M+3 σ を 超えた数
		年間平均	年間最大	年間平均	年間最大	年間平均	年間最大	
敦賀	浦底A	3.3	24.3	6.4	48.6	51	64	9
	立石A	2.8	15.9	5.6	31.9	51	63	7
白木	白木A	3.2	26.6	6.2	51.5	51	65	8
	白木峠A	2.2	11.3	4.3	23.3	52	67	16
美浜	丹生A	2.9	19.0	5.3	35.7	55	68	8
	竹波A	3.4	21.7	6.6	42.2	53	67	15
大飯	日角浜A	3.1	16.2	6.2	33.3	51	62	11
	宮留A	2.8	15.7	5.6	33.7	51	63	13
高浜	小黒飯A	2.1	9.6	4.2	21.3	50	62	7
	音海A	2.4	9.6	4.8	20.2	50	64	7
	神野浦A	2.4	10.2	4.8	20.7	50	64	16

2.3.2 陸 土

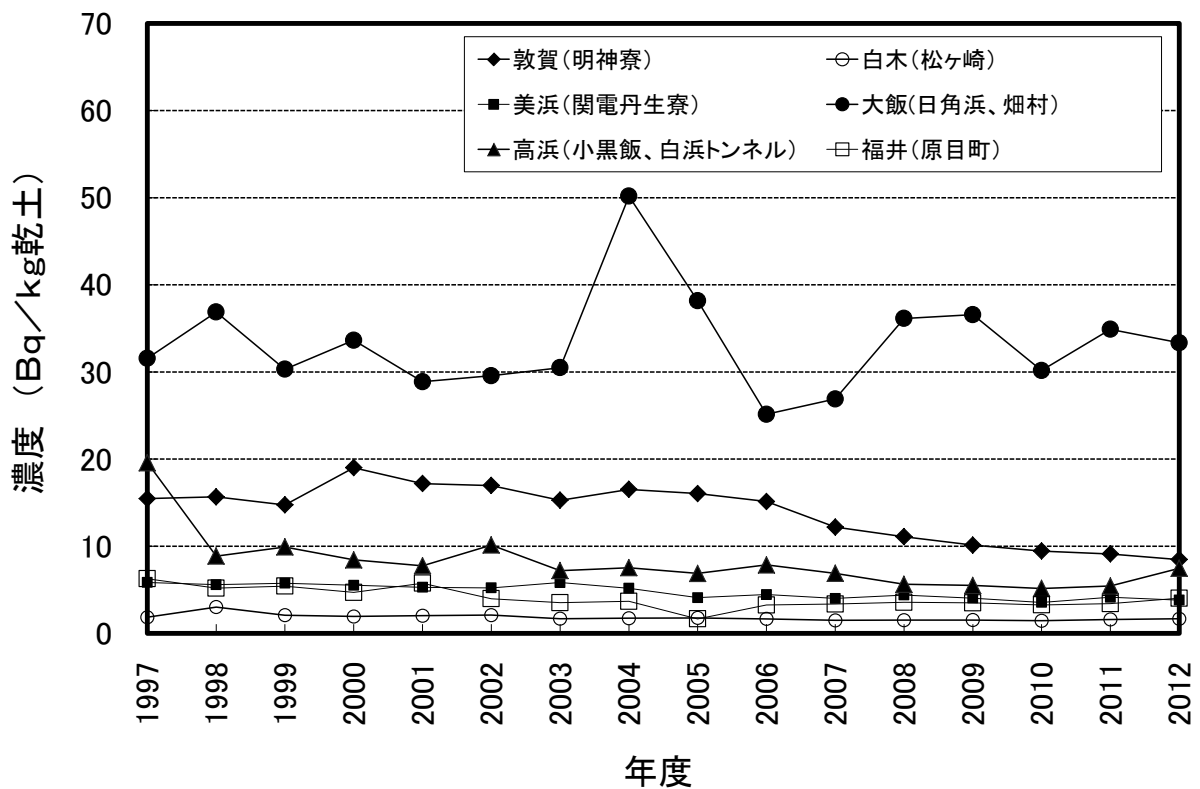
第4図に各地点における陸土のセシウム-137濃度年間平均値の推移を示す。

今年度の調査結果では、過去の核実験フォールアウト影響のセシウム-137に加え、一部の試料から福島第一原子力発電所事故影響と考えられるセシウム-134が昨年度に引き続き検出された。

検出されたセシウム-137の大部分が過去の核実験フォールアウト影響が蓄積したものであり、今年度も特に大きな変動は見られなかった。セシウム-134とセシウム-137が同時に検出された試料は福島第一原子力発電所事故影響を受けていると考えられるが、経年的な変化にその影響は認められず、その影響がごく僅かなものであることがわかる。また、第9表に示すように、陸土にはかなり高い濃度の天然放射性核種が含まれて自然の放射線源となっており、空間線量の測定値の大部分はこれらの寄与によるものである。

これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、放射化学分析によるプルトニウムの分析を白木地区および対照地区の陸土について行っている（添付資料第29表その3(p.132)参照）。今年度の結果は昨年度までと同程度であった。

第4図 陸土のセシウム-137濃度の推移



第9表 陸土中の天然放射性核種の平均濃度

単位：Bq/kg 乾土

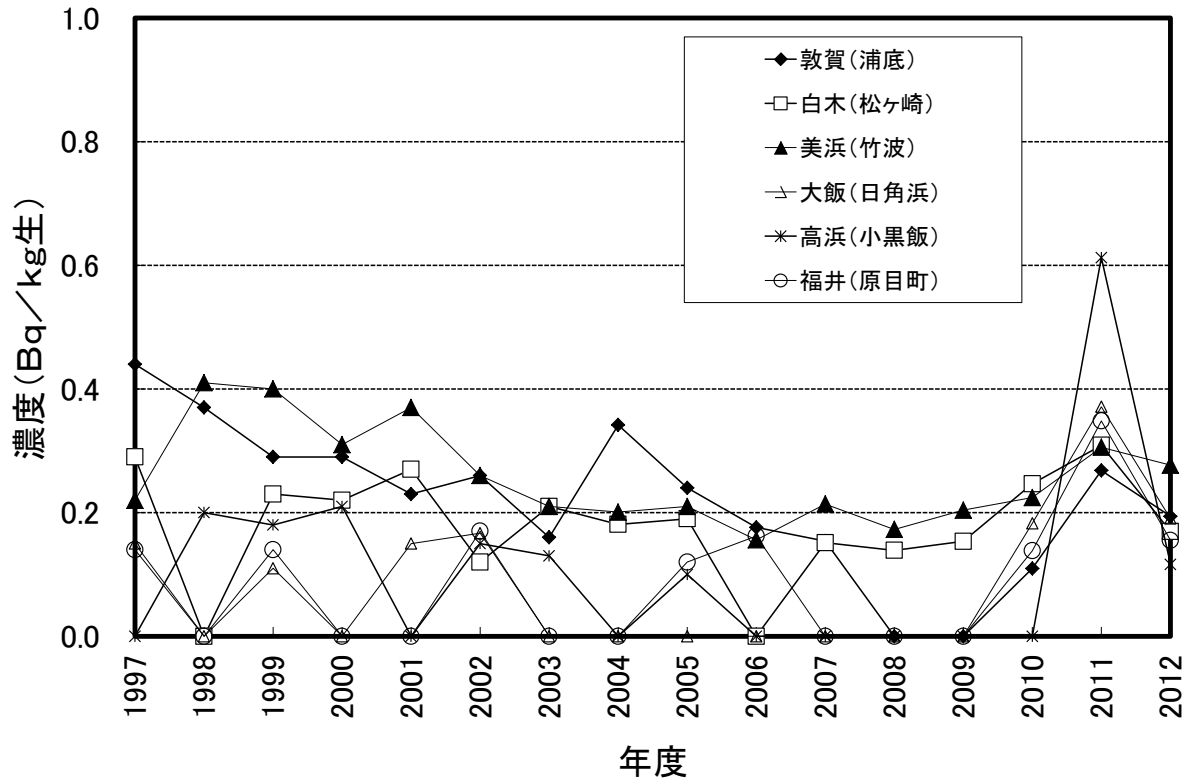
地区	地 点	カリウム-40	トリウム系列	ウラン系列
敦 賀	浦底・敦賀発電所北端	1 1 0 0	8 0	4 6
白 木	白木（松ヶ崎）	1 2 0 0	1 1 0	5 1
美 浜	丹生（関電丹生寮敷地内）	1 1 0 0	8 8	4 7
大 飯	日角浜・畑村	3 2 0	2 2	1 8
高 浜	小黒飯（旧道脇・白浜トンネル上）	5 7 0	4 1	2 5
対 照	福井市原目町	4 2 0	3 1	2 1

2. 3. 3 指標植物、松葉

第5図に各地点における指標植物のセシウム-137濃度年間平均値の推移を示す。

福島第一原子力発電所事故により増加した濃度が、今年度はすべての地点で低下した。指標植物および松葉のいずれについても、一部の試料からは、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-134が検出されているが、第10表に示すとおり、すべての地点において、検出頻度や検出濃度は減少傾向にある。

第5図 指標植物のセシウム-137濃度の推移



(注) 上記の図は、検出値があるものだけの平均値
測定値がND(検出限界値未満)の場合、図では0のところに表示されている。

第10表 指標植物のセシウム-134 最大濃度および検出頻度
(上段：最大濃度(Bq/kg) 下段：(検出数/年間検体数))

	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
2012年度	— (0/7)	— (0/7)	— (0/7)	0.1 (1/7)	— (0/7)	— (0/7)
2011年度	0.5 (2/7)	0.2 (4/7)	0.3 (2/7)	0.6 (4/7)	1.2 (6/7)	0.7 (1/7)

2. 3. 4 降下物

第6-1図に各地点における降下物のセシウム-137年間降下量の推移を示す。

今年度の毎月の調査結果では、一部の試料から福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-134およびセシウム-137が検出されたが、昨年度の検出濃度と比べ大きく低下した。

地点毎に毎月の試料を混合し、年間集合試料として改めて測定した結果、一部の地区の試料から福島第一原子力発電所事故の影響と考えられるセシウム-134が検出された。セシ

ウム-137はすべての地区の試料から検出されており、過去の核実験フォールアウトの影響によるものであることが考えられるが、セシウム-134とセシウム-137が同時に検出された試料については、福島第一原子力発電所事故影響が加わっていると考えられる。

天然放射性核種のベリリウム-7は、例年の傾向どおり秋から冬にかけて降下量が増加しており、最大で、970 Bq/m²・月（添付資料第20表（p.108～p.111）参照）の降下量が観測されている。ナトリウム-22は宇宙線によるもので、0.25～0.45（平均0.38）Bq/m²・年（添付資料第30表（p.134）参照）観測されており、ベリリウム-7の約1/10,000程度の降下が見られる。なお、今年度のベリリウム-7の年間降下量の全地区の平均値は、約3,200Bq/m²・年である。

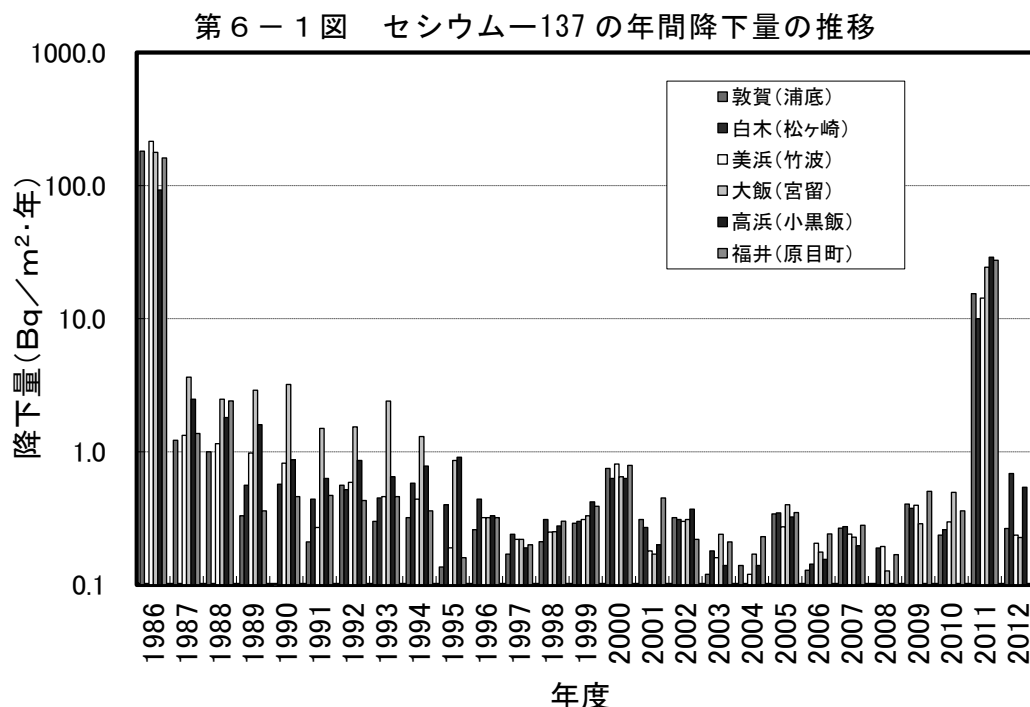
これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、雨水のトリチウム濃度、および年間集合試料を用いた放射化学分析による各地区のストロンチウム-90とプルトニウム-239の年間降下量を求めている（添付資料第30表（p.134）参照）。

雨水のトリチウム濃度は、過去の実績とほぼ同程度の値が検出されたが、発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うものであった。

また、ストロンチウム-90については、1試料で過去実績を超えて検出された。県内原子力発電所の放射性廃棄物放出実績（参考資料5.7～5.8（p.197～p.203）参照）から、ストロンチウム-90の放出は検出限界以下であると推定され、発電所に起因するものではないと考えられる。一方、福島第一原子力発電所事故の影響について事故により放出されたストロンチウム-90と放射性セシウム（セシウム-134とセシウム-137の和）の放出比から推定すると、事故影響によるストロンチウム-90は無視できるレベル*1であった。したがって、過去実績を超えて検出されたストロンチウム-90については、過去の核実験フォールアウトの影響によるものと考えられる。検出濃度の推移は第6-2図のとおりである。

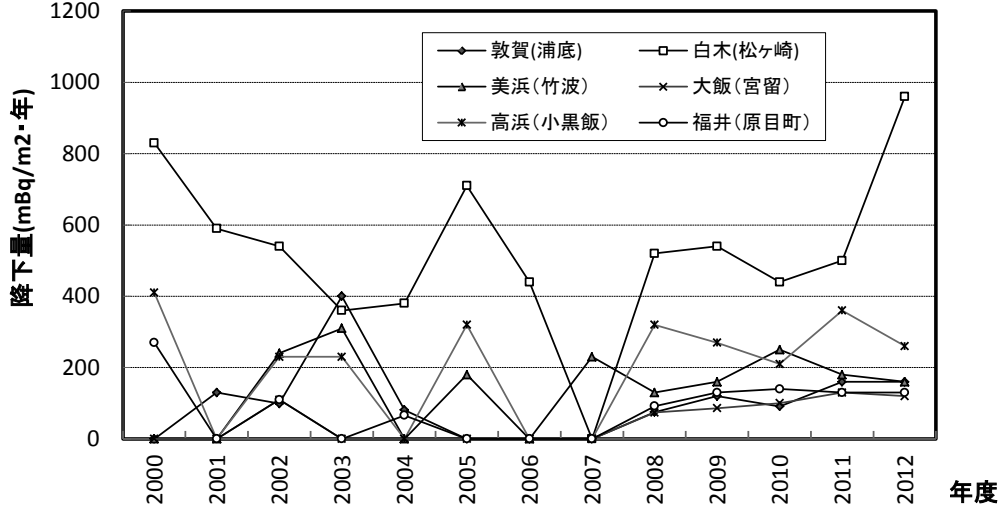
プルトニウム-239が昨年までと同様に検出されたが、全ての試料においてプルトニウム-238は検出限界未満であったことから、昨年までと同様に、過去の核実験フォールアウト影響によるものと考えられる。検出濃度の推移は第6-3図のとおりである。

*1: 「東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故に係る1号機、2号機及び3号機の炉心の状態に関する評価について」（平成23年6月6日経済産業省公表）、「放射性物質放出量データ一部誤りについて」（平成23年10月20日経済産業省公表）によると、福島第一原子力発電所事故により放出されたストロンチウム-90の量は 1.4×10^{14} Bqであり、同じく放出された放射性セシウム（セシウム-134とセシウム-137の和）の量は 3.3×10^{16} Bqとされている。これから、ストロンチウム-90と放射性セシウムの放出比は0.4%となり、この比率で県内に降下したと推定すると、今年度の年間降下物試料から検出された放射性セシウムの結果から、事故影響によるストロンチウム-90は無視できるほど低い濃度と考えられる。

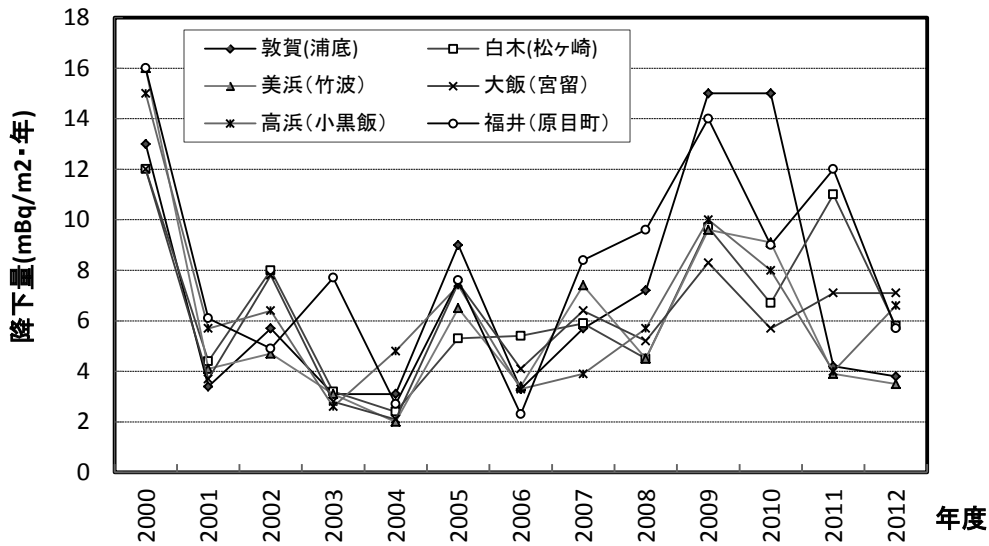


備考) 2006年度の測定結果については、各地区で試料の一部に欠損があったことから、参考値とする。
2009年度の高浜地区の測定結果については、年間集合試料が作成できなかったため欠測とした。

第6-2図 降下物のストロンチウム-90濃度の推移



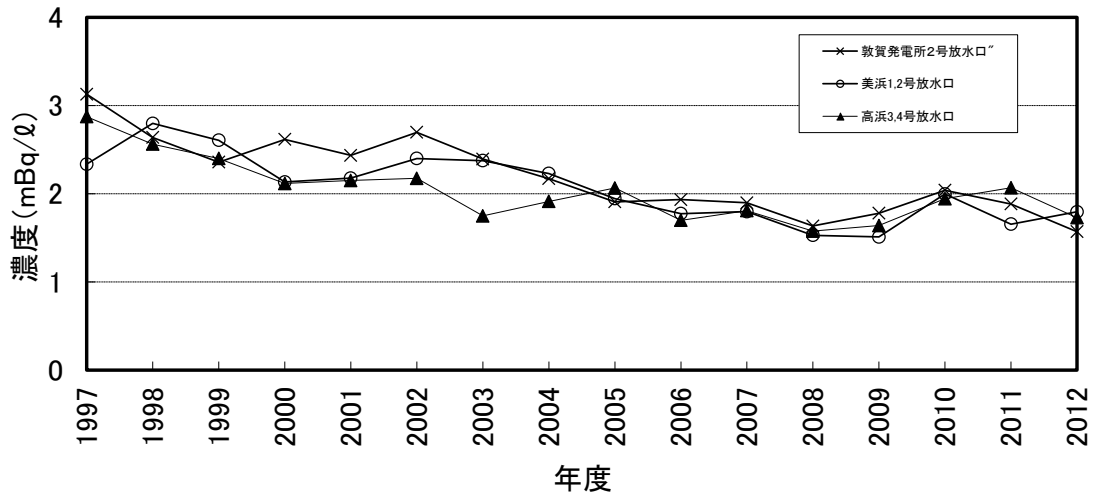
第6-3図 降下物のプルトニウム-239濃度の推移



2.3.5 海水

第7図に敦賀2号放水口、美浜発電所1,2号放水口、高浜3,4号放水口における海水のセシウム-137濃度の推移を示す。セシウム-137は過去の核実験フォールアウトの影響であると考えられ、各地点とも今年度の測定結果は従来と同程度であった。この図に示した地点以外の各地区の海水からもセシウム-137が検出されているが、従来と同程度であり、検出濃度は減少傾向にある。

第7図 海水のセシウム-137濃度の推移



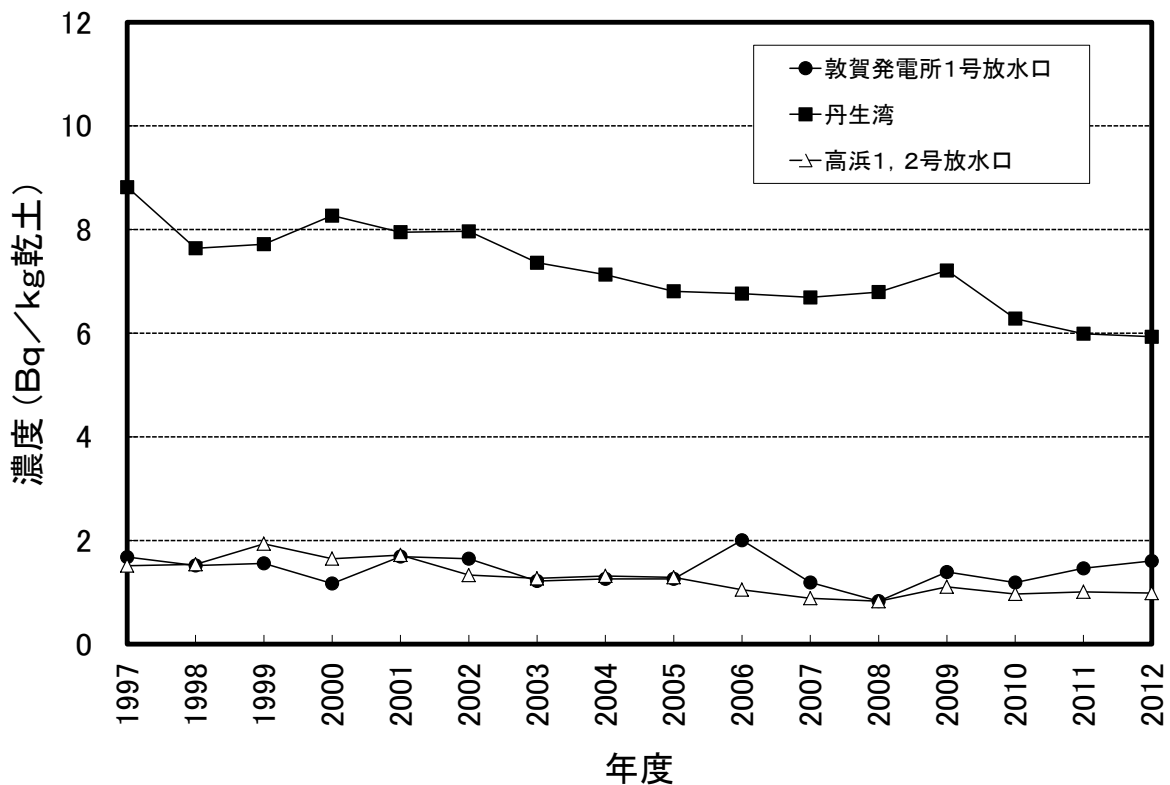
2.3.6 海底土

第8図に浦底湾（敦賀発電所1号放水口）、丹生湾、内浦湾（高浜発電所1,2号放水口）における海底土のセシウム-137濃度の推移を示す。

今年度の調査では、コバルト-60等の発電所に起因する核種はいずれの地区からも検出されなかった。セシウム-137は過去の核実験フォールアウト影響であると考えられ、各地点とも今年度の測定結果は従来と同程度であった。この図に示した地点以外の各地区の海底土からもセシウム-137が検出されているが、底質が有機質に富んだ腐敗泥は高く、砂質では低くなっており、いずれも発電所稼働前の調査と同様の傾向を示している。

これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、放射化学分析によるプルトニウムの分析を行っている（添付資料第29表その4(p.133)参照）。今年度の結果は、昨年度までと同程度であった。

第8図 海底土のセシウム-137濃度の推移



2.3.7 指標海産生物

指標海産生物の調査結果は、海産物についての預託実効線量の評価の際にも役立てているため、既に2.2.5海産食品、指標海産生物で取扱ったが、発電所に起因する核種の変動傾向を把握するため、改めて今年度の指標海産生物の調査結果について述べる。

今年度の調査の結果では、一部の試料からセシウム-137が検出されたが、いずれの地区でも従来と同程度の濃度であり、過去の核実験フォールアウト影響のレベルであった。

(参考) 今年度のセシウム-137 分析結果

環境モニタリングの目的のひとつに「環境における放射性物質の蓄積状況の把握」を掲げていることから、環境で最も多く検出されているセシウム-137 について、試料区分毎の今年度の結果と過去3ヶ年検出実績の比較をまとめたものを以下に示す。

今年度は、浮遊じん、陸土、指標植物、松葉、降下物および海産食品（魚類）の一部に福島第一原子力発電所事故影響が現れたが、検出濃度ならびに検出頻度は減少傾向にある。また、対照地区も含め各地区でほぼ同一水準であるという結果は、「今年度の値はいずれも過去に行われた核実験フォールアウト影響に福島第一原子力発電所事故影響が加わった」というこれまでの評価を裏づけるものであり、県内原子力発電所に起因するものは認められなかった。

今年度のセシウム-137 分析結果

単位：浮遊じん (mBq/m³)、降下物 (Bq/m²)、陸水・海水 (mBq/l)、その他 (Bq/kg)

試料	敦 賀		白 木		美 浜	
	12 年度	09～11 年度	12 年度	09～11 年度	12 年度	09～11 年度
浮遊じん	ND～0.0	ND～0.8	—	ND～0.7	—	ND～0.8
陸水	—	—	—	—	—	—
陸土	8.1～28	7.5～28	1.3～1.9	0.9～1.9	3.2～4.6	2.5～5.7
原乳	/	/	/	/	—	—
指標植物	ND～0.3	ND～0.6	ND～0.2	ND～0.7	ND～0.5	ND～0.6
松葉	ND～0.2	ND～1.3	—	ND～1.5	ND～0.4	ND～1.3
農産物	0.0	ND～0.0	—	ND～0.0	—	ND～0.0
降下物	—	ND～14	—	ND～9.8	—	ND～15
海水	ND～2.1	ND～2.2	1.1～1.9	1.1～2.2	ND～2.3	ND～2.6
海底土	ND～3.2	ND～3.3	—	—	ND～9.6	ND～9.7
海産食品（魚類）	ND～0.5	0.1～0.8	0.1	0.0～0.3	0.0～0.1	0.0～0.1
〃（貝類）	—	ND～0.0	—	ND～0.0	ND～0.0	ND～0.0
〃（藻類）	—	ND～0.1	—	ND～0.1	—	—
指標海産生物	—	ND～0.1	—	—	ND～0.1	ND～0.2

試料	大 飯		高 浜		対 照	
	12 年度	09～11 年度	12 年度	09～11 年度	12 年度	09～11 年度
浮遊じん	—	ND～0.5	—	ND～0.5	—	ND～0.1
陸水	—	—	—	—	—	—
陸土	2.9～65	2.4～70	4.3～9.0	3.6～7.1	3.3～13	3.0～150
原乳	/	/	/	/	—	ND～0.1
指標植物	ND～0.2	ND～0.6	ND～0.1	ND～1.4	ND～0.2	ND～0.7
松葉	ND～0.3	ND～1.5	ND～0.5	ND～2.4	0.3	ND～1.5
農産物	—	—	0.0	—	—	—
降下物	—	ND～24	—	ND～36	ND～0.1	ND～23
海水	ND～2.3	ND～2.5	ND～2.2	ND～3.1	1.5～1.9	ND～2.5
海底土	ND～3.6	ND～3.9	0.5～2.1	ND～3.9	/	/
海産食品（魚類）	0.1～0.2	ND～0.2	0.1～0.3	0.0～0.2	0.1	0.1～0.3
〃（貝類）	—	ND～0.0	—	ND～0.0	—	—
〃（藻類）	—	ND～0.0	—	—	—	—
指標海産生物	—	—	ND～0.1	ND～0.1	—	—

(注) —またはNDは「検出されず」を、0.0は0.05未満で検出限界値以上の測定値を示す。

09～11年度の欄で、—と記したものは検出実績が1例もないものである。/は調査対象外を示す。

3 添付資料

3.1 調査方法

3.2 調査地点図表

第1図～第8図 調査地点図

第1表 調査地点の詳細

3.3 測定法

第2表～第7表 測定法、測定器

3.4 測定結果

第8表～第10表 空間線量測定結果

第11表 浮遊じん放射能の連続測定結果

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

第13表～第24表 核種分析結果

第25表～第28表 トリチウム分析結果

第29表 放射化学分析等による ^{90}Sr , ^{137}Cs ,
 ^{239}Pu 分析結果

第30表 年間降下物の ^{90}Sr , ^{22}Na , ^{60}Co , ^{137}Cs , ^{239}Pu
分析結果 [参考：定期外調査]

第31表 各地の積雪量（2012年12月～2013年3月）
[参考データ]

3.1 調査方法

3.1.1 調査地点（概要）

調査地点はおおむね以下のとおりである。

①調査対象地区：（調査地区）敦賀、白木、美浜、大飯、高浜
（対照地区）福井市等嶺北地方

②陸上試料採取地点：ほぼ主風向下の各発電所から約1～2kmの集落近傍の定点

③海洋試料採取地点：各放水口および放水口沖約1kmの定点

調査の分担実績を3.1.3 (p.29)に示す。また、調査地点図を第1図～第8図(p.35～p.43)に、調査地点の詳細を第1表(p.44～p.47)にそれぞれ示す。

3.1.2 調査方法（概要）

空間線量測定法、浮遊じん放射能の連続測定法、ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法および各種試料の対象核種と検出目標値、各機関で用いている測定器を第2表～第7表(p.48～p.52)に示す。

核種濃度の測定は大部分がゲルマニウム半導体検出器による核種分析である。ゲルマニウム検出器による核種分析の目的核種はマンガン-54(^{54}Mn)、コバルト-58(^{58}Co)、コバルト-60(^{60}Co)、セシウム-137(^{137}Cs)およびヨウ素-131(^{131}I)である。その他に、ナトリウム-22(^{22}Na)も平成7年度より対象核種としている。

ヨウ素-131を対象とする試料については、試料の前処理および測定までに要する日数に特に留意した。また、セシウム-137は、一部の試料についてゲルマニウム検出器を用いたアンチコインシデンス測定も行っている。

ゲルマニウム半導体検出器による核種分析では、ガンマ線を放出する他の核種も同時に分析できるので、起源の判断や自然放射線の寄与などの参考とするため、ルテニウム-106(^{106}Ru)、セリウム-144(^{144}Ce)、カリウム-40(^{40}K)、ベリリウム-7(^7Be)、トリウム系列、ウラン系列等の核種の濃度も測定結果に併記した。

以上のほかに、ストロンチウム-90(^{90}Sr)、プルトニウム-238(^{238}Pu)、プルトニウム-239(^{239}Pu)の放射化学分析およびトリチウム(^3H)分析を行っている。

前処理法および分析測定法は、以下に列挙する方法に準拠した。

なお、測定結果の評価等に関する取扱いは「3.1.4 測定値の取扱い(p.30～p.34)」に一括して記載した。

<前処理法>

(1)降下物

- ・月間降下物（水盤法）の前処理法

（昭和58年3月：福井県環境放射能測定技術会議 資料）

<分析測定法>

(1)線量率連続測定

- ・連続モニタによる環境 γ 線測定法

（平成8年3月1訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ）

(2)積算線量

- ・ TLD測定マニュアル*¹
(昭和 55 年 1 月：福井県環境放射能測定技術会議)
(平成 6 年 3 月：一部改訂*²)
(平成 8 年 3 月：一部改訂*²)
- ・ 熱ルミネセンス線量計を用いた環境 γ 線量測定法
(平成 2 年 2 月 1 訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ 蛍光ガラス線量計を用いた環境 γ 線量測定法
(平成 14 年 7 月：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ 蛍光ガラス線量計測定マニュアル
(平成 19 年 2 月：福井県環境放射能測定技術会議)

(3)ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法

- ・ Ge(Li)検出器による環境試料の核種分析法
(昭和 50 年 8 月：福井県衛生研究所 調査研究報告)
- ・ ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリ
(平成 4 年 8 月 3 訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(4)トリチウム

- ・ トリチウム分析法
(平成 14 年 7 月 2 訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ トリチウム迅速分析法*³
(平成 9 年 12 月：福井県環境放射能測定技術会議)

(5)ストロンチウム-90

- ・ 放射性ストロンチウム分析法
(昭和 55 年 1 月：福井県環境放射能測定技術会議)
(昭和 60 年 3 月：一部改訂)
- ・ 放射性ストロンチウム分析法
(昭和 58 年 12 月 3 訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(6)プルトニウム

- ・ プルトニウム分析法
(平成 2 年 11 月：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(*1)昭和 60 年度から TLD 測定マニュアルの p.9 第 1 表(棄却限界表)として ASTM:E178-80 を用いている。

(*2)平成 6 年度より 3 ヶ月平均値の標準偏差の算出を、従来的一次回帰から求める方法から個々の測定地点より求める方法に改訂した。さらに、平成 8 年度より基本的に全地点の平均的な相対標準偏差 3.5%を用いる方法に改訂した。

(*3)試料調整から 3 時間以内で 74 Bq/l(当時の公衆の年実効線量当量限度 1 ミリシーベルトの 1000 分の 1 に相当する濃度)を確認できる方法である。

3. 1. 3 調査の分担実績

区分	定期調査（分布調査等を含む）												放射化学分析等 県, 原子力機構	
	県						原電	原子力機構			関電			
調査機関	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	敦賀	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	各地区	
調査項目	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	敦賀	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	各地区	
線量率(年間連続)	4	2	3	5	4		10	6	5	11	11	10		
積算線量	12(47)	4(16)	6(24)	11(44)	10(40)	10(40)	14(56)	1(4)	10(40)	16(64)	15(60)	15(60)		
浮遊じん(年間連続)	2	2	2	2	3									
<核種分析>														
大気中ヨウ素-131	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)									
浮遊じん	2(16)	2(16)	2(16)	2(16)	3(20)	1(12)	3(36)		1(12)	1(12)	1(12)	2(24)		
陸水	飲料水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(2)	1(2)	2(4)		
	河川水									1(2)				
陸土	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	2(3)	1(2)	1(4)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	(5)	
指標植物	2(7)	2(7)	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)							(18)	
松葉						1(1)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)		
農産物	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)							(1)	
原乳			1(3)			1(3)								
降下物	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)		1(12)	1(12)	1(12)	1(12)		
海水	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	2(8)	1(4)	2(8)		
海底土	6(7)	5(7)	7(9)	3(4)	7(9)		3(10)	2(8)	2(8)	4(16)	2(8)	3(12)	(23)	
海産食品	魚類	(8)	(4)	(5)	(4)	(4)	(3)	(1)	(1)	(2)	(4)	(2)	(2)	(6)
	貝類	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(1)	(1)		(1)	(2)	(1)	(1)	(10)
	藻類	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(2)	(1)		(1)	(2)	(1)	(1)	(15)
指標海産生物	ホヅリ	4(10)	1(4)	2(8)	1(4)	2(8)	1(4)	5(10)	1(4)	1(4)	2(8)	1(4)	3(12)	(23)
核種分析合計														
	(89)	(77)	(89)	(74)	(89)	(55)	(83)	(21)	(52)	(72)	(50)	(80)	(101)	
<トリチウム>														
陸水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(2)	1(2)	2(4)		
大気中水分	1(12)	1(12)	1(12)	1(11)	1(12)	1(12)	2(24)	2(24)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)		
月間雨水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		
海水	3(6)	2(4)	3(6)	2(4)	3(6)	1(2)	3(6)	3(6)	2(6)	3(10)	2(6)	4(26)		
トリチウム合計														
	(26)	(24)	(26)	(23)	(26)	(22)	(38)	(30)	(26)	(28)	(24)	(46)		
放射能調査 合計														
	(115)	(101)	(115)	(97)	(115)	(77)	(121)	(51)	(78)	(100)	(74)	(126)	(101)	

(注) 調査地点数を示す。()内は年間試料数である。

3. 1. 4 測定値の取り扱いについて

(1) テレメータシステムによる線量率連続測定結果

- ① 空間線量率は空気吸収線量率とし、テレメータシステムにより収集された 10 分値等をもとに計算された 1 時間値を、nGy/h で報告する。
- ② 測定値は小数点以下第 1 位までとし、第 2 位を四捨五入する。
- ③ 報告書では、地点毎に各月の最高値、最低値、平均値(M)および標準偏差(σ)を記載するとともに、各月の $M+3\sigma$ を超えたデータについては、降雨等の気象状況、近接局の結果、放射線のエネルギー情報等を調査し、変動原因を報告する。
なお、原子力施設からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。
- ④ 変動原因の報告において「降雨」とする条件は基本的に以下の場合とし、気象観測装置の設置状況等考慮して総合的に判断する。
 - (a) 雨量計 (0.5mm 以上) の指示値があった場合、指示開始 1 時間前から指示終了後 2 時間までを「降雨あり」とする。
 - (b) 感雨計の指示があった場合、指示開始から指示終了後 1 時間までを「降雨あり」とする。
 - (c) 空間線量率測定地点で気象観測をおこなっていない地点では、近接局の雨量計または感雨計の指示値により「降雨あり/なし」を判断する。

(2) 積算線量測定結果

- ① 積算線量は空気吸収線量を、mGy/92 日 単位で報告する。
- ② 測定値は、小数点以下第 3 位まで表示し、第 4 位を四捨五入する。
- ③ 地点毎の過去 5 ケ年の平均値 (M) を求め、平常の変動幅 ($M-3 \times C.V. \times M$) \sim ($M+3 \times C.V. \times M$) の範囲を超えた場合は、周辺環境等の変化等の原因の調査を行う。評価に用いる相対標準偏差 (C.V.) は、過去の平均的な値である 3.5%とする。ただし、自然放射線の変動等での平均的な変動範囲を上回る固有の変動幅がある地点については、地点毎に求めた過去 5 ケ年の標準偏差 (σ) を用いる。周辺環境等の変化により過去の蓄積データが 2 年に満たない地点の相対標準偏差 (C.V.) は、3.5%とする。
- ④ 表-1 に今年度の平常の変動幅を示す。基本的には 2007 年度から 2011 年度までの 5 年間で計算し、地点変更があった場合は、現在と同じ状況となった後のデータで計算している。
 - ・ 県 (A) は、2012 年度より新しい TLD 素子を採用しており、2010 年度第 2 期から 2011 年度第 4 期まで実施した並行測定による 7 期分の測定値を用いて計算している。
- ⑤ 年間積算値の平常の変動幅については、経験的にも 3 ヶ月値から求めた平常の変動幅の 2 倍であることが知られている。平成 2 年度以降これを採用している。

表－1 積算線量における平常の変動幅（平成24年度用）

※ 2年未満の期間では、評価用 $\sigma = 3.5\%$ 固定

<敦賀地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
A	立石A6(八坂神社)	0.230	0.00848	3.69	3.50	0.206	0.254	7
B	立石山頂B1(山頂付近)	0.226	0.00831	3.68	3.68	0.201	0.251	20
D	ふげん西D2(西敷地境界付近)	0.161	0.00372	2.30	3.50	0.144	0.178	20
B	猪ヶ池B1(敦賀原子力館下)	0.232	0.00597	2.57	3.50	0.208	0.256	20
B	原子力館B(原子力館敷地)	0.201	0.00692	3.45	3.50	0.180	0.222	20
B	水産試験場B2(水試)	0.180	0.00394	2.19	3.50	0.161	0.198	20
B	明神寮B2(明神寮)	0.226	0.00846	3.74	3.74	0.201	0.252	20
A	浦底A6(剣神社)	0.234	0.00887	3.79	3.50	0.210	0.259	7
B	水試裏B1(水産試験場裏)	0.246	0.01362	5.53	5.53	0.205	0.287	20
A	色ヶ浜A4(本隆寺)	0.260	0.01224	4.71	3.50	0.233	0.287	7
A	手ノ浦A4(舟幸寺)	0.212	0.00549	2.58	3.50	0.190	0.235	7
B	手ノ浦B3(舟幸寺)	0.225	0.00646	2.87	3.50	0.201	0.248	20
B	沓B5(常福寺)	0.255	0.01508	5.90	5.90	0.210	0.301	20
A	常宮A4(常宮小学校)	0.223	0.00984	4.41	3.50	0.200	0.247	7
B	常宮B4(常宮神社)	0.217	0.01076	4.97	4.97	0.184	0.249	12
B	縄間B(宗清寺)	0.262	0.00902	3.44	3.50	0.234	0.289	20
B	名子B1(名子バス停)	0.174	0.00333	1.91	3.50	0.155	0.192	20
B	松島B3(原電松島寮)	0.212	0.00686	3.23	3.50	0.190	0.234	20
B	松栄B3(敦賀合同庁舎)	0.205	0.00887	4.32	4.32	0.179	0.232	20
A	赤崎A4(赤崎小グラウンド)	0.172	0.01120	6.51	3.50	0.154	0.190	7
A	阿曾A3(ふれあい会館)	0.182	0.00462	2.54	3.50	0.163	0.201	7
A	杉津A5(東浦小中学校)	0.164	0.00527	3.21	3.50	0.147	0.181	7
A	元比田A6(集落掲示板横)	0.159	0.00618	3.89	3.50	0.142	0.176	7
A	大谷A4(八幡神社)	0.172	0.00693	4.04	3.50	0.154	0.190	7
B	大良B(大良集会所)	0.173	0.01465	8.49	8.49	0.129	0.216	20
A	吉河A3(原子力センター)	0.166	0.00809	4.87	3.50	0.149	0.183	7

<白木地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
D	白木ⅠD2(北東敷地境界)	0.229	0.00547	2.39	3.50	0.205	0.253	20
D	白木ⅡD2(東南東敷地境界)	0.155	0.00512	3.31	3.50	0.138	0.171	20
D	白木ⅢD2(南南東敷地境界)	0.216	0.00540	2.50	3.50	0.193	0.239	20
D	白木ⅣD2(南西敷地境界)	0.196	0.00532	2.72	3.50	0.175	0.216	20
A	白木A5(県白木観測局)	0.217	0.01023	4.72	3.50	0.194	0.239	7
D	白木D6(松原小学校白木分校跡)	0.241	0.00464	1.92	3.50	0.216	0.266	20
D	松ヶ崎D2(機構モニタステーション)	0.229	0.00470	2.05	3.50	0.205	0.253	20
A	白城神社A3(神社鳥居横)	0.236	0.00965	4.10	3.50	0.211	0.260	7
D	白城神社D4(神社鳥居横)	0.226	0.00452	2.01	3.50	0.202	0.249	20
D	門ヶ崎D3	0.254	0.00539	2.12	3.50	0.227	0.281	20
A	白木トンネル北口A3	0.254	0.01276	5.03	3.50	0.227	0.280	7
D	白木トンネル北口D3	0.232	0.00640	2.75	3.50	0.208	0.257	20
A	白木トンネル南口A3 (溪流水貯水池横)	0.218	0.00754	3.46	3.50	0.195	0.241	7
D	もんじゅ寮D1(もんじゅ寮前)	0.235	0.00652	2.77	3.50	0.210	0.260	20

<美浜地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
C	奥浦C(奥浦公園奥)	0.217	0.00432	1.99	3.50	0.195	0.240	20
C	丹生診療所C6(丹生診療所)	0.173	0.00547	3.16	3.50	0.155	0.191	20
A	丹生A5(中村旅館)	0.184	0.01245	6.77	3.50	0.165	0.203	7
C	丹生C3(丹生漁港)	0.182	0.00478	2.63	3.50	0.163	0.201	20
A	丹生小中学校A1	0.208	0.00662	3.19	3.50	0.186	0.230	7
C	丹生寮C5(関電丹生寮)	0.214	0.00408	1.91	3.50	0.191	0.236	20
A	竹波A5(県テレメ観測局)	0.219	0.01290	5.90	3.50	0.196	0.242	7
C	竹波C5(高那弥神社)	0.219	0.00577	2.63	3.50	0.196	0.242	20
C	馬背川C2(ポンプ場)	0.216	0.00613	2.84	3.50	0.193	0.238	20
A	菅浜A4(旧菅浜保育所)	0.201	0.01426	7.10	3.50	0.180	0.222	7
C	菅浜C2(民宿藤田横)	0.169	0.00526	3.12	3.50	0.151	0.186	20
C	けやき台C1(けやき台ハイツ)	0.152	0.00429	2.83	3.50	0.136	0.168	20
A	佐田A4(あおなみ保育園)	0.174	0.00833	4.78	3.50	0.156	0.192	7
C	坂尻C2(三谷商店前)	0.171	0.00357	2.09	3.50	0.153	0.189	20
C	新庄C3(日吉神社)	0.171	0.00347	2.02	3.50	0.153	0.189	20
A	和田A1(ふる里交流センター)	0.177	0.01114	6.30	3.50	0.158	0.195	7
C	郷市C6(美浜町役場)	0.139	0.00502	3.63	3.63	0.123	0.154	20
C	久々子C1(県園芸試験場)	0.144	0.00357	2.47	3.50	0.129	0.159	20
C	早瀬C5(水無月神社)	0.138	0.00402	2.91	3.50	0.123	0.152	20
C	日向C5(日向漁業センター)	0.158	0.00461	2.92	3.50	0.141	0.174	20
C	三方C4(若狭町役場三方庁舎)	0.120	0.00351	2.92	3.50	0.108	0.133	20
C	沓見C(原子力発電訓練センター)	0.187	0.00436	2.34	3.50	0.167	0.206	20

<大飯地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
C	赤礁崎C(関電あかぐり崎クラブ)	0.107	0.00414	3.88	3.88	0.094	0.119	20
A	宮留奥A1(あかぐり海釣り公園)	0.116	0.00448	3.87	3.50	0.104	0.128	7
A	宮留A7(県テレメ観測局)	0.126	0.00619	4.92	3.50	0.112	0.139	7
C	宮留C3(エルパーク大飯下三叉路)	0.119	0.00424	3.57	3.57	0.106	0.132	20
C	日角浜C3(旧大島公民館)	0.116	0.00459	3.96	3.96	0.102	0.130	20
A	西村A3(常禅寺)	0.121	0.00578	4.77	3.50	0.108	0.134	7
C	西村C1(西村トンネル南口県道脇)	0.089	0.00414	4.64	4.64	0.077	0.102	20
C	犬見C2(集落手前道端)	0.125	0.00495	3.96	3.96	0.110	0.140	20
A	本郷A5 (町営住宅サンハイムうらら)	0.137	0.00769	5.62	3.50	0.122	0.151	7
C	本郷C5(おおい町役場)	0.124	0.00546	4.39	4.39	0.108	0.141	20
A	鯉川A3(牛尾神社)	0.135	0.00659	4.87	3.50	0.121	0.150	7
A	加斗A5(加斗小学校)	0.141	0.00831	5.90	3.50	0.126	0.156	7
A	西勢A3 (民宿つどい前ゲートボール場)	0.132	0.00601	4.55	3.50	0.118	0.146	7
C	東勢C1(旧道脇)	0.125	0.00574	4.58	4.58	0.108	0.143	20
C	小浜市野球場C2 (小浜市営野球場)	0.129	0.00460	3.58	3.58	0.115	0.142	20
A	小浜市大原A4(栖雲寺)	0.172	0.00682	3.96	3.50	0.154	0.190	7
A	若狭健康福祉センターA3	0.170	0.00685	4.03	3.50	0.152	0.188	7
A	西津A3(水産高校)	0.142	0.00614	4.33	3.50	0.127	0.157	7
C	西津C3(小浜漁協西津支所)	0.115	0.00514	4.46	4.46	0.100	0.131	20
A	堅海A3(旧堅海小学校)	0.149	0.00295	1.97	3.50	0.134	0.165	7
C	堅海C3(県栽培漁業センター)	0.128	0.00483	3.77	3.77	0.113	0.142	20
C	泊C2(大谷旅館前)	0.135	0.00527	3.90	3.90	0.120	0.151	20
C	川上C4(川上公民館)	0.128	0.00502	3.94	3.94	0.112	0.143	20
C	鹿野C5(佐分利小学校)	0.124	0.00517	4.18	4.18	0.108	0.139	20
C	名田庄C3(名田庄観光館)	0.128	0.00599	4.67	4.67	0.110	0.146	20
C	上中C3(上中体育館)	0.108	0.00457	4.25	4.25	0.094	0.121	20

<高浜地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
A	音海A4(児玉旅館)	0.131	0.00420	3.20	3.50	0.118	0.145	7
C	音海C4(音海漁港奥)	0.123	0.00543	4.41	4.41	0.107	0.140	20
C	音海県道C1 (日本海港湾緑保税上屋入口門付近)	0.111	0.00469	4.22	4.22	0.097	0.125	20
C	田ノ浦C (南東敷地境界)	0.116	0.00471	4.05	4.05	0.102	0.130	20
A	小黒飯A4(寿奎寺裏旧道脇)	0.142	0.00412	2.90	3.50	0.127	0.157	7
C	小黒飯C3(白浜トンネル北口)	0.123	0.00462	3.74	3.74	0.110	0.137	20
A	旧神野小学校A1	0.131	0.00610	4.67	3.50	0.117	0.144	7
A	神野A5(桃源寺)	0.113	0.00139	1.23	3.50	0.101	0.125	7
C	神野浦C2(関電モニタポスト)	0.098	0.00478	4.87	4.87	0.084	0.112	20
A	山中A4(県テレメ観測局)	0.134	0.00605	4.53	3.50	0.120	0.148	7
C	山中C2(JA若狭内浦出張所)	0.092	0.00433	4.71	4.71	0.079	0.105	20
A	下A3(産霊神社)	0.109	0.00240	2.20	3.50	0.098	0.121	7
C	日引C3(旧日引小学校)	0.112	0.00466	4.17	4.17	0.098	0.126	20
A	上瀬A3(山神社)	0.096	0.00429	4.45	3.50	0.086	0.107	7
A	六路谷A4(ふれあい会館)	0.108	0.00147	1.36	3.50	0.097	0.120	7
C	六路谷C2(杉森神社横)	0.130	0.00687	5.28	5.28	0.110	0.151	20
C	高野C(旧青郷小学校高野分校)	0.125	0.00725	5.81	5.81	0.103	0.147	20
C	青郷C2(青郷小学校)	0.127	0.00479	3.76	3.76	0.113	0.142	20
A	東三松A5(東三松グラウンド)	0.149	0.00453	3.04	3.50	0.133	0.164	7
C	東三松C2(民宿萩の家)	0.120	0.00538	4.47	4.47	0.104	0.136	20
A	高浜町役場A4(高浜町役場前庭)	0.108	0.00385	3.57	3.50	0.097	0.119	7
C	高浜C(高浜小学校)	0.110	0.00449	4.09	4.09	0.096	0.123	20
C	和田C3(和田小学校)	0.117	0.00496	4.25	4.25	0.102	0.132	20
C	田井C3(田井コミュニティセンター)	0.138	0.00566	4.10	4.10	0.121	0.155	20
C	夕潮台C2(夕潮台公園)	0.102	0.00449	4.42	4.42	0.088	0.115	20

<対照地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ数
A	金津A3(坂井健康福祉センター)	0.165	0.00877	5.32	3.50	0.148	0.182	7
A	川西A4(川西中学校)	0.130	0.00440	3.38	3.50	0.117	0.144	7
A	福井市原目町A3 (福井分析管理室)	0.148	0.00320	2.16	3.50	0.132	0.164	7
A	殿下A4(殿下小学校)	0.165	0.00330	2.00	3.50	0.148	0.182	7
A	勝山A4(奥越土木事務所(勝山))	0.175	0.01437	8.21	3.50	0.157	0.193	7
A	美山A5(美山児童館)	0.141	0.01159	8.22	3.50	0.126	0.156	7
A	宮崎A4(宮崎中学校)	0.145	0.01011	6.96	3.50	0.130	0.160	7
A	武生A3(丹南土木事務所)	0.152	0.00794	5.21	3.50	0.136	0.168	7
A	越前市妙法寺町A1(白山神社)	0.208	0.01713	8.22	3.50	0.186	0.230	7
A	池田A3(池田町役場)	0.148	0.01167	7.86	3.50	0.133	0.164	7

(3) テレメータシステムによる浮遊じん放射能の連続測定

- ① 浮遊じん放射能濃度はラドン娘核種に等価で各娘核種 (R a A ~ R a C') の比を1と仮定した放射能濃度で、測定のサイクルである3時間値を測定値(報告値)とする。
単位は、ベータ(β)放射能濃度およびアルファ(α)放射能濃度は、Bq/m³とし、 β/α 放射能濃度比は%とする。
- ② 測定値は小数点以下第1位まで、放射能濃度比は整数とし、いずれもその次の位を四捨五入する。
- ③ 報告書では、地点毎に各月の最高値、最低値、平均値(M)および標準偏差(σ)を記載するとともに、濃度比が各月のM+3 σ を超え β 放射能濃度が高いデータについては、近接局の結果、空間線量率等を調査し、変動原因を報告する。なお、原子力施設等からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。

参考：浮遊じん放射能が天然放射性核種のみの場合、放射能濃度は通常0.1~数10Bq/m³程度変化するが、 β/α 放射能濃度比はほぼ一定である。一方、主に β 線放出核種である発電所由来の人工放射性核種がこれに加わった場合、 β/α 放射能濃度比は高くなる特徴を持っている。

テレメータシステムによる浮遊じん放射能測定は、環境の空気を吸引しながら同時に測定を行い、10分周期でリアルタイムデータが収集され、システムによる自動チェックが行われている。さらに職員によって、異常の有無を日常業務で詳細に確認している。

(4) ゲルマニウム検出器による核種分析結果

- ① 試料区分毎の報告単位は、核種分析結果の各表に示されている。
- ② 測定値は原則として、有効数字2桁または各表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。
- ③ 放射能濃度を N 、その誤差を ΔN とした時に $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとし、通常は過去3年間の最低値～最高値と比べ、これを超えた場合はそれ以前の値を参考に、過去の核実験影響および発電所寄与について検討する。
- ④ 各種環境試料中の放射性核種濃度については、試料の種類によっても、また核種や環境条件によっても異なるため、関連する核種（例えばセシウム-137の場合はセシウム-134）の有無等も考慮し、起源を判断する。

(5) トリチウム分析結果

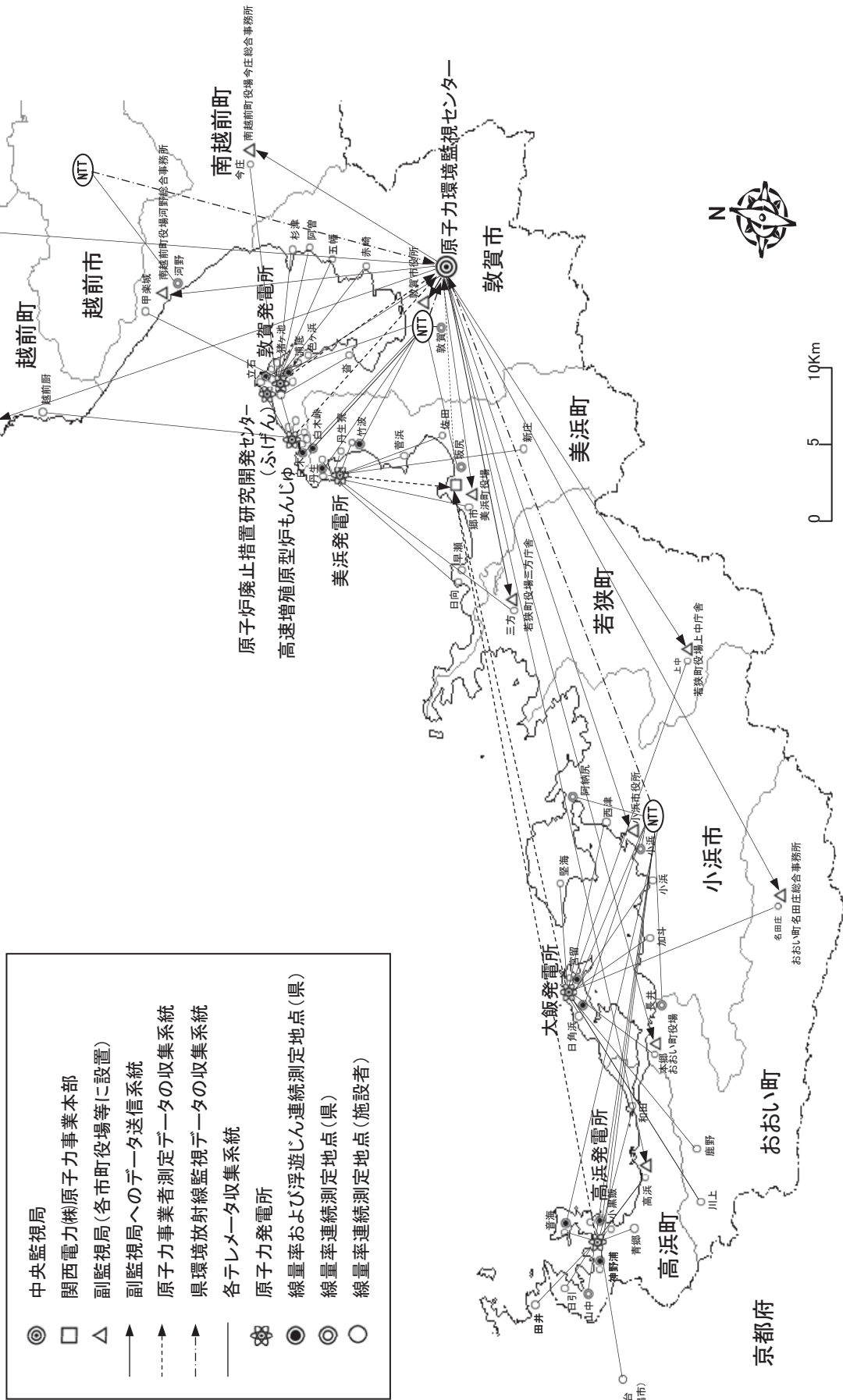
- ① 試料区分毎の報告単位は、 Bq/l で報告する。
- ② 測定値は、有効数字2桁または各表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。
- ③ トリチウム濃度を N 、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとし、通常は過去3年間の最低値～最高値と比べ、これを超えた場合はそれ以前の値を参考に、発電所寄与について検討する。
- ④ 2011年度から調査を開始した放水口周辺海域の混合試料（コンポジット試料）についてはデータが蓄積されるまでの3ヶ年は、暫定的に発電所放水口における過去3ヶ年実績（放水口が複数ある場合は、過去3ヶ年最大値を比較し、低い方の値を用いる。）を超えた場合に発電所寄与について検討する。なお、コンポジット試料に関する検討を行う際には、混合前の個別地点試料の調査もあわせて実施する。

(6) 放射化学分析による ^{90}Sr 、 $^{239(+240)}\text{Pu}$ 、 ^{238}Pu 分析結果








放射能濃度を N 、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとする。試料区分毎の報告単位は、第29表～第30表（p. 130～p. 134）の各表に示されている。測定値は原則として有効数字2桁とする。

3.2 調査地点図表

第1図 各放射線監視テレメータシステムの主なデータ収集・送信系統図

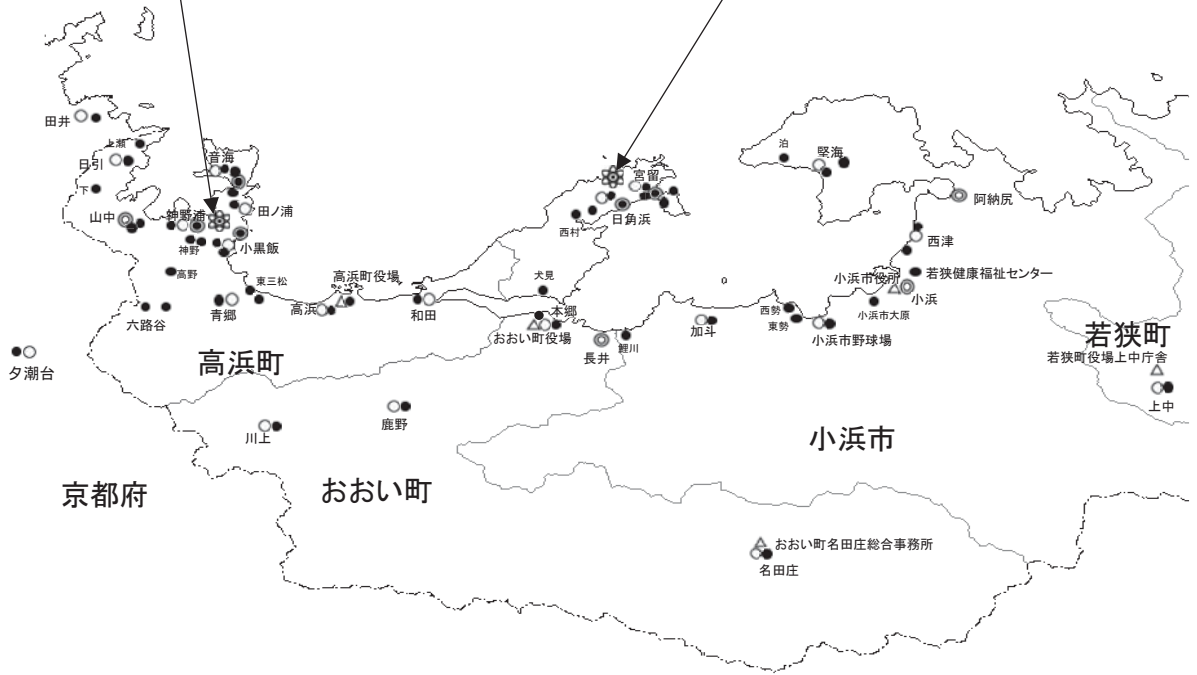


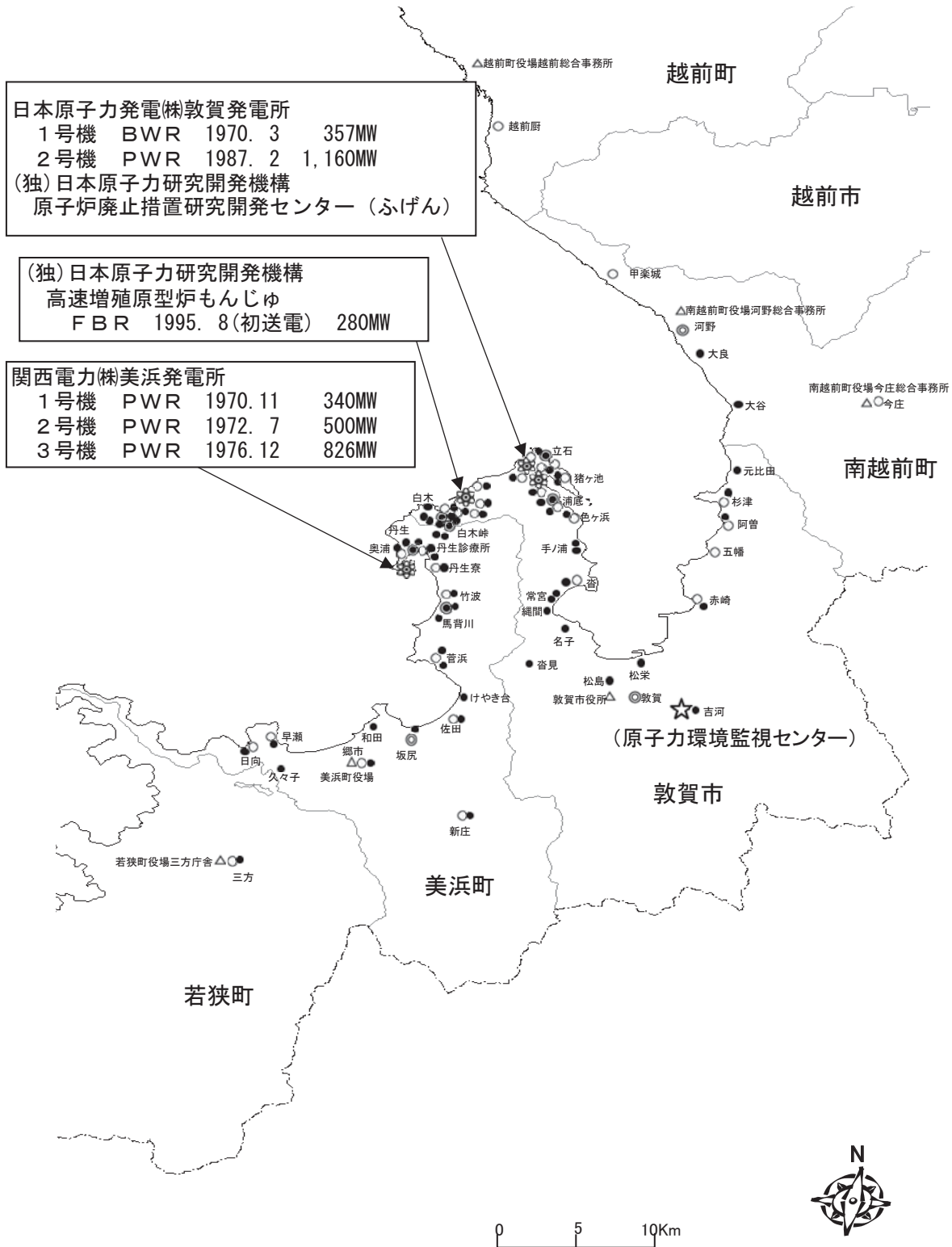
第2図 空間線量率連続測定・積算線量測定地点(全域)

	原子力発電所		線量率および浮遊じん連続測定地点(県)		線量率連続測定地点(県)
	線量率連続測定地点(施設者)		県テレメータ中央監視局		副監視局
	積算線量測定地点(県・施設者)	<p>線量率(県、施設者)および浮遊じん(県)連続測定の結果は、「環境放射線監視テレメータシステム」により、原子力環境監視センターに一括収集・表示するとともに、12箇所の副監視局(県庁および市町役場等に設置)にも表示している。</p>			

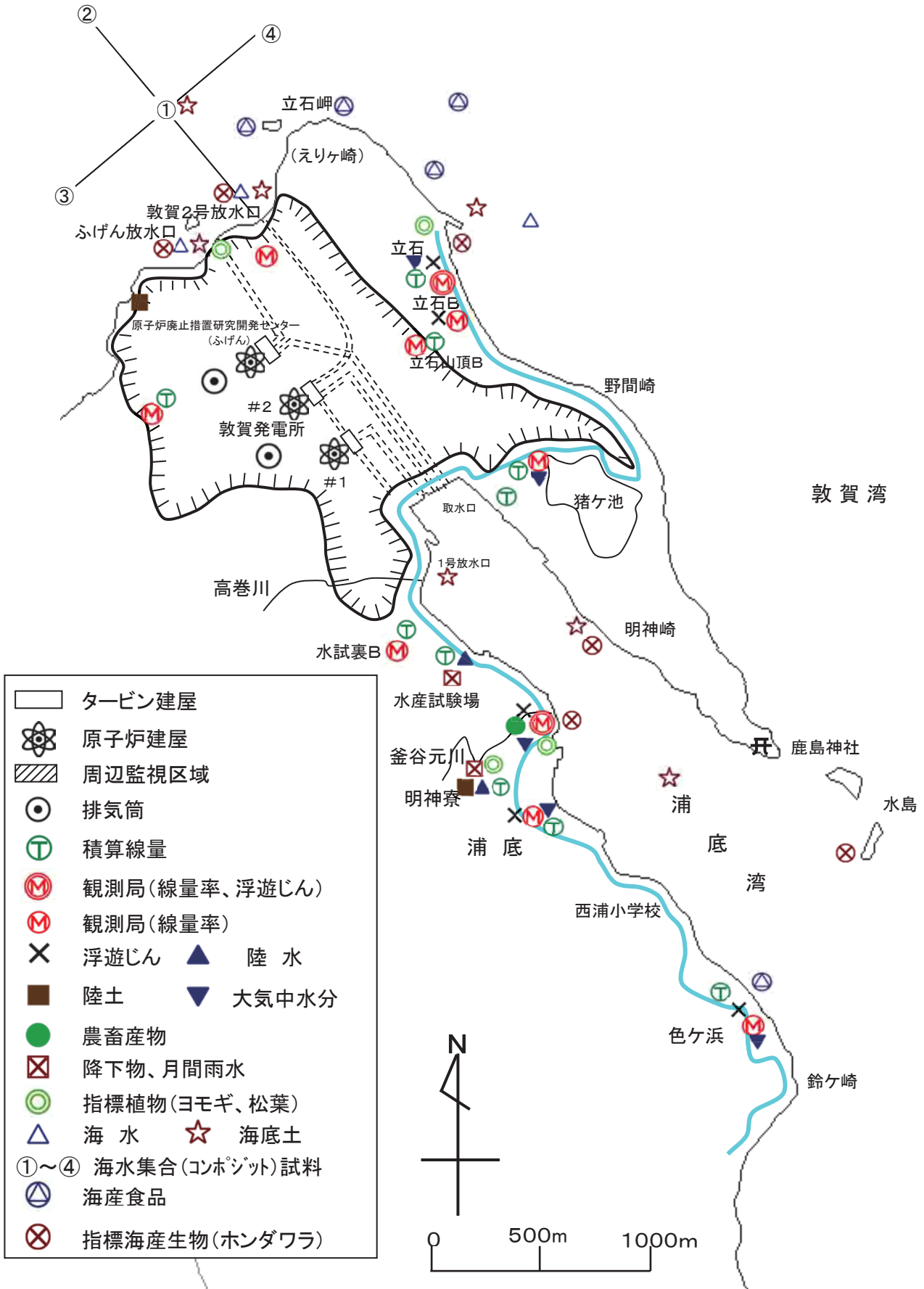
関西電力(株)高浜発電所			
1号機	PWR	1974. 11	826MW
2号機	PWR	1975. 11	826MW
3号機	PWR	1985. 1	870MW
4号機	PWR	1985. 6	870MW

関西電力(株)大飯発電所			
1号機	PWR	1979. 3	1,175MW
2号機	PWR	1979. 12	1,175MW
3号機	PWR	1991. 12	1,180MW
4号機	PWR	1993. 2	1,180MW

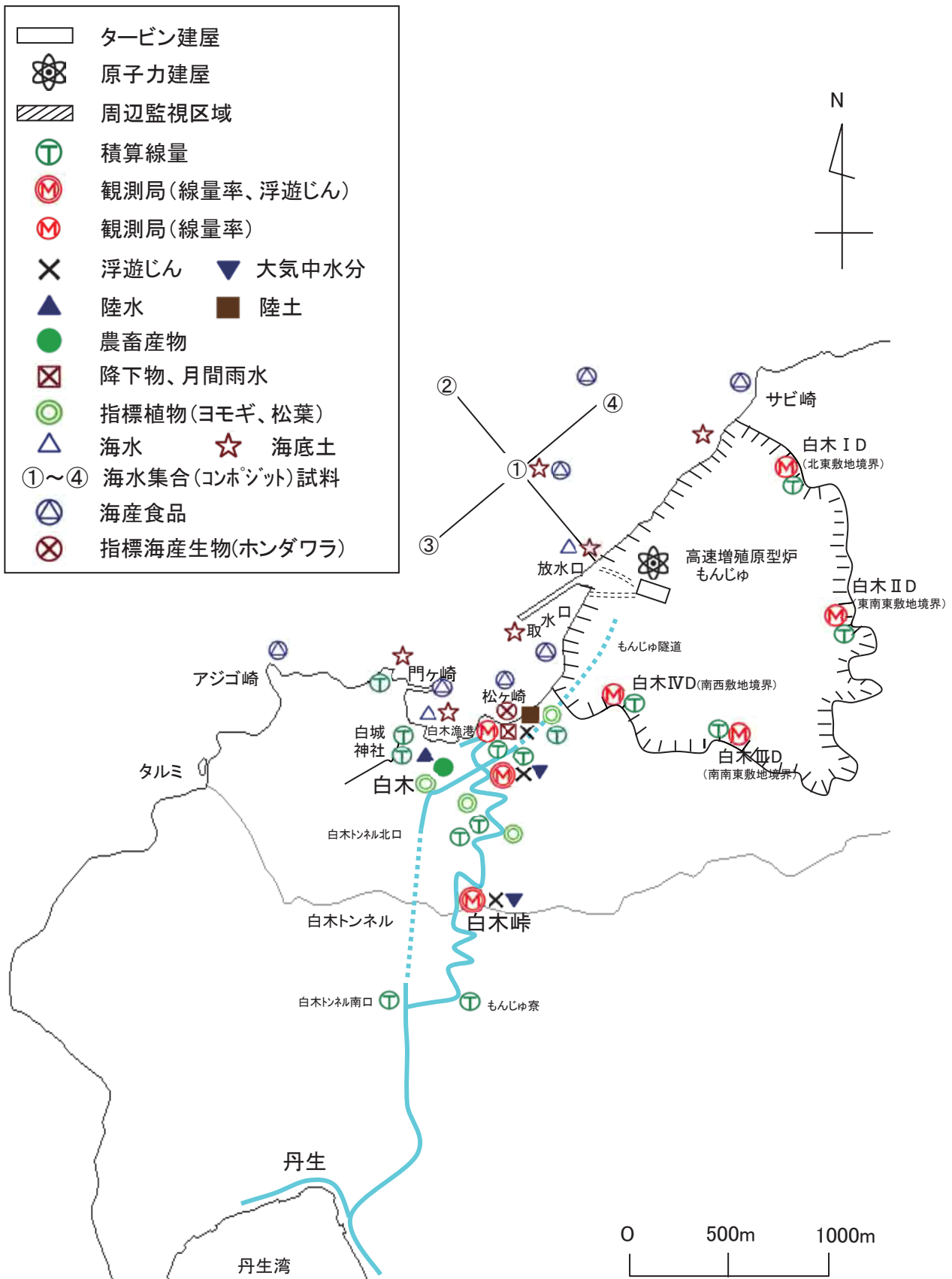




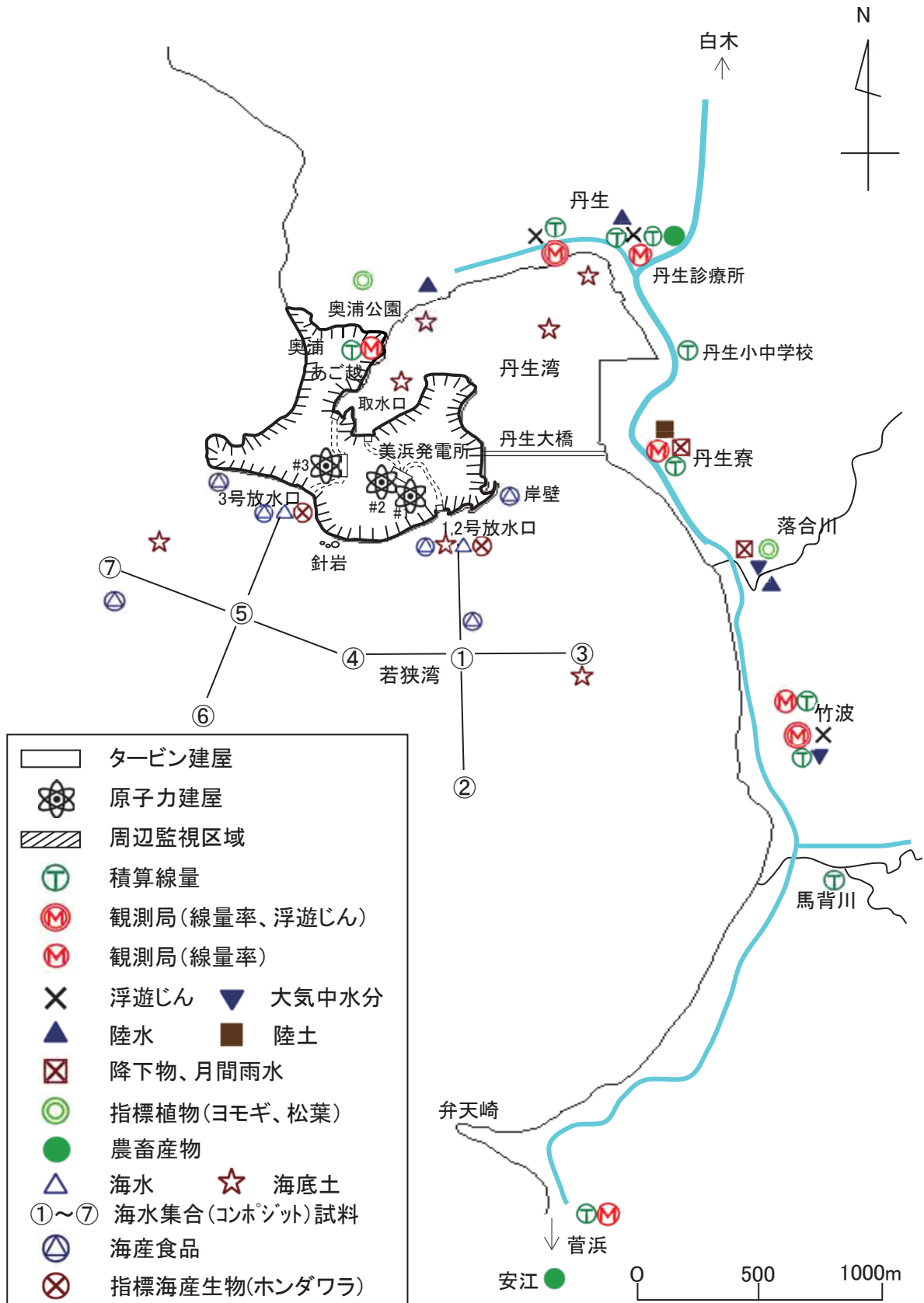
第3図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター (ふげん) 周辺の試料採取地点



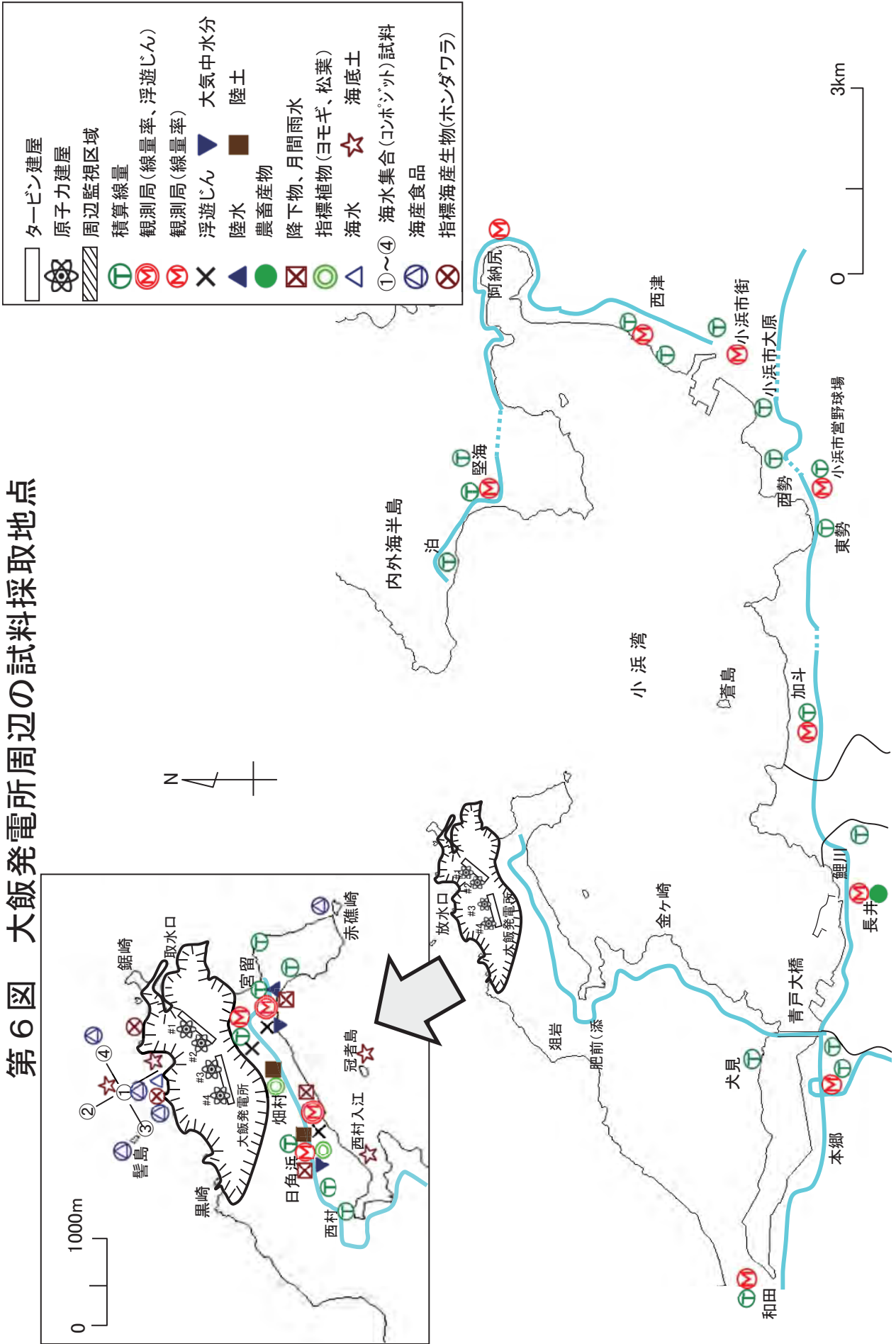
第4図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点



第5図 美浜発電所周辺の試料採取地点



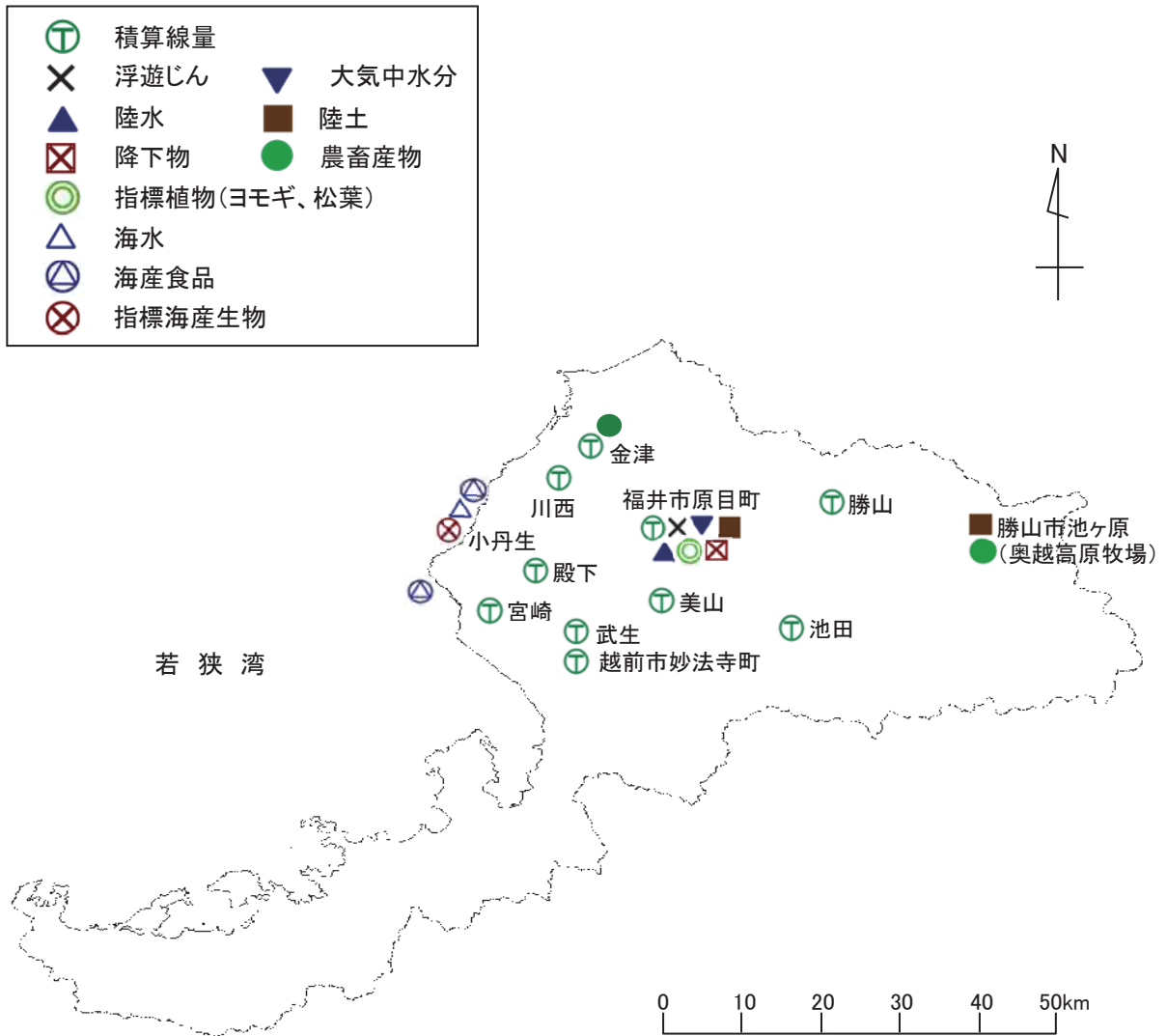
第6図 大飯発電所周辺の試料採取地点



第7図 高浜発電所周辺の試料採取地点



第8図 対照地区（嶺北地区）の試料採取地点



第1表 調査地点の詳細 その1 線量率連続測定

敦賀地区	敦賀 A	(福井県敦賀合同庁舎)	(1)	大飯地区	小浜 A	(小浜市役所)	(1)
	浦底 A ☆	(明神寮下県道脇)	(2)		日角浜 A ☆	(大島小学校) *	(2)
	立石 A ☆	(八坂神社)	(3)		宮留 A ☆	(宮留バス停)	(3)
	河野 A	(南越前町河野総合事務所)	(4)		阿納尻 A	(内外海小学校)	(4)
	ふげん北 D	(北敷地境界付近)	(5)		長井 A	(地区ゲートボール場横)	(5)
	立石 B	(集落入口県道脇)	(6)		宮留 C	(エルパーク大飯下三叉路)	(6)
	立石山頂 B	(山頂付近)	(7)		日角浜 C	(旧大島公民館)	(7)
	ふげん西 D	(西敷地境界付近)	(8)		本郷 C	(おおい町役場)	(8)
	猪ヶ池 B	(敦賀原子力館下)	(9)		加斗 C	(加斗小学校)	(9)
	浦底 B	(県道脇・剣神社西)	(10)		小浜 C	(小浜市宮野球場)	(10)
	水試裏 B	(水産試験場裏)	(11)		西津 C	(小浜漁協西津支所)	(11)
	色ヶ浜 B	(白山神社)	(12)		堅海 C	(県栽培漁業センター)	(12)
	沓 D	(ひがし旅館駐車場横)	(13)		川上 C	(川上公民館)	(13)
	赤崎 D	(赤崎区民センター)	(14)		鹿野 C	(佐分利小学校)	(14)
	五幡 B	(東浦公民館)	(15)		名田庄 C	(名田庄観光館)	(15)
	阿曾 D	(東浦体育館)	(16)		上中 C	(上中体育館)	(16)
	杉津 B	(東浦小中学校下国道脇)	(17)				
	甲楽城 B	(河野小学校前)	(18)				
	今庄 B	(南越前町今庄総合事務所前国道脇)	(19)				
	越前厨 D	(城崎小学校脇)	(20)				
白木地区	白木 A ☆	(白木公民館東県道脇)	(1)	高浜地区	小黒飯 A ☆	(集落北県道脇)	(1)
	白木峠 A ☆	(旧道市町境)	(2)		音海 A ☆	(洞昌禅寺横広場東脇)	(2)
	松ヶ崎 D	(松ヶ崎)	(3)		神野浦 A ☆	(気比神社)	(3)
	白木Ⅰ D	(北東敷地境界)	(4)		山中 A	(内浦小中学校)	(4)
	白木Ⅱ D	(東南東敷地境界)	(5)		音海 C	(音海漁港奥)	(5)
	白木Ⅲ D	(南南東敷地境界)	(6)		田ノ浦 C	(南東敷地境界)	(6)
	白木Ⅳ D	(南西敷地境界)	(7)		小黒飯 C	(白浜トンネル北口)	(7)
美浜地区	丹生 A ☆	(丹生バス停)	(1)		神野浦 C	(集落南西道路脇)	(8)
	竹波 A ☆	(竹波集落センター)	(2)		日引 C	(旧日引小学校)	(9)
	坂尻 A	(坂尻神社東側出口南)	(3)		青郷 C	(青郷小学校)	(10)
	奥浦 C	(奥浦公園奥)	(4)		高浜 C	(高浜小学校)	(11)
	丹生 C	(丹生診療所)	(5)		和田 C	(和田小学校)	(12)
	丹生寮 C	(関電丹生寮)	(6)		田井 C	(田井コミュニティセンター)	(13)
	竹波 C	(高那弥神社)	(7)		夕潮台 C	(夕潮台公園)	(14)
	菅浜 C	(農業構造改善センター)	(8)				
	佐田 C	(美浜東小学校)	(9)				
	新庄 C	(日吉神社)	(10)				
	郷市 C	(美浜町役場)	(11)				
	早瀬 C	(水無月神社)	(12)				
	日向 C	(日向漁業センター)	(13)				
	三方 C	(若狭町役場三方庁舎)	(14)				

☆印の地点では、浮遊じん放射能の連続測定を行っている。
 *：日角浜A調査地点は、平成25年1月まで大島小学校の敷地西側であったが、平成25年3月から同小学校の敷地南東側に移転した。

第1表 調査地点の詳細 その2 積算線量測定地点

敦賀地区	立石 A 6 (八坂神社)	(1)	美浜地区	奥浦 C (奥浦公園奥)	(1)	
	立石山頂 B 1 (原電モニタリングポスト)	(2)		丹生診療所 C 6	(2)	
	ふげん西 D 2 (西敷地境界付近)	(3)		丹生 A 5 (中村旅館)	(3)	
	猪ヶ池 B 1 (原電モニタリングポスト)	(4)		丹生 C 3 (丹生漁港)	(4)	
	原子力館 B (敦賀原子力館敷地)	(5)		丹生小中学校 A 1	(5)	
	水産試験場 B 2 (水産試験場)	(6)		丹生寮 C 5 (関電丹生寮)	(6)	
	明神寮 B 2 (明神寮)	(7)		竹波 A 5 (県テレメ観測局)	(7)	
	浦底 A 6 (剣神社)	(8)		竹波 C 5 (高那弥神社)	(8)	
	水試裏 B 1 (原電モニタリングポスト)	(9)		馬背川 C 2 (ポンプ場)	(9)	
	色ヶ浜 A 4 (本隆寺)	(10)		菅浜 A 4 (旧菅浜保育所)	(10)	
	手ノ浦 A 4 (舟幸寺)	(11)		菅浜 C 2 (民宿藤田横)	(11)	
	手ノ浦 B 3 (舟幸寺)	(12)		けやき台 C 1 (けやき台ハイツ)	(12)	
	沓 B 5 (常福寺)	(13)		佐田 A 4 (あおなみ保育園)	(13)	
	常宮 A 4 (常宮小学校)	(14)		坂尻 C 2 (三谷商店前)	(14)	
	常宮 B 4 (常宮神社)	(15)		新庄 C 3 (日吉神社)	(15)	
	縄間 B (宗清寺)	(16)		和田 A 1 (ふる里交流センター)	(16)	
	名子 B 1 (名子バス停)	(17)		郷市 C 6 (美浜町役場)	(17)	
	松島 B 3 (原電松島寮)	(18)		久々子 C 1 (県園芸試験場)	(18)	
	松栄 B 3 (敦賀地方合同庁舎)	(19)		早瀬 C 5 (水無月神社)	(19)	
	赤崎 A 4 (赤崎小学校グラウンド)	(20)		日向 C 5 (日向漁業センター)	(20)	
	阿曾 A 3 (ふれあい会館)	(21)		三方 C 4 (若狭町役場三方庁舎)	(21)	
	杉津 A 5 (東浦小中学校)	(22)		沓見 C (原子力発電訓練センター)	(22)	
	元比田 A 6 (集落掲示板横)	(23)				
	大谷 A 4 (八幡神社)	(24)		大飯地区	赤礁崎 C (関電あかぐり崎クラブ)	(1)
	大良 B (大良集会所)	(25)			宮留奥 A 1 (あかぐり海釣り公園)	(2)
	吉河 A 3 (原子力センター)	(26)			宮留 A 7 (県テレメ観測局)	(3)
		宮留 C 3 (エルパーク大飯下三叉路)	(4)			
		日角浜 C 3 (旧大島公民館)	(5)			
		西村 A 3 (常禅寺)	(6)			
		西村 C 1 (西村トシ礼南口県道脇)	(7)			
		犬見 C 2 (集落手前道端)	(8)			
		本郷 A 5 (町営住宅サンハイムうらら)	(9)			
		本郷 C 5 (おおい町役場)	(10)			
		鯉川 A 3 (牛尾神社)	(11)			
		加斗 A 5 (加斗小学校)	(12)			
		西勢 A 3 (民宿つどい前ゲートボール場)	(13)			
		東勢 C 1 (旧道脇)	(14)			
白木地区			小浜市野球場 C 2	(15)		
	白木 I D 2 (北東敷地境界)	(1)	小浜市大原 A 4 (栖雲寺)	(16)		
	白木 II D 2 (東南東敷地境界)	(2)	若狭健康福祉センター A 3	(17)		
	白木 III D 2 (南南東敷地境界)	(3)	西津 A 3 (水産高校)	(18)		
	白木 IV D 2 (南西敷地境界)	(4)	西津 C 3 (小浜漁協西津支所)	(19)		
	白木 A 5 (県テレメ観測局)	(5)	堅海 A 3 (旧堅海小学校)	(20)		
	白木 D 6 (白木公民館東県道脇)	(6)	堅海 C 3 (県栽培漁業センター)	(21)		
	松ヶ崎 D 2 (機構モニタリングステーション)	(7)	泊 C 2 (大谷旅館前)	(22)		
	白城神社 A 3 (神社鳥居横)	(8)	川上 C 4 (川上公民館)	(23)		
	白城神社 D 4 ()	(9)	鹿野 C 5 (佐分利小学校)	(24)		
	門ヶ崎 D 3	(10)	名田庄 C 3 (名田庄観光館)	(25)		
	白木トシ礼北口 A 3	(11)	上中 C 3 (上中体育館)	(26)		
	白木トシ礼北口 D 3	(12)				
	白木トシ礼南口 A 3 (渓流水貯水池横)	(13)				
もんじゅ寮 D 1 (もんじゅ寮前)	(14)					

第1表 調査地点の詳細 その2 積算線量測定地点(つづき)

高 浜 地 区	音 海 A 4 (児玉旅館)	(1)	対 照 地 区	金 津 A 3 (坂井健康福祉センター)	(1)
	音 海 C 4 (音海漁港奥)	(2)		川 西 A 4 (川西中学校)	(2)
	音海県道 C 1 (日本海港湾側保税上屋入口門付近)	(3)		福井市原目町 A 3 (福井分析管理室)	(3)
	田 ノ 浦 C (南東敷地境界)	(4)		殿 下 A 4 (殿下小学校)	(4)
	小 黒 飯 A 4 (寿奎寺裏旧道脇)	(5)		勝 山 A 4 (奥越土木(勝山))	(5)
	小 黒 飯 C 3 (白浜トンネル北口)	(6)		美 山 A 5 (美山児童館)	(6)
	旧神野小学校 A 1	(7)		宮 崎 A 4 (宮崎中学校)	(7)
	神 野 A 5 (桃源寺)	(8)		武 生 A 3 (丹南土木事務所)	(8)
	神 野 浦 C 2 (関電モニタポスト)	(9)		越前市妙法寺町 A 1 (白山神社)	(9)
	山 中 A 4 (県テレメ観測局)	(10)		池 田 A 3 (池田町役場)	(10)
	山 中 C 2 (JA若狭内浦出張所)	(11)			
	下 A 3 (産霊神社)	(12)			
	日 引 C 3 (旧日引小学校)	(13)			
	上 瀬 A 3 (山神神社)	(14)			
	六 路 谷 A 4 (ふれあい会館)	(15)			
	六 路 谷 C 2 (杉森神社横)	(16)			
	高 野 C (旧青郷小学校高野分校)	(17)			
	青 郷 C 2 (青郷小学校)	(18)			
	東 三 松 A 5 (東三松ランド)	(19)			
	東 三 松 C 2 (民宿萩の家)	(20)			
	高浜町役場 A 4 (高浜町役場前庭)	(21)			
	高 浜 C (高浜小学校)	(22)			
	和 田 C 3 (和田小学校)	(23)			
	田 井 C 3 (田井コミュニティーセンター)	(24)			
	夕 潮 台 C 2 (夕潮台公園)	(25)			

第1表 (調査地点の詳細 つづき) その3 陸上試料採取地点(定点)

項目	地区	採取地点
大 ヨ 気 ウ 中 素 131	敦賀	浦底A (県テレメ観測局)
		白木A //
		美浜竹波A //
		大飯宮留A //
		高浜小黑飯A //
浮 遊 じ ん	敦賀	立石A (県テレメ観測局) *
		立石B (原電モニタリングステーション)
		浦底A (県テレメ観測局)
		浦底B (原電モニタリングステーション)
		色ヶ浜B //
	白木	白木A (県テレメ観測局)
		白木峠A (県テレメ観測局) *
		松ヶ崎D (機構モニタリングステーション)
	美浜	丹生A (県テレメ観測局) *
		丹生 (関電モトホルスト横)
		竹波A (県テレメ観測局)
	大飯	宮留A (県テレメ観測局)
		宮留 (関電モトホルスト横)
		日角浜A (県テレメ観測局) *
	高浜	音海A (県テレメ観測局) *
音海 (関電モトホルスト横)		
小黑飯A (県テレメ観測局)		
小黑飯 (関電モトホルスト横)		
神野浦A (県テレメ観測局) *		
対照	原目町 (福井分析管理室)	
陸 水	敦賀	浦底 (水試蛇口)
		〃 (明神寮蛇口)
		白木白木 (民家蛇口)
		美浜丹生 (民家蛇口)
		〃 (漁協飼料保管解凍施設横)
	大飯	竹波 (落合川)
		宮留 (民家蛇口)
		高浜音海 (民家蛇口)
		音海 (民家蛇口)
		対照
大 気 中 水 分	敦賀	立石A (県テレメ観測局)
		猪ヶ池B (原電モニタリングポスト)
		浦底A (県テレメ観測局)
		浦底B (原電モニタリングステーション)
		色ヶ浜B (原電モニタリングステーション)
	白木	白木A (県テレメ観測局)
		白木峠A (県テレメ観測局)
		美浜竹波A (県テレメ観測局)
	大飯	竹波 (落合川取水場)
		宮留A (県テレメ観測局)
		日角浜 (関電モトホルスト横)
	高浜	小黑飯A (県テレメ観測局)
		神野浦 (関電モトホルスト横)
		対照

項目	地区	採取地点
陸 土	敦賀	浦底 (明神寮)
		敦賀発電所北端周辺
		白木松ヶ崎 (機構モニタリングステーション)
		美浜丹生 (関電丹生寮)
		大飯日角浜 (島山神社)
高浜	畑村 (県道脇)	
	小黑飯 (旧道脇)	
	〃 (白浜トンネル上)	
対照	福井市原目町 (衛環研) 勝山市池ヶ原 (奥越高原牧場)	
指 標 植 物	敦賀	浦底 (明神寮下県道脇)
		白木白木 (松ヶ崎付近)
		美浜竹波 (落合川取水場付近)
		大飯日角浜 (島山神社付近)
		高浜小黑飯 (旧道脇)
		対照
松 葉	敦賀	浦底 (明神寮)
		敦賀発電所北端周辺
		白木白木トンネル北口付近
		美浜丹生 (奥浦公園入口付近)
		大飯畑村 (県道脇)
		高浜小黑飯 (白浜トンネル上)
対照	福井市寮町 (県農試)	
農 畜 産 物	敦賀	浦底
		白木白木
		美浜丹生
		大飯長井
		高浜神野
		対照
降 下 物	敦賀	浦底 (水試屋上)
		〃 (明神寮)
		白木松ヶ崎 (機構モニタリングステーション)
		美浜竹波 (落合川取水場)
		大飯丹生 (関電丹生寮)
		宮留 (県テレメ観測局)
高浜	日角浜 (ヴィラ大島)	
	小黑飯 (県テレメ観測局)	
	小和田 (小和田ポンプ所)	
対照	原目町 (福井分析管理室)	

(注1) 浮遊じん採取地点のうちで、*の地点は3ヶ月間の集合試料を分析。

(注2) 機関を示すアルファベットを使用している採取地点では、線量率観測局舎内で試料を採取している。

(注3) 海洋試料の詳細な採取地点は図3～図8の採取地点図と各測定結果の採取地点欄に示されている。

第2表 空間線量測定法

積算線量	県 関電	各地点に3本(6素子)の熱ルミネッセンス線量計(TLD)を配備し3ヶ月毎の積算線量を測定	熱ルミネッセンス線量計の校正は ^{137}Cs で約0.2~0.3mGy照射して実施
	原電	各地点に1台の電子式線量計を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定	電子式線量計の校正は ^{137}Cs で約0.2~0.3mGy照射して実施
	原子力 機構	各地点に4個の蛍光ガラス線量計(RPLD)を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定	蛍光ガラス線量計の校正は ^{137}Cs で約0.2~0.3mGy照射して実施
線量率 (連続測定)	県	鉄筋コンクリート製固定観測局屋上の地上高約2.8mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②約14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ^{137}Cs の10MBq等の線源を用い垂直方向1mで照射して実施。 電離箱については ^{226}Ra 3.7MBqを用い、感度確認を実施。
	原電	軽量気泡コンクリート(屋根は鉄筋コンクリート)製固定観測局屋上の地上高約4.5mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ^{226}Ra の1.7MBq等の線源を用い垂直方向1mで実施。
	関電 美浜	鉄筋コンクリート製固定観測局屋上の地上高約3.2mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ^{60}Co の5MBq、 ^{137}Cs の10MBq等の線源を用い垂直方向1mで実施。
	関電 大飯 高浜	軽量気泡コンクリート製固定観測局屋上の地上高約3.4m(高浜は約3.5m)に設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ(高浜は14ℓ)球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	
	原子力 機構	鉄筋コンクリート製固定観測局で地上高約3.5mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2" (ふげん西D、ふげん北Dは3"球形) NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ^{226}Ra 3.7MBqの線源を用い垂直方向1mで実施。
線量率 (モニタリングカー)	県	車：ミニバン 検出器：2"φ×2" NaI(Tl)	検出器位置：屋根(地上高2.1m)
	原電	車：ワゴン 検出器：2"φ×2" NaI(Tl)	検出器位置：窓際(地上高1.5m)
	関電	車：ワゴン 検出器：2"φ×2" NaI(Tl)	検出器位置：屋根(地上高2.5m)
	原子力 機構	車：マイクロバス 検出器：2"球形NaI(Tl) 検出器位置：屋根(地上高2.9m)	車：マイクロバス 検出器：3"球形NaI(Tl) 検出器位置：屋根(地上高2.9m)

第3表 浮遊じん放射能の連続測定法

浮遊じん (連続測定)	県 HE-40T長尺ろ紙(90m)を用い毎分約100ℓで3時間吸引し、ろ紙をステップ送りする。吸引中、ろ紙に吸着した放射能のアルファ(α)線およびベータ(β)線をZnS塗布プラスチックシンチレーション検出器(有効径50mmφ、0.5mm厚)を用いて波形弁別方式により同時測定し、それぞれの計数值より平衡仮定した3時間平均濃度を求め、β/α放射能濃度比を求める。(平成9年度機器更新、平成10年度より新装置)	校正は測定装置集塵面と同一形状の標準線源(U_3O_8 、 ^{241}Am 、 ^{36}Cl)により実施。
----------------	--	---

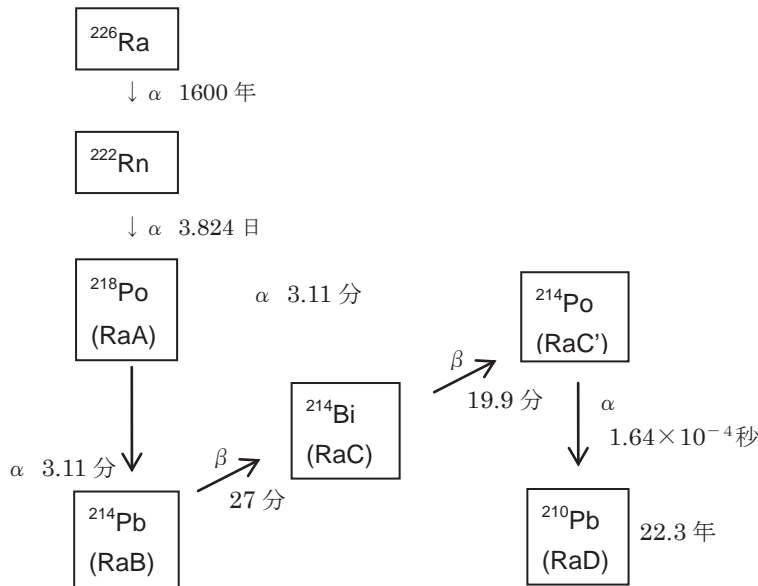


図1 ラドン(Rn)娘核種崩壊系列

浮遊じん放射能の連続測定において算出している放射能濃度は、ラドンの娘核種RaA、RaB、RaC、RaC'、それぞれの比が1:1:1:1と仮定して計算されるラドン娘核種あたりの平衡仮定濃度である。

$$Q = \frac{\lambda \cdot C \times 10^3}{\varepsilon \cdot \zeta \cdot \eta \cdot q \cdot F(S, T) \cdot \kappa} \quad \dots\dots (1)$$

- Q : ラドン娘核種濃度 (Bq/m³)、λ : RaA の崩壊定数 (sec⁻¹)
- C : 測定時間中の正味の計数值、ε : 計数効率、ζ : 発現効率
- η : 捕集効率、q : 捕集流量 (ℓ・sec⁻¹)、κ : 補正係数
- F(S, T) : Batemannの式の解(sec)
- S : 捕集開始から現在までの時間(sec)、T : 計数開始から現在までの時間(sec)

平衡仮定濃度Qは、α計数值、β計数值からそれぞれ求められ(Q_A、Q_Bとする)、Q_Aに対するQ_Bの比率(Q_B/Q_A=R_{BA})をモニタリングの指標としている。通常では、ほとんどがラドン娘核種による計数值であるため、R_{BA}はほぼ一定であるが、発電所の寄与があった場合、放出される核種はほとんどがβ線放出核種であり、β計数值が増えるため、R_{BA}が上昇する。

空気中のガス状ヨウ素-131に対しては、ろ紙を通過した空気を50℃に加温し、毎分20ℓでCHC-50 (TEDA添着活性炭)に通して捕集し、ゲルマニウム測定器でバッチ測定している。

第4表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法

区分	試料	測定試料形態		測定用試料量		目的核種	参考核種	天然核種	
陸上モニタリング	大気中ヨウ素	県	活性炭カートリッジ CHC-50 (TEDA 添着炭)	約 400m ³ (連続採取)		¹³¹ I (ガス状)			
	浮遊じん	県	ろ紙 (HE-40T)	約 4000m ³ (連続採取)		²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	
			ろ紙 (GB-100R)	約 1000m ³ (1日採取)					
	陸水	原電・関電・機構	ろ紙 (HE-40T)	約 2000m ³ (連続採取)					
			県	直接(マリネリカー)	2ℓ				
	陸土	原電・関電・機構	樹脂吸着	10ℓ		⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs			
			乾燥ふるい、2mm 以下 (0~5cm で採取)	乾土	300 g 程度				
	農産物	乾燥物 (粉碎)	生 500 g 程度		²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce, ¹⁴⁰ Ba			⁷ Be, ⁴⁰ K
	原乳	直接(マリネリカー)	2ℓ						
	植物	乾燥物 (粉碎)	生 400 g 程度						
降下物	樹脂吸着	県・原電・関電	約 0.2m ²	以上					
		機構	約 0.5m ²						
海洋モニタリング	海水	MnO ₂ 法、AMP 法		20ℓ		⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	⁵⁹ Fe, ¹³⁴ Cs	⁷ Be, ⁴⁰ K, Th-, U-系 列	
	海底土	乾燥ふるい、2mm 以下 (主にエクスパンジブル採泥器で採取)		乾土 300 g 程度					
	海産食品	魚類	灰化物		生 1kg 程度	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce	⁷ Be, ⁴⁰ K	
		貝類	灰化物		生 (除殻) 200 g 程度				
		藻類	乾燥物 (粉碎)		生 500g 程度				
	指標海産生物	乾燥物 (粉碎)		ホタテ (生) 1kg 程度	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce, ¹⁴⁰ Ba			

(注) 計測時間は 500分以上。試料採取から測定までの期間は、¹³¹Iを対象とする試料は10日以内、¹³¹Iを対象としない試料は30日以内を目標とする。測定容器は各機関ともプラスチック製タッパーウェア V-1 (直径60mm、高さ30mm)、V-2 (同80mm、40mm)、V-3 (同95mm、50mm)、マリネリ容器 (2ℓ) を使用する。

第4-2表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の検出目標値

	試料	^{22}Na	^{54}Mn	^{58}Co	^{60}Co	^{137}Cs	^{131}I	表示単位
陸上	大気	/	/	/	/	/	0.2	mBq/m ³
	浮遊じん	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.2	
	陸水	/	100	100	100	100	200	mBq/l
	陸土	/	2	2	1.5	1.5	/	Bq/kg 乾土
	農産物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	Bq/kg 生
	指標植物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	〃
	松葉	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	2	〃
	降下物	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	2	Bq/m ²
海洋	海水	/	8	8	8	8	/	mBq/l
	海底土	/	2	2	2	2	/	Bq/kg 乾土
	魚類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	/	Bq/kg 生
	貝類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	/	〃
	藻類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	〃
	指標海産生物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	〃

(注) 「/」は対象外。

第5表 液体シンチレーション検出器によるトリチウム測定法

分析試料	採取方法	測定試料	測定
蛇口水	蛇口より直接採取	採取時試料	蒸留後、試料水 40ml 「50ml」に乳化シンチレーター 60ml 「50ml」を加え、冷暗所に放置。 500分(50分×10回)測定。 検出限界値 0.5~1 Bq/l。 (注) 「」内は原子力機構が採用
大気中水分	除湿機による	月間試料	
雨水	トリチウム用 雨水採取器	3ヶ月間の月別 加重平均混合試料	
海水	船から直接採取	採取時試料	

第6表 ストロンチウム-90・プルトニウム測定法

区分	種類	分析試料量	
		ストロンチウム-90 (県)	プルトニウム (県、機構)
海底土	/	/	県: 20g乾土、機構: 20g乾土
陸土	/	/	県: 20g乾土、機構: 50g乾土
降下物	/	樹脂灰化物全量 県: 樹脂灰化物全量	
指標植物	ヨモギ	生500~1,000g(灰10~20g)	県: 生500~1,000g(灰10~20g)
農産物	大根葉	/	県: 生、約1,000g(灰、約10g)
海産食品	魚類(ミンナ、ハマチ等)	/	県: 生500~1,000g(灰10~20g)
	貝類(サザエ、アサリ)		機構: 生500~1,500g(灰20g)
	藻類(ワカメ等)		
指標海産生物	ホンダワラ	生200~300g(灰10~20g)	県: 生200~400g(灰10~20g)
測定条件等		[目的核種]Sr-90 [分離法]エタノール・エーテル法 [測定時間]80,000秒以上	[目的核種]Pu-239(+240)、238 [分離法]県、機構: 陰イオン交換法 [測定時間]県: 80,000秒以上 (通常200,000秒) 機構: 80,000秒

第7表 測定器

	県	原 電	関 電	原子力機構
積算線量	パナソニックUD-5160P UD-200	富士電機 NSD3	パナソニック UD-512P UD-5120PGL UD-200S	旭テクノガラス FGD-202 FGD-202S SC-1
線量率 (連続測定)	東芝電力放射線 テクノサービス 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー、温度補償型 東芝電力放射線 テクノサービス 約140球形電離箱 Arガス 4気圧 〔NaI(Tl) A0 2mmカバーおよびFRP 2mm遮熱 ケース付、検出 部へ定温送風〕 〔電離箱 CFRP 1mmカバー付、 検出部へ定温送 風〕	富士電機 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー、温度補償型 富士電機 140球形電離箱 Ar+N ₂ ガス 8気圧 〔両検出器とも A0 1mmカバー付、検 出部へ定温送風〕	【美浜地区】 富士電機 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー、温度補償型 富士電機 14.50球形電離箱 Arガス 約780kPa 〔両検出器とも A0 1mmカバー付、検 出部へ定温送風〕	【敦賀、白木地区】 富士電機 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー、温度補償型 (ふげん西D、ふげん 北Dは3"型) 富士電機 14.50球形電離箱 Arガス 8気圧 〔両検出器とも A0 1mmカバー付、検 出部へ定温送風〕
			【大飯地区】 富士電機 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー、温度補償型 富士電機 14.50球形電離箱 Arガス 8気圧 〔両検出器とも A11mmカバー付、検 出部へ定温送風〕	【高浜地区】 アロカ*1 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー、温度補償型 アロカ 140球形電離箱 N ₂ +Arガス 4気圧 〔両検出器とも AAS3mmカバー付、検 出部へ定温送風〕
浮遊じんの 放射能 (連続測定)	富士電機 検出器2"φ プラスチックシンチレータ、 ZnS(Ag)シンチレータ塗布			
トリチウム	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5B	アロカ LSC-LB5, LSC-LB3
ガンマ線 スペクトロ メトリー	オルテック GEM50-83-S HPGe55% キャンベラ GC4518 HPGe56% キャンベラ GC5019 HPGe57% キャンベラ GX-4519 γ-XHPGe59% キャンベラ GC4019/S HPGe43% キャンベラ GC4020 HPGe40%*2 キャンベラ製 波高分析器 6台	オルテック GEM-30195 HPGe 35% オルテック GEM-30195 HPGe 31% オルテック GEM-30195 HPGe 35% セイコーEG&G 7700シリーズ 波高分析器 1台	オルテック GEM30-70 HPGe34% オルテック GEM30-70-S HPGe35% プリンストンガンマテック IGC30185SD HPGe34% オルテック GEM30-70 HPGe34% オルテック GEM30-70 HPGe35% オルテック GEM30-70 HPGe34% セイコーEG&G 7600 波高分析器 3台	オルテック GEM-30185 HPGe34% オルテック GEM-30185 HPGe34% オルテック GEM-30185 HPGe32% オルテック GEM-45190 HPGe51% セイコーEG&G 7600シリーズ 波高分析器 2台
ストロンチウム	富士電機ビコバータ1インチ			
アルファ 放射能 (プルチウム 239+240)	オルテック表面障壁型シリコン半導体 検出器 BU020-045-AS セイコーEG&G MCA7700			オルテック表面障壁型シリコン半導体 検出器 BR-SNA-450-100 セイコーEG&G MCA7600

(注) 1 日立アロカメディカルのことをアロカと表記している。

2 γ線スペクトリメトリーで、*を付した検出効率は仕様書記載、その他は試験結果である。

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
敦賀	敦賀A	4月	86.2	56.2	59.1	2.8	13	13	0	55.6
		5月	78.7	56.3	58.8	2.6	14	14	0	
		6月	73.1	55.9	59.3	2.7	18	18	0	
		7月	88.1	56.9	60.4	3.8	12	12	0	
		8月	77.9	57.0	59.3	2.2	12	10	2	
		9月	77.4	55.7	59.1	2.6	7	7	0	
		10月	82.5	55.6	59.0	3.3	23	23	0	
		11月	106.8	56.2	60.8	6.6	16	16	0	
		12月	94.2	47.8	60.4	6.2	14	14	0	
		1月	78.6	41.2	57.4	6.3	2	2	0	
		2月	76.3	50.2	59.3	4.4	15	15	0	
		3月	88.7	55.3	58.2	3.2	16	16	0	
		年間	106.8	41.2	59.3	4.3	160	158	2	
		浦底A	浦底A	4月	91.9	71.1	73.4	2.3	23	
5月	97.4			70.5	73.6	2.9	19	19	0	
6月	91.2			71.4	74.7	2.3	18	18	0	
7月	100.7			71.4	75.2	3.3	16	16	0	
8月	114.1			72.4	75.4	2.8	9	9	0	
9月	100.9			71.3	75.1	2.5	13	13	0	
10月	102.2			71.7	74.8	3.9	22	22	0	
11月	132.7			71.5	76.1	6.9	15	15	0	
12月	116.7			69.3	76.8	6.9	20	20	0	
1月	97.2			47.3	71.5	8.2	2	2	0	
2月	104.0			66.1	74.5	4.9	13	13	0	
3月	114.0			71.1	73.9	3.9	17	17	0	
年間	132.7			47.3	74.6	4.9	187	187	0	
立石A	立石A			4月	81.5	65.5	67.4	1.7	18	18
		5月	78.3	65.2	67.6	1.6	12	12	0	
		6月	77.3	66.3	68.7	1.3	16	16	0	
		7月	81.8	66.3	69.8	1.8	10	10	0	
		8月	90.7	69.9	71.9	1.4	9	9	0	
		9月	83.9	67.8	71.2	1.7	9	9	0	
		10月	84.3	67.7	69.8	2.0	20	20	0	
		11月	104.0	68.0	71.1	4.1	17	17	0	
		12月	103.4	66.4	71.0	4.6	17	17	0	
		1月	84.6	61.4	68.9	3.0	15	15	0	
		2月	85.8	66.2	69.4	2.9	17	17	0	
		3月	100.0	66.6	69.2	2.6	15	15	0	
		年間	104.0	61.4	69.7	3.0	175	175	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率	
								降雨	その他		
敦賀	河野A	4月	58.6	44.0	45.8	1.7	15	15	0	44.8	
		5月	68.1	43.7	45.7	2.9	21	21	0		
		6月	65.3	44.7	46.7	2.1	19	19	0		
		7月	70.6	44.8	47.2	2.6	17	17	0		
		8月	61.7	45.1	46.8	1.6	14	14	0		
		9月	59.4	44.7	46.5	1.5	18	18	0		
		10月	72.5	44.9	47.0	3.1	22	22	0		
		11月	93.8	45.1	48.6	5.5	22	22	0		
		12月	75.1	44.2	49.9	5.1	16	16	0		
		1月	66.5	43.9	48.3	3.6	20	20	0		
		2月	64.3	43.8	47.5	3.1	14	14	0		
		3月	74.5	44.2	45.9	2.5	17	17	0		
		年間	93.8	43.7	47.2	3.4	215	215	0		
		白木	白木A	4月	98.9	75.9	78.7	2.7	18		18
5月	104.4			75.5	78.7	2.8	15	15	0		
6月	101.8			76.0	80.1	3.0	16	16	0		
7月	108.8			76.1	80.8	3.8	16	16	0		
8月	104.7			77.9	82.5	2.7	11	11	0		
9月	109.7			79.4	82.3	2.8	16	16	0		
10月	115.3			77.2	80.6	4.8	26	26	0		
11月	138.3			76.5	81.4	7.5	18	18	0		
12月	115.4			75.9	82.0	7.0	19	19	0		
1月	105.0			56.9	77.8	6.3	5	5	0		
2月	109.0			73.5	80.4	4.7	13	13	0		
3月	128.0			77.3	80.1	4.4	15	15	0		
年間	138.3			56.9	80.4	4.9	188	188	0		
白木峠A	白木峠A			4月	104.9	77.6	79.9	2.7	18	18	0
			5月	105.1	76.4	80.3	2.7	17	17	0	
			6月	103.0	76.1	80.8	3.1	17	17	0	
			7月	108.8	76.1	80.7	3.8	16	16	0	
			8月	111.2	80.4	84.6	2.7	12	12	0	
			9月	111.8	81.2	83.8	2.9	14	14	0	
			10月	120.5	76.0	81.4	5.4	26	26	0	
			11月	137.0	77.1	81.5	7.3	17	17	0	
			12月	120.3	73.7	81.9	6.7	17	17	0	
			1月	103.0	54.6	76.3	8.1	3	3	0	
2月	102.0		69.6	79.6	4.8	19	19	0			
3月	129.0	75.6	79.1	4.5	13	13	0				
年間	137.0	54.6	80.8	5.3	189	189	0				

過去平均線量率：2009～2011年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	丹生A	4月	81.2	56.1	58.7	2.7	19	19	0	56.7
		5月	82.8	56.4	58.7	2.6	17	17	0	
		6月	82.3	57.4	60.0	2.8	17	17	0	
		7月	90.1	58.1	61.6	3.6	20	20	0	
		8月	85.8	59.8	62.2	2.3	13	13	0	
		9月	84.4	59.3	61.4	2.7	12	12	0	
		10月	92.8	58.1	61.0	4.5	26	26	0	
		11月	116.7	57.9	62.4	7.2	17	17	0	
		12月	95.3	56.6	62.5	6.5	20	20	0	
		1月	83.3	44.1	58.7	5.4	8	8	0	
		2月	83.7	52.7	60.4	4.5	16	16	0	
		3月	106.0	56.8	59.9	4.2	15	15	0	
		年間	116.7	44.1	60.6	4.6	200	200	0	
竹波A	竹波A	4月	97.3	68.7	71.2	2.7	16	16	0	65.6
		5月	95.4	68.3	71.4	2.6	18	18	0	
		6月	92.1	68.7	72.1	2.8	18	18	0	
		7月	104.8	69.1	73.1	3.9	17	17	0	
		8月	103.9	72.3	75.0	2.6	12	12	0	
		9月	96.6	70.8	74.4	2.4	13	13	0	
		10月	105.7	68.2	72.0	4.5	24	24	0	
		11月	128.1	69.0	73.3	7.1	18	18	0	
		12月	112.7	67.1	73.8	6.9	20	20	0	
		1月	93.6	58.0	70.0	5.5	9	9	0	
		2月	93.5	61.3	71.3	4.8	18	18	0	
		3月	115.0	67.7	70.6	4.1	16	16	0	
		年間	128.1	58.0	72.3	4.7	199	199	0	
坂尻A	坂尻A	4月	81.9	58.5	60.9	2.8	20	20	0	56.2
		5月	89.3	57.7	61.1	3.0	18	18	0	
		6月	87.0	58.5	62.2	3.4	23	23	0	
		7月	109.3	59.1	63.2	4.7	19	19	0	
		8月	93.9	61.4	64.4	2.8	12	12	0	
		9月	118.6	60.5	63.9	4.0	10	10	0	
		10月	97.6	59.1	62.3	5.1	26	26	0	
		11月	129.0	58.8	63.7	8.2	17	17	0	
		12月	105.9	55.8	64.6	7.0	20	20	0	
		1月	94.7	48.2	62.3	5.5	13	13	0	
		2月	95.3	54.1	63.6	5.6	18	18	0	
		3月	118.0	59.0	62.0	4.4	12	12	0	
		年間	129.0	48.2	62.8	5.1	208	208	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率	
								降雨	その他		
大飯	小浜A	4月	64.5	45.1	47.7	2.4	20	20	0	45.1	
		5月	69.5	44.7	47.4	2.2	12	12	0		
		6月	65.5	45.6	48.2	2.4	16	16	0		
		7月	77.0	46.3	49.1	3.1	19	19	0		
		8月	74.3	46.1	49.1	2.7	13	13	0		
		9月	69.2	46.0	49.0	2.7	18	18	0		
		10月	70.3	45.6	49.0	3.7	30	30	0		
		11月*	59.2	45.9	48.7	2.8	3	3	0		
		12月*	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測		欠測
		1月*	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測		欠測
		2月*	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測		欠測
		3月*	48.4	37.7	39.4	1.3	7	7	0		
		年間	77.0	0.0	47.9	3.6	138	138	0		
大飯	日角浜A	4月	63.8	40.6	42.9	2.8	17	17	0	41.2	
		5月	65.8	40.4	42.4	2.2	13	13	0		
		6月	62.5	41.0	44.0	2.9	20	20	0		
		7月	74.6	41.9	44.6	3.2	18	18	0		
		8月	65.4	42.0	43.9	2.1	12	12	0		
		9月	82.0	42.0	44.4	3.3	13	13	0		
		10月	73.4	41.7	44.8	4.5	30	30	0		
		11月	78.3	41.7	45.9	5.8	19	19	0		
		12月	92.3	30.5	46.0	7.7	15	15	0		
		1月*	95.5	36.6	44.9	6.2	12	12	0		
		2月*	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測		欠測
		3月*	57.9	28.2	30.6	3.0	17	17	0		
		年間	95.5	0.0	43.2	5.9	186	186	0		
大飯	宮留A	4月	57.6	33.6	36.2	2.7	17	17	0	34.5	
		5月	59.7	33.7	35.8	2.2	14	14	0		
		6月	52.1	34.0	36.4	2.6	22	22	0		
		7月	66.1	34.4	37.0	3.1	16	16	0		
		8月	56.9	34.2	36.0	2.0	11	11	0		
		9月	74.9	34.3	36.6	3.4	10	10	0		
		10月	63.8	34.1	37.5	4.4	28	28	0		
		11月	75.5	34.7	38.8	5.5	19	19	0		
		12月	84.5	25.1	39.4	7.7	17	17	0		
		1月	81.9	32.3	37.9	5.3	14	14	0		
		2月	62.6	34.4	38.0	4.2	15	15	0		
		3月	64.5	34.4	36.8	3.5	20	20	0		
		年間	84.5	25.1	37.2	4.3	203	203	0		

*：p77～78参照

過去平均線量率：2009～2011年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	阿納尻A	4月	50.2	29.1	31.3	2.4	20	20	0	30.9
		5月	56.9	28.8	30.8	2.1	12	12	0	
		6月	55.0	29.1	31.3	2.8	21	21	0	
		7月	59.2	29.1	32.0	3.4	18	18	0	
		8月	52.7	29.5	31.1	2.1	15	15	0	
		9月	60.6	29.4	31.6	3.3	16	16	0	
		10月	61.3	29.6	32.4	4.2	31	31	0	
		11月	78.2	29.5	34.1	6.4	15	15	0	
		12月	110.8	23.0	34.6	8.8	17	17	0	
		1月	73.4	27.4	32.9	4.6	15	15	0	
		2月	55.3	26.3	32.8	4.7	21	21	0	
		3月	56.8	29.1	31.3	3.1	22	22	0	
		年間	110.8	23.0	32.2	4.6	223	223	0	
		長井A	長井A	4月	60.4	33.9	36.4	3.1	18	
5月	57.5			33.6	35.9	2.4	20	20	0	
6月	57.7			33.9	36.7	3.0	19	19	0	
7月	69.4			34.2	37.3	3.7	18	18	0	
8月	62.4			34.6	36.9	2.6	15	15	0	
9月	64.9			34.7	37.0	3.0	17	17	0	
10月	68.5			34.5	37.9	4.7	28	28	0	
11月	87.9			34.5	39.7	7.3	21	21	0	
12月	97.8			29.0	40.1	8.4	14	14	0	
1月	86.6			24.9	37.1	7.1	15	15	0	
2月	65.3			33.2	38.5	5.5	15	15	0	
3月	67.4			34.0	36.5	3.9	20	20	0	
年間	97.8			24.9	37.5	5.1	220	220	0	
高浜	小黒飯A			4月	57.6	38.2	40.3	2.4	24	24
		5月	55.8	37.5	39.3	2.0	24	24	0	
		6月	59.8	37.9	40.1	2.6	20	20	0	
		7月	63.2	37.4	39.6	2.7	20	20	0	
		8月	51.9	36.5	38.3	1.6	15	15	0	
		9月	59.5	37.8	39.8	2.6	21	21	0	
		10月	62.6	37.8	40.9	3.6	29	29	0	
		11月	76.8	38.8	42.8	5.6	24	24	0	
		12月	75.5	34.0	43.3	6.1	15	15	0	
		1月	84.1	34.5	42.0	4.8	18	18	0	
		2月	62.9	38.9	42.6	4.3	16	16	0	
		3月	69.6	38.6	41.1	3.5	19	19	0	
		年間	84.1	34.0	40.8	4.0	245	245	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	音海A	4月	66.5	41.6	43.7	2.9	24	24	0	42.0
		5月	64.8	41.2	43.5	2.1	22	22	0	
		6月	62.9	41.9	44.3	2.7	18	18	0	
		7月	72.7	42.4	44.8	3.0	20	20	0	
		8月	64.2	43.1	44.8	1.7	13	13	0	
		9月	70.1	42.7	45.2	3.1	20	20	0	
		10月	73.1	42.6	45.5	4.3	31	31	0	
		11月	84.6	42.6	47.1	6.7	24	24	0	
		12月	76.6	37.5	47.8	6.8	20	20	0	
		1月	97.9	39.4	46.0	5.0	15	15	0	
		2月	66.4	42.0	46.3	4.6	14	14	0	
		3月	80.9	42.8	45.0	4.0	17	17	0	
		年間	97.9	37.5	45.3	4.4	238	238	0	
神野浦A	神野浦A	4月	53.3	27.5	29.5	3.0	20	20	0	28.3
		5月	49.8	27.3	29.1	2.2	24	24	0	
		6月	49.4	27.7	29.8	2.7	17	17	0	
		7月	56.4	28.2	30.4	3.1	20	20	0	
		8月	51.0	29.0	30.5	1.8	13	13	0	
		9月	58.4	29.0	30.8	3.1	22	22	0	
		10月	55.4	28.5	31.0	3.8	30	30	0	
		11月	67.0	28.2	32.3	6.0	22	22	0	
		12月	63.3	23.6	32.8	6.9	16	16	0	
		1月	80.3	25.3	31.2	5.9	12	12	0	
		2月	57.2	27.1	31.5	4.8	15	15	0	
		3月	61.6	27.2	29.8	3.9	22	22	0	
		年間	80.3	23.6	30.7	4.3	233	233	0	
山中A	山中A	4月	51.8	26.5	28.6	3.0	20	20	0	27.6
		5月	47.0	26.2	28.2	2.3	23	23	0	
		6月	53.2	26.3	28.6	3.2	19	19	0	
		7月	53.9	26.1	28.7	3.1	21	21	0	
		8月	49.5	26.5	28.1	1.8	11	11	0	
		9月	51.6	26.2	28.4	2.9	22	22	0	
		10月	58.3	26.3	29.1	4.0	29	29	0	
		11月	69.5	26.6	31.1	5.9	18	18	0	
		12月	66.4	20.8	30.6	7.0	13	13	0	
		1月	98.9	20.5	28.6	6.1	10	10	0	
		2月	51.5	24.8	29.8	4.5	15	15	0	
		3月	62.4	26.5	28.8	4.2	20	20	0	
		年間	98.9	20.5	29.0	4.4	221	221	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	ふげん北D	4月	78.4	56.5	59.6	2.3	19	19	0	60.4
		5月	85.6	56.8	60.8	2.8	16	16	0	
		6月	80.1	57.5	61.7	2.7	14	14	0	
		7月	87.9	57.2	61.6	3.4	12	12	0	
		8月	91.8	60.0	63.7	2.6	8	8	0	
		9月	86.5	59.8	63.2	2.1	14	14	0	
		10月	94.1	60.1	63.8	4.1	20	20	0	
		11月	125.5	58.9	64.5	7.9	18	18	0	
		12月	95.7	57.4	64.2	6.0	19	19	0	
		1月	82.4	53.1	61.5	3.5	15	15	0	
		2月	103.6	55.6	62.2	4.6	13	13	0	
		3月	104.9	58.2	61.4	3.5	15	15	0	
		年間	125.5	53.1	62.4	4.4	183	183	0	
		立石B	立石B	4月	98.4	84.8	87.8	2.0	2	
5月	100.5			86.2	90.9	2.1	7	7	0	
6月	98.9			88.3	91.8	1.6	6	6	0	
7月	102.6			86.5	90.4	1.9	11	11	0	
8月	102.5			86.8	89.6	1.4	7	6	1	
9月	97.4			86.2	90.5	1.8	3	3	0	
10月	100.3			85.4	89.4	1.9	8	8	0	
11月	110.6			85.0	88.0	2.8	16	16	0	
12月	103.0			84.4	87.5	2.6	17	17	0	
1月	95.3			80.1	86.1	2.0	8	8	0	
2月	95.8			83.9	86.2	1.9	14	14	0	
3月	102.3			84.2	86.6	1.6	15	15	0	
年間	110.6			80.1	88.7	2.7	114	113	1	
立石山頂B	立石山頂B			4月	94.2	70.6	73.4	2.2	16	16
		5月	97.0	71.3	75.1	2.7	16	16	0	
		6月	96.4	72.2	76.9	2.9	15	15	0	
		7月	104.4	71.7	76.7	3.6	10	10	0	
		8月	110.0	75.7	80.0	2.6	8	8	0	
		9月	100.5	73.9	77.1	2.5	16	16	0	
		10月	102.3	72.1	76.7	3.7	22	22	0	
		11月	135.2	72.2	76.8	6.9	14	14	0	
		12月	104.9	70.2	75.3	5.1	18	18	0	
		1月	91.5	59.9	72.0	4.1	6	6	0	
		2月	99.5	69.5	73.6	4.0	17	17	0	
		3月	111.6	71.2	74.0	3.4	16	16	0	
		年間	135.2	59.9	75.6	4.4	174	174	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	ぶんげん西D	4月	65.8	34.3	36.8	2.9	15	15	0	38.7
		5月	64.9	34.2	37.5	3.2	19	19	0	
		6月	60.2	35.1	38.6	3.2	18	18	0	
		7月	72.9	35.5	38.9	3.9	16	16	0	
		8月	65.2	37.9	40.0	2.6	11	11	0	
		9月	70.2	37.5	39.9	2.8	17	17	0	
		10月	70.5	36.4	39.8	4.8	27	27	0	
		11月	108.1	35.4	40.2	8.3	13	13	0	
		12月	74.4	33.6	39.2	6.3	18	18	0	
		1月	59.2	27.2	36.0	4.4	12	12	0	
		2月	93.8	32.3	37.3	5.7	13	13	0	
		3月	88.5	34.2	36.7	4.4	15	15	0	
		年間	108.1	27.2	38.4	4.8	194	194	0	
		猪ヶ池	池B	4月	94.3	75.1	78.2	2.7	18	
5月	111.2			75.2	79.6	3.5	18	18	0	
6月	102.0			75.9	81.5	3.1	15	15	0	
7月	114.9			76.0	82.0	4.4	13	13	0	
8月	115.8			79.8	84.0	3.2	9	9	0	
9月	112.2			75.3	80.7	2.9	11	11	0	
10月	114.1			76.2	80.7	4.7	20	20	0	
11月	144.8			75.1	81.1	8.4	16	16	0	
12月	125.4			72.4	80.8	7.6	18	18	0	
1月	101.4			56.0	75.6	7.3	2	2	0	
2月	106.1			67.7	78.3	5.2	14	14	0	
3月	126.3			75.1	78.4	4.4	16	16	0	
年間	144.8			56.0	80.1	5.5	170	170	0	
浦底	底B			4月	88.7	71.6	73.9	2.2	22	22
		5月	100.7	72.2	75.1	3.0	18	18	0	
		6月	92.9	72.8	75.9	2.5	18	18	0	
		7月	100.8	72.6	76.1	3.4	17	17	0	
		8月	109.5	73.0	76.4	2.6	10	10	0	
		9月	99.6	73.1	75.7	2.5	13	13	0	
		10月	103.1	73.2	76.2	3.9	22	22	0	
		11月	131.2	72.8	77.0	7.1	17	17	0	
		12月	112.8	68.9	77.4	7.1	19	19	0	
		1月	93.8	54.9	72.4	7.1	1	1	0	
		2月	104.4	63.2	75.6	5.1	14	14	0	
		3月	111.2	72.5	75.1	3.8	17	17	0	
		年間	131.2	54.9	75.6	4.8	188	188	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	水試裏B	4月	92.3	73.9	76.9	2.5	18	18	0	78.6
		5月	103.9	74.1	78.5	3.1	17	17	0	
		6月	97.7	75.0	80.3	2.7	14	14	0	
		7月	108.7	74.8	80.5	3.7	12	12	0	
		8月	110.5	78.4	83.1	2.5	7	7	0	
		9月	103.3	77.9	81.6	2.2	10	10	0	
		10月	108.2	76.4	81.0	3.7	20	20	0	
		11月	133.2	75.8	80.3	6.0	11	11	0	
		12月	115.2	73.6	80.1	6.4	19	19	0	
		1月	100.9	56.5	75.3	6.6	2	2	0	
		2月	109.2	70.4	78.0	4.8	13	13	0	
		3月	119.2	74.8	78.0	3.8	15	15	0	
		年間	133.2	56.5	79.5	4.8	158	158	0	
		色ヶ浜B		4月	95.3	77.1	79.9	2.0	17	
5月	100.4			77.6	80.5	2.5	18	18	0	
6月	95.7			78.2	80.9	2.1	16	16	0	
7月	103.4			77.5	81.0	2.9	18	18	0	
8月	110.0			76.7	79.0	2.2	10	10	0	
9月	97.2			76.8	79.1	2.0	14	14	0	
10月	100.7			76.6	79.6	3.3	23	23	0	
11月	126.2			76.4	80.7	6.1	16	16	0	
12月	112.9			74.6	81.4	6.3	20	20	0	
1月	99.3			62.8	77.5	5.6	4	4	0	
2月	100.8			71.8	79.5	4.3	13	13	0	
3月	107.5			76.3	78.7	3.2	16	16	0	
年間	126.2			62.8	79.8	4.0	185	185	0	
沓D				4月	90.0	50.8	54.1	3.1	18	18
		5月	85.2	50.6	54.3	3.2	15	15	0	
		6月	71.7	51.0	55.2	2.5	18	18	0	
		7月	89.7	50.7	55.4	4.0	14	14	0	
		8月	94.4	53.3	56.8	2.8	12	12	0	
		9月	91.5	53.0	56.3	2.8	11	11	0	
		10月	85.9	52.5	56.3	4.1	20	20	0	
		11月	112.6	51.9	56.9	7.7	17	17	0	
		12月	100.8	44.8	56.1	7.7	15	15	0	
		1月	81.0	32.0	50.5	8.1	4	4	0	
		2月	77.5	42.4	54.4	5.2	15	15	0	
		3月	87.8	51.6	54.4	3.7	20	20	0	
		年間	112.6	32.0	55.1	5.3	179	179	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	赤崎D	4月	88.8	47.1	49.3	3.1	14	14	0	50.2
		5月	77.3	46.7	49.4	2.8	16	16	0	
		6月	63.1	47.3	49.7	2.2	21	21	0	
		7月	74.9	46.8	49.9	3.1	23	23	0	
		8月	74.0	47.3	49.7	2.0	12	12	0	
		9月	69.5	47.9	49.7	1.9	17	17	0	
		10月	71.3	47.9	50.2	3.2	27	27	0	
		11月	100.9	47.4	51.4	6.7	17	17	0	
		12月	80.2	45.8	51.7	6.2	18	18	0	
		1月	69.9	34.7	48.4	5.5	7	7	0	
		2月	69.0	43.6	50.2	4.5	16	16	0	
		3月	82.3	46.8	49.1	3.3	19	19	0	
		年間	100.9	34.7	49.9	4.1	207	207	0	
五幡B	五幡B	4月	68.7	44.9	47.2	2.7	19	19	0	47.4
		5月	69.5	44.6	47.1	2.8	18	18	0	
		6月	63.0	44.8	47.4	2.4	19	19	0	
		7月	86.2	45.0	47.7	3.6	18	18	0	
		8月	67.5	45.4	47.1	2.2	12	12	0	
		9月	72.6	45.2	47.2	2.2	13	13	0	
		10月	75.2	44.9	47.6	3.6	25	25	0	
		11月	106.5	44.5	48.8	7.5	16	16	0	
		12月	82.5	44.3	50.1	6.7	12	12	0	
		1月	74.4	38.0	47.5	4.8	16	16	0	
		2月	70.7	44.3	48.2	4.4	14	14	0	
		3月	81.3	44.6	46.7	3.6	19	19	0	
		年間	106.5	38.0	47.7	4.3	201	201	0	
阿曾D	阿曾D	4月	66.3	45.0	47.0	2.7	23	23	0	48.8
		5月	67.9	45.0	47.1	2.7	21	21	0	
		6月	67.5	45.3	47.7	2.5	17	17	0	
		7月	83.9	44.9	47.9	3.7	19	19	0	
		8月	68.7	45.9	48.5	2.1	11	11	0	
		9月	72.9	46.4	48.3	2.2	14	14	0	
		10月	79.4	46.3	48.8	3.9	24	24	0	
		11月	107.6	46.0	50.4	7.8	18	18	0	
		12月	88.8	43.4	50.5	6.6	16	16	0	
		1月	74.2	30.6	46.4	6.4	10	10	0	
		2月	70.1	38.8	48.2	4.7	17	17	0	
		3月	88.8	45.3	47.6	4.3	17	17	0	
		年間	107.6	30.6	48.2	4.7	207	207	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	杉津B	4月	66.2	48.2	50.6	2.7	19	19	0	51.7
		5月	73.7	47.1	50.7	3.1	20	20	0	
		6月	69.2	48.2	51.4	2.7	17	17	0	
		7月	80.5	48.5	51.9	3.6	17	17	0	
		8月	73.1	48.3	51.3	2.4	10	10	0	
		9月	76.8	49.0	51.2	2.3	12	12	0	
		10月	83.5	48.7	51.6	3.9	22	22	0	
		11月	111.5	48.4	53.3	8.0	15	15	0	
		12月	88.7	47.4	53.7	6.9	13	13	0	
		1月	74.9	35.6	49.9	5.9	13	13	0	
		2月	74.7	44.2	51.5	4.8	15	15	0	
		3月	88.4	48.3	50.9	4.2	17	17	0	
		年間	111.5	35.6	51.5	4.7	190	190	0	
		甲楽城B		4月	56.8	41.7	43.4	1.9	21	
5月	67.8			41.0	43.5	3.1	19	19	0	
6月	61.1			41.1	43.4	2.3	19	19	0	
7月	71.8			41.3	43.6	2.9	16	16	0	
8月	60.8			41.4	43.0	1.6	14	14	0	
9月	61.4			41.2	42.8	1.7	19	19	0	
10月	69.0			41.2	43.5	3.5	25	25	0	
11月	100.3			41.0	45.1	6.6	22	22	0	
12月	67.5			40.6	46.0	5.3	13	13	0	
1月	62.0			37.0	43.9	3.9	17	17	0	
2月	63.6			40.3	43.9	3.5	14	14	0	
3月	76.4			41.0	42.8	2.9	18	18	0	
年間	100.3			37.0	43.7	3.7	217	217	0	
今庄B				4月	58.9	42.0	44.9	2.4	16	16
		5月	63.9	42.4	45.4	2.3	12	12	0	
		6月	61.3	42.8	46.3	2.3	9	9	0	
		7月	68.7	42.9	47.0	3.3	15	15	0	
		8月	63.2	42.9	45.8	2.5	10	10	0	
		9月	74.3	43.0	46.0	2.7	13	13	0	
		10月	69.5	42.8	46.0	3.1	20	20	0	
		11月	97.2	42.3	47.5	7.0	18	18	0	
		12月	74.7	34.7	46.2	6.6	10	10	0	
		1月	68.8	31.9	44.0	5.4	11	11	0	
		2月	61.8	36.8	43.1	4.3	13	13	0	
		3月	71.5	41.0	44.5	3.2	18	18	0	
		年間	97.2	31.9	45.6	4.3	165	165	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	越前厨D	4月	56.6	35.8	38.0	2.3	17	17	0	39.4
		5月	61.7	35.1	38.0	2.9	22	22	0	
		6月	58.0	35.8	38.5	2.5	21	21	0	
		7月	77.8	35.9	39.1	3.5	18	18	0	
		8月	63.9	37.1	40.0	1.7	10	10	0	
		9月	56.1	37.1	39.2	1.7	14	14	0	
		10月	68.8	36.6	39.4	4.0	24	24	0	
		11月	82.8	35.9	40.4	6.1	21	21	0	
		12月	71.8	34.7	41.3	5.9	9	9	0	
		1月	71.6	33.6	39.1	4.4	17	17	0	
		2月	61.8	34.9	38.8	4.0	18	18	0	
		3月	71.0	36.2	38.5	3.4	22	22	0	
		年間	82.8	33.6	39.2	3.9	213	213	0	
		白木	松ヶ崎D	4月	78.9	57.9	60.6	2.4	18	
5月	84.3			57.8	61.0	2.5	15	15	0	
6月	79.9			58.1	61.8	2.6	16	16	0	
7月	87.9			58.2	61.9	3.4	15	15	0	
8月	82.1			59.5	62.5	2.2	12	12	0	
9月	84.7			59.3	61.7	2.3	15	15	0	
10月	92.9			58.5	61.9	4.3	26	26	0	
11月	111.9			58.2	62.5	6.6	16	16	0	
12月	93.2			58.2	63.6	6.2	19	19	0	
1月	85.0			48.7	60.8	4.5	10	10	0	
2月	88.8			58.3	62.4	4.2	12	12	0	
3月	103.8			58.7	61.3	3.9	15	15	0	
年間	111.9			48.7	61.8	4.1	189	189	0	
白木	I D			4月	79.6	59.7	62.8	2.2	17	17
		5月	80.4	60.5	64.3	2.4	15	15	0	
		6月	81.0	63.9	66.4	2.1	5	5	0	
		7月*	68.5	66.0	67.1	0.7	0	0	0	
		8月	87.0	64.6	68.1	2.2	10	10	0	
		9月	87.2	64.6	67.1	2.0	12	12	0	
		10月	93.2	64.8	68.2	3.3	22	22	0	
		11月	117.8	63.8	68.3	5.9	15	15	0	
		12月	97.2	61.5	67.0	4.9	20	20	0	
		1月	82.1	49.0	62.9	5.2	5	5	0	
		2月	90.5	60.1	65.9	3.8	13	13	0	
		3月	102.5	60.7	64.9	3.2	13	13	0	
		年間	117.8	49.0	66.1	4.2	147	147	0	

*：p79参照

過去平均線量率：2009～2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率	
								降雨	その他		
白木	白木IID	4月	68.7	34.4	36.7	3.2	16	16	0	38.9	
		5月	57.5	34.3	37.1	2.9	21	21	0		
		6月	61.0	34.6	38.5	3.4	19	19	0		
		7月*	75.4	34.5	38.1	4.3	16	16	0		
		8月*	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測		欠測
		9月*	66.6	36.9	39.8	2.9	11	11	0		
		10月	68.9	37.8	40.8	4.1	26	26	0		
		11月	94.2	36.3	41.4	7.1	16	16	0		
		12月	79.6	32.9	40.6	6.4	15	15	0		
		1月	58.0	24.9	36.7	5.1	9	9	0		
		2月	65.4	30.7	38.3	4.7	12	12	0		
		3月	82.1	35.3	38.1	4.1	14	14	0		
		年間	94.2	24.9	38.7	4.9	175	175	0		
		白木	白木IIID	4月	75.6	49.9	52.5	2.5	17		17
5月	74.6			49.4	52.4	2.5	19	19	0		
6月	72.1			48.9	53.5	2.9	18	18	0		
7月	81.6			49.0	53.6	3.5	14	14	0		
8月	75.9			52.8	56.2	2.3	11	11	0		
9月*	61.0			50.9	53.3	1.3	3	3	0		
10月*	81.6			53.3	56.8	4.3	18	18	0		
11月	102.3			53.5	57.4	5.9	14	14	0		
12月	85.2			49.3	56.6	5.3	21	21	0		
1月	72.0			36.5	52.2	5.9	4	4	0		
2月	74.5			44.8	54.5	4.3	13	13	0		
3月	91.8			52.2	54.9	3.5	14	14	0		
年間	102.3			36.5	54.5	4.4	166	166	0		
白木	白木IIVD			4月	62.7	40.9	43.3	2.5	18	18	0
		5月	66.8	40.6	44.1	2.6	17	17	0		
		6月	65.8	41.2	45.8	3.0	17	17	0		
		7月	74.7	40.9	45.6	3.7	14	14	0		
		8月	70.1	44.7	47.9	2.3	12	12	0		
		9月	74.7	44.2	46.7	2.5	15	15	0		
		10月*	67.7	44.1	46.3	2.7	10	10	0		
		11月*	64.7	43.5	46.5	4.0	9	9	0		
		12月	69.7	40.9	46.9	4.8	20	20	0		
		1月	62.6	29.2	43.0	5.1	5	5	0		
		2月	72.4	38.3	45.2	4.0	12	12	0		
		3月	81.5	42.7	45.3	3.4	15	15	0		
		年間	81.5	29.2	45.5	3.8	164	164	0		

*：p79参照

過去平均線量率：2009～2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	奥浦C	4月	89.5	56.8	59.4	2.7	18	18	0	60.3
		5月	79.2	56.9	60.0	2.3	16	16	0	
		6月	85.6	56.2	61.1	2.9	17	17	0	
		7月	91.9	55.7	63.6	4.2	8	8	0	
		8月	92.3	61.3	65.7	2.9	11	11	0	
		9月	93.0	60.4	64.3	3.2	10	10	0	
		10月	104.6	58.9	63.7	5.2	22	22	0	
		11月	128.1	58.5	64.6	7.8	16	16	0	
		12月	102.7	58.3	64.8	7.0	18	18	0	
		1月	88.3	50.6	61.8	5.2	16	16	0	
		2月*	87.8	52.5	61.6	5.6	15	15	0	
		3月	99.8	55.1	58.4	4.0	15	15	0	
		年間	128.1	50.6	62.4	5.5	182	182	0	
丹生	C	4月	72.8	50.2	52.5	2.3	17	17	0	52.3
		5月	71.6	50.4	52.6	2.2	17	17	0	
		6月	69.2	46.8	51.5	2.6	9	9	0	
		7月	75.0	45.5	49.5	3.3	18	18	0	
		8月	70.4	45.4	48.5	2.4	11	11	0	
		9月	69.4	43.8	47.6	2.6	12	12	0	
		10月	76.2	43.0	47.0	4.3	24	24	0	
		11月	99.0	42.3	47.7	6.7	16	16	0	
		12月	79.3	42.8	49.2	6.4	21	21	0	
		1月	68.2	37.1	46.2	4.6	13	13	0	
		2月*	68.7	42.3	47.3	4.3	15	15	0	
		3月	77.4	44.3	48.5	2.9	16	16	0	
		年間	99.0	37.1	49.0	4.6	189	189	0	
丹生寮	C	4月	71.6	45.8	48.0	2.5	15	15	0	48.6
		5月	65.5	45.7	48.1	2.2	17	17	0	
		6月	67.1	45.5	48.7	2.4	18	18	0	
		7月	75.9	41.5	45.2	3.3	14	14	0	
		8月	72.2	41.6	44.8	2.6	12	12	0	
		9月	74.2	42.0	44.6	2.9	13	13	0	
		10月	81.6	41.6	45.0	4.9	24	24	0	
		11月	103.7	41.0	46.0	7.6	16	16	0	
		12月	84.1	40.7	46.8	7.2	19	19	0	
		1月	63.7	31.9	43.1	5.4	12	12	0	
		2月*	69.6	40.5	45.9	4.9	16	16	0	
		3月	83.0	43.5	46.8	3.4	16	16	0	
		年間	103.7	31.9	46.1	4.5	192	192	0	

* : p78~79参照

過去平均線量率：2009~2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	竹波 C	4月	96.7	71.0	73.9	2.3	18	18	0	74.6
		5月	94.4	70.7	74.1	2.3	15	15	0	
		6月	89.3	67.3	74.9	3.1	12	12	0	
		7月	99.4	73.1	77.8	2.9	14	14	0	
		8月	98.3	74.9	79.4	2.1	9	9	0	
		9月	98.5	74.3	77.7	2.2	10	10	0	
		10月	105.3	74.6	78.0	3.3	21	21	0	
		11月	124.4	74.5	78.7	5.6	16	16	0	
		12月	113.2	73.7	79.0	5.7	18	18	0	
		1月	93.5	62.4	75.2	5.0	5	5	0	
		2月*	93.7	60.9	74.4	6.3	2	2	0	
		3月	99.2	64.6	71.0	3.4	14	14	0	
		年間	124.4	60.9	76.2	4.4	154	154	0	
菅浜	菅浜 C	4月	59.5	34.0	36.7	2.3	16	16	0	36.9
		5月	59.9	34.3	36.5	2.3	13	13	0	
		6月	54.1	34.1	36.7	2.3	20	20	0	
		7月	68.4	33.8	36.8	3.3	17	17	0	
		8月	56.7	26.8	33.6	4.1	7	7	0	
		9月	48.9	25.9	28.3	1.9	15	15	0	
		10月	51.0	26.3	29.1	3.4	27	27	0	
		11月	87.2	26.7	30.5	6.4	14	14	0	
		12月	60.4	26.0	31.3	5.5	14	14	0	
		1月	49.1	25.6	29.6	3.4	18	18	0	
		2月*	48.9	26.3	32.1	4.5	5	5	0	
		3月	64.7	33.0	35.7	2.6	17	17	0	
		年間	87.2	25.6	33.1	4.7	183	183	0	
佐田	佐田 C	4月	77.4	51.7	54.0	2.2	14	14	0	54.3
		5月	73.3	51.8	54.0	2.0	18	18	0	
		6月	68.5	52.3	54.2	2.1	21	21	0	
		7月	85.5	49.2	54.5	3.0	19	19	0	
		8月	74.8	51.8	53.6	2.1	13	13	0	
		9月	77.2	51.3	53.5	1.9	11	11	0	
		10月	74.0	50.9	54.3	3.1	25	25	0	
		11月	97.0	52.2	55.3	5.2	17	17	0	
		12月	84.5	50.9	56.0	4.9	18	18	0	
		1月	73.7	48.1	54.7	3.5	16	16	0	
		2月*	73.9	48.9	54.5	4.0	16	16	0	
		3月	77.9	49.6	51.5	2.3	17	17	0	
		年間	97.0	48.1	54.2	2.8	205	205	0	

* : p78~79参照

過去平均線量率：2009~2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	新庄C	4月	81.8	57.0	59.9	2.7	18	18	0	61.1
		5月	79.2	57.3	59.7	2.0	13	13	0	
		6月	80.4	56.6	60.1	2.1	17	17	0	
		7月	83.8	56.5	60.5	2.8	17	17	0	
		8月	74.8	57.6	60.3	1.7	14	14	0	
		9月	82.7	48.4	59.6	3.1	6	6	0	
		10月	87.9	46.2	50.8	3.9	18	18	0	
		11月	101.0	46.2	52.2	7.0	17	17	0	
		12月	104.2	38.9	51.0	8.2	19	19	0	
		1月	85.3	41.3	50.1	4.9	17	17	0	
		2月*	78.6	44.7	52.3	5.3	9	9	0	
		3月	79.0	55.2	58.0	2.4	19	19	0	
		年間	104.2	38.9	56.2	6.2	184	184	0	
郷市C		4月	67.1	32.9	35.6	3.3	14	14	0	36.2
		5月	58.9	32.5	35.0	2.5	15	15	0	
		6月	56.0	32.6	35.5	3.0	19	19	0	
		7月	75.7	32.3	36.3	4.4	18	18	0	
		8月	58.8	32.5	34.9	2.7	14	14	0	
		9月	65.0	31.8	35.0	3.0	12	12	0	
		10月	63.3	32.1	35.7	3.9	25	25	0	
		11月	97.3	32.2	37.0	7.8	15	15	0	
		12月	74.7	30.2	37.8	6.9	19	19	0	
		1月	59.4	29.1	36.1	4.5	15	15	0	
		2月*	59.4	31.1	36.1	4.9	19	19	0	
		3月	68.5	31.5	33.7	3.1	17	17	0	
		年間	97.3	29.1	35.7	4.7	202	202	0	
早瀬C		4月	56.7	31.1	33.5	2.3	15	15	0	34.8
		5月	52.0	31.3	33.9	1.8	12	12	0	
		6月	46.6	31.0	33.9	2.0	19	19	0	
		7月	56.6	31.0	34.4	2.7	16	16	0	
		8月	49.6	31.5	33.2	1.7	14	14	0	
		9月	56.5	31.2	33.7	2.3	11	11	0	
		10月	54.4	31.8	34.5	2.7	26	26	0	
		11月	75.5	32.1	35.7	5.1	16	16	0	
		12月	70.5	30.8	36.5	5.6	15	15	0	
		1月	51.6	28.6	34.6	3.2	18	18	0	
		2月*	51.4	30.1	34.5	3.6	14	14	0	
		3月	54.4	30.4	32.7	2.2	15	15	0	
		年間	75.5	28.6	34.3	2.8	191	191	0	

* : p78~79参照

過去平均線量率：2009~2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	日向C	4月	65.3	39.1	41.3	2.4	21	21	0	41.6
		5月	63.5	39.2	41.1	2.0	13	13	0	
		6月	56.9	39.3	41.4	2.3	21	21	0	
		7月	71.9	39.1	41.8	3.3	21	21	0	
		8月	58.9	39.0	40.4	2.0	13	13	0	
		9月	48.6	32.9	36.8	3.3	7	7	0	
		10月	64.7	32.7	35.5	3.9	23	23	0	
		11月	89.1	33.2	37.1	6.7	17	17	0	
		12月	75.5	33.1	38.4	6.8	17	17	0	
		1月	56.5	32.7	36.5	3.8	17	17	0	
		2月*	59.1	33.0	37.9	4.3	13	13	0	
		3月	65.3	37.7	39.7	2.5	17	17	0	
		年間	89.1	32.7	39.0	4.4	200	200	0	
		三方	三方C	4月	53.0	28.0	31.1	2.9	21	
5月	55.8			27.9	31.1	2.5	10	10	0	
6月	56.5			27.5	31.4	3.0	21	21	0	
7月	64.5			28.1	31.9	3.8	21	21	0	
8月	54.0			28.2	30.8	2.6	14	14	0	
9月	57.6			28.6	31.2	2.8	12	12	0	
10月	62.6			30.5	36.6	3.9	25	25	0	
11月	102.8			33.8	38.5	7.7	22	22	0	
12月	85.5			27.7	38.2	8.1	20	20	0	
1月	66.7			29.4	37.0	5.0	19	19	0	
2月*	59.4			25.5	35.6	6.1	9	9	0	
3月	59.3			27.2	29.8	2.9	20	20	0	
年間	102.8			25.5	33.6	5.5	214	214	0	
大飯	宮留C			4月	63.2	37.3	39.4	2.9	18	18
		5月	65.3	37.4	39.2	2.4	14	14	0	
		6月	60.3	36.9	39.5	3.2	22	22	0	
		7月	82.9	34.2	39.6	3.8	16	16	0	
		8月	63.9	37.8	39.2	2.3	13	13	0	
		9月	88.2	37.6	39.8	4.1	10	10	0	
		10月	72.4	37.5	40.7	5.3	31	31	0	
		11月	82.5	37.7	42.0	6.5	23	23	0	
		12月	95.5	27.6	42.0	8.4	19	19	0	
		1月	87.3	34.1	40.6	5.7	16	16	0	
		2月	68.6	36.2	40.8	4.7	18	18	0	
		3月	69.8	37.2	39.1	3.7	20	20	0	
		年間	95.5	27.6	40.2	4.4	220	220	0	

* : p78~79参照

過去平均線量率：2009~2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	日角浜C	4月	61.7	34.5	36.8	3.3	18	18	0	38.2
		5月	63.1	34.0	36.2	2.5	16	16	0	
		6月	57.4	33.8	36.6	3.2	22	22	0	
		7月	76.2	34.5	37.2	3.8	17	17	0	
		8月	62.7	34.8	36.5	2.5	12	12	0	
		9月	84.2	34.8	37.0	3.9	13	13	0	
		10月	72.0	34.6	37.9	5.4	28	28	0	
		11月	77.5	34.7	39.3	6.8	20	20	0	
		12月	86.2	24.9	39.5	8.7	17	17	0	
		1月	94.6	29.5	37.7	6.6	16	16	0	
		2月	67.2	33.9	38.2	5.0	18	18	0	
		3月	71.7	34.6	37.1	4.1	18	18	0	
		年間	94.6	24.9	37.5	5.0	215	215	0	
本郷C		4月	62.6	39.5	42.0	2.6	18	18	0	43.0
		5月	61.4	39.3	41.9	2.1	19	19	0	
		6月	82.8	39.7	42.4	3.3	17	17	0	
		7月	65.9	39.3	42.4	3.0	18	18	0	
		8月	62.1	40.0	41.8	2.2	13	13	0	
		9月	63.4	40.1	42.2	2.5	20	20	0	
		10月	70.6	40.2	43.2	4.5	31	31	0	
		11月	77.8	39.6	44.4	5.7	24	24	0	
		12月	89.2	35.4	44.7	7.1	15	15	0	
		1月	87.9	32.0	42.1	6.1	13	13	0	
		2月	72.9	39.6	43.3	4.6	16	16	0	
		3月	70.3	39.8	42.0	3.5	15	15	0	
		年間	89.2	32.0	42.7	4.2	219	219	0	
加斗C		4月	69.7	42.5	46.0	3.2	21	21	0	46.9
		5月	74.8	43.3	45.9	2.7	20	20	0	
		6月	71.1	43.1	46.6	3.4	18	18	0	
		7月	79.4	44.2	47.1	3.7	17	17	0	
		8月	73.6	45.0	47.0	2.6	13	13	0	
		9月	87.9	43.3	47.1	3.4	13	13	0	
		10月	75.5	43.8	47.6	4.8	30	30	0	
		11月	100.1	43.1	48.7	6.4	21	21	0	
		12月	82.5	33.7	48.0	8.0	12	12	0	
		1月	80.7	33.7	45.5	6.2	17	17	0	
		2月	69.8	40.9	47.2	5.0	18	18	0	
		3月	83.0	43.5	46.0	3.8	18	18	0	
		年間	100.1	33.7	46.9	4.6	218	218	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	小浜C	4月	72.7	41.5	46.5	3.5	20	20	0	47.3
		5月	71.1	41.8	46.3	2.8	20	20	0	
		6月	76.4	43.8	47.1	3.4	16	16	0	
		7月	83.3	42.0	47.6	4.1	16	16	0	
		8月	77.1	42.9	47.4	3.0	14	14	0	
		9月	80.8	43.5	47.5	3.4	17	17	0	
		10月	77.6	43.2	47.7	4.8	31	31	0	
		11月	96.9	43.4	49.5	7.4	19	19	0	
		12月	103.9	32.7	49.0	9.2	20	20	0	
		1月	87.4	37.7	47.0	6.2	20	20	0	
		2月	72.7	40.9	47.7	5.0	19	19	0	
		3月	87.9	42.6	46.5	3.9	21	21	0	
		年間	103.9	32.7	47.5	4.9	233	233	0	
西津	C	4月	57.0	33.3	35.5	2.9	18	18	0	36.2
		5月	65.3	33.0	35.3	2.6	12	12	0	
		6月	55.8	33.1	35.7	2.9	19	19	0	
		7月	73.9	33.1	36.2	4.0	18	18	0	
		8月	58.9	32.8	34.8	2.5	15	15	0	
		9月	63.9	33.1	35.6	3.3	17	17	0	
		10月	65.0	33.3	36.7	4.8	27	27	0	
		11月	96.5	32.7	38.1	7.3	13	13	0	
		12月	92.9	25.6	38.9	9.1	18	18	0	
		1月	75.2	30.3	36.9	5.6	17	17	0	
		2月	63.5	32.8	37.3	5.2	15	15	0	
		3月	71.4	32.9	35.4	3.9	23	23	0	
		年間	96.5	25.6	36.4	4.7	212	212	0	
堅海	C	4月	60.7	36.3	38.6	2.7	19	19	0	39.7
		5月	67.3	35.3	38.1	2.4	13	13	0	
		6月	78.7	35.3	39.0	3.6	17	17	0	
		7月	75.1	36.0	39.2	3.7	19	19	0	
		8月	63.6	36.3	38.7	2.3	13	13	0	
		9月	70.9	37.5	39.7	3.3	15	15	0	
		10月	78.6	36.4	40.1	5.4	26	26	0	
		11月	84.6	36.9	41.8	6.5	15	15	0	
		12月	90.2	26.9	42.5	9.7	20	20	0	
		1月	90.8	31.1	40.7	6.0	16	16	0	
		2月	72.9	36.8	41.0	5.2	15	15	0	
		3月	77.9	37.2	39.7	4.2	21	21	0	
		年間	90.8	26.9	39.9	5.3	209	209	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	川上C	4月	74.6	46.7	49.3	3.2	15	15	0	49.2
		5月	68.7	46.5	48.9	2.4	15	15	0	
		6月	91.7	46.7	49.6	3.8	16	16	0	
		7月	76.6	47.0	49.8	3.5	19	19	0	
		8月	70.7	47.2	49.5	2.0	10	10	0	
		9月	82.0	47.5	49.8	3.0	20	20	0	
		10月	86.7	46.8	49.9	3.9	23	23	0	
		11月	92.4	47.3	51.6	6.0	19	19	0	
		12月	101.9	41.2	50.7	7.3	10	10	0	
		1月	108.6	31.8	46.2	7.5	11	11	0	
		2月	73.8	43.9	49.6	5.0	16	16	0	
		3月	79.9	45.8	48.6	3.9	16	16	0	
		年間	108.6	31.8	49.5	4.2	190	190	0	
鹿野	C	4月	66.6	39.1	41.7	3.2	20	20	0	42.7
		5月	59.6	38.4	41.2	2.7	18	18	0	
		6月	88.8	38.6	42.0	4.2	17	17	0	
		7月	73.0	39.4	42.7	4.0	20	20	0	
		8月	68.3	39.8	42.4	2.3	9	9	0	
		9月	64.2	40.0	42.6	3.1	21	21	0	
		10月	80.3	39.7	43.0	5.1	24	24	0	
		11月	82.2	39.4	44.4	6.3	17	17	0	
		12月	92.3	35.8	44.4	7.7	14	14	0	
		1月	87.2	26.6	39.9	7.5	14	14	0	
		2月	71.0	37.7	43.3	5.5	16	16	0	
		3月	76.2	39.3	41.9	4.5	17	17	0	
		年間	92.3	26.6	42.4	5.5	207	207	0	
名田庄	C	4月	66.4	40.3	44.0	3.3	15	15	0	44.7
		5月	65.4	40.7	43.8	2.7	16	16	0	
		6月	62.5	41.0	44.6	3.2	14	14	0	
		7月	77.8	41.1	45.1	4.4	18	18	0	
		8月	61.9	41.5	44.3	2.7	10	10	0	
		9月	60.4	41.5	44.7	2.8	16	16	0	
		10月	64.0	41.2	44.7	3.5	21	21	0	
		11月	74.9	40.9	46.4	5.5	19	19	0	
		12月	84.3	36.8	47.0	7.5	14	14	0	
		1月	70.5	31.1	44.0	5.7	14	14	0	
		2月	69.9	37.2	45.4	5.4	16	16	0	
		3月	72.5	41.0	44.1	3.9	19	19	0	
		年間	84.3	31.1	44.8	4.8	192	192	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	上中C	4月	58.8	34.0	36.4	3.2	20	20	0	36.9
		5月	68.8	33.8	36.2	3.2	19	19	0	
		6月	55.0	34.0	36.4	2.9	25	25	0	
		7月	79.1	34.5	37.3	4.9	21	21	0	
		8月	73.4	34.2	36.0	3.1	11	11	0	
		9月	70.9	33.6	36.5	3.0	13	13	0	
		10月	101.8	34.5	37.7	5.1	23	23	0	
		11月	99.3	33.5	39.4	7.9	18	18	0	
		12月	83.5	26.9	38.7	8.8	20	20	0	
		1月	62.4	29.8	36.9	4.7	21	21	0	
		2月	66.6	29.6	37.2	5.7	18	18	0	
		3月	82.1	34.2	36.3	4.0	18	18	0	
		年間	101.8	26.9	37.1	5.0	227	227	0	
高浜	音海C	4月	61.7	41.5	43.4	2.4	22	22	0	44.3
		5月	55.6	41.1	43.2	1.7	28	28	0	
		6月	62.9	41.5	43.7	2.5	19	19	0	
		7月	67.7	41.6	43.7	2.6	19	19	0	
		8月	59.4	42.0	43.6	1.4	13	13	0	
		9月	67.6	42.1	44.0	2.8	22	22	0	
		10月	68.6	41.9	44.2	3.5	30	30	0	
		11月	74.2	41.6	45.7	5.6	26	26	0	
		12月	69.4	37.5	46.0	5.5	17	17	0	
		1月	93.3	39.8	44.7	4.4	14	14	0	
		2月	62.1	41.2	44.7	3.8	14	14	0	
		3月	70.5	41.4	43.6	3.0	19	19	0	
		年間	93.3	37.5	44.2	3.6	243	243	0	
田ノ浦	田ノ浦C	4月	57.8	36.3	37.9	2.4	20	20	0	38.9
		5月	57.1	35.8	37.9	2.0	22	22	0	
		6月	55.5	36.0	38.3	2.3	19	19	0	
		7月	60.0	36.1	38.4	2.5	18	18	0	
		8月	52.6	37.3	38.8	1.5	13	13	0	
		9月	63.4	37.2	39.0	2.8	22	22	0	
		10月	61.2	36.7	39.3	3.6	29	29	0	
		11月	75.3	36.8	40.6	5.6	21	21	0	
		12月	76.4	32.8	40.6	5.8	16	16	0	
		1月	80.2	32.4	39.0	4.7	13	13	0	
		2月	61.6	36.1	39.4	4.1	16	16	0	
		3月	66.8	36.6	38.4	3.4	21	21	0	
		年間	80.2	32.4	39.0	3.3	230	230	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	小黒飯C	4月	60.0	33.5	36.4	2.8	20	20	0	37.3
		5月	53.8	34.3	36.3	2.1	20	20	0	
		6月	60.9	34.5	36.8	2.8	17	17	0	
		7月	61.9	35.0	36.9	2.8	19	19	0	
		8月	53.0	32.9	36.7	1.6	13	13	0	
		9月	59.4	35.3	37.1	2.9	22	22	0	
		10月	60.4	35.1	37.5	3.7	29	29	0	
		11月	69.7	34.4	39.0	5.8	22	22	0	
		12月	74.0	29.8	39.3	6.5	18	18	0	
		1月	83.0	29.6	37.5	5.2	15	15	0	
		2月	59.8	34.2	38.3	4.5	17	17	0	
		3月	66.9	34.3	37.1	3.8	20	20	0	
		年間	83.0	29.6	37.4	4.0	232	232	0	
神野浦	神野浦C	4月	56.5	26.9	29.0	3.5	20	20	0	29.2
		5月	51.8	26.4	28.6	2.5	23	23	0	
		6月	51.3	26.6	28.9	3.0	18	18	0	
		7月	57.7	26.9	29.1	3.4	20	20	0	
		8月	52.2	27.6	29.1	1.9	13	13	0	
		9月	58.0	27.5	29.4	3.3	20	20	0	
		10月	57.5	27.3	29.9	4.2	29	29	0	
		11月	75.8	27.3	31.9	7.1	20	20	0	
		12月	63.5	22.5	32.2	7.3	16	16	0	
		1月	80.2	24.0	30.3	6.1	13	13	0	
		2月	54.0	26.5	30.8	5.0	16	16	0	
		3月	66.1	27.1	29.4	4.4	23	23	0	
		年間	80.2	22.5	29.9	4.5	231	231	0	
日引	日引C	4月	61.3	33.5	35.2	2.8	19	19	0	35.9
		5月	51.4	33.3	34.9	1.9	24	24	0	
		6月	61.9	33.2	35.3	2.7	17	17	0	
		7月	58.0	33.4	35.3	2.6	19	19	0	
		8月	52.7	34.0	35.3	1.5	11	11	0	
		9月	63.2	34.0	35.6	2.8	19	19	0	
		10月	67.5	33.6	36.2	4.1	23	23	0	
		11月	73.1	33.7	37.6	5.6	22	22	0	
		12月	67.0	27.4	37.9	6.6	18	18	0	
		1月	83.7	31.3	36.7	5.3	11	11	0	
		2月	56.1	32.8	36.9	4.2	15	15	0	
		3月	65.4	33.9	35.7	3.7	17	17	0	
		年間	83.7	27.4	36.0	4.4	215	215	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	青郷C	4月	63.5	37.3	39.5	3.1	18	18	0	39.9
		5月	58.0	36.7	39.0	2.5	16	16	0	
		6月	59.7	36.5	39.2	2.6	17	17	0	
		7月	67.7	37.3	39.8	2.9	19	19	0	
		8月	54.7	37.5	39.5	1.6	14	14	0	
		9月	61.7	37.5	39.6	2.6	19	19	0	
		10月	61.8	36.4	38.9	3.2	29	29	0	
		11月	82.8	36.2	40.2	5.4	17	17	0	
		12月	80.3	31.0	40.6	7.1	12	12	0	
		1月	147.7	27.8	38.0	7.8	8	8	0	
		2月	65.4	35.4	40.2	4.7	14	14	0	
		3月	72.8	37.1	39.7	4.2	16	16	0	
		年間	147.7	27.8	39.5	4.5	199	199	0	
高浜	C	4月	55.5	34.0	36.1	2.6	16	16	0	36.6
		5月	53.7	33.7	35.9	2.1	19	19	0	
		6月	53.8	33.8	36.1	2.6	23	23	0	
		7月	66.2	32.8	36.3	2.9	18	18	0	
		8月	52.5	33.6	35.7	1.6	15	15	0	
		9月	61.7	33.5	36.0	2.7	19	19	0	
		10月	59.9	33.9	36.5	3.2	25	25	0	
		11月	63.5	34.5	38.0	4.7	21	21	0	
		12月	73.3	32.3	38.7	5.5	19	19	0	
		1月	78.4	30.9	37.2	5.0	16	16	0	
		2月	59.8	33.9	37.6	4.1	10	10	0	
		3月	62.6	34.1	36.4	3.5	20	20	0	
		年間	78.4	30.9	36.7	3.7	221	221	0	
和田	C	4月	55.6	34.9	36.8	2.6	18	18	0	37.2
		5月	55.1	34.8	36.5	2.0	22	22	0	
		6月	54.2	34.6	36.8	2.6	23	23	0	
		7月	67.7	35.0	37.1	3.0	17	17	0	
		8月	52.4	34.2	36.4	1.8	14	14	0	
		9月	59.3	34.9	36.7	2.6	15	15	0	
		10月	60.4	35.0	37.5	3.8	29	29	0	
		11月	67.5	35.1	39.0	5.5	24	24	0	
		12月	66.5	33.3	39.6	5.8	20	20	0	
		1月	88.2	31.9	38.2	5.9	15	15	0	
		2月	60.8	35.0	38.6	4.3	12	12	0	
		3月	65.8	35.1	37.2	3.5	17	17	0	
		年間	88.2	31.9	37.5	4.2	226	226	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	田井C	4月	68.3	40.7	42.8	3.0	18	18	0	43.6
		5月	63.3	40.3	42.4	2.2	20	20	0	
		6月	63.2	40.1	42.8	2.7	19	19	0	
		7月	66.9	40.3	43.0	2.8	20	20	0	
		8月	64.0	41.4	43.0	1.7	13	13	0	
		9月	67.1	41.1	43.2	3.1	19	19	0	
		10月	77.4	40.5	43.8	4.7	28	28	0	
		11月	84.9	41.0	45.3	6.3	22	22	0	
		12月	73.5	29.1	45.0	7.8	13	13	0	
		1月	85.3	37.0	43.8	5.1	16	16	0	
		2月	69.3	39.6	44.1	4.4	11	11	0	
		3月	76.8	40.8	43.0	4.0	19	19	0	
		年間	85.3	29.1	43.5	4.5	218	218	0	
		夕潮台	C	4月	46.7	28.1	30.1	2.2	15	
5月	41.7			28.0	30.1	1.6	17	17	0	
6月	46.2			28.2	30.2	1.8	13	13	0	
7月	47.1			28.1	30.3	2.0	18	18	0	
8月	44.0			28.3	30.1	1.5	10	10	0	
9月	41.5			28.4	30.4	1.7	17	17	0	
10月	46.8			28.3	30.6	2.3	24	24	0	
11月	52.4			28.5	31.6	3.5	22	22	0	
12月	65.6			27.3	32.6	5.4	19	19	0	
1月	55.8			27.1	31.3	3.3	15	15	0	
2月	49.9			28.1	31.4	3.5	16	16	0	
3月	60.2			28.4	30.4	3.3	16	16	0	
年間	65.6			27.1	30.8	2.4	202	202	0	

過去平均線量率：2009～2011年度

<第8、9表に関する注釈>

1 第8、9表に示した結果は、1時間値を基に算出したものである。「M+3σ」を超えた時間数の年間値は、月間の時間数の和である。降雨には、降雪も含まれる。

参考として、過去平均線量率の欄に2009～2011年度の平均値（ただし積雪期の第4期を除く）を示した。

2 以下の地点では2009年度以降に観測局周辺の状況変化や測定装置更新等があり、測定値が若干変化した。

(1) 県(A)

- ① 音海Aは、2009年12月から2010年1月にかけて周辺でプール撤去工事が行われ、周辺環境が変化した。
- ② 県18観測局のうち、白木峠Aおよび坂尻Aを除く16観測局について、2011年2月27日から3月22日にかけて測定装置の更新を行った。その結果、装置特性等の違いにより、表1のようにバックグラウンド値が変化した。
- ③ 従来の装置により測定を継続していた白木峠Aおよび坂尻Aは、2011年10月7日から同月17日にかけて装置の更新を行った。その結果、装置特性等の違いにより、表2のようにバックグラウンド値が変化した。
- ④ 小浜Aおよび日角浜Aは観測局舎建て替えに伴うデータ欠測のため、下記の期間における測定結果を統計処理したものである。
 - ・小浜A (2012年11月) : 2012年11月1日1時～11月5日9時
 - ・小浜A (2012年12月) : (全期間欠測)
 - ・小浜A (2013年1月) : (全期間欠測)
 - ・小浜A (2013年2月) : (全期間欠測)
 - ・小浜A (2013年3月) : 2013年3月15日15時～3月31日24時
 - ・日角浜A (2013年1月) : 2013年1月1日1時～1月24日10時
 - ・日角浜A (2013年2月) : (全期間欠測)
 - ・日角浜A (2013年3月) : 2013年3月4日15時～3月31日24時
- ⑤ 小浜Aおよび日角浜Aは、観測局舎建て替え期間中、可搬型モニタリングポスト（代替機）による測定を行った。その結果、放射性物質の放出に起因する線量率上昇は観測されなかった。
- ⑥ 小浜Aおよび日角浜Aは2012年11月から2013年3月にかけて局舎の建替を行った。その結果、表3のようにバックグラウンド値が変化した。

表1 測定装置更新に伴う空間線量率の変化

単位：nGy/h

局名	更新期間	更新前	更新後	局名	更新期間	更新前	更新後
敦賀A	2011.2.28～2011.3.3	53.0	58.8	日角浜A	2011.3.14～2011.3.16	38.8	44.0
浦底A	2011.3.2～2011.3.4	66.1	73.8	宮留A	2011.3.15～2011.3.17	32.6	35.9
立石A	2011.3.5～2011.3.7	62.3	69.2	阿納尻A	2011.3.10～2011.3.12	29.7	31.1
河野A	2011.3.7～2011.3.9	42.8	47.1	長井A	2011.3.12～2011.3.15	34.6	36.4
白木A	2011.3.4～2011.3.6	70.9	77.5	小黒飯A	2011.3.17～2011.3.19	36.5	40.2
丹生A	2011.3.6～2011.3.8	53.6	60.2	音海A	2011.3.18～2011.3.19	40.5	43.6
竹波A	2011.3.3～2011.3.5	61.8	71.3	神野浦A	2011.3.21～2011.3.22	26.6	29.1
小浜A	2011.3.9～2011.3.11	42.5	47.6	山中A	2011.3.20～2011.3.22	26.1	28.3

※ 降雨影響時刻および積雪期間を除いた、更新前2010年11月(11/1～11/30)と更新後2011年4月(4/26～5/22)の平均値を示した。

表2 測定装置更新に伴う空間線量率の変化

単位：nGy/h

局名	更新期間	更新前	更新後
白木峠A	2011. 10. 8 ~ 2011. 10. 17	71. 4	79. 6
坂尻A	2011. 10. 7 ~ 2011. 10. 14	54. 3	60. 7

※ 降雨影響時刻を除いた、更新前2011年9月(9/1～9/30)と更新後2011年10月(10/18～11/17)の平均値を示した。

表3 観測局舎建替工事に伴う空間線量率の変化

単位：nGy/h

局名	建替期間	建替前	建替後
小浜A	2012. 11. 5 ~ 2013. 3. 15	47. 8	37. 7
日角浜A	2013. 1. 24 ~ 2013. 3. 4	42. 0	29. 9

※ 更新前後の値は、建替期間前または後1ヶ月間の積雪・降水影響時を除いた1時間平均値を示した。

(2) 原電(B)

- ① 水試裏Bでは、2010年9月から2011年7月にかけて、周辺に物品を仮置きしていた影響により、周辺環境が変化し、地表面からの放射線がしゃへいされて線量率が低下した。
- ② 日本原電10観測局について、2011年11月12日から2012年3月1日にかけて測定装置の更新を行った。その結果、装置特性等の違いにより、表4のようにバックグラウンド値が変化した。

表4 測定装置更新に伴う空間線量率の変化

単位：nGy/h

測定地点	更新期間	更新前	更新後
立石B	2012. 1. 17 ~ 2012. 1. 20	90. 8	87. 7
立石山頂B	2011. 11. 23 ~ 2011. 11. 29	77. 2	72. 8
猪ヶ池B	2011. 11. 12 ~ 2011. 11. 17	80. 1	77. 3
浦底B	2011. 11. 18 ~ 2011. 11. 24	74. 4	73. 1
水試裏B	2012. 1. 23 ~ 2012. 1. 26	77. 5	76. 2
色ヶ浜B	2012. 2. 14 ~ 2012. 2. 17	79. 3	79. 3
五幡B	2012. 1. 30 ~ 2012. 2. 2	46. 4	46. 2
杉津B	2012. 2. 20 ~ 2012. 2. 23	50. 2	49. 6
甲楽城B	2012. 2. 27 ~ 2012. 3. 1	43. 7	42. 7
今庄B	2011. 12. 12 ~ 2011. 12. 16	39. 8	44. 1

※積雪期間および降雨影響時刻を除いた、更新前2011年10月(10/1～10/30)と更新後2012年4月(4/1～4/30)の平均値を示した。

(3) 関電(C)

- ① 青郷Cは、青郷小学校体育館改修のため2009年5月から2009年12月にかけて周辺で工事が行われ、その間周辺環境が変化するとともに線量率が変化した。
- ② 美浜地区11観測局について、2012年6月18日から2013年2月20日にかけて測定装置の更新を行なった。その結果、装置特性等の違いにより、表5のようにバックグラウンド値が変化した。

表5 測定装置更新に伴う空間線量率の変化

単位：nGy/h

測定地点	更新期間	更新前	更新後
奥浦C	2012. 7. 9 ~ 2013. 2. 20	58.6	57.8
丹生C	2012. 6. 18 ~ 2013. 2. 20	51.7	47.7
丹生寮C	2012. 7. 2 ~ 2013. 2. 20	47.2	46.0
竹波C	2012. 6. 25 ~ 2013. 2. 20	73.2	70.9
菅浜C	2012. 8. 20 ~ 2013. 2. 20	36.0	35.1
佐田C	2012. 8. 27 ~ 2013. 2. 20	53.3	51.0
早瀬C	2012. 9. 18 ~ 2013. 2. 20	32.9	32.3
郷市C	2012. 9. 3 ~ 2013. 2. 20	34.5	32.7
日向C	2012. 9. 10 ~ 2013. 2. 20	40.5	39.4
新庄C	2012. 9. 24 ~ 2013. 2. 20	59.0	57.4
三方C	2012. 10. 1 ~ 2013. 2. 20	30.2	28.9

※降雨影響を除いた、更新前2012年4月(4/1~4/30)と更新後2013年4月(4/1~4/30)の平均値を示した。

(4) 機構 (D)

- ① 白木ⅠD~白木ⅣDは、測定装置の更新に伴うデータ欠測のため、下記の期間における測定結果を統計処理したものである。なお、白木ⅡDの8月分については全データが欠測した。
- ・白木ⅠD(6月分)：2012年6月1日1時~6月14日11時
 - ・白木ⅠD(7月分)：2012年7月27日20時~7月31日24時
 - ・白木ⅡD(7月分)：2012年7月1日1時~7月27日20時
 - ・白木ⅡD(9月分)：2012年9月7日16時~9月30日24時
 - ・白木ⅢD(9月分)：2012年9月1日1時~9月7日17時
 - ・白木ⅢD(10月分)：2012年10月15日18時~10月31日24時
 - ・白木ⅣD(10月分)：2012年10月1日1時~10月16日10時
 - ・白木ⅣD(11月分)：2012年11月21日17時~11月30日24時
- ② 白木ⅠD~白木ⅣDは、測定装置更新期間中、可搬型モニタリングポスト(代替機)による測定を行っているが、放射性物質の放出に起因する線量上昇は観測されなかった。
- ③ 白木ⅠD~白木ⅣDは、2012年6月14日から11月21日にかけて測定装置の更新を行った。その結果、装置特性等の違いにより、表6のようにバックグラウンド値が変化した。

表6 測定装置更新に伴う空間線量率の変化

単位：nGy/h

測定地点	更新期間	更新前(期間)	更新後
白木ⅠD	2012. 6. 14~2012. 7. 27	63.8 (2012. 5. 1~2012. 5. 31)	67.9 (2012. 8. 1~2012. 8. 31)
白木ⅡD	2012. 7. 27~2012. 9. 7	37.7 (2012. 6. 1~2012. 6. 30)	39.2 (2012. 9. 8~2012. 10. 7)
白木ⅢD	2012. 9. 7~2012. 10. 15	56.0 (2012. 8. 1~2012. 8. 31)	55.3 (2012. 10. 16~2012. 11. 15)
白木ⅣD	2012. 10. 16~2012. 11. 21	46.2 (2012. 9. 1~2012. 9. 30)	44.7 (2012. 11. 22~2012. 12. 21)

※降雨および降雪影響時刻を除いた更新前後の平均値を示した。

3 観測局の気象観測について

観測局に気象観測装置（雨量計、感雨計）が実装されている局、またはその近傍に併設されている局は表7のとおりである。

表7 気象観測装置実装局

地区	気 象 観 測 局 名 称					備 考
敦賀	敦 賀A	浦 底A	立 石A	河 野A	沓 D	*：線量率連続測定地点から幾分離れて気象観測装置が設置されているもの。
	赤 崎D	杉 津B	甲楽城B	今 庄B	越前厨D	
白木	白 木A	白木峠A	松ヶ崎D	—	—	
美浜	丹 生A	竹 波A	坂 尻A	竹 波C*	新 庄C*	
	郷 市C	三 方C*	—	—	—	
大飯	小 浜A	日角浜A	宮 留A	阿納尻A	長 井A	
	日角浜C	本 郷C	小 浜C	名田庄C*	上 中C	
高浜	小黒飯A	音 海A	神野浦A	山 中A	神野浦C	
	高 浜C*	夕潮台C*	—	—	—	

気象観測装置が設置されていない局については、表8のように近くの地点で気象観測装置（雨量計と感雨計）が設置されている局で代用する。

表8 気象観測装置代用局一覧

測 定 地 点	代 用 局	測 定 地 点	代 用 局
ふげん北D	敦賀発電所気象露場	佐 田C	郷 市C
立 石B		早 瀬C	
立石山頂B		日 向C	
ふげん西D		宮 留C	日角浜C
猪ヶ池B		川 上C	本 郷C
浦 底B		鹿 野C	小 浜C
水 試 裏B		加 斗C	
色ヶ浜B	西 津C	夕潮台C	
五 幡B	杉津B		
阿 曾D	赤崎D	田ノ浦C	神野浦C
白 木ID	もんじゅ気象露場	音 海C	
白 木IID		小黒飯C	
白 木IIID		日 引C	
白 木IIVD		田 井C	
奥 浦C	落合川ポンプ場	青 郷C	高浜（関電高浜営業所）
丹 生C		高 浜C	
丹生寮C		和 田C	
竹 波C		夕潮台C	舞鶴（関電舞鶴営業所）
菅 浜C			

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
敦賀	立石A6	0.227	0.217	0.244	0.231	0.920	(0.230)	(0.920)	10.07
	立石山頂B1	0.227	0.236	0.228	0.206	0.897	0.226	0.904	04.04
	ふげん西D2	0.161	0.168	0.170	0.154	0.653	0.161	0.644	03.04
	猪ヶ池B1	0.228	0.237*	0.232	0.223	0.920	0.232	0.928	04.04
	原子力館B	0.197	0.204	0.195*	0.195	0.791	0.201	0.804	04.04
	水産試験場B2	0.167	0.178	0.180	0.176	0.701	0.180	0.720	04.04
	明神寮B2	0.220	0.234	0.227	0.221	0.902	0.226	0.904	04.04
	浦底A6	0.249	0.239	0.253	0.241	0.980	(0.234)	(0.936)	10.07
	水試裏B1	0.238	0.248	0.237	0.210	0.933	0.246	0.984	04.04
	色ヶ浜A4	0.249	0.262	0.276	0.270	1.056	(0.260)	(1.040)	10.07
	手ノ浦A4	0.202	0.221	0.226	0.219	0.869	(0.212)	(0.848)	10.07
	手ノ浦B3	0.232	0.236	0.230	0.217	0.915	0.225	0.900	04.04
	沓B5	0.262	0.278	0.266	0.247	1.053	0.255	1.020	04.04
	常宮A4	0.213	0.212	0.210	0.224	0.860	(0.223)	(0.892)	10.07
	常宮B4	0.221	0.226	0.220	0.213	0.880	0.217	0.868	09.04
	縄間B	0.265	0.270	0.265	0.257	1.057	0.262	1.048	04.04
	名子B1	0.176	0.180	0.178	0.170	0.704	0.174	0.696	06.04
	松島B3	0.213	0.219	0.212	0.204	0.848	0.212	0.848	04.04
	松栄B3	0.210	0.218	0.209	0.204	0.841	0.205	0.820	04.04
	赤崎A4	0.187	0.177	0.189	0.180	0.733	(0.172)	(0.688)	10.07
	阿曽A3	0.171	0.178	0.183	0.185	0.717	(0.182)	(0.728)	10.07
	杉津A5	0.164	0.163	0.170	0.174	0.670	(0.164)	(0.656)	10.07
	元比田A6	0.160	0.162	0.163	0.169	0.654	(0.159)	(0.636)	10.07
	大谷A4	0.161	0.168	0.170	0.175	0.673	(0.172)	(0.688)	10.07
大良B	0.179	0.183	0.177	0.171	0.710	0.173	0.692	04.04	
吉河A3	0.157	0.171	0.167	0.170	0.665	(0.166)	(0.664)	10.07	

過去の平均値：2007～2011年度

(注)：県Aは素子を更新したため、過去実績は2年未満（7期分）である。

(注)*：p87参照

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
白木	白木ⅠD2	0.223	0.231	0.270	0.222	0.946	0.229	0.916	03.04
	白木ⅡD2	0.153	0.156	0.179	0.149	0.637	0.155	0.620	03.04
	白木ⅢD2	0.217	0.218	0.222	0.210	0.867	0.216	0.864	03.04
	白木ⅣD2	0.194	0.201	0.204	0.186	0.785	0.196	0.784	03.04
	白木A5	0.222	0.216	0.217	0.225	0.879	(0.217)	(0.868)	10.07
	白木D6	0.238	0.247	0.253	0.229	0.967	0.241	0.964	03.04
	松ヶ崎D2	0.229	0.235	0.234	0.220	0.918	0.229	0.916	03.04
	白城神社A3	0.234	0.220	0.247	0.243	0.943	(0.236)	(0.944)	10.07
	白城神社D4	0.224	0.229	0.236	0.212	0.901	0.226	0.904	03.04
	門ヶ崎D3	0.251	0.265	0.267	0.242	1.025	0.254	1.016	03.04
	白木トンネル北口A3	0.242	0.254	0.255	0.257	1.008	(0.254)	(1.016)	10.07
	白木トンネル北口D3	0.233	0.246	0.245	0.219	0.943	0.232	0.928	03.04
	白木トンネル南口A3	0.211	0.223	0.221	0.220	0.875	(0.218)	(0.872)	10.07
	もんじゅ寮D1	0.237	0.238	0.227	0.219	0.921	0.235	0.940	04.04
美浜	奥浦C	0.216	0.220	0.222	0.226	0.884	0.217	0.868	96.04
	丹生診療所C6	0.174	0.169	0.176	0.170	0.689	0.173	0.692	97.01
	丹生A5	0.171	0.186	0.185	0.197	0.739	(0.184)	(0.736)	10.07
	丹生C3	0.184	0.182	0.191	0.185	0.742	0.182	0.728	96.04
	丹生小中学校A1	0.199	0.198	0.195	0.215	0.807	(0.208)	(0.832)	10.07
	丹生寮C5	0.208	0.212	0.214	0.215	0.849	0.214	0.856	97.01
	竹波A5	0.220	0.215	0.217	0.225	0.878	(0.219)	(0.876)	10.07
	竹波C5	0.213	0.218	0.224	0.221	0.876	0.219	0.876	96.10
	馬背川C2	0.204	0.211	0.224	0.211	0.850	0.216	0.864	96.04
	菅浜A4	0.198	0.202	0.206	0.211	0.817	(0.201)	(0.804)	10.07
	菅浜C2	0.164	0.164	0.177	0.168	0.673	0.169	0.676	96.04
	けやき台C1	0.151	0.149	0.158	0.153	0.611	0.152	0.608	96.04
	佐田A4	0.176	0.174	0.174	0.185	0.708	(0.174)	(0.696)	10.07

過去の平均値：2007～2011年度

(注)：県Aは素子を更新したため、過去実績は2年未満（7期分）である。

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
美浜	坂尻C2	0.170	0.172	0.178	0.177	0.697	0.171	0.684	96.04
	新庄C3	0.170	0.168	0.176	0.178	0.692	0.171	0.684	97.01
	和田A1	0.170	0.166	0.179	0.180	0.695	(0.177)	(0.708)	10.07
	郷市C6	0.136	0.135	0.141	0.140	0.552	0.139	0.556	97.01
	久々子C1	0.142	0.144	0.154	0.149	0.589	0.144	0.576	96.04
	早瀬C5	0.138	0.137	0.142	0.144	0.561	0.138	0.552	97.07
	日向C5	0.153	0.151	0.159	0.160	0.623	0.158	0.632	97.01
	三方C4	0.121	0.118	0.125	0.125	0.489	0.120	0.480	96.10
	沓見C	0.184	0.189	0.195	0.185	0.753	0.187	0.748	04.04
大飯	赤礁崎C	0.106	0.103	0.110	0.110	0.429	0.107	0.428	04.04
	宮留奥A1	0.108	0.112	0.113	0.121	0.454	(0.116)	(0.464)	10.07
	宮留A7	0.119	0.123	0.125	0.128	0.496	(0.126)	(0.504)	10.07
	宮留C3	0.117	0.112	0.122	0.118	0.469	0.119	0.476	02.10
	日角浜C3	0.113	0.108	0.121	0.116	0.458	0.116	0.464	02.10
	西村A3	0.115	0.120	0.129	0.121	0.486	(0.121)	(0.484)	10.07
	西村C1	0.088	0.084	0.095	0.091	0.358	0.089	0.356	96.04
	犬見C2	0.122	0.120	0.126	0.124	0.492	0.125	0.500	96.04
	本郷A5	0.128	0.134	0.139	0.143	0.544	(0.137)	(0.548)	10.07
	本郷C5	0.121	0.117	0.127	0.126	0.491	0.124	0.496	04.07
	鯉川A3	0.129	0.126	0.137	0.131	0.524	(0.135)	(0.540)	10.07
	加斗A5	0.137	0.152	0.143	0.150	0.582	(0.141)	(0.564)	10.07
	西勢A3	0.125	0.126	0.134	0.138	0.523	(0.132)	(0.528)	10.07
	東勢C1	0.127	0.118	0.135	0.126	0.506	0.125	0.500	96.04
	小浜市野球場C2	0.126	0.124	0.131	0.131	0.512	0.129	0.516	02.10
	小浜市大原A4	0.171	0.163	0.175	0.166	0.675	(0.172)	(0.688)	10.07
	若狭健康福祉センターA3	0.165	0.155	0.166	0.175	0.661	(0.170)	(0.680)	10.07
	西津A3	0.144	0.130	0.145	0.144	0.562	(0.142)	(0.568)	10.07

過去の平均値：2007～2011年度

(注)：県Aは素子を更新したため、過去実績は2年未満（7期分）である。

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量(92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
大飯	西津C3	0.113	0.109	0.120	0.120	0.462	0.115	0.460	02.10
	堅海A3	0.143	0.141	0.147	0.145	0.575	(0.149)	(0.596)	10.07
	堅海C3	0.125	0.122	0.132	0.132	0.511	0.128	0.512	02.10
	泊C2	0.131	0.125	0.141	0.135	0.532	0.135	0.540	96.04
	川上C4	0.126	0.122	0.134	0.132	0.514	0.128	0.512	02.07
	鹿野C5	0.121	0.119	0.129	0.127	0.496	0.124	0.496	02.10
	名田庄C3	0.130	0.124	0.136	0.132	0.522	0.128	0.512	02.10
	上中C3	0.107	0.105	0.113	0.114	0.439	0.108	0.432	02.10
高浜	音海A4	0.127	0.115	0.129	0.127	0.499	(0.131)	(0.524)	10.07
	音海C4	0.121	0.117	0.130	0.121	0.489	0.123	0.492	99.01
	音海県道C1	0.109	0.107	0.118	0.113	0.447	0.111	0.444	96.04
	田ノ浦C	0.114	0.114	0.121	0.115	0.464	0.116	0.464	99.01
	小黑飯A4	0.141	0.130	0.139	0.134	0.544	(0.142)	(0.568)	10.07
	小黑飯C3	0.121	0.119	0.127	0.124	0.491	0.123	0.492	99.01
	旧神野小学校A1	0.128	0.124	0.130	0.128	0.511	(0.131)	(0.524)	10.07
	神野A5	0.111	0.110	0.109	0.116	0.447	(0.113)	(0.452)	10.07
	神野浦C2	0.097	0.094	0.103	0.099	0.393	0.098	0.392	96.04
	山中A4	0.137	0.119	0.136	0.130	0.523	(0.134)	(0.536)	10.07
	山中C2	0.091	0.089	0.097	0.094	0.371	0.092	0.368	96.04
	下A3	0.111	0.107	0.108	0.111	0.438	(0.109)	(0.436)	10.07
	日引C3	0.112	0.107	0.120	0.113	0.452	0.112	0.448	96.04
	上瀬A3	0.092	0.089	0.092	0.096	0.369	(0.096)	(0.384)	10.07
	六路谷A4	0.105	0.097	0.105	0.107	0.415	(0.108)	(0.432)	10.07
	六路谷C2	0.131	0.128	0.136	0.131	0.526	0.130	0.520	96.04
	高野C	0.125	0.122	0.130	0.125	0.502	0.125	0.500	04.04
	青郷C2	0.127	0.124	0.128	0.128	0.507	0.127	0.508	96.04
東三松A5	0.151	0.148	0.141	0.151	0.590	(0.149)	(0.596)	10.07	

過去の平均値：2007～2011年度

(注)：県Aは素子を更新したため、過去実績は2年未満(7期分)である。

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
高浜	東三松C2	0.119	0.116	0.127	0.121	0.483	0.120	0.480	96.04
	高浜町役場A4	0.104	0.093	0.107	0.100	0.404	(0.108)	(0.432)	10.07
	高浜C	0.107	0.104	0.114	0.111	0.436	0.110	0.440	99.01
	和田C3	0.115	0.111	0.121	0.116	0.463	0.117	0.468	96.04
	田井C3	0.134	0.133	0.140	0.143	0.550	0.138	0.552	99.01
	夕潮台C2	0.099	0.098	0.107	0.103	0.407	0.102	0.408	96.04
対照	金津A3	0.146	0.142	0.138	0.151	0.577	(0.165)	(0.660)	10.07
	川西A4	0.122	0.121	0.127	0.128	0.498	(0.130)	(0.520)	10.07
	福井市原目町A3	0.153	0.140	0.150	0.136	0.579	(0.148)	(0.592)	10.07
	殿下A4	0.155	0.156	0.155	0.161	0.628	(0.165)	(0.660)	10.07
	勝山A4	0.191	0.176	0.179	0.169	0.715	(0.175)	(0.700)	10.07
	美山A5	0.140	0.126	0.141	0.134	0.542	(0.141)	(0.564)	02.04
	宮崎A4	0.147	0.140	0.151	0.148	0.585	(0.145)	(0.580)	10.07
	武生A3	0.154	0.148	0.142	0.146	0.590	(0.152)	(0.608)	10.07
	越前市妙法寺町A1	0.213	0.198	0.208	0.211	0.830	(0.208)	(0.832)	10.07
	池田A3	0.154	0.141	0.150	0.138	0.583	(0.148)	(0.592)	10.07

過去の平均値：2007～2011年度

(注)：県Aは素子を更新したため、過去実績は2年未満（7期分）である。

<第 10 表に関する注釈>

- (1) 第 10 表に示した年間積算値は、四半期値の和である。過去の平均値は、2007 年度第 1 期から 2011 年度第 4 期までのデータから算出した。2007 年度第 1 期以降に設置状況や周辺環境に変化があった場合は、その時点からの平均値を示した。
設置状況等の変化により過去のデータが 2 年未満の地点については、平均値を () で示した。
- (2) 立石 A 4 は、2006 年 2 月から 3 月にかけて、周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。暫定的に同じ地点番号として取り扱ってきた。2007 年度第 1 期に、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、有意差が認められたため、2006 年度第 1 期から地点番号をひとつ進めて「立石 A 5」とした。
- (3) 名子 B は、N T T による携帯電話の無線基地局の設置（工事期間：2006 年 3 月～4 月）に伴い周辺環境が変化した。暫定的に同じ地点番号として取り扱ってきた。しかし、2006 年度の年間積算値において、平常の変動幅を下回った。このため、周辺環境の変化が生じた前後（2004 年度第 1 期～2005 年度第 4 期と 2006 年度第 1 期～2007 年度第 1 期）で、データの有意差検定を行ったところ、有意差が認められたため、2006 年度第 1 期から地点番号をひとつ進めて「名子 B 1」とした。
- (4) (独)日本原子力研究開発機構は、2007 年度第 1 期から積算線量測定に、これまでの T L D に替えて蛍光ガラス線量計（RPLD）を採用している。従って、2007 年度第 1 期から地点番号を一つずつ進めた。
- (5) 東三松 C 2 は、2007 年 7 月より約 2m 移動するとともに、道路拡張工事のため 2007 年 9 月から 10 月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2008 年度第 3 期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (6) 奥浦 C は、道路改良工事のため 2007 年 10 月から 2008 年 6 月にかけて周辺で工事が行われ周辺環境が変化した。暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2009 年度第 2 期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (7) 丹生寮 C 5 は、関電丹生寮建て替えのため 2008 年 1 月から 11 月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2009 年度第 3 期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (8) 菅浜 C 2 は、2008 年 7 月から 10 月にかけて周辺で新築工事が行われたと共に、11 月に約 2.6m 移動するなど周辺環境が変化した。暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2009 年度第 3 期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (9) 武生 A 2 は、2008 年 11 月から駐車場拡張工事が行われ、12 月初めに県道側に約 20m 移動するなど周辺環境が変化した。暫定的に従来と統一地点として取り扱ってきた。2009 年度第 4 期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (10) 「勝山 A 2」は、行政組織統合により 2009 年 1 月に旧奥越健康福祉センターから奥越土木事務所（勝山土木部）に地点を約 800m 移設したため、2008 年度第 4 期から地点番号をひとつ進めて、「勝山 A 3」とした。
- (11) 音海 A 3 は、2008 年 1 月に駐車場整備のため、約 1.5m 移動して、周辺環境が変化して

- いる。2008年度第4期に測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (12) 山中A3は、2008年1月に衛星アンテナ設置のため、約0.7m移動し、周辺環境が変化している。2008年度第4期に測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (13) 竹波A4は、2008年1月に衛星アンテナ設置のため、約2m移動し、周辺環境が変化している。2008年度第4期に測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱った。
- (14) 2008年度第4期の手ノ浦A3、白木A4および竹波A4の測定結果が平常の変動幅「平均値+標準偏差の3倍」を超過したため、県のTLDリーダー更新前後（2002年度第1期～2005年度第4期と2006年度第1期～2008年度第4期）で、県の全ての積算線量測定地点（51地点）について、測定値の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行った。結果は、21地点で、「平均値の差」および「ばらつきの差」のいずれかに有意差があった。このことから、県は、2009年度の積算線量測定結果の評価に用いる「過去の平均値」および「平常の変動幅」の算出にあたっては、新TLDリーダー採用後の2006年度第1期からのデータを用いた。
- (15) 佐田A2は、あおなみ保育園建て替え工事のため、2008年度第2期から2008年度第4期まで測定を休止していたが、工事が2009年3月末までに完了したので、2009年度第1期から測定を再開した。設置環境が変化したため、地点番号をひとつ進めて2009年度第1期から「佐田A3」とする。
- (16) 常宮B3は、2009年4月に測定地点周辺の整備工事のため約30m移動し、周辺環境が変化していたが、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2010年度第1期に、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、有意差が認められたため、2009年度第1四半期から地点番号をひとつ進め、常宮B4として取り扱う。
- (17) 県は2012年度第1期から、新しいTLD素子を採用した。事前に行った並行測定の結果を用いて有意差検定を行ったところ、新旧素子間で有意差が認められたため、2012年度第1期から地点番号を1つずつ進めた。なお、新旧素子の並行測定を2010年度第2期から2011年度第4期まで実施したが、過去の平均値として、新素子データの結果を用いている。（平成24年度第1四半期報告書 付録5 p.87～p.90 参照）
- (18) 「沓B5」は、2012年6月に寺院の建替えに伴い約20m移動するとともに、周辺の整地が行われ周辺環境が変化しているが、過去の平常の範囲内であることから1年間データの蓄積を待って有意差検定を行うものとし、暫定的に移設前のデータとして取り扱う。
- (19) 「猪ヶ池B1」は、線量計不具合により36日間（2012年7月11日15時から2012年8月16日13時）欠測したことから参考値扱いとする。
- (20) 「原子力館B」は、線量計不具合により欠測した2日間（2012年10月2日13時から2012年10月4日15時）のデータを除外して92日間の積算線量に換算した。

第 1 1 表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、

単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比 M	月間標準偏差 σ	M + 3σ を超えた数
敦賀	浦底 A	4 月	21.2	0.2	3.2	3.4	41.7	0.4	6.5	6.9	57	43	50	3	0
		5 月	19.8	0.1	3.6	3.6	42.7	0.3	7.4	7.4	59	43	49	2	2
		6 月	20.8	0.3	3.8	3.9	37.2	0.7	7.3	7.4	61	45	52	3	0
		7 月	24.3	0.3	5.3	5.2	48.6	0.6	10.2	10.2	64	44	52	4	2
		8 月	20.5	0.3	2.5	2.9	38.9	0.5	4.8	5.5	60	46	53	3	0
		9 月	20.2	0.2	3.4	3.0	38.5	0.4	6.5	5.8	62	45	52	3	1
		10 月	14.6	0.6	3.6	2.4	29.3	1.1	7.1	4.7	59	45	51	3	0
		11 月	8.9	0.4	2.8	1.3	17.9	0.7	5.5	2.6	62	43	52	3	1
		12 月	9.4	0.5	2.4	1.4	18.9	0.9	4.5	2.7	61	43	53	3	0
		1 月	10.2	0.3	2.7	1.8	20.1	0.5	5.1	3.3	63	45	52	3	1
		2 月	8.9	0.6	2.7	1.4	17.5	1.2	5.4	2.7	59	42	50	3	0
		3 月	20.6	0.6	3.2	2.3	38.2	1.3	6.6	4.7	61	42	49	3	2
		年間	24.3	0.1	3.3	3.0	48.6	0.3	6.4	6.0	64	42	51	3	9
過去実績	30.6	0.1	3.5	3.1	56.2	0.2	6.7	6.0	67	41	53	4	5		
立石 A	立石 A	4 月	11.8	0.2	2.7	1.7	25.7	0.4	5.3	3.4	58	44	51	3	0
		5 月	11.3	0.1	3.0	2.2	23.4	0.3	6.1	4.7	62	44	49	3	3
		6 月	10.4	0.4	3.1	2.1	19.1	0.8	6.1	4.2	60	42	50	3	2
		7 月	15.9	0.4	4.1	2.7	31.9	0.7	8.1	5.4	62	43	51	4	1
		8 月	10.8	0.3	2.5	1.7	19.6	0.6	4.7	3.3	63	45	53	3	0
		9 月	10.8	0.2	2.9	2.1	21.4	0.4	5.6	4.1	60	46	52	3	0
		10 月	11.7	0.6	3.0	1.6	24.1	1.1	5.9	3.2	58	45	51	2	0
		11 月	6.3	0.4	2.8	1.2	12.7	0.7	5.4	2.5	59	46	51	3	0
		12 月	8.4	0.4	2.3	1.2	16.6	0.9	4.5	2.4	59	44	51	3	0
		1 月	7.3	0.3	2.4	1.2	14.2	0.5	4.7	2.4	60	43	51	3	1
		2 月	7.7	0.9	2.6	1.1	13.9	1.6	4.9	2.0	60	45	52	3	0
		3 月	13.6	0.5	2.9	1.5	26.3	0.9	5.7	3.0	59	46	51	3	0
		年間	15.9	0.1	2.8	1.8	31.9	0.3	5.6	3.7	63	42	51	3	7
過去実績	18.5	0.1	3.0	2.0	35.5	0.3	5.8	3.9	68	41	52	3	8		

過去実績：2009～2011年度

(注 1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも 3 時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注 2) 「M + 3σ を超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注 3) 「平均値 + 標準偏差の 3 倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも連続測定で検出可能なレベルでの人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第 1 1 表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、

単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比 M	月間標準偏差 σ	M + 3σ を超えた数
白木	白木 A	4 月	21.1	0.2	3.1	2.8	40.8	0.4	6.1	5.6	60	45	51	3	1
		5 月	22.9	0.1	3.5	3.2	45.2	0.3	7.0	6.3	61	44	50	3	1
		6 月	24.0	0.3	4.1	4.0	42.6	0.5	7.7	7.4	62	46	53	3	1
		7 月	22.8	0.3	5.3	4.6	42.6	0.7	10.2	8.9	62	44	53	3	0
		8 月	26.6	0.3	3.0	3.3	51.5	0.5	5.6	6.2	65	46	54	3	1
		9 月	17.1	0.2	3.3	2.9	31.3	0.5	6.2	5.5	60	47	53	3	0
		10 月	10.4	0.5	3.0	1.7	20.9	1.0	5.9	3.3	60	45	51	3	1
		11 月	5.5	0.4	2.6	1.1	10.2	0.7	5.1	2.3	62	45	51	3	3
		12 月	6.8	0.5	2.2	1.1	14.5	1.0	4.4	2.3	59	42	50	4	0
		1 月	8.4	0.2	2.4	1.5	17.3	0.5	4.8	3.0	57	43	50	3	0
		2 月	12.0	0.7	2.6	1.4	23.3	1.4	5.2	2.7	58	43	50	3	0
		3 月	15.9	0.5	3.1	1.8	28.4	1.0	6.3	3.5	58	43	50	3	0
		年間	26.6	0.1	3.2	2.8	51.5	0.3	6.2	5.4	65	42	51	3	8
過去実績	30.6	0.1	3.3	3.0	57.3	0.2	6.3	5.6	70	42	53	4	8		
白木	白木峠 A	4 月	7.8	0.2	1.9	0.9	16.1	0.3	3.8	1.8	58	45	51	2	2
		5 月	6.2	0.1	2.0	1.3	12.6	0.3	4.1	2.6	62	44	50	2	3
		6 月	6.6	0.3	2.2	1.4	13.6	0.5	4.3	2.7	61	44	51	3	1
		7 月	11.3	0.3	2.9	1.8	23.3	0.6	5.6	3.6	64	43	52	4	1
		8 月	8.0	0.2	1.7	1.3	15.8	0.5	3.3	2.6	63	44	53	4	0
		9 月	8.3	0.2	1.9	1.3	16.1	0.3	3.6	2.5	64	45	53	3	2
		10 月	6.4	0.5	2.4	1.0	11.9	0.9	4.5	1.9	60	46	52	3	1
		11 月	5.0	0.4	2.4	1.1	9.6	0.7	4.7	2.1	61	45	52	3	2
		12 月	5.7	0.5	2.0	0.9	11.5	0.8	3.9	1.8	59	43	52	3	0
		1 月	4.9	0.3	2.0	0.9	9.0	0.5	4.0	1.8	67	45	52	3	4
		2 月	6.7	0.6	2.3	0.9	12.6	1.2	4.4	1.7	59	46	53	3	0
		3 月	6.6	0.7	2.5	0.9	12.7	1.3	5.0	1.9	58	44	51	3	0
		年間	11.3	0.1	2.2	1.2	23.3	0.3	4.3	2.4	67	43	52	3	16
過去実績	12.7	0.1	2.4	1.4	26.5	0.2	4.6	2.7	75	40	53	4	14		

過去実績：2009～2011年度

(注 1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも 3 時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注 2) 「M + 3σ を超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注 3) 「平均値 + 標準偏差の 3 倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものであると見なされる。

第 1 1 表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、

単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比 M	月間標準偏差 σ	M + 3σ を超えた数
美浜	丹生 A	4 月	18.4	0.2	2.9	2.5	34.6	0.4	5.4	4.7	61	48	54	3	0
		5 月	19.0	0.2	3.1	2.7	35.7	0.3	5.8	5.2	63	47	53	3	2
		6 月	11.4	0.3	3.1	2.5	21.0	0.4	5.8	4.6	63	48	54	3	2
		7 月	14.8	0.4	4.1	3.1	27.4	0.7	7.4	5.7	67	46	55	4	0
		8 月	12.4	0.3	2.2	2.1	23.7	0.5	4.0	3.8	68	49	57	4	0
		9 月	12.4	0.2	2.7	2.2	20.8	0.4	4.9	3.9	65	50	56	3	0
		10 月	11.6	0.6	3.1	1.9	21.1	1.0	5.7	3.4	62	47	55	3	0
		11 月	7.7	0.4	2.7	1.4	13.7	0.7	5.1	2.6	65	48	54	3	1
		12 月	6.6	0.5	2.2	1.1	13.1	0.9	4.1	2.1	64	47	54	3	1
		1 月	8.0	0.3	2.4	1.5	15.4	0.5	4.6	2.8	60	46	53	3	0
		2 月	8.6	0.8	2.6	1.2	16.8	1.5	4.9	2.3	63	46	53	3	1
		3 月	13.0	0.6	3.2	1.9	24.1	1.0	5.9	3.5	65	46	55	3	1
		年間	19.0	0.2	2.9	2.2	35.7	0.3	5.3	4.0	68	46	55	3	8
過去実績	19.0	0.1	3.0	2.2	35.7	0.2	5.3	4.0	74	46	56	4	10		
竹波 A	竹波 A	4 月	17.2	0.2	3.4	3.0	34.2	0.4	6.7	6.1	57	44	51	2	0
		5 月	17.1	0.1	3.5	3.1	35.7	0.2	7.2	6.4	62	44	50	3	3
		6 月	20.9	0.3	4.0	3.9	36.7	0.6	7.6	7.2	67	46	53	3	3
		7 月	21.7	0.4	5.6	4.7	42.2	0.7	10.6	8.9	65	44	53	3	2
		8 月	15.1	0.3	3.0	2.9	30.8	0.5	5.7	5.6	66	46	54	4	1
		9 月	16.2	0.2	3.6	3.0	29.3	0.4	6.7	5.6	63	48	54	3	1
		10 月	10.6	0.5	3.4	1.8	21.0	0.9	6.3	3.4	60	46	53	2	0
		11 月	9.0	0.4	2.9	1.6	17.5	0.7	5.6	3.1	65	45	53	3	1
		12 月	13.4	0.5	2.5	1.6	22.6	1.0	4.6	2.9	63	44	54	3	1
		1 月	10.1	0.3	3.0	2.1	19.8	0.4	5.6	4.0	64	46	53	3	2
		2 月	11.7	0.5	2.9	1.7	20.7	1.0	5.5	3.2	63	43	52	3	1
		3 月	20.0	0.7	3.5	2.4	41.1	1.1	6.8	4.8	60	44	51	3	0
		年間	21.7	0.1	3.4	2.9	42.2	0.2	6.6	5.6	67	43	53	3	15
過去実績	31.9	0.1	3.7	3.1	60.9	0.2	7.1	6.1	67	42	52	3	13		

過去実績：2009～2011年度

(注 1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも 3 時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注 2) 「M + 3σ を超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注 3) 「平均値 + 標準偏差の 3 倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものであると見なされる。

第 1 1 表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、

単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比					
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比 M	月間標準偏差 σ	M + 3σ を超えた数	
大飯	日角浜 A	4 月	12.9	0.3	3.0	2.2	28.2	0.6	6.1	4.6	57	44	50	3	0	
		5 月	16.2	0.1	3.2	2.9	33.3	0.2	6.7	6.1	58	44	49	2	2	
		6 月	11.4	0.3	3.0	2.5	24.0	0.7	6.1	5.1	59	44	50	3	2	
		7 月	16.0	0.4	4.3	3.5	32.3	0.8	8.7	7.1	61	44	51	3	2	
		8 月	12.2	0.2	2.5	2.2	23.2	0.5	4.7	4.3	62	45	53	4	0	
		9 月	13.6	0.2	3.0	2.6	27.6	0.4	5.8	5.1	58	46	51	3	0	
		10 月	10.3	0.6	3.2	2.3	21.3	1.1	6.4	4.7	59	45	51	2	1	
		11 月	10.2	0.2	3.1	1.8	20.9	0.5	6.1	3.6	62	44	52	3	4	
		12 月	11.6	0.6	2.8	1.9	22.4	1.1	5.4	3.7	58	45	52	3	0	
		1 月*	11.7	0.4	3.0	2.3	25.1	0.9	6.2	4.8	58	43	49	4	0	
		2 月	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
		3 月*	9.5	0.8	3.2	1.8	19.5	1.4	6.5	3.6	55	42	50	3	0	
		年間	16.2	0.1	3.1	2.5	33.3	0.2	6.2	5.0	62	42	51	3	11	
過去実績	16.9	0.1	3.3	2.6	33.6	0.2	6.4	5.1	68	42	52	3	9			
宮留 A	宮留 A	4 月	12.1	0.3	2.8	2.1	26.1	0.5	5.6	4.4	57	43	50	3	0	
		5 月	15.6	0.1	3.0	2.8	31.8	0.2	6.3	6.0	56	43	48	2	3	
		6 月	13.7	0.3	2.8	2.4	29.2	0.6	5.5	4.9	60	44	51	3	0	
		7 月	15.7	0.4	4.0	3.3	33.7	0.7	7.9	6.8	62	44	51	3	1	
		8 月	12.1	0.2	2.2	2.0	24.7	0.4	4.3	4.1	63	45	52	4	1	
		9 月	13.1	0.2	2.8	2.6	26.8	0.4	5.5	5.1	60	46	52	3	0	
		10 月	9.5	0.5	3.0	2.2	19.6	1.0	6.0	4.3	59	46	51	2	2	
		11 月	9.0	0.2	2.9	1.7	17.7	0.5	5.6	3.3	61	45	52	3	4	
		12 月	10.4	0.5	2.5	1.7	20.4	1.0	4.7	3.3	62	45	54	3	0	
		1 月	10.3	0.4	2.7	2.0	20.6	0.7	5.1	3.9	63	46	53	3	2	
		2 月	10.4	0.6	2.4	1.4	20.3	1.2	4.8	2.7	58	43	51	3	0	
		3 月	8.2	0.8	2.7	1.5	17.1	1.5	5.5	3.1	58	43	50	3	0	
		年間	15.7	0.1	2.8	2.3	33.7	0.2	5.6	4.6	63	43	51	3	13	
過去実績	16.0	0.1	3.1	2.5	33.7	0.2	6.0	4.9	71	43	52	4	10			

過去実績：2009～2011年度

- (注 1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも 3 時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注 2) 「M + 3σ を超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注 3) 「平均値 + 標準偏差の 3 倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。
これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。
なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

*：日角浜 A は観測局建て替えに伴うデータ欠測のため、次の期間における測定結果を統計処理したものである。
「1 月分」1 月 1 日 1 時～1 月 2 4 日 9 時、「3 月分」3 月 4 日 1 8 時～3 月 3 1 日 2 4 時

第 1 1 表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、

単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地 区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比 M	月間標準偏差 σ	M + 3σ を超えた数
高浜	小黒飯 A	4 月	5.9	0.2	2.1	0.9	13.0	0.4	4.3	2.0	62	43	49	3	1
		5 月	9.6	0.1	2.1	1.4	21.3	0.2	4.5	3.1	53	42	47	2	0
		6 月	5.7	0.3	2.0	1.2	12.0	0.6	4.0	2.4	60	44	50	3	2
		7 月	6.8	0.3	2.5	1.4	15.4	0.5	5.0	3.0	62	44	50	3	1
		8 月	4.8	0.2	1.5	0.9	9.8	0.4	3.0	1.8	61	43	52	4	0
		9 月	5.0	0.2	1.6	1.0	9.9	0.5	3.2	1.9	61	43	51	3	1
		10 月	5.9	0.5	2.1	1.1	11.8	0.9	4.2	2.2	56	44	50	2	0
		11 月	5.8	0.2	2.4	1.1	12.3	0.4	4.9	2.3	61	44	50	3	1
		12 月	5.6	0.5	2.2	1.0	11.5	0.9	4.4	2.1	59	44	51	3	0
		1 月	6.3	0.3	2.1	1.1	12.3	0.6	4.2	2.1	58	41	51	3	0
		2 月	6.3	0.7	2.2	0.9	12.7	1.3	4.4	1.9	58	44	51	3	0
		3 月	6.4	0.7	2.3	1.0	14.3	1.4	4.5	1.9	60	43	51	3	1
		年間	9.6	0.1	2.1	1.1	21.3	0.2	4.2	2.3	62	41	50	3	7
過去 実績	9.6	0.1	2.2	1.2	21.3	0.2	4.4	2.5	67	40	51	3	7		
音海 A	音海 A	4 月	5.7	0.2	2.2	1.0	12.4	0.3	4.5	2.2	60	44	50	3	1
		5 月	9.6	0.1	2.3	1.6	20.2	0.2	4.9	3.3	61	42	48	2	2
		6 月	6.7	0.3	2.2	1.3	14.1	0.7	4.6	2.8	55	43	48	2	0
		7 月	9.2	0.3	2.8	1.7	18.3	0.5	5.7	3.4	64	44	50	3	2
		8 月	6.2	0.2	1.8	1.0	12.3	0.4	3.5	2.1	60	44	52	3	0
		9 月	6.3	0.3	2.1	1.3	12.6	0.6	4.2	2.7	58	45	51	3	0
		10 月	6.2	0.6	2.3	1.2	13.5	1.1	4.7	2.6	56	44	50	2	0
		11 月	7.4	0.2	2.8	1.5	15.3	0.4	5.5	3.0	60	44	51	3	2
		12 月	6.5	0.6	2.6	1.3	13.1	1.1	5.0	2.6	58	44	52	3	0
		1 月	7.7	0.3	2.6	1.5	16.7	0.7	5.3	3.1	58	42	48	4	0
		2 月	6.4	0.7	2.5	1.1	13.6	1.5	5.3	2.3	55	41	47	3	0
		3 月	6.5	0.8	2.5	1.1	12.9	1.4	5.0	2.2	58	42	49	3	0
		年間	9.6	0.1	2.4	1.3	20.2	0.2	4.8	2.8	64	41	50	3	7
過去 実績	10.4	0.1	2.5	1.4	20.7	0.2	4.9	2.9	67	40	51	3	7		

過去実績：2009～2011年度

- (注 1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも 3 時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。
- (注 2) 「M + 3σ を超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。
- (注 3) 「平均値 + 標準偏差の 3 倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。
これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。
なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第 1 1 表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、

単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地 区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比 M	月間標準偏差 σ	M + 3σ を超えた数
高浜	神野浦 A	4 月	6.5	0.2	2.2	1.0	12.4	0.4	4.4	2.1	60	44	50	3	4
		5 月	9.7	0.1	2.2	1.4	20.5	0.2	4.6	3.0	58	43	49	2	2
		6 月	6.4	0.3	2.1	1.2	12.8	0.7	4.4	2.5	56	44	49	2	1
		7 月	10.2	0.4	2.9	1.6	20.7	0.6	5.8	3.4	64	44	50	4	3
		8 月	7.5	0.2	1.9	1.1	14.2	0.4	3.6	2.3	61	44	52	3	0
		9 月	6.4	0.3	2.0	1.2	12.7	0.5	4.0	2.5	61	46	51	3	2
		10 月	6.0	0.6	2.2	1.1	11.5	1.2	4.4	2.2	59	45	51	2	1
		11 月	7.7	0.2	2.7	1.5	16.2	0.5	5.5	3.0	60	44	50	3	1
		12 月	7.7	0.6	2.5	1.3	15.5	1.3	5.1	2.7	60	43	49	3	1
		1 月	9.1	0.3	2.5	1.4	17.3	0.6	5.1	2.9	58	42	50	3	0
		2 月	7.4	0.6	2.6	1.2	14.1	1.1	5.0	2.3	60	45	51	3	1
		3 月	6.6	0.7	2.6	1.1	13.5	1.5	5.3	2.4	56	44	50	3	0
		年間	10.2	0.1	2.4	1.3	20.7	0.2	4.8	2.7	64	42	50	3	16
過去 実績	10.2	0.1	2.4	1.3	20.7	0.2	4.6	2.7	68	42	52	3	12		

過去実績：2009～2011年度

(注 1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも 3 時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注 2) 「M + 3σ を超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注 3) 「平均値 + 標準偏差の 3 倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものであると見なされる。

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	¹³¹ 粒子状 I 濃度	¹³¹ ガス状 I 濃度	過去実績		機関
					¹³¹ 粒子状 I	¹³¹ ガス状 I	
敦賀	浦底A	12.04.05～12.05.09	—	—	ND～0.1	ND～0.3	A
		12.05.09～12.06.06	—	—			
		12.06.06～12.07.05	—	—			
		12.07.05～12.08.08	—	—			
		12.08.08～12.09.06	—	—			
		12.09.06～12.10.04	—	—			
		12.10.04～12.11.05	—	—			
		12.11.05～12.12.05	—	—			
		12.12.05～13.01.10	—	—			
		13.01.10～13.02.07	—	—			
		13.02.07～13.03.06	—	—			
		13.03.06～13.04.11	—	—			
白木	白木A	12.04.05～12.05.09	—	—	ND～0.1	ND～0.2	A
		12.05.09～12.06.06	—	—			
		12.06.06～12.07.04	—	—			
		12.07.04～12.08.08	—	—			
		12.08.08～12.09.06	—	—			
		12.09.06～12.10.03	—	—			
		12.10.03～12.11.05	—	—			
		12.11.05～12.12.05	—	—			
		12.12.05～13.01.09	—	—			
		13.01.09～13.02.07	—	—			
		13.02.07～13.03.06	—	—			
		13.03.06～13.04.10	—	—			
美浜	竹波A	12.04.04～12.05.09	—	—	ND～0.1	ND～0.2	A
		12.05.09～12.06.06	—	—			
		12.06.06～12.07.04	—	—			
		12.07.04～12.08.08	—	—			
		12.08.08～12.09.06	—	—			
		12.09.06～12.10.03	—	—			
		12.10.03～12.11.07	—	—			
		12.11.07～12.12.05	—	—			
		12.12.05～13.01.09	—	—			
		13.01.09～13.02.07	—	—			
		13.02.07～13.03.06	—	—			
		13.03.06～13.04.10	—	—			

過去実績：2009～2011年度

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	¹³¹ 粒子状 I 濃度	¹³¹ ガス状 I 濃度	過去実績		機関
					¹³¹ 粒子状 I	¹³¹ ガス状 I	
大飯	宮留A	12.04.04～12.05.08	—	—	ND～0.1	ND～0.2	A
		12.05.08～12.06.05	—	—			
		12.06.05～12.07.04	—	—			
		12.07.04～12.08.07	—	—			
		12.08.07～12.09.05	—	—			
		12.09.05～12.10.03	—	—			
		12.10.03～12.11.06	—	—			
		12.11.06～12.12.04	—	—			
		12.12.04～13.01.09	—	—			
		13.01.09～13.02.05	—	—			
		13.02.05～13.03.05	—	—			
		13.03.05～13.04.10	—	—			
高浜	小黒飯A	12.04.04～12.05.08	—	—	ND～0.1	ND～0.2	A
		12.05.08～12.06.05	—	—			
		12.06.05～12.07.04	—	—			
		12.07.04～12.08.07	—	—			
		12.08.07～12.09.05	—	—			
		12.09.05～12.10.03	—	—			
		12.10.03～12.11.06	—	—			
		12.11.06～12.12.04	—	—			
		12.12.04～13.01.09	—	—			
		13.01.09～13.02.05	—	—			
		13.02.05～13.03.05	—	—			
		13.03.05～13.04.09	—	—			

過去実績：2009～2011年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	立石B	12.04.04~12.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5	—	ND~0.8	B	
	〃	12.05.02~12.06.04	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5				
	〃	12.06.04~12.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7				
	〃	12.07.04~12.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9				
	〃	12.08.03~12.09.05	—	—	—	—	—	—	—	—	2.2				
	〃	12.09.05~12.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	4.9				
	〃	12.10.03~12.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	6.7				
	〃	12.11.02~12.12.05	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2				
	〃	12.12.05~13.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9				
	〃	13.01.04~13.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4				
	〃	13.02.04~13.03.04	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5				
浦底A	浦底A	12.04.05~12.05.09	—	—	—	—	—	—	*	—	—	3.8	—	ND~0.5	A
	〃	12.05.09~12.06.06	—	—	—	—	—	—	*	—	—	4.1			
	〃	12.06.06~12.07.05	—	—	—	—	—	—	*	—	—	1.9			
	〃	12.07.05~12.08.08	—	—	—	—	—	—	*	—	—	1.2			
	〃	12.08.08~12.09.06	—	—	—	—	—	—	*	—	—	1.7			
	〃	12.09.06~12.10.04	—	—	—	—	—	—	*	—	—	3.9			
	〃	12.10.04~12.11.05	—	—	—	—	—	—	*	—	—	5.4			
	〃	12.11.05~12.12.05	—	—	—	—	—	—	*	—	—	3.8			
	〃	12.12.05~13.01.10	—	—	—	—	—	—	*	—	—	3.4			
	〃	13.01.10~13.02.07	—	—	—	—	—	—	*	—	—	3.9			
	〃	13.02.07~13.03.06	—	—	—	—	—	—	*	—	—	4.4			
浦底B	浦底B	12.04.04~12.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	5.6	—	ND~0.8	B	
	〃	12.05.02~12.06.04	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3				
	〃	12.06.04~12.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7				
	〃	12.07.04~12.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	2.1				
	〃	12.08.03~12.09.05	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3				
	〃	12.09.05~12.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3				
	〃	12.10.03~12.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	6.8				
	〃	12.11.02~12.12.05	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5				
	〃	12.12.05~13.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1				
	〃	13.01.04~13.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	5.6				
	〃	13.02.04~13.03.04	—	—	—	—	—	—	—	—	5.6				
色ヶ浜B	色ヶ浜B	12.04.04~12.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2	—	ND~0.8	B	
	〃	12.05.02~12.06.04	—	—	—	—	—	—	—	—	4.9				
	〃	12.06.04~12.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7				
	〃	12.07.04~12.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9				
	〃	12.08.03~12.09.05	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0				
	〃	12.09.05~12.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8				

過去実績：2009~2011年度

(注1) I-131はガス状のものを含まない浮遊じんのみの測定結果である。

対照地区以外の機関Aの測定は、ろ紙を灰化しているため、I-131は調査対象外である。I-131濃度は第12表 粒子状I-131の欄を参照。

(注2) *：検出されたCs-137、Cs-134については、調査の結果、製造過程で福島第一原子力発電所事故影響と考えられる放射性セシウムがろ紙に混入していたことが確認された。このため検出された濃度からろ紙の汚染濃度を差し引いた結果を表示している。

(注3) ※：浦底Aでは、福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134、Cs-137がともに0.0mBq/m³検出された。詳細はp.166のとおり。検出された原因は特定できないが、土壌の舞い上がりやろ紙汚染濃度のばらつきなどが考えられる。

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	色ヶ浜B	12.10.03~12.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4	—	ND~0.8	B
	〃	12.11.02~12.12.05	—	—	—	—	—	—	—	—	4.9			
	〃	12.12.05~13.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9			
	〃	13.01.04~13.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4			
	〃	13.02.04~13.03.04	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4			
	〃	13.03.04~13.04.05	—	—	—	—	—	—	—	—	6.8			
白木	白木A	12.04.05~12.05.09	—	—	—	—	—	—	*	—	4.0	—	ND~0.7	A
	〃	12.05.09~12.06.06	—	—	—	—	—	—	*	—	4.1			
	〃	12.06.06~12.07.04	—	—	—	—	—	—	*	—	2.0			
	〃	12.07.04~12.08.08	—	—	—	—	—	—	*	—	1.4			
	〃	12.08.08~12.09.06	—	—	—	—	—	—	*	—	1.7			
	〃	12.09.06~12.10.03	—	—	—	—	—	—	*	—	3.9			
	〃	12.10.03~12.11.05	—	—	—	—	—	—	*	—	5.4			
	〃	12.11.05~12.12.05	—	—	—	—	—	—	*	—	4.0			
	〃	12.12.05~13.01.09	—	—	—	—	—	—	*	—	3.4			
	〃	13.01.09~13.02.07	—	—	—	—	—	—	*	—	4.2			
	〃	13.02.07~13.03.06	—	—	—	—	—	—	*	—	4.7			
	〃	13.03.06~13.04.10	—	—	—	—	—	—	*	—	5.7			
	松ヶ崎D	12.04.02~12.05.01	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3	—	ND~0.5	D
	〃	12.05.01~12.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3			
	〃	12.06.01~12.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7			
	〃	12.07.02~12.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—	1.4			
	〃	12.08.01~12.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	1.4			
	〃	12.09.03~12.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	3.2			
	〃	12.10.01~12.11.01	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1			
	〃	12.11.01~12.12.03	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6			
〃	12.12.03~13.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7				
〃	13.01.07~13.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8				
〃	13.02.01~13.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	3.5				
〃	13.03.01~13.04.01	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8				
美浜	竹波A	12.04.04~12.05.09	—	—	—	—	—	—	*	—	3.7	—	ND~0.5	A
	〃	12.05.09~12.06.06	—	—	—	—	—	—	*	—	4.1			
	〃	12.06.06~12.07.04	—	—	—	—	—	—	*	—	1.8			
	〃	12.07.04~12.08.08	—	—	—	—	—	—	*	—	1.4			
	〃	12.08.08~12.09.06	—	—	—	—	—	—	*	—	1.7			
	〃	12.09.06~12.10.03	—	—	—	—	—	—	*	—	3.7			
	〃	12.10.03~12.11.07	—	—	—	—	—	—	*	—	5.1			
	〃	12.11.07~12.12.05	—	—	—	—	—	—	*	—	3.6			
	〃	12.12.05~13.01.09	—	—	—	—	—	—	*	—	3.1			
	〃	13.01.09~13.02.07	—	—	—	—	—	—	*	—	4.0			
	〃	13.02.07~13.03.06	—	—	—	—	—	—	*	—	4.7			
	〃	13.03.06~13.04.10	—	—	—	—	—	—	*	—	5.6			

過去実績：2009~2011年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
美浜	丹生	12.04.02~12.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	4.2	—	ND~0.8	C
	〃	12.05.02~12.06.04	—	—	—	—	—	—	—	—	4.3			
	〃	12.06.04~12.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3			
	〃	12.07.02~12.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9			
	〃	12.08.01~12.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0			
	〃	12.09.03~12.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	4.7			
	〃	12.10.01~12.11.01	—	—	—	—	—	—	—	—	5.7			
	〃	12.11.01~12.12.03	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8			
	〃	12.12.03~13.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7			
	〃	13.01.04~13.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	4.9			
	〃	13.02.01~13.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	4.7			
大飯	宮留A	12.04.04~12.05.08	—	—	—	—	—	—	*	—	3.9	—	ND~0.5	A
	〃	12.05.08~12.06.05	—	—	—	—	—	—	*	—	4.2			
	〃	12.06.05~12.07.04	—	—	—	—	—	—	*	—	2.0			
	〃	12.07.04~12.08.07	—	—	—	—	—	—	*	—	1.4			
	〃	12.08.07~12.09.05	—	—	—	—	—	—	*	—	1.8			
	〃	12.09.05~12.10.03	—	—	—	—	—	—	*	—	3.8			
	〃	12.10.03~12.11.06	—	—	—	—	—	—	*	—	4.9			
	〃	12.11.06~12.12.04	—	—	—	—	—	—	*	—	3.6			
	〃	12.12.04~13.01.09	—	—	—	—	—	—	*	—	3.3			
	〃	13.01.09~13.02.05	—	—	—	—	—	—	*	—	4.1			
	〃	13.02.05~13.03.05	—	—	—	—	—	—	*	—	3.9			
	〃	13.03.05~13.04.10	—	—	—	—	—	—	*	—	5.1			
	宮留	12.04.03~12.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	4.5	—	ND~0.5	C
	〃	12.05.07~12.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6			
	〃	12.06.05~12.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	2.2			
	〃	12.07.03~12.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8			
	〃	12.08.02~12.09.04	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9			
	〃	12.09.04~12.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4			
	〃	12.10.02~12.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	5.6			
	〃	12.11.02~12.12.04	—	—	—	—	—	—	—	—	4.7			
	〃	12.12.04~13.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	3.5			
〃	13.01.07~13.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3				
高浜	音海	12.04.03~12.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	4.3	—	ND~0.5	C
	〃	12.05.07~12.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8			
	〃	12.06.05~12.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0			
	〃	12.07.03~12.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7			
	〃	12.08.02~12.09.04	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8			
	〃	12.09.04~12.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	4.5			

過去実績：2009~2011年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関		
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs			
高浜	音海	12.10.02~12.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3	—	ND~0.5	C		
	〃	12.11.02~12.12.04	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8					
	〃	12.12.04~13.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6					
	〃	13.01.07~13.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3					
	〃	13.02.04~13.03.04	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1					
	〃	13.03.04~13.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	6.8					
	小黒飯A	12.04.04~12.05.08	—	—	—	—	—	—	*	—	—	4.0	—	ND~0.4	A	
	〃	12.05.08~12.06.05	—	—	—	—	—	—	*	—	—	4.0				
	〃	12.06.05~12.07.04	—	—	—	—	—	—	*	—	—	1.8				
	〃	12.07.04~12.08.07	—	—	—	—	—	—	*	—	—	1.4				
	〃	12.08.07~12.09.05	—	—	—	—	—	—	*	—	—	1.7				
	〃	12.09.05~12.10.03	—	—	—	—	—	—	*	—	—	3.5				
	〃	12.10.03~12.11.06	—	—	—	—	—	—	*	—	—	4.9				
	〃	12.11.06~12.12.04	—	—	—	—	—	—	*	—	—	3.7				
	〃	12.12.04~13.01.09	—	—	—	—	—	—	*	—	—	3.3				
	〃	13.01.09~13.02.05	—	—	—	—	—	—	*	—	—	4.5				
	〃	13.02.05~13.03.05	—	—	—	—	—	—	*	—	—	4.2				
	〃	13.03.05~13.04.09	—	—	—	—	—	—	*	—	—	5.1				
	小黒飯	12.04.03~12.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.2	—	ND~0.5		C
	〃	12.05.07~12.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8				
〃	12.06.05~12.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.1					
〃	12.07.03~12.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.6					
〃	12.08.02~12.09.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9					
〃	12.09.04~12.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1					
〃	12.10.02~12.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4					
〃	12.11.02~12.12.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8					
〃	12.12.04~13.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.5					
〃	13.01.07~13.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5					
〃	13.02.04~13.03.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8					
〃	13.03.04~13.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.8					
対照	原目町 (福井分析管理室)	12.04.02~12.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	9.9	—	ND~0.1	A		
	〃	12.05.01~12.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	8.2					
	〃	12.06.01~12.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7					
	〃	12.07.02~12.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0					
	〃	12.08.01~12.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0					
	〃	12.09.03~12.09.04	—	—	—	—	—	—	—	—	2.4					
	〃	12.10.01~12.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	2.6					
	〃	12.11.01~12.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	5.7					
	〃	12.12.03~12.12.04	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4					
	〃	13.01.04~13.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7					
	〃	13.02.04~13.02.05	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0					
	〃	13.03.04~13.03.05	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4					

過去実績：2009~2011年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん(参考データ：3ヶ月試料)

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	立石A	12.04.05～12.07.05	—	—	—	—	—	—	*	—	—	2.1	—	ND～0.2	A
	〃	12.07.05～12.10.04	—	—	—	—	—	—	*	—	—	1.7	—	ND～0.2	
	〃	12.10.04～13.01.10	—	—	—	—	—	—	*	—	—	2.7	—	ND～0.2	
	〃	13.01.10～13.04.11	—	—	—	—	—	—	*	—	—	3.5	—	ND～0.2	
白木	白木峠A	12.04.05～12.07.04	—	—	—	—	—	—	*	—	—	2.0	—	ND～0.2	A
	〃	12.07.04～12.10.03	—	—	—	—	—	—	*	—	—	1.7	—	ND～0.2	
	〃	12.10.03～13.01.09	—	—	—	—	—	—	*	—	—	2.6	—	ND～0.2	
	〃	13.01.09～13.04.10	—	—	—	—	—	—	*	—	—	3.4	—	ND～0.2	
美浜	丹生A	12.04.04～12.07.04	—	—	—	—	—	—	*	—	—	2.1	—	ND～0.2	A
	〃	12.07.04～12.10.03	—	—	—	—	—	—	*	—	—	1.8	—	ND～0.2	
	〃	12.10.03～13.01.09	—	—	—	—	—	—	*	—	—	2.6	—	ND～0.2	
	〃	13.01.09～13.04.10	—	—	—	—	—	—	*	—	—	3.4	—	ND～0.2	
大飯	日角浜A	12.04.04～12.07.04	—	—	—	—	—	—	*	—	—	2.1	—	ND～0.2	A
	〃	12.07.04～12.10.03	—	—	—	—	—	—	*	—	—	1.8	—	ND～0.2	
	〃	12.10.03～13.01.09	—	—	—	—	—	—	*	—	—	2.6	—	ND～0.2	
	〃	13.01.09～13.04.10	—	—	—	—	—	—	*	—	—	4.7	—	ND～0.2	
高浜	音海A	12.04.04～12.07.03	—	—	—	—	—	—	*	—	—	2.2	—	ND～0.2	A
	〃	12.07.03～12.10.02	—	—	—	—	—	—	*	—	—	1.9	—	ND～0.2	
	〃	12.10.02～13.01.08	—	—	—	—	—	—	*	—	—	2.6	—	ND～0.2	
	〃	13.01.08～13.04.09	—	—	—	—	—	—	*	—	—	3.5	—	ND～0.2	
	神野浦A	12.04.03～12.07.03	—	—	—	—	—	—	*	—	—	2.2	—	ND～0.2	A
	〃	12.07.03～12.10.02	—	—	—	—	—	—	*	—	—	2.0	—	ND～0.2	
	〃	12.10.02～13.01.08	—	—	—	—	—	—	*	—	—	2.6	—	ND～0.2	
〃	13.01.08～13.04.09	—	—	—	—	—	—	*	—	—	3.7	—	ND～0.2		

過去実績：2009～2011年度

(注) 平成11年度から開始した浮遊じん連続採取による3ヶ月分の集合(コンボジット)試料の核種分析結果であり、吸引量は約12,000立方メートル。

第14表 核種分析結果 その2 陸水

単位： mBq/ℓ

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種	過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co		¹³⁷ Cs
敦賀	浦底（水試）	水道水	12.06.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	12.09.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	12.12.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	13.03.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B
	浦底（明神寮）	〃	12.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	〃	12.07.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
白木	〃	〃	12.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	D	
	〃	〃	13.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	白木（民家）	〃	12.06.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		A
	〃	〃	12.09.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	D	
	〃	〃	12.12.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	〃	〃	13.03.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	〃	〃	12.05.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
美浜	〃	〃	12.08.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
	〃	〃	12.11.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	〃	〃	13.02.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
	丹生（漁協飼料保管解凍施設横）	〃	12.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	〃	〃	13.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
大飯	〃	〃	12.06.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
	〃	〃	12.09.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	〃	〃	12.12.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
	〃	〃	13.03.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	〃	〃	13.03.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
高浜	宮留（民家）	〃	12.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
	〃	〃	12.09.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	〃	〃	12.12.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
	〃	〃	13.03.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	〃	〃	12.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	〃	〃	13.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
	小黒飯（民家）	〃	12.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
神野浦（民家）	〃	〃	13.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
	〃	〃	12.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	〃	〃	13.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C	

過去実績：2009～2011年度

（注1）機関Aはマリネリピーカーを用いて直接測定、その他の機関はパウデックス樹脂に吸着後測定。

（注2）＊：2010年度より測定を開始したため、過去実績は2010～2011年度の2年間。

第14表 核種分析結果 その2 陸水

単位： mBq/ℓ

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種	過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁷ Be	⁶⁰ Co		¹³⁷ Cs
対照	原目町(福井分析管理室)	水道水	12.06.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	12.09.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	〃	〃	12.12.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	〃	〃	13.03.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
美浜	竹波(落合川)	河川水	12.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	13.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—			

過去実績：2009～2011年度

第15表 核種分析結果 その3 陸土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機 関		
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs			
敦賀	浦底(明神寮)	土床	12.05.10	—	—	—	8.6	—	—	11	860	64	35	—	7.5~12	A		
	〃	〃	12.11.05	—	—	—	8.6	—	—	4.2	970	83	47			B		
	〃	〃	12.07.10	—	—	—	8.1	—	—	7.7	1300	82	40					
	〃	〃	13.01.04	—	—	—	8.6	—	—	8.7	1300	82	43					
	〃	発電所北端周辺	山土	12.05.16	—	—	—	28	—	—	7.5	1200	85	53	—	19 ~28	D	
	〃	〃	12.08.10	—	—	—	21	—	—	—	1200	85	44					
	〃	〃	12.11.07	—	—	—	18	—	—	—	1200	82	54					
〃	〃	13.02.13	—	—	—	20	—	—	11	1200	80	54						
白木	松ヶ崎	土床	12.05.09	—	—	—	1.3	—	—	11	1100	99	49	—	0.9~1.9	A		
	〃	〃	12.11.05	—	—	—	1.8	—	—	9.4	1200	110	56			D		
	〃	〃	12.07.11	—	—	—	1.7	—	—	8.3	1200	120	48					
	〃	〃	13.01.16	—	—	—	1.9	—	—	—	1200	110	51					
美浜	丹生	〃	12.05.09	—	—	—	3.3	—	—	—	1200	92	53	—	2.5~5.7	A		
	〃	〃	12.11.07	—	—	—	3.2	—	—	16	1200	86	50					
	〃	〃	12.09.03	—	—	—	4.6	—	—	11	1200	94	46			C		
	〃	〃	13.03.01	—	—	—	4.1	—	—	8.3	1000	81	37					
大飯	日角浜	未耕土	12.05.08	—	—	—	65	—	—	7.2	310	27	24	—	51 ~70	A		
	〃	〃	12.11.06	—	—	—	62	—	—	7.7	290	27	24					
	畑村	〃	12.09.04	—	—	—	2.9 ^{*1}	—	—	15	340	18	14			—	2.4~4.6	C
	〃	〃	13.03.04	—	—	—	3.3 ^{*1}	—	—	33	340	16	10					
高浜	小黒飯	山土	12.05.08	—	—	—	4.3	—	—	5.1	560	47	28	—	3.6~7.1	A		
	〃	〃	12.11.06	—	—	—	7.7 ^{*1}	—	—	9.7	570	46	29					
	〃	未耕土	12.09.04	—	—	—	9.0	—	—	—	580	34	23			—	4.3~6.6	C
	〃	〃	13.03.04	—	—	—	9.0 ^{*1}	—	—	28	580	40	19					
対照	原目町(衛環研)	〃	12.05.23	—	—	—	3.3 ^{*1}	—	—	8.3	490	22	15	—	3.0~3.9	A		
	〃	〃	12.11.28	—	—	—	4.7 ^{*1}	—	—	7.3	470	23	15					
	奥越高原牧場(堆肥舎南西)	山土	12.06.28	—	—	—	13 ^{*1}	—	—	7.8	300	48	34			／*2	／*2	A

過去実績：2009~2011年度

(注1) 0~5cmで採取した試料の粒径2mm以下を分析した。Th系列(Th-Ser)はTl-208から系列ガンマ線放出比30.7%を用いて、U系列(U-Ser)はBi-214またはPb-214から系列ガンマ線放出比44.2%(または36.0%)を用いて求めたものである。

(注2) *1：福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134が検出された。詳細はp.167のとおり。

(注3) *2：従来の採取地点より約800m南西に移動したため、過去実績が無い。

第16表 核種分析結果 その4 指標植物

単位： Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	立石	ヨモギ	12.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120	240	—	ND~0.6	A
	浦底	〃	12.05.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	230	—	ND~0.6	A
	〃	〃	12.06.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24	270	—	ND~0.6	A
	〃	〃	12.07.05	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	43	250	—	ND~0.6	A
	〃	〃	12.08.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	300	—	ND~0.6	A
	〃	〃	12.09.04	—	—	—	—	—	0.3	—	—	—	35	270	—	ND~0.6	A
〃	〃	12.11.05	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	160	180	—	ND~0.6	A	
白木	松ヶ崎	〃	12.05.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23	210	—	ND~0.7	A
	〃	〃	12.06.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	240	—	ND~0.7	A
	〃	〃	12.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44	270	—	ND~0.7	A
	〃	〃	12.08.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	310	—	ND~0.7	A
	〃	ヒメムカシヨモギ	12.09.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35	150	—	ND~0.7	A
	〃	〃	12.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110	110	—	ND~0.7	A
〃	白木	ヨモギ	12.11.05	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	200	140	—	ND~0.7	A
美浜	竹波	〃	12.05.09	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	28	250	—	ND~0.6	A
	〃	〃	12.06.04	—	—	—	—	—	0.3	—	—	—	23	270	—	ND~0.6	A
	〃	〃	12.07.04	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	60	270	—	ND~0.6	A
	〃	〃	12.08.08	—	—	—	—	—	0.3	—	—	—	5.8	270	—	ND~0.6	A
	〃	〃	12.09.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42	250	—	ND~0.6	A
	〃	〃	12.10.03	—	—	—	—	—	0.5	—	—	—	130	240	—	ND~0.6	A
〃	〃	12.11.07	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	250	210	—	ND~0.6	A	
大飯	日角浜	〃	12.05.08	—	—	—	—	—	0.2 ^{*1}	—	—	—	18	260	—	ND~0.6	A
	〃	〃	12.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	280	—	ND~0.6	A
	〃	〃	12.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43	220	—	ND~0.6	A
	〃	〃	12.08.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	310	—	ND~0.6	A
	〃	〃	12.09.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35	250	—	ND~0.6	A
	〃	〃	12.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	180	240	—	ND~0.6	A
〃	〃	12.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	280	210	—	ND~0.6	A	
高浜	小黒飯	〃	12.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21	250	—	ND~1.4	A
	〃	〃	12.06.05	—	—	—	—	—	0.1 ^{*2}	—	—	—	27	280	—	ND~1.4	A
	〃	〃	12.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	78	230	—	ND~1.4	A
	〃	〃	12.08.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	290	—	ND~1.4	A
	〃	〃	12.09.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43	240	—	ND~1.4	A
	〃	〃	12.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	210	210	—	ND~1.4	A
〃	〃	12.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	200	200	—	ND~1.4	A	
対照	原目町	〃	12.05.16	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	18	180	—	ND~0.7	A
	〃	〃	12.06.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	280	—	ND~0.7	A
	〃	〃	12.07.05	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	19	230	—	ND~0.7	A
	〃	〃	12.08.06	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	3.2	240	—	ND~0.7	A
	〃	〃	12.09.19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37	210	—	ND~0.7	A
	〃	〃	12.10.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76	230	—	ND~0.7	A
〃	〃	12.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110	190	—	ND~0.7	A	

過去実績：2009~2011年度

(注) *1：福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134が検出された。詳細はp.168のとおり。

(注) *2：長時間測定（通常の5倍程度）を行ったところ、Cs-134がごく低レベルで検出された。

第17表 核種分析結果 その5 松葉（2年葉）

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底（明神寮）	松葉	12.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28	62	—	ND～1.3	B
	〃	〃	12.12.14	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	28	76	—	ND～0.5	D
	発電所北端周辺	〃	12.08.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	26	72	—	ND～0.5	D
	〃	〃	13.02.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130	84	—	ND～0.5	D
白木	白木トンネル北口付近	〃	12.08.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36	67	—	ND～1.5	D
	〃	〃	13.02.14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31	65	—	ND～1.5	D
美浜	丹生	〃	12.06.04	—	—	—	—	—	0.4	—	—	—	23	69	—	ND～1.3	C
	〃	〃	12.12.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38	81	—	ND～1.3	C
大飯	畑村	〃	12.06.05	—	—	—	—	—	0.3*	—	—	—	23	52	—	ND～1.5	C
	〃	〃	12.12.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44	64	—	ND～1.5	C
高浜	小黒飯	〃	12.06.05	—	—	—	—	—	0.5*	—	—	—	33	54	—	ND～2.4	C
	〃	〃	12.12.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42	63	—	ND～2.4	C
対照	原目町(福井分析管理室)	〃	12.11.05	—	—	—	—	—	0.3	—	—	—	39	91	—	ND～1.5	A

過去実績：2009～2011年度

(注) *：福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134が検出された。詳細はp.168のとおり。

第18表 核種分析結果 その6 農産物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底	大根	12.11.04	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	11	120	—	ND~0.0	A
白木	白木	〃	12.11.07	—	—	—	—	—	—	—	—	7.4	97	—	ND~0.0	A	
美浜	丹生	〃	12.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	8.5	100	—	ND~0.0	A	
大飯	長井	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	11	74	—	—	A	
高浜	山中	〃	12.11.27	—	—	—	—	—	0.0	—	—	21	82	/	/	A	
対照	福井市寮町(県農試)	〃	12.11.15	—	—	—	—	—	—	—	—	12	100	—	—	A	

過去実績：2009~2011年度

第19表 核種分析結果 その7 原乳

単位： Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種	過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁴⁰ K	¹³¹ I		¹³⁷ Cs
美浜	安江	原乳	12.06.14	—	—	—	—	—	—	—	—	49	—	—	A
	〃	〃	12.08.09	—	—	—	—	—	—	—	—	49			A
	〃	〃	12.10.12	—	—	—	—	—	—	—	—	51			A
対照	奥越高原牧場(勝山市池ヶ原)	〃	12.06.22	—	—	—	—	—	—	—	—	49	—	ND~0.1	A
	〃	〃	12.08.07	—	—	—	—	—	—	—	—	50			A
	〃	〃	12.10.15	—	—	—	—	—	—	—	—	49			A

過去実績：2009～2011年度

(注1) マリネリビーカーを用いて直接測定。

第20表 核種分析結果 その8 降下物

単位: Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底(水試)	12.04.05~12.05.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	190	—	ND~14	A
	〃	12.05.09~12.06.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90			
	〃	12.06.06~12.07.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120			
	〃	12.07.05~12.08.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44			
	〃	12.08.08~12.09.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140			
	〃	12.09.06~12.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	240			
	〃	12.10.04~12.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300			
	〃	12.11.05~12.12.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	400			
	〃	12.12.05~13.01.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	740			
	〃	13.01.10~13.02.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	750			
	〃	13.02.07~13.03.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	490			
	〃	13.03.06~13.04.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	250			
	浦底(明神寮)	12.04.02~12.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160			
〃		12.05.02~12.06.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150			
〃		12.06.01~12.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	82			
〃		12.07.02~12.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	67			
〃		12.08.01~12.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110			
〃		12.09.03~12.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	250			
〃		12.10.01~12.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	310			
〃		12.11.02~12.12.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	340			
〃		12.12.03~13.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	630			
〃		13.01.04~13.02.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	970			
〃		13.02.01~13.03.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	500			
〃		13.03.01~13.04.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140			
白木		松ヶ崎	12.04.05~12.05.09	—	—	—	—	—	—	—	—	130	—	ND~9.4	A
	〃	12.05.09~12.06.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30			
	〃	12.06.06~12.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	88			
	〃	12.07.04~12.08.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21			
	〃	12.08.08~12.09.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120			
	〃	12.09.06~12.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	200			
	〃	12.10.03~12.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130			
	〃	12.11.05~12.12.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	230			
	〃	12.12.05~13.01.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	580			
	〃	13.01.09~13.02.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	650			
	〃	13.02.07~13.03.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	410			
	〃	13.03.06~13.04.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	180			

過去実績: 2009~2011年度

第20表 核種分析結果 その8 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
白木	松ヶ崎	12.04.02~12.05.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140	-	ND~9.8	D
	〃	12.05.01~12.06.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61			
	〃	12.06.01~12.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62			
	〃	12.07.02~12.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47			
	〃	12.08.01~12.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110			
	〃	12.09.03~12.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130			
	〃	12.10.01~12.11.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180			
	〃	12.11.01~12.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250			
	〃	12.12.03~13.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	480			
	〃	13.01.07~13.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	660			
	〃	13.02.01~13.03.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	360			
〃	13.03.01~13.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	93				
美浜	竹波（落合川取水場）	12.04.04~12.05.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150	-	ND~14	A
	〃	12.05.09~12.06.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79			
	〃	12.06.06~12.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140			
	〃	12.07.04~12.08.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60			
	〃	12.08.08~12.09.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130			
	〃	12.09.06~12.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260			
	〃	12.10.03~12.11.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	330			
	〃	12.11.07~12.12.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	430			
	〃	12.12.05~13.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	620			
	〃	13.01.09~13.02.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	620			
	〃	13.02.07~13.03.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	490			
	〃	13.03.06~13.04.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	230			
	丹生		12.04.02~12.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
〃		12.05.02~12.06.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110			
〃		12.06.04~12.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72			
〃		12.07.02~12.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78			
〃		12.08.01~12.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120			
〃		12.09.03~12.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	230			
〃		12.10.01~12.11.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	280			
〃		12.11.01~12.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	300			
〃		12.12.03~13.01.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	530			
〃		13.01.04~13.02.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	710			
〃		13.02.01~13.03.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	490			
〃	13.03.01~13.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	160				

過去実績：2009~2011年度

第20表 核種分析結果 その8 降下物

単位: Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種							参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
大飯	宮留	12.04.04~12.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150	-	ND~24	A
	〃	12.05.08~12.06.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66			
	〃	12.06.05~12.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150			
	〃	12.07.04~12.08.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34			
	〃	12.08.07~12.09.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110			
	〃	12.09.05~12.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	340			
	〃	12.10.03~12.11.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	430			
	〃	12.11.06~12.12.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	420			
	〃	12.12.04~13.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	450			
	〃	13.01.09~13.02.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	430			
	〃	13.02.05~13.03.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	450			
	〃	13.03.05~13.04.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140			
日角浜	日角浜	12.04.03~12.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170	-	ND~24	C
	〃	12.05.07~12.06.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84			
	〃	12.06.05~12.07.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130			
	〃	12.07.03~12.08.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41			
	〃	12.08.02~12.09.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	97			
	〃	12.09.04~12.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	410			
	〃	12.10.02~12.11.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	440			
	〃	12.11.02~12.12.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	430			
	〃	12.12.04~13.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	500			
	〃	13.01.07~13.02.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	450			
	〃	13.02.04~13.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	380			
	〃	13.03.04~13.04.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130			
高浜	小黒飯	12.04.04~12.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130	-	ND~27	A
	〃	12.05.08~12.06.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	81			
	〃	12.06.05~12.07.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120			
	〃	12.07.04~12.08.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40			
	〃	12.08.07~12.09.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	76			
	〃	12.09.05~12.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200			
	〃	12.10.03~12.11.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	370			
	〃	12.11.06~12.12.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	340			
	〃	12.12.04~13.01.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	400			
	〃	13.01.09~13.02.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	460			
	〃	13.02.05~13.03.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	430			
	〃	13.03.05~13.04.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	160			

過去実績: 2009~2011年度

第20表 核種分析結果 その8 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
高浜	小和田	12.04.03～12.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	190	—	ND～36	C
	〃	12.05.07～12.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	96			
	〃	12.06.05～12.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120			
	〃	12.07.03～12.08.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	61			
	〃	12.08.02～12.09.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100			
	〃	12.09.04～12.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	340			
	〃	12.10.02～12.11.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	360			
	〃	12.11.02～12.12.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	430			
	〃	12.12.04～13.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	580			
	〃	13.01.07～13.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	450			
	〃	13.02.04～13.03.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	410			
	〃	13.03.04～13.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160			
対照	原目町(福井分析管理室)	12.04.02～12.05.07	—	—	—	—	—	0.1*	—	—	—	180	—	ND～23	A
	〃	12.05.07～12.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140			
	〃	12.06.05～12.07.03	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	85			
	〃	12.07.03～12.08.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110			
	〃	12.08.06～12.09.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	82			
	〃	12.09.04～12.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	230			
	〃	12.10.02～12.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	240			
	〃	12.11.05～12.12.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	480			
	〃	12.12.03～13.01.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	830			
	〃	13.01.04～13.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	640			
	〃	13.02.04～13.03.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	380			
	〃	13.03.04～13.04.03	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	120			

過去実績：2009～2011年度

(注) *：福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134が検出された。詳細はp.169のとおり。

第21表 核種分析結果 その9 海水

単位：mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁵⁹ Fe	¹³⁴ Cs	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	立石沖	海水	12.08.07	—	—	—	1.9	—	—	—	1.6~2.1	B
	〃	〃	13.02.06	—	—	—	2.1	—	—	—	1.6~2.1	B
	2号放水口	〃	12.04.12	—	—	—	—	—	—	—	ND~2.2	A
	〃	〃	12.08.07	—	—	—	2.1	—	—	—	ND~2.2	B
	〃	〃	12.10.25	—	—	—	0.9	—	—	—	ND~2.2	A
	〃	〃	13.02.06	—	—	—	1.7	—	—	—	ND~2.2	B
	ふげん放水口	〃	12.04.12	—	—	—	1.5	—	—	—	1.0~2.0	A
	〃	〃	12.09.04	—	—	—	1.4	—	—	—	1.0~2.0	D
	〃	〃	12.10.25	—	—	—	1.5	—	—	—	1.0~2.0	A
白木	〃	〃	13.03.06	—	—	—	1.3	—	—	—	1.0~2.0	D
	もんじゅ放水口	〃	12.04.12	—	—	—	1.5	—	—	—	1.1~2.2	A
	〃	〃	12.08.07	—	—	—	1.6	—	—	—	1.1~2.2	D
	〃	〃	12.10.22	—	—	—	1.9	—	—	—	1.1~2.2	A
	〃	〃	13.02.06	—	—	—	1.5	—	—	—	1.1~2.2	D
	白木漁港	〃	12.08.07	—	—	—	1.3	—	—	—	1.3~1.9	D
美浜	〃	〃	13.02.06	—	—	—	1.1	—	—	—	1.3~1.9	D
	1, 2号放水口	〃	12.04.12	—	—	—	—	—	—	—	ND~2.5	A
	〃	〃	12.05.09	—	—	—	—	—	—	—	ND~2.5	C
	〃	〃	12.08.03	—	—	—	1.9	—	—	—	ND~2.5	C
	〃	〃	12.10.18	—	—	—	1.7	—	—	—	ND~2.5	A
	〃	〃	12.11.16	—	—	—	—	—	—	—	ND~2.5	C
	〃	〃	13.02.06	—	—	—	—	—	—	—	ND~2.5	C
	3号放水口	〃	12.04.12	—	—	—	2.2	—	—	—	ND~2.6	A
	〃	〃	12.05.09	—	—	—	—	—	—	—	ND~2.6	C
	〃	〃	12.08.03	—	—	—	1.7	—	—	—	ND~2.6	C
	〃	〃	12.10.18	—	—	—	1.9	—	—	—	ND~2.6	A
	〃	〃	12.11.16	—	—	—	2.3	—	—	—	ND~2.6	C
大飯	〃	〃	13.02.06	—	—	—	1.8	—	—	—	ND~2.6	C
	放水口	〃	12.04.10	—	—	—	2.3	—	—	—	ND~2.5	A
	〃	〃	12.05.08	—	—	—	1.7	—	—	—	ND~2.5	C
	〃	〃	12.08.02	—	—	—	—	—	—	—	ND~2.5	C
	〃	〃	12.10.16	—	—	—	1.8	—	—	—	ND~2.5	A
	〃	〃	12.11.06	—	—	—	—	—	—	—	ND~2.5	C
高浜	〃	〃	13.02.07	—	—	—	2.1	—	—	—	ND~2.5	C
	1, 2号放水口	〃	12.04.10	—	—	—	—	—	—	—	ND~3.1	A
	〃	〃	12.05.08	—	—	—	—	—	—	—	ND~3.1	C
	〃	〃	12.08.02	—	—	—	1.7	—	—	—	ND~3.1	C
	〃	〃	12.10.16	—	—	—	1.5	—	—	—	ND~3.1	A
	〃	〃	12.11.06	—	—	—	2.2	—	—	—	ND~3.1	C
	〃	〃	13.02.07	—	—	—	—	—	—	—	ND~3.1	C
	3, 4号放水口	〃	12.04.10	—	—	—	1.4	—	—	—	ND~2.4	A
	〃	〃	12.05.08	—	—	—	2.2	—	—	—	ND~2.4	C
	〃	〃	12.08.02	—	—	—	1.6	—	—	—	ND~2.4	C
	〃	〃	12.10.16	—	—	—	1.7	—	—	—	ND~2.4	A
対照	〃	〃	12.11.06	—	—	—	—	—	—	—	ND~2.4	C
	〃	〃	13.02.07	—	—	—	—	—	—	—	ND~2.4	C
	福井市小丹生町	〃	12.04.05	—	—	—	1.9	—	—	—	ND~2.5	A
〃	〃	12.10.02	—	—	—	1.5	—	—	—	ND~2.5	A	

過去実績：2009~2011年度

第22表 核種分析結果 その10 海底土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	1号放水口	砂	12.10.25	—	—	—	—	—	—	—	5.0	1300	55	34	—	ND~1.7	A
	〃	砂・泥	12.08.07	—	—	—	1.6	—	—	—	—	1200	64	37	—	—	B
	〃	〃	13.02.06	—	—	—	1.6	—	—	—	—	1600	67	33	—	—	B
	明神崎F	砂	12.10.04	—	—	—	—	—	—	—	4.3	1200	37	22	—	ND~0.3	A
	浦底湾口	泥	12.10.25	—	—	—	3.2	—	—	—	3.6	690	56	30	—	3.1~3.3	A
	立石	砂	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	1100	33	18	—	—	A
	〃	〃	12.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	1100	34	19	—	—	D
	〃	〃	12.09.04	—	—	—	—	—	—	—	—	970	34	16	—	—	D
	〃	〃	12.12.14	—	—	—	—	—	—	—	13	960	26	14	—	—	D
	〃	〃	13.03.06	—	—	—	—	—	—	—	12	960	25	11	—	—	D
	2号放水口	〃	12.06.12	—	—	—	—	—	—	—	2.1	650	19	15	—	—	A
	〃	〃	12.10.25	—	—	—	—	—	—	—	7.0	720	18	14	—	—	A
	〃	〃	12.05.08	—	—	—	—	—	—	—	3.6	830	16	11	—	—	B
	〃	〃	12.08.07	—	—	—	—	—	—	—	—	890	19	14	—	—	B
	〃	〃	12.11.22	—	—	—	—	—	—	—	3.4	740	25	21	—	—	B
	〃	〃	13.02.06	—	—	—	—	—	—	—	8.0	1100	20	12	—	—	B
	2号放水口沖	〃	12.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	1100	64	28	—	—	B
	〃	〃	12.08.07	—	—	—	—	—	—	—	—	830	35	24	—	—	B
	〃	〃	12.11.22	—	—	—	—	—	—	—	—	1300	91	33	—	—	B
	〃	〃	13.02.06	—	—	—	—	—	—	—	5.0	960	27	16	—	—	B
	ふげん放水口	〃	12.11.21	—	—	—	—	—	—	—	4.6	710	24	20	—	—	A
	〃	〃	12.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	750	21	12	—	—	D
	〃	〃	12.09.04	—	—	—	—	—	—	—	3.8	650	22	14	—	—	D
	〃	〃	12.12.14	—	—	—	—	—	—	—	—	800	26	17	—	—	D
〃	〃	13.03.06	—	—	—	—	—	—	—	8.5	870	20	12	—	—	D	
白木	もんじゅ放水口	〃	12.04.12	—	—	—	—	—	—	—	1300	20	15	—	—	A	
	〃	〃	12.10.22	—	—	—	—	—	—	—	1200	19	14	—	—	A	
	〃	〃	12.05.08	—	—	—	—	—	—	—	1300	20	14	—	—	D	
	〃	〃	12.08.07	—	—	—	—	—	—	—	1300	33	15	—	—	D	
	〃	〃	12.11.22	—	—	—	—	—	—	—	1300	23	12	—	—	D	
	〃	〃	13.02.06	—	—	—	—	—	—	—	1300	29	16	—	—	D	
	もんじゅ放水口沖	〃	12.04.12	—	—	—	—	—	—	—	5.4	1000	130	40	—	—	A
	〃	〃	12.10.22	—	—	—	—	—	—	—	—	990	110	36	—	—	A
	もんじゅ放水口東	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	3.0	1200	23	15	—	—	A
	もんじゅ取水口	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	2.9	1300	22	15	—	—	A
	白木漁港	〃	12.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	1300	16	13	—	—	D
	〃	〃	12.08.07	—	—	—	—	—	—	—	—	1300	36	16	—	—	D
	〃	〃	12.11.22	—	—	—	—	—	—	—	—	1400	18	12	—	—	D
	〃	〃	13.02.06	—	—	—	—	—	—	—	—	1400	17	12	—	—	D
門ヶ崎	〃	12.10.22	—	—	—	—	—	—	—	2.9	1100	29	17	—	—	A	
美浜	1, 2号放水口	〃	12.04.12	—	—	—	—	—	—	—	7.2	760	53	22	—	—	A
	〃	〃	12.10.18	—	—	—	0.3	—	—	—	4.1	800	62	24	—	—	A
	〃	〃	12.04.12	—	—	—	—	—	—	—	—	720	67	22	—	—	C
	〃	〃	12.07.05	—	—	—	—	—	—	—	—	790	52	21	—	—	C
	〃	〃	12.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	1100	96	57	—	—	C

過去実績：2009～2011年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第22表 核種分析結果 その10 海底土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
美浜	1, 2号放水口	砂	13.01.16	—	—	—	—	—	—	—	8.0	680	39	17	—	—	C
	1, 2号放水口沖	〃	12.10.18	—	—	—	—	—	—	—	9.5	1200	110	56	—	—	A
	〃	〃	12.04.12	—	—	—	—	—	—	—	—	1100	130	83			C
	〃	〃	12.07.05	—	—	—	—	—	—	—	—	980	21	15			C
	〃	〃	12.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	700	77	26			C
	〃	〃	13.01.16	—	—	—	—	—	—	—	5.7	1100	34	18			C
	3号放水口	〃	12.04.12	—	—	—	—	—	—	—	—	790	47	20	—	—	C
	〃	〃	12.07.05	—	—	—	—	—	—	—	—	910	48	21			C
	〃	〃	12.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	810	39	19			C
	〃	〃	13.01.16	—	—	—	—	—	—	—	—	820	43	19			C
	3号放水口沖	〃	12.11.21	—	—	—	—	—	—	—	—	940	72	27	—	—	A
	丹生湾中央	泥	12.04.12	—	—	—	5.7	—	—	—	6.1	660	59	29	—	5.7~8.3	A
	〃	〃	12.10.18	—	—	—	6.0	—	—	—	7.0	660	63	29			A
	〃	〃	12.04.12	—	—	—	6.1	—	—	—	—	680	61	28			C
	〃	〃	12.07.05	—	—	—	6.7	—	—	—	—	660	60	29			C
	〃	〃	12.10.04	—	—	—	5.7	—	—	—	—	630	60	26			C
	〃	〃	13.01.16	—	—	—	5.3	—	—	—	—	660	56	26			C
	避難港	〃	12.10.18	—	—	—	9.6	—	—	—	3.4	710	100	39	—	8.2~9.7	A
丹生湾奥	〃	〃	—	—	—	2.6	—	—	—	5.2	940	65	36	—	ND~0.9	A	
美浜発電所取水口	砂・泥	〃	—	—	—	2.2	—	—	—	—	880	64	32	—	ND~0.5	A	
大飯	放水口	砂	12.04.10	—	—	—	—	—	—	—	4.6	130	4.1	4.2	—	ND~0.3	A
	〃	〃	12.10.16	—	—	—	—	—	—	—	3.1	120	3.8	4.2			A
	〃	〃	12.04.10	—	—	—	—	—	—	—	—	100	3.3	3.7			C
	〃	〃	12.07.03	—	—	—	—	—	—	—	2.2	110	3.7	3.9			C
	〃	〃	12.10.02	—	—	—	—	—	—	—	3.6	100	3.9	3.9			C
	〃	〃	13.01.08	—	—	—	—	—	—	—	4.9	130	4.2	4.3			C
	放水口沖	〃	12.04.10	—	—	—	—	—	—	—	3.0	120	4.5	4.4	—	—	C
	〃	〃	12.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	120	4.6	4.2			C
	〃	〃	12.10.02	—	—	—	—	—	—	—	2.6	140	5.3	5.0			C
	〃	〃	13.01.08	—	—	—	—	—	—	—	2.4	150	5.6	5.5			C
	冠者島横	〃	12.10.16	—	—	—	0.7	—	—	—	9.5	130	7.1	4.0	—	0.4~1.6	A
西村入江	砂・泥	〃	—	—	—	3.6	—	—	—	3.1	510	25	17	—	3.8~3.9	A	
高浜	1, 2号放水口	砂	12.04.10	—	—	—	0.6	—	—	—	5.5	410	17	12	—	0.7~1.4	A
	〃	〃	12.10.16	—	—	—	0.7	—	—	—	8.1	370	15	11			A
	〃	〃	12.04.11	—	—	—	1.3	—	—	—	14	410	21	11			C
	〃	〃	12.07.04	—	—	—	1.2	—	—	—	7.9	430	21	13			C
	〃	〃	12.10.03	—	—	—	0.9	—	—	—	8.6	240	13	6.5			C
	〃	〃	13.01.09	—	—	—	1.2	—	—	—	12	440	22	11			C
	3, 4号放水口	砂・泥	12.04.10	—	—	—	0.9	—	—	—	9.5	380	22	13	—	ND~1.2	A
	〃	〃	12.10.16	—	—	—	0.7	—	—	—	7.2	390	22	14			A
	〃	砂	12.04.11	—	—	—	0.7	—	—	—	16	420	24	14			C
	〃	〃	12.07.04	—	—	—	0.5	—	—	—	—	430	25	16			C
	〃	〃	12.10.03	—	—	—	0.6	—	—	—	6.2	470	22	13			C
〃	〃	13.01.09	—	—	—	0.7	—	—	—	9.6	580	28	17	C			
放水口沖	砂・泥	12.10.16	—	—	—	1.8	—	—	—	5.0	360	16	11	—	1.2~2.7	A	

過去実績：2009~2011年度

第22表 核種分析結果 その10 海底土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
高浜	放水口沖	砂	12.04.11	—	—	—	1.3	—	—	—	380	15	9.8	—	1.2~2.7	C
	〃	〃	12.07.04	—	—	—	1.5	—	—	—	350	17	10			C
	〃	泥	12.10.03	—	—	—	1.5	—	—	—	370	15	10			C
	〃	砂	13.01.09	—	—	—	1.4	—	—	—	360	16	9.9			C
	旧内浦港口ブイ	砂・泥	12.10.16	—	—	—	2.1	—	—	—	450	15	11	—	ND~1.5	A
	神野浦	〃	〃	—	—	—	0.7	—	—	11	260	8.2	5.6	—	0.6~0.7	A
	白井入江	〃	〃	—	—	—	0.9	—	—	8.8	270	11	8.3	—	0.7~0.9	A
	音海	泥	〃	—	—	—	1.3	—	—	4.1	510	19	18	—	1.0~3.9	A

過去実績：2009～2011年度

第23表 核種分析結果 その11 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種						参考核種		天然核種		平均体長 cm	平均体重 g	過去実績		機関	
					²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K			⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	えりヶ崎	メジナ	肉	12.04.02	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	18	192	—	0.1~0.8	A	
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	〃	12.06.05	—	—	—	—	/	0.5 ^{*1}	—	—	—	130	34	1432			A	
	〃	〃	〃	12.09.05	—	—	—	—	/	0.4 ^{*1}	—	—	—	130	34	1392			A	
	立石漁港	カマス	全身	12.10.04	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	22	77			A	
	〃	サワラ	肉	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	150	32	283			A	
	立石沖	ハマチ	〃	12.10.10	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	150	40	550			B	
	〃	ハマチ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	33	568			D	
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	〃	12.12.05	—	—	—	—	/	0.5 ^{*1}	—	—	—	130	31	1169			A	
	〃	〃	〃	13.03.06	—	—	—	—	/	0.3 ^{*1}	—	—	—	120	38	1257			A	
	立石岬	サザエ	除殻	12.06.05	—	—	—	—	/	—	—	—	3.9	87		82	—		ND~0.0	A
	えりヶ崎	〃	〃	12.06.06	—	—	—	—	/	—	—	—	5.2	87		60				A
	立石沖	〃	〃	12.07.04	—	—	—	—	/	—	—	—	4.4	94						B
	えりヶ崎	〃	〃	〃	—	—	—	—	/	—	—	—	3.5	68		104				A
	立石岬	ワカメ	除根	12.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	230			—		ND~0.1	A
	立石沖	〃	〃	12.04.10	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	260						B
	えりヶ崎	〃	〃	12.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	1.4	160						A
立石岬	〃	〃	12.05.04	—	—	—	—	—	—	—	—	0.7	210				A			
立石漁港	ナマコ	全身	12.04.02	—	—	—	—	/	—	—	—	1.7	23	20	296	—	—	A		
白木	アジゴ崎	ホオボウ	〃	12.04.20	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	24	286	—	0.0~0.3	A	
	白木沖	アジ	〃	12.07.25	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	14	41			D	
	もんじゅ放水口沖	〃	肉	12.10.03	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	15	55			A	
	〃	カマス	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	150	22	88			A	
	白木沖	フクラギ	〃	12.10.09	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	30	437		D		
	サビ崎	アワビ	除殻	12.06.02	—	—	—	—	/	—	—	—	2.3	60		189	—	ND~0.0	A	
	アジゴ崎	サザエ	〃	12.06.08	—	—	—	—	/	—	—	—	2.6	60		66			A	
	〃	〃	〃	12.07.06	—	—	—	—	/	—	—	—	3.1	60		59			A	
	白木沿岸	〃	〃	〃	—	—	—	—	/	—	—	—	2.6	62		53			D	
	白木漁港	ワカメ	除根	12.04.08	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	210			—		ND~0.1	A
	門ヶ崎	〃	〃	12.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	170				A		
	松ヶ崎	〃	〃	12.05.14	—	—	—	—	—	—	—	—	0.7	180				A		
	白木沿岸	〃	〃	12.05.24	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	230				D		
アジゴ崎	カレイ類	全身	12.04.20	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	23	226	/	/	A		
美浜	1, 2号放水口沖	アジ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	11	24	—	0.0~0.1	A	
	〃	クサブリ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	92	13	79			A	
	1, 2号放水口	アジ	〃	12.06.06	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	16	42			C	
	3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	16	41			C	
	1, 2号放水口	〃	〃	12.07.04	—	—	—	—	/	0.0	—	—	0.2	90	6	3			A	
	1, 2号放水口沖	〃	〃	12.10.02	—	—	—	—	/	0.1	—	—	0.4	110	8	9			A	
	〃	カワハギ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.0	—	—	3.0	86	12	34			A	
	1, 2号放水口	アジ	〃	12.10.09	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	8	10			C	
	3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	15	54			C	
	1, 2号放水口	サザエ	除殻	12.06.03	—	—	—	—	/	—	—	—	4.3	74		73	—		ND~0.1	A
3号放水口	アワビ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.0	—	—	2.5	69		250		A			

過去実績：2009~2011年度

(注1) 実績欄の値は、地区毎の魚、貝、藻別にまとめて求めたものである。付帯データのうち体長は全長、重量は全身または殻込みの重量である。各放水口は放水口付近を含む。

(注2) *1：福島第一原子力発電所事故影響と考えられるCs-134が検出された。詳細はp.170~171のとおり。

(注3) *2：貝類の一部から福島第一原子力発電所事故影響と考えられるAg-110mが検出された。詳細はp.171のとおり。

第23表 核種分析結果 その11 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種						参考核種		天然核種		平均体長 cm	平均体重 g	過去実績		機関
					²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K			⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
美浜	3号放水口	サザエ	除殻	12.07.03	—	—	—	—	/	—	—	—	4.3	72		62	—	ND~0.1	A
	1, 2号放水口	〃	〃	12.07.09	—	—	—	—	/	—	—	—	4.8	58		65			C
	3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	/	—	—	—	3.9	62		59			C
	1, 2号放水口	ワカメ	除根	12.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	250			—	—	A
	1, 2号放水口	〃	〃	12.05.06	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	160					A
	3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	0.6	160					A
	1, 2号放水口	〃	〃	13.03.31	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	170					C
	3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	0.9	140					C	
大飯	髷島	アジ	肉	12.04.02	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	23	209	—	ND~0.2	A
	〃	スズキ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.2	—	—	—	120	32	500			A
	放水口	アジ	〃	12.06.07	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	39	569			C
	髷島沖	ニギス	全身	12.10.02	—	—	—	—	/	0.1	—	—	0.2	85	15	31			A
	〃	ホオボウ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	18	125			A
	放水口	アジ	肉	12.10.14	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	130	37	433			C
	赤礁崎	サザエ*2	除殻	12.06.05	—	—	—	—	/	—	—	—	5.1	85		71	—	ND~0.0	A
	〃	アワビ*2	〃	〃	—	—	—	—	/	—	—	—	3.6	63		106			A
	〃	サザエ*2	〃	12.07.03	—	—	—	—	/	—	—	—	5.2	69		86			A
	放水口	〃	〃	12.07.05	—	—	—	—	/	—	—	—	2.9	63		62			C
	赤礁崎	ワカメ	除根	12.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7	230			—	ND~0.0	A
	〃	〃	〃	12.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5	180					A
	〃	モズク	全体	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	140					A
		放水口	ワカメ	除根	13.03.27	—	—	—	—	—	—	—	0.6	240					C
高浜	取水口	アジ	全身	12.04.23	—	—	—	—	/	0.1	—	—	0.3	98	12	26	—	0.0~0.2	A
	〃	ブリ	肉	12.04.29	—	—	—	—	/	0.3 ^{*1}	—	—	—	130	35	741			A
	内浦湾	アジ	全身	12.06.07	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	17	44			C
	小黒飯	キジハタ	肉	12.10.05	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	22	330			A
	内浦湾	アジ	全身	12.10.09	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	18	75			C
	取水口	メジナ	肉	12.12.02	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	130	22	355			A
	内浦湾	サザエ	除殻	12.07.07	—	—	—	—	/	—	—	—	3.6	64		103	—	ND~0.1	C
	取水口	〃	〃	12.07.10	—	—	—	—	/	—	—	—	3.9	57		104			A
	名島	〃*2	〃	12.07.20	—	—	—	—	/	—	—	—	5.6	57		101			A
	取水口	〃*2	〃	12.07.29	—	—	—	—	/	—	—	—	5.3	61		89			A
	難波江	ワカメ	除根	12.05.20	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3	150			—	—	A
	小黒飯漁港	〃	〃	12.05.26	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5	140					A
	内浦湾	〃	〃	13.03.17	—	—	—	—	—	—	—	—	1.4	200					C
	小黒飯漁港	〃	〃	13.03.24	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	73					A
対照	越前町	ハマチ	肉	12.05.10	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	120	38	776	—	0.1~0.3	A
	〃	トビウオ	〃	12.05.17	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	21	111			A
	福井市	ハマチ	〃	13.01.16	—	—	—	—	/	0.1	—	—	0.2	120	32	708			A
	越廼沖	サザエ*2	除殻	12.06.04	—	—	—	—	/	—	—	—	2.4	63		81	—	—	A
	河野沖	ワカメ	除根	12.05.10	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1	220			—	—	A
	〃	モズク	全体	12.05.17	—	—	—	—	—	—	—	—	1.4	55					A

過去実績：2009~2011年度

第24表 核種分析結果 その12 指標海産生物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関		
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs			
敦賀	明神崎F	ホンダワラ	12.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4	360	—	ND~0.1	B		
	〃	〃	12.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.4	320	—	—	A		
	水島	〃	12.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.8	360	—	—	B		
	〃	〃	12.11.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.5	360	—	—	B		
	釜谷元川河口	〃	12.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	320	—	ND~0.1	B		
	〃	〃	12.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.6	340	—	—	A		
	立石	〃	12.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8	330	—	—	B		
	〃	〃	12.11.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.2	280	—	—	B		
	2号放水口	〃	12.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4	350	—	—	B		
	〃	〃	12.06.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.0	290			A		
	〃	〃	12.08.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7	240			B		
	〃	〃	12.09.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	210			A		
	〃	〃	12.11.21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	260			A		
	〃	〃	12.11.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.9	400			B		
	〃	〃	13.02.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	340			B		
	〃	〃	13.03.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.1	240			A		
	ふげん放水口	〃	12.05.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	200			—	—	D
	〃	〃	12.06.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	210					A
	〃	〃	12.07.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.2	230	D				
	〃	〃	12.09.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5	250	A				
〃	〃	12.10.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6	300	D					
〃	〃	12.11.21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.6	320	A					
〃	〃	13.01.21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.2	270	D					
〃	〃	13.03.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.2	240	A					
白木	松ヶ崎	〃	12.05.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.2	310	—	—	D		
	〃	〃	12.06.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.2	230			A		
	〃	〃	12.07.10	—	—	—	—	—	—	—	—	17	320	D					
	〃	〃	12.09.04	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	13	200			A		
	〃	〃	12.10.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	210			D		
	〃	〃	12.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.4	250			A		
	〃	〃	13.01.21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4	240			D		
	〃	〃	13.03.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.7	460			A		
美浜	1, 2号放水口	〃	12.04.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.1	190	—	ND~0.2	C		
	〃	〃	12.06.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3	290			A		
	〃	〃	12.07.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4	290			C		
	〃	〃	12.09.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9	250			A		
	〃	〃	12.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	300			C		
	〃	〃	12.11.21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3	370			A		
	〃	〃	13.01.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3	350			C		
	〃	〃	13.03.07	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	5.1	360			A		

過去実績：2009～2011年度

(注) ホンダワラは除根試料を分析した。

第24表 核種分析結果 その12 指標海産生物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関			
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs				
美浜	3号放水口	ホンダワラ	12.04.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.2	270	—	ND~0.1	C			
	〃	〃	12.06.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.5	290						
	〃	〃	12.07.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3	260						
	〃	〃	12.09.12	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	11	250						
	〃	〃	12.10.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	280						
	〃	〃	12.11.21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.0	310						
	〃	〃	13.01.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1	320						
	〃	〃	13.03.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	320						
大飯	放水口	〃	12.04.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.4	240	—	—	C			
	〃	〃	12.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	280						
	〃	〃	12.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8	260						
	〃	〃	13.01.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.0	360						
	台場浜	〃	12.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1	310				—	—	A
	〃	〃	12.09.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.4	180						
	〃	〃	12.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.8	350						
	〃	〃	13.03.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.9	290						
高浜	3, 4号放水口	〃	12.04.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.7	230	—	ND~0.1	C			
	〃	〃	12.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	260						
	〃	〃	12.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.2	270						
	〃	〃	13.01.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.6	290						
	神野浦	〃	12.06.05	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	9.1	220	—	ND~0.1	A			
	〃	〃	12.09.05	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	20	170						
	〃	〃	12.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	300						
	〃	〃	13.03.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28	260						
	音海	〃	12.04.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.8	310	—	—	C			
	〃	〃	12.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4	260						
	〃	〃	12.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1	270						
	〃	〃	13.01.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1	290						
	貯木場	〃	12.04.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	170	—	—	C			
	〃	〃	12.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.2	220						
	〃	〃	12.10.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.2	250						
	〃	〃	13.01.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	250						
	へたヶ崎	ホンダワラ	12.06.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3	250	—	—	A			
	〃	〃	12.09.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.7	200						
	〃	〃	12.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.0	280						
	〃	〃	13.03.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.1	290						
対照	福井市小丹生町	〃	12.04.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	360	—	—	A			
	〃	〃	12.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.8	280						
	〃	〃	12.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	270						
	〃	〃	13.01.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	450						

過去実績：2009~2011年度

第25表 トリチウム分析結果 その1 陸水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底（水試）	水道水	12.06.06	0.8	0.6～1.6	A
		〃	12.09.06	0.8		
		〃	12.12.05	0.6		
		〃	13.03.06	0.8		
	浦底（明神寮）	〃	12.04.02	1.1	0.9～1.2	B
		〃	12.07.10	1.1		
		〃	12.10.01	1.1		
		〃	13.01.04	1.0		
白木	白木（民家）	〃	12.05.10	0.5	ND～1.5	D
		〃	12.06.06	0.7		A
		〃	12.08.16	0.7		D
		〃	12.09.06	1.0		A
		〃	12.11.07	0.9		D
		〃	12.12.05	0.9		A
		〃	13.02.07	1.0		D
		〃	13.03.06	1.0		A
美浜	丹生 （漁協飼料保管解凍施設横）	〃	12.08.01	1.1	1.0～1.6	C
		〃	13.02.01	1.0		
	丹生（民家）	〃	12.06.06	0.9	0.8～1.6	A
		〃	12.09.06	1.0		
		〃	12.12.05	1.1		
		〃	13.03.06	0.9		
大飯	宮留（民家）	〃	12.06.05	0.6	ND～1.5	A
		〃	12.08.02	0.8		C
		〃	12.09.05	0.8		A
		〃	12.12.04	0.7		
		〃	13.02.04	0.6		C
		〃	13.03.05	0.9		A
高浜	音海（民家）	〃	12.06.05	—	ND～1.2	A
		〃	12.09.05	0.7		
		〃	12.12.04	1.1		
		〃	13.03.05	0.7		

過去実績：2009～2011年度

（注）計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず（—、またはND）とした。

第25表 トリチウム分析結果 その1 陸水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	小黒飯（民家）	水道水	12.08.02	0.7	0.4～1.3	C
		〃	13.02.04	0.6		
	神野浦（民家）	〃	12.08.02	0.8	0.6～0.8*	C
		〃	13.02.04	0.7		
対照	原目町（福井分析管理室）	〃	12.06.07	—	ND～0.9	A
		〃	12.09.05	—		
		〃	12.12.07	—		
		〃	13.03.11	0.6		

過去実績：2009～2011年度

（注）＊：2010年度より測定を開始したため、過去実績は2010～2011年度の2年間。

第26表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	立石A	12.04.02～12.05.01	1.5	0.9～4.4	D
		12.05.01～12.06.04	2.6		
		12.06.04～12.07.02	1.4		
		12.07.02～12.08.06	2.2		
		12.08.06～12.09.03	1.3		
		12.09.03～12.10.01	1.6		
		12.10.01～12.11.05	2.4		
		12.11.05～12.12.03	3.8		
		12.12.03～13.01.07	2.3		
		13.01.07～13.02.04	2.7		
		13.02.04～13.03.04	2.3		
		13.03.04～13.04.01	1.9		
猪ヶ池B		12.04.04～12.05.02	6.7	2.9～17	D
		12.05.02～12.06.04	6.7		
		12.06.04～12.07.04	5.3		
		12.07.04～12.08.03	5.8		
		12.08.03～12.09.05	4.2		
		12.09.05～12.10.03	5.0		
		12.10.03～12.11.02*	6.5*		
		12.11.02～12.12.05	7.2		
		12.12.05～13.01.04	7.3		
		13.01.04～13.02.04	7.0		
		13.02.04～13.03.04	6.9		
		13.03.04～13.04.05	8.2		
浦底A		12.04.05～12.05.09	3.0	1.3～8.9	A
		12.05.09～12.06.06	4.0		
		12.06.06～12.07.05	3.6		
		12.07.05～12.08.08	2.4		
		12.08.08～12.09.06	1.9		
		12.09.06～12.10.04	4.6		
		12.10.04～12.11.08	5.3		
		12.11.08～12.12.05	4.0		
		12.12.05～13.01.10	4.2		
		13.01.10～13.02.07	4.7		
		13.02.07～13.03.06	4.7		
		13.03.06～13.04.11	3.8		

過去実績：2009～2011年度

(注) 県 (A)、原電 (B)、原子力機構 (D) はテレメータ観測局内、関電 (C) は気象観測局内、対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

(注)*：敦賀地区 (猪ヶ池B) の10月分については未採取期間(12.10.14～12.10.17)があったため、参考値とする。

第26表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/ℓ

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底B	12.04.04～12.05.02	3.3	1.5～9.4	B
		12.05.02～12.06.04	3.3		
		12.06.04～12.07.04	3.2		
		12.07.04～12.08.03	2.8		
		12.08.03～12.09.05	1.7		
		12.09.05～12.10.03	2.7		
		12.10.03～12.11.02	4.1		
		12.11.02～12.12.05	4.0		
		12.12.05～13.01.04	3.6		
		13.01.04～13.02.04	3.9		
		13.02.04～13.03.04	4.3		
	13.03.04～12.04.05	3.7			
	色ヶ浜B	12.04.04～12.05.02	2.8	1.4～4.2	B
		12.05.02～12.06.04	2.9		
		12.06.04～12.07.04	2.7		
		12.07.04～12.08.03	2.6		
		12.08.03～12.09.05	1.7		
		12.09.05～12.10.03	2.0		
		12.10.03～12.11.02	2.2		
		12.11.02～12.12.05	2.3		
12.12.05～13.01.04		2.2			
13.01.04～13.02.04		2.5			
13.02.04～13.03.04	2.5				
13.03.04～13.04.05	2.5				
白木	白木A	12.04.05～12.05.09	1.7	0.9～4.4	A
		12.05.09～12.06.06	3.8		
		12.06.06～12.07.04	1.7		
		12.07.04～12.08.08	1.0		
		12.08.08～12.09.06	0.6		
		12.09.06～12.10.03	1.5		
		12.10.03～12.11.05	1.4		
		12.11.05～12.12.05	1.6		
		12.12.05～13.01.09	1.3		
		13.01.09～13.02.07	1.6		
		13.02.07～13.03.06	1.5		
	13.03.06～13.04.10	1.0			
	白木峠A	12.04.02～12.05.01	2.0	1.4～4.2	D
		12.05.01～12.06.04	2.8		
		12.06.04～12.07.02	2.3		
		12.07.02～12.08.06	2.3		
		12.08.06～12.09.03	1.6		
		12.09.03～12.10.01	1.7		
		12.10.01～12.11.05	2.3		
		12.11.05～12.12.03	2.3		
12.12.03～13.01.07		1.6			
13.01.07～13.02.04	1.3				
13.02.04～13.03.04	1.9				
13.03.04～13.04.01	2.5				

過去実績：2009～2011年度

第26表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
美浜	竹波 A	12.04.04～12.05.09	3.9	1.5～5.6	A
		12.05.09～12.06.06	5.4		
		12.06.06～12.07.04	2.2		
		12.07.04～12.08.08	2.9		
		12.08.08～12.09.06	2.0		
		12.09.06～12.10.03	2.4		
		12.10.03～12.11.07	1.6		
		12.11.07～12.12.05	1.6		
		12.12.05～13.01.09	2.4		
		13.01.09～13.02.07	1.7		
		13.02.07～13.03.06	2.1		
	13.03.06～13.04.10	2.0			
	竹波（落合川取水場）	12.04.02～12.05.02	1.5	1.3～10	C
		12.05.02～12.06.04	4.5		
		12.06.04～12.07.02	2.6		
		12.07.02～12.08.01	2.0		
		12.08.01～12.09.03	1.6		
		12.09.03～12.10.01	1.6		
		12.10.01～12.11.01	1.8		
		12.11.01～12.12.03	1.8		
12.12.03～13.01.04		2.5			
13.01.04～13.02.01		2.3			
13.02.01～13.03.01		2.4			
13.03.01～13.04.01	2.0				
大飯	宮留 A	12.04.04～12.05.08	5.6	3.6～12	A
		12.05.08～12.06.05 ^{*1}	欠測 ^{*1}		
		12.06.05～12.07.04 ^{*2}	7.4 ^{*2}		
		12.07.04～12.08.07 ^{*3}	4.3 ^{*3}		
		12.08.07～12.09.05	3.9		
		12.09.11～12.10.03	6.0		
		12.10.03～12.11.06	7.1		
		12.11.06～12.12.04	3.9		
		12.12.04～13.01.09	2.8		
		13.01.09～13.02.05	4.8		
		13.02.05～13.03.05	6.2		
	13.03.05～13.04.10	4.1			
	日角浜	12.04.03～12.05.07	2.6	1.8～7.2	C
		12.05.07～12.06.05	3.6		
		12.06.05～12.07.03	3.8		
		12.07.03～12.08.02	2.9		
		12.08.02～12.09.04	3.3		
		12.09.04～12.10.01	2.8		
		12.10.01～12.11.02	2.6		
		12.11.02～12.12.04	1.9		
12.12.04～13.01.07		1.6			
13.01.07～13.02.04		2.5			
13.02.04～13.03.04		1.6			
13.03.04～13.04.02	2.2				

過去実績：2009～2011年度

(注)*1：大飯地区（宮留A）の5月分については、試料が採取できなかったため欠測とする。

(注)*2：大飯地区（宮留A）の8月分については、除湿器の機能低下がみられたため参考値とする。

(注)*3：大飯地区（宮留A）の9月分については、未採取期間(12.9.5～12.9.11)があったため参考値とする。

第26表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	小黒飯A	12.04.04~12.05.08	15	10 ~39	A
		12.05.08~12.06.05	21		
		12.06.05~12.07.03	12		
		12.07.04~12.08.07	15		
		12.08.07~12.09.05	11		
		12.09.05~12.10.03	18		
		12.10.03~12.11.06	25		
		12.11.06~12.12.04	18		
		12.12.04~13.01.09	22		
		13.01.09~13.02.05	23		
		13.02.05~13.03.05	17		
		13.03.05~13.04.09	12		
		神野浦			
12.05.07~12.06.05	11				
12.06.05~12.07.03	8.0				
12.07.03~12.08.02	7.5				
12.08.02~12.09.04	6.4				
12.09.04~12.10.01	6.1				
12.10.01~12.11.02	2.5				
12.11.02~12.12.04	3.1				
12.12.04~13.01.07	2.6				
13.01.07~13.02.04	2.5				
13.02.04~13.03.04	5.0				
13.03.04~13.04.02	6.3				
対照	原目町（福井分析管理室）			12.04.02~12.05.07	—
		12.05.07~12.06.05	0.7		
		12.06.05~12.07.03	—		
		12.07.03~12.08.07	—		
		12.08.07~12.09.05	—		
		12.09.05~12.10.04	0.7		
		12.10.04~12.11.08	—		
		12.11.08~12.12.03	0.7		
		12.12.03~13.01.04	—		
		13.01.04~13.02.06	—		
		13.02.06~13.03.04	0.6		
		13.03.04~13.04.02	0.6		

過去実績：2009~2011年度

第27表 トリチウム分析結果 その3 雨水

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底（水試）	12.04.05～12.07.05	1.9	1.0～6.2	A
		12.07.05～12.10.04	2.6		
		12.10.04～13.01.10	2.1		
		13.01.10～13.04.11	2.5		
	浦底（明神寮）	12.04.02～12.07.02	3.1	1.2～4.9	B
		12.07.02～12.10.01	1.8		
		12.10.01～13.01.04	1.4		
		13.01.04～12.04.01	1.9		
白木	松ヶ崎（機構Mステーション）	12.04.02～12.07.02	0.8	0.6～1.9	D
		12.04.05～12.07.04	0.9	0.7～1.9	A
		12.07.02～12.10.01	0.6	0.6～1.9	D
		12.07.04～12.10.03	—	0.7～1.9	A
		12.10.01～13.01.07	0.7	0.6～1.9	D
		12.10.03～13.01.09	0.9	0.7～1.9	A
		13.01.07～13.04.01	0.9	0.6～1.9	D
		13.01.09～13.04.10	0.9	0.7～1.9	A
美浜	竹波（落合川取水場）	12.04.04～12.07.04	1.4	1.1～3.4	A
		12.07.04～12.10.03	0.7		
		12.10.03～13.01.09	1.4		
		13.01.09～13.04.10	1.4		
	丹生（関電丹生寮）	12.04.02～12.07.02	1.2	1.0～3.3	C
		12.07.02～12.10.01	0.9		
		12.10.01～13.01.04	1.3		
		13.01.04～13.04.01	1.6		
大飯	宮留（県テレメ観測局）	12.04.04～12.07.04	4.3	2.6～7.7	A
		12.07.04～12.10.03	3.6		
		12.10.03～13.01.09	2.2		
		13.01.09～13.04.10	1.4		
	日角浜（ヴィラ大島）	12.04.03～12.07.03	1.5	1.3～4.0	C
		12.07.03～12.10.02	1.6		
		12.10.02～13.01.07	1.2		
		13.01.07～13.04.02	1.7		
高浜	小黒飯（県テレメ観測局）	12.04.04～12.07.03	7.6	4.9～8.2	A
		12.07.04～12.10.03	5.2		
		12.10.03～13.01.09	5.8		
		13.01.09～13.04.09	6.8		
	小和田（小和田ポンプ所）	12.04.03～12.07.03	1.2	0.6～2.4	C
		12.07.03～12.10.02	1.1		
		12.10.02～13.01.07	0.7		
		13.01.07～13.04.02	1.1		
対照	原目町（福井分析管理室）	12.04.02～12.07.03	—	ND～0.9	A
		12.07.03～12.10.04	0.6		
		12.10.04～13.01.04	0.6		
		13.01.04～13.04.02	0.5		

過去実績：2009～2011年度

第28表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	敦賀発電所2号放水口	海水	12.04.12	1.0	ND~50	A
		〃	12.05.08	0.7		B
		〃	12.08.31	0.5		
		〃	12.10.25	—		A
		〃	12.11.22	0.8		B
		〃	13.02.06	0.7		
		〃	13.03.06	0.5		D
	ふげん放水口	〃	12.04.12	—	ND~1100	A
		〃	12.06.05	—		D
		〃	12.08.31	0.2		B
		〃	12.09.04	—		D
		〃	12.10.25	—		A
		〃	12.12.14	—		D
		〃	13.03.06	0.6		
	敦賀発電所2号・ふげん放水口周辺	〃	12.04.12	—	ND~5.2	A
		〃	12.08.31	0.2		B
		〃	12.10.25	—		A
		〃	13.03.06	—		D
	白木	もんじゅ放水口	〃	12.04.12	—	ND~1.4
〃			12.05.08	0.5	D	
〃			12.08.07	—		
〃			12.10.22	—	A	
〃			12.11.22	—	D	
〃			13.02.06	0.6		
もんじゅ放水口周辺		〃	12.04.12	—	ND~1.2	A
		〃	12.08.07	0.9		D
		〃	12.10.22	0.8		A
		〃	13.02.06	—		D
美浜		美浜発電所1, 2号放水口	〃	12.04.12	—	ND~11
	〃		12.05.09	1.3	C	
	〃		12.08.03	0.5		
	〃		12.10.18	—	A	
	〃		12.11.16	1.4	ND~11	C
	〃		13.02.06	0.5		

過去実績：2009～2011年度

(注) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

第28表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関	
美浜	美浜発電所3号放水口	海水	12.04.12	—	ND~11	A	
		〃	12.05.09	2.2		C	
		〃	12.08.03	0.7			
		〃	12.10.18	—		A	
		〃	12.11.16	0.8		C	
		〃	13.02.06	—			
	美浜発電所放水口周辺	〃	12.04.12	—	ND~7.8	A	
		〃	12.08.03	—		C	
		〃	12.10.18	0.5		A	
		〃	13.02.06	—		C	
	大飯	大飯発電所放水口	〃	12.04.10	1.2	ND~2.1	A
			〃	12.05.08	—		C
			〃	12.08.02	—		
			〃	12.10.16	0.9		A
〃			12.11.06	0.5	C		
〃			13.02.07	—			
大飯発電所放水口周辺		〃	12.04.10	0.7	ND~1.5	A	
		〃	12.08.02	0.4		C	
		〃	12.10.16	1.0		A	
		〃	13.02.07	—		C	
高浜		高浜発電所1, 2号放水口	〃	12.04.10	1.5	ND~4.5	A
			〃	12.04.11	0.4		C
			〃	12.05.08	1.4		
			〃	12.07.04	0.6		
	〃		12.08.02	2.0			
	〃		12.10.03	—			
	〃		12.10.16	—	A		
	〃		12.11.06	0.5	C		
	〃		13.01.09	—			
	〃		13.02.07	—			

過去実績：2009～2011年度

第28表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関	
高浜	高浜発電所3, 4号放水口	海水	12.04.10	1.3	ND~11	A	
		〃	12.04.11	0.7		C	
		〃	12.05.08	1.1			
		〃	12.07.04	0.7			
		〃	12.08.02	1.9			
		〃	12.10.03	—			
		〃	12.10.16	—		A	
		〃	12.11.06	0.5		C	
		〃	13.01.09	—			
		〃	13.02.07	—			
		高浜発電所放水口沖	〃	12.04.11		1.2	ND~6.8
	〃		12.05.08	1.2			
	〃		12.07.04	1.0			
	〃		12.08.02	2.4			
	〃		12.10.03	—			
	〃		12.11.06	0.8			
	〃		13.01.09	—			
	〃		13.02.07	—			
	高浜発電所放水口周辺	〃	12.04.10	1.9	0.4~10	A	
		〃	12.08.02	1.9		C	
		〃	12.10.16	0.6		A	
		〃	13.02.07	—		C	
	対照	福井市小丹生町	〃	12.04.05	—	ND~0.6	A
			〃	12.10.02	0.6		

過去実績：2009～2011年度

(注) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

第29表 放射化学分析等による⁹⁰Sr・¹³⁷Cs・²³⁹Pu分析結果

(その1 ストロンチウム-90)

分析機関：A
単位：mBq/kg生

区分	地区	採取地点	種類	採取日	放射能濃度	過去実績
指標植物	敦賀	浦底	ヨモギ	12.06.04	140	25 ~ 220
	白木	松ヶ崎		12.06.06	100	44 ~ 300
	美浜	竹波		12.06.04	160	190 ~ 530
	大飯	日角浜		12.06.05	220	30 ~ 120
	高浜	小黒飯		12.06.05	570	320 ~ 430
	対照	福井市原目町		12.06.07	220	170 ~ 430
指標海産生物	敦賀	敦賀2号放水口	ホンダワラ	12.06.12	22	38 ~ 94
	白木	松ヶ崎		12.06.04	29	29 ~ 33
	美浜	美浜1,2号放水口		12.06.12	17	37 ~ 42
	大飯	台場浜		12.06.05	22	33 ~ 56
	高浜	へたヶ崎		12.06.05	38	31 ~ 78 ^(注2)
	対照	小丹生		12.04.05	37	ND ~ 57

過去実績：2009～2011年度

(注1) ーおよびNDは、検出限界値未満を示す（以下、同じ）。

(注2) 2010年度より採取地点が変更されたため、過去実績は2010～2011年度の2年分

(第29表続き その2 アンチコインシデンス測定によるセシウム-137)

分析機関：A

単位：生物試料 mBq/kg生、海底土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取月日	放射能濃度	過去実績
海底土	敦賀	敦賀2号放水口	砂	12.06.12	—	—
		ふげん放水口	砂	12.11.21	—	—
	白木	もんじゅ放水口	砂	12.04.12	—	—
	美浜	美浜1,2号放水口	砂・泥	12.10.18	260	310 ~ 350
		美浜1,2号放水口沖	砂	12.10.18	180	ND ~ 270
		美浜3号放水口沖	砂	12.11.21	—	—
	大飯	大飯放水口	砂	12.10.16	94	150 ~ 270
	高浜	高浜1,2号放水口	砂	12.04.10	680	790 ~ 840
高浜3,4号放水口		砂・泥	12.04.10	790	700 ~ 1300	
海産食品	敦賀	えりヶ崎	ワカメ	12.05.02	12	14 ~ 30
	白木	門ヶ崎		12.05.07	17	15 ~ 69
	美浜	美浜3号放水口		12.05.06	16	19 ~ 38
	大飯	赤礁崎		12.05.07	16	23 ~ 72
	高浜	小黒飯漁港		12.05.26	20	20 ~ 33
	対照	河野沖		12.05.10	26	15 ~ 37
	敦賀	立石漁港	サザエ	12.06.05	18	19 ~ 21
	白木	アジゴ崎		12.06.08	20	24 ~ 30
	美浜	美浜1,2号放水口		12.06.03	27	20 ~ 37
	大飯	赤礁崎		12.06.05	23	15 ~ 24
	高浜	高浜取水口		12.07.29	22	17 ~ 22
	対照	越廼沖		12.06.04	—	15 ~ 32
	指標海産生物	敦賀		ふげん放水口	ホンダワラ	12.11.21
明神崎F			12.11.05	67		41 ~ 140
白木		松ヶ崎	12.11.05	32		32 ~ 48
美浜		美浜1,2号放水口	12.11.21	39		40 ~ 58
大飯		台場浜	12.11.06	40		23 ~ 53
高浜		へたヶ崎	12.11.06	35		28 ~ 31

過去実績：2009～2011年度

(その3 プルトニウム-238、239(+240) 陸上試料)

単位：生物試料 mBq/kg生、陸土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取月日	²³⁸ Pu 濃度	²³⁹ Pu 濃度	過去実績		機関		
							²³⁸ Pu	²³⁹ Pu			
陸土	白木	松ヶ崎	土床	12.05.09	—	55	—	26 ~ 75	A		
				12.07.11	—	72			D		
				12.11.05	—	61			A		
				13.01.16	—	68			D		
	対照	勝山市池ヶ原	山土	12.06.28	14	450	92 ~ 160 ^(注2)	3800 ~ 5000 ^(注2)	A		
指標植物	敦賀	浦底	ヨモギ ヒメムカシヨモギ	12.05.10	—	—	—	—	A		
	白木	松ヶ崎		12.05.09	—	—	—	ND ~ 0.86	A		
				12.06.06	—	—			A		
				12.07.04	—	—			A		
				12.08.08	—	—			A		
				12.09.04	—	0.84			A		
				12.10.03	—	—			A		
				12.11.05	—	0.66			A		
	美浜	竹波		ヨモギ	12.05.09	—	—	—	ND ~ 0.42	A	
	大飯	日角浜			12.05.08	—	—	—	ND ~ 0.31	A	
	高浜	小黒飯			12.05.08	—	—	—	ND ~ 0.45	A	
	対照	福井市原目町			12.05.16	—	—	—	—	A	
	農産物	白木		白木	大根葉	12.11.07	—	0.33	—	ND ~ 0.41	A

過去実績：2009～2011年度

(注1) プルトニウム分析結果においてPu-238が検出された場合、Pu-238/Pu-239比が3%前後であれば、核実験フォールアウト由来と判断できる。

今年度Pu-238が検出された試料のPu-238/Pu-239比は、全てその範囲内であった。

(注2) 今年度から採取地点を約800m南西に移動したため、参考として以前の採取地点の過去実績を記載

(その4 プルトニウム-238、239(+240) 海洋試料)

単位：生物試料 mBq/kg生、海底土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取月日	²³⁸ Pu 濃度	²³⁹ Pu 濃度	過去実績		機 関
							²³⁸ Pu	²³⁹ Pu	
海底土	敦賀	敦賀2号放水口 ^(注)	砂	12.10.25	—	100	—	98 ~ 170	A
		浦底湾口	砂	12.10.25	31	1800	ND ~ 25	1600 ~ 1700	A
	白木	もんじゅ放水口	砂	12.04.12	—	86	—	45 ~ 140	A
				12.05.08	—	67			D
				12.10.22	—	57			A
				12.11.22	—	71			D
	白木	もんじゅ放水口東	砂	12.10.22	—	110	—	110 ~ 130	A
	白木	白木漁港	砂	12.05.08	—	40	—	46 ~ 74	D
				12.11.22	—	40			D
	白木	もんじゅ放水口沖	砂	12.10.22	—	98	—	85 ~ 110	A
白木	門ヶ崎	砂	12.10.22	—	35	—	19 ~ 28	A	
美浜	丹生湾中央	泥	12.04.12	63	1800	34 ~ 48	1600 ~ 1900	A	
大飯	西村入江	砂・泥	12.10.16	20	1400	21 ~ 37	1300 ~ 1400	A	
高浜	高浜放水口沖	砂・泥	12.10.16	17	1100	22 ~ 24	870 ~ 1300	A	
海産食品	白木	アジゴ崎	カレイ	12.04.20	—	—	—	—	A
			ホウボウ	12.04.20	—	—			A
		もんじゅ放水口沖	アジ	12.10.03	—	—			A
			カマス	12.10.03	—	2.4			A
		白木沖	アジ	12.07.25	—	—			D
			アオコ	12.10.09	—	—			D
	白木	さび崎	アワビ	12.06.02	—	8.0	ND ~ 1.2	11 ~ 54	A
		アジゴ崎	サザエ	12.06.08	0.85	35			A
				12.07.06	—	33			A
		白木沿岸	サザエ	12.07.06	—	38			D
	敦賀	立石岬	ワカメ	12.04.02	—	1.3	—	1.2 ~ 3.6	A
	白木	白木漁港		12.04.08	—	1.7	—	1.9 ~ 6.3	A
		門ヶ崎		12.05.07	—	2.3			A
		松ヶ崎		12.05.14	—	2.2			A
		白木沿岸		12.05.24	—	2.3			D
	美浜	美浜1,2号放水口沖		12.04.02	—	1.8	—	1.3 ~ 1.9	A
	大飯	赤礁崎		12.04.02	—	1.7	—	1.3 ~ 1.8	A
高浜	難波江	12.05.20		—	3.0	—	2.4 ~ 3.3	A	
対照	河野沖	12.05.10		—	2.6	—	2.7 ~ 4.7	A	
指標海産生物	敦賀	敦賀2号放水口		ホンダワラ	12.06.12	—	11	—	10 ~ 34
		明神崎F	12.11.05		—	16	—	6.9 ~ 25	A
	白木	松ヶ崎	12.06.04		—	25	—	3.3 ~ 21	A
			12.09.04		—	15			A
			12.11.05		—	9.2			A
			13.03.04		—	3.1			A
	美浜	美浜1,2号放水口	12.06.12		—	9.0	—	22 ~ 50	A
		美浜3号放水口	12.06.12		—	12	—	11 ~ 20	A
	大飯	台場浜	12.06.05		—	4.2	—	11 ~ 18	A
	高浜	へたヶ崎	12.06.05		—	10	—	13 ~ 15	A
対照	小丹生	12.04.05	—	8.4	—	7.7 ~ 9.3	A		

過去実績：2009～2011年度

(注) 2009年度の実績がないため、過去実績は2010～2011年度の2年分。

第30表 年間降下物の⁹⁰Sr・²²Na・¹³⁷Cs・¹³⁴Cs・²³⁹Pu分析結果

(参考：定期外調査)

単位：mBq/m²・年

採取地点	採取期間	放射能濃度					過去実績				
		⁹⁰ Sr	²² Na	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	²³⁹ Pu	⁹⁰ Sr	²² Na	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	²³⁹ Pu
浦底 水試 A	12.04.05 ～13.04.11	160	420	270	ND	3.8	91 ～ 160	460 ～ 570	240 ～ 15,000	—	4.2 ～ 15
浦底 明神寮 B	12.04.02 ～13.04.01	/	340	390	ND	/	/	370 ～ 380	420 ～ 16,000	—	/
松ヶ崎 A	12.04.05 ～13.04.10	960	340	240	ND	5.8	440 ～ 540	320 ～ 400	260 ～ 10,000	—	6.7 ～ 11
松ヶ崎 D	12.04.02 ～12.04.01	/	380	210	ND	/	/	300 ～ 360	250 ～ 11,000	—	/
竹波 A	12.04.04 ～13.04.10	160	400	230	ND	3.5	160 ～ 250	330 ～ 420	300 ～ 14,000	—	3.9 ～ 9.6
丹生 C	12.04.02 ～13.04.01	/	240	300	170	/	/	350 ～ 490	340 ～ 15,000	—	/
宮留 A	12.04.04 ～13.04.10	120	450	540	240	7.1	86 ～ 130	330 ～ 440	290 ～ 24,000	ND ～ 19,000	5.7 ～ 8.3
日角浜 C	12.04.03 ～13.04.02	/	340	300	ND	/	/	280 ～ 390	160 ～ 23,000	ND ～ 15,000	/
小黒飯 A	12.04.04 ～13.04.09	260	410	690	320	6.6	210 ～ 360	390 ～ 440	ND ～ 29,000	—	2.7 ～ 8.0
小和田 C	12.04.03 ～13.04.02	/	340	280	ND	/	/	400 ～ 420	150 ～ 36,000	—	/
原目町 A	12.04.02 ～13.04.03	130	450	540	190	5.7	130 ～ 140	420 ～ 500	360 ～ 27,000	ND ～ 21,000	9.0 ～ 14

過去実績：2009～2011年度

- (注1) 各地点での月間降下物測定試料（パウデックス樹脂）の12ヶ月分を混ぜ合わせ、灰化物集合試料とし、測定したもの。
- (注2) ²²Na, ¹³⁷Cs, ¹³⁴CsはGe半導体検出器によるγ線スペクトロメトリによる結果であり、⁹⁰Sr, ²³⁹Puは放射化学分析の結果である。
- (注3) 採取地点のA, B, C, Dはそれぞれ県、原電、関電、原子力機構が分析した試料であることを示す。
- (注4) 各地区の²²Naは宇宙線で生成されたものである。

第31表 各地の積雪量 (2012年12月～2013年1月) [参考データ]

単位：c m

月	日	今庄 (今庄)	敦賀 (松栄)	小浜 (遠敷)	県テレメータ観測局								
					浦底	白木峠	竹波	坂尻	宮留	長井	小黒飯	山中	
12	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	21	10	—	—	—	—	3	—	—	—	—	5
	10	28	11	13	—	—	—	6	1	—	—	6	15
	11	31	8	11	—	—	1	—	4	—	—	1	15
	12	30	8	10	—	—	1	—	3	—	—	—	11
	13	27	7	10	—	—	—	—	1	—	—	—	7
	14	24	5	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	22	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	18	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	2	3	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	24	7	4	42	—	—	—	1	—	20	14	13	28
	25	1	3	37	—	—	—	—	—	16	9	8	25
	26	13	—	22	—	—	—	—	—	9	—	3	19
	27	12	—	18	—	—	—	—	—	4	—	1	17
	28	8	—	14	—	—	—	—	—	—	—	—	11
	29	2	—	12	—	—	—	—	—	—	—	—	6
	30	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	31	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	1	5	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	3	12	18	5	—	×	6	—	—	1	1	7	
	4	20	21	10	—	×	15	2	—	2	7	18	
	5	14	17	10	—	×	13	1	—	5	7	21	
	6	11	11	7	—	—	9	—	—	—	3	11	
	7	7	8	3	—	—	3	—	—	—	—	4	
	8	5	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
	9	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	
	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	
	14	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	15	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	17	—	—	6	—	—	—	—	1	9	—	4	
	18	22	1	10	—	—	—	—	1	—	15	1	13
	19	23	—	9	—	—	—	—	—	9	—	—	8
	20	11	—	4	—	—	—	—	—	3	—	—	1
	21	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	22	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	18	15	—	—	22	×	7	—	—	—	—	—
	26	42	41	4	—	37	×	18	15	—	—	—	4
	27	44	39	12	—	33	×	17	12	6	9	—	5
	28	58	39	16	—	37	22	18	14	1	8	—	1
	29	47	25	11	—	24	18	10	8	—	—	—	—
	30	39	17	6	—	17	10	6	5	—	—	—	—
	31	29	11	—	—	12	4	—	1	—	—	—	—

(注)・積雪深計による1日の最大積雪深を示す。
 ・測定値の0は積雪なし(—)とした。
 ・×は県テレメータ観測局において欠測したデータである。
 ・今庄、敦賀、小浜の値は、気象庁ホームページの気象統計情報(過去の気象データ検索)から引用した。

第31表 各地の積雪量 (2013年2月～2013年3月) [参考データ]

単位：c m

月	日	今庄 (今庄)	敦賀 (松栄)	小浜 (遠敷)	県テレメータ観測局							
					浦底	白木峠	竹波	坂尻	宮留	長井	小黒飯	山中
2	1	25	6	-	10	2	-	-	-	-	-	-
	2	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	21	1	7	-	-	-	-	-	-	2	8
	9	30	2	6	-	-	-	-	-	-	-	4
	10	24	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	20	8	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	12	19	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	14	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	32	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	30	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	19	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20	17	1	4	-	-	-	-	-	1	-	9
	21	25	13	10	-	×	9	6	-	2	-	13
	22	32	10	9	-	6	7	5	-	-	-	9
	23	22	2	7	-	1	-	3	-	-	-	5
	24	24	1	7	-	-	-	-	-	-	-	1
	25	24	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-
	26	19	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
	27	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	28	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)・積雪深計による1日の最大積雪深を示す。
 ・測定値の0は積雪なし(-)とした。
 ・×は県テレメータ観測局において欠測したデータである。
 ・今庄、敦賀、小浜の値は、気象庁ホームページの気象統計情報(過去の気象データ検索)から引用した。

4 付

4. 1 県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率
および気象の調査結果
4. 2 大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について
4. 3 東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一発電所事故に関連した
放射能調査
4. 4 環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果

4. 1 県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率および気象の調査結果

福井県環境放射線監視テレメータシステムでは、各原子力発電所周辺に18ヶ所の観測局を設け、波高弁別器バイアス変調(以下、DBM)方式のNaI(Tl)検出器により、空間線量率を連続測定し10分毎にデータ収集している。

観測局の位置は、添付資料第2図(p.36~p.37)に示した。測定器の仕様、測定項目などの詳細については、各年度の「福井県原子力環境監視センター所報」を参照されたい。なお、県の観測局のうち小浜Aは2012年11月6日から2013年3月14日にかけて同一地点での局舎の建て替えを行い、日角浜Aは2013年1月25日から3月3日にかけて、大島小学校の敷地西側から南東側に局舎を移転して建て替えられている。この結果、両観測局においてバックグラウンド値が変化している。

線量率の測定結果では、各観測局の月毎に求めた「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた線量率について、原因の究明を行っている。各観測局で月毎に処理するのは、観測地点の周辺環境の違いと降雨、降雪などの気象条件が季節によって異なるためである。また、検出器に入射する放射線のエネルギー成分を検討するため、DBM通過率(線量率と計数率の比)の解析を行っている。ほかに降雨量、風向、風速等の気象情報も収集しており、線量率が「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた場合には、これらの気象情報や近接局の状況を加味して、線量率上昇の原因を判断している。なお、ここで取り扱ったデータは、すべて1時間値をもとにしたものである。

添付資料第8表(p.53~p.58)は、線量率の最高値、最低値、平均値、標準偏差、「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた時間と原因を観測局別に示している。「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた時間数は各地点とも例年どおり200時間前後であり、原因のほとんどが降雨または降雪によるものであった。

その他に、静穏な気象状態になると、大気中のラドン娘核種の拡散・希釈が抑制されてラドン娘核種濃度が高くなるなどして、「平均値+標準偏差の3倍」を超えることがある。今年度は、敦賀Aで2時間観測された。

各観測局の線量率と降雨量の全測定結果を図4.1.1(p.151~p.159)に示す。

小浜Aで11月上旬および日角浜A観測局において3月上旬以降、線量率が変動しているのは、観測局の建替によるバックグラウンド値の変動の影響である。図より、降雨または降雪による線量率の上昇が、全局で顕著にみられている。7月下旬から9月上旬にかけての少雨期には土壌の水分が蒸発して地中からの放射線に対する遮蔽効果が減少し、線量率が徐々に増加する現象が、浦底A、立石A、白木A、白木峠A、竹波A、坂尻A等でみられた。

平野部(注)に設置された敦賀、小浜観測局等では、降雨のない期間に数nGy/h程度の1日周期の線量率変化が現れている。これは、大気状態が安定になりやすい夏季に多く見られる現象で、夜半から明け方にかけて地表付近の大気中においてラドン等の天然放射性核種濃度が高くなるために起きる現象である。冬季(12月~2月)には、積雪の影響により顕著な線量率の低下が見られる。今年度は1月上旬から2月中旬にかけて積雪があり、積雪が見られた敦賀A、浦底A、白木峠A、坂尻A、山中Aの各観測局で線量率低下が観測された。

表4.1.1(p.139~p.146)、図4.1.2(p.160~p.163)にテレメータシステムで観測した気象関係の統計結果を示す。

以上のことより、今年度の調査結果では、県内の原子力発電所の運転による線量率上昇は観測されなかった。

(注)海岸線の俯角、標高100m地点の仰角が共に小さい所を平坦な地としている。参考として下表に各観測局の周辺状況を示す。

(参考) 観測局周辺状況

単位：距離(m)、俯角・仰角(°)

観測局	標高	海までの距離	標高100m(200m)までの距離	海岸線までの俯角	標高100m(200m)までの仰角
敦賀	6	1500	3100	0.2°	2.7°
浦底	12	35	350	18.9°	14.1°
立石	20	40	150	26.6°	28.1°
河野	2	3	230	33.7°	23.1°
白木	20	130	300	8.7°	14.9°
白木峠	180	800	350*	12.7°	3.3°*

*：白木峠観測局は標高200mまで

(参考) 観測局周辺状況 (つづき)

単位：距離(m)、俯角・仰角(°)

観測局	標高	海までの距離	標高100m(200m)までの距離	海岸線までの俯角	標高100m(200m)までの仰角
丹生	3	15	228	11.3°	23.0°
竹波	10	225	238	2.5°	20.7°
坂尻	35	320	150	6.2°	23.4°
小浜	5	538	725	0.5°	7.5°
日角浜(建替前)	15	100	338	8.5°	14.1°
〃(建替後)	12	38	295	17.5°	16.6°
宮留	4	50	350	4.6°	15.3°
阿納尻	14	100	290	8.0°	16.5°
長井	14	150	420	5.3°	11.5°
小黒飯	35	25	125	54.5°	27.5°
音海	2	163	213	0.7°	24.7°
神野浦	9	60	340	8.5°	15.0°
山中	144	1100	400*	7.5°	8.0°*

*：山中観測局は標高200mまで

表4. 1. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 敦賀地区

2012年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
敦賀	月間降雨時間(時間)	76	77	74	61	20	58	61	119	192	173	158	33	1102
	月間感雨時間(時間)	167	125	110	107	31	96	110	206	311	309	315	100	1987
	月間降雨量(mm)	104.0	115.0	160.5	215.5	111.5	227.5	173.5	201.5	306.5	245.0	193.0	68.0	2121.5
	月間平均風速(m/s)	2.2	1.7	1.7	1.8	2.2	1.7	1.7	2.0	2.2	2.0	2.1	2.4	2.0
	無風(0.5m/s未満)出現回数	100	86	93	90	19	75	95	66	56	77	67	50	874
	月間平均気温(℃)	13.6	17.8	22.0	27.4	29.6	25.5	18.5	11.6	5.4	3.7	4.0	9.6	15.8
	月間降雨時間(時間)	76	71	73	63	24	55	65	123	189	190	154	31	1114
浦底	月間感雨時間(時間)	152	120	115	97	30	101	108	201	339	325	305	102	1995
	月間降雨量(mm)	79.5	127.5	131.5	183.5	149.0	220.0	193.0	197.5	294.5	241.5	168.0	88.0	2073.5
	月間平均風速(m/s)	3.1	1.6	1.8	1.8	2.4	1.7	1.3	1.9	2.2	1.9	2.1	2.7	2.0
	無風(0.5m/s未満)出現回数	116	200	190	224	97	205	192	76	73	95	85	83	1636
	月間平均気温(℃)	13.1	17.1	21.3	26.6	29.1	24.9	18.0	11.5	5.3	3.6	3.8	9.3	15.4

表 4. 1. 1 各地の気象 その 1 降雨(降雪)、風速、気温 敦賀地区

2012年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間	
立石	月間降雨時間 (時間)	63	58	58	44	14	50	63	108	159	150	119	28	914	
	月間感雨時間 (時間)	160	122	111	104	33	89	98	198	381	363	311	98	2068	
	月間降雨量 (mm)	63.5	68.5	116.0	127.0	90.5	165.5	153.0	172.0	196.5	148.0	111.0	65.0	1476.5	
	月間平均風速 (m/s)	3.3	2.2	2.5	2.3	3.0	2.4	2.4	2.4	3.1	2.9	2.9	3.1	2.8	
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	66	86	99	133	38	54	51	51	15	16	25	32	44	659
	月間平均気温 (°C)	13.2	17.0	21.0	26.1	28.6	25.0	18.7	18.7	12.1	6.0	4.3	4.3	9.3	15.5
河野	月間降雨時間 (時間)	59	73	67	62	18	49	58	119	218	186	146	34	1089	
	月間感雨時間 (時間)	152	112	115	100	27	75	90	231	397	388	321	95	2103	
	月間降雨量 (mm)	70.5	192.5	137.0	144.0	101.5	166.5	237.5	193.0	266.5	210.0	155.0	84.0	1938.0	
	月間平均風速 (m/s)	3.1	2.5	2.3	2.3	2.6	3.0	3.0	3.0	3.6	4.8	3.8	3.0	2.9	3.1
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	58	66	64	52	33	22	22	30	21	14	15	20	43	438
	月間平均気温 (°C)	13.0	16.9	21.1	26.4	28.6	25.2	18.4	18.4	11.6	5.7	4.0	3.8	8.8	15.4

表 4. 1. 1 各地の気象 その 1 降雨(降雪)、風速、気温 白木地区

2012年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
白木	月間降雨時間 (時間)	62	62	59	54	24	50	70	114	175	159	133	29	991
	月間感雨時間 (時間)	151	127	121	100	37	110	120	247	391	356	323	97	2180
	月間降雨量 (mm)	69.0	66.5	120.5	171.5	131.5	183.0	218.5	189.5	244.5	202.5	141.0	80.5	1818.5
	月間平均風速 (m/s)	3.5	2.4	2.3	2.2	2.6	2.7	3.4	4.0	3.9	3.8	4.0	3.6	3.2
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	14	24	34	28	12	14	4	2	3	5	19	11	170
	月間平均気温 (℃)	12.7	16.4	20.5	25.7	28.3	24.3	17.8	11.6	5.6	4.0	4.1	8.7	15.0
	月間降雨時間 (時間)	68	64	68	54	27	54	70	114	176	154	117	29	995
白木峠	月間感雨時間 (時間)	158	128	118	94	33	90	124	215	362	325	261	87	1995
	月間降雨量 (mm)	69.5	65.5	131.5	183.0	133.0	169.0	229.5	182.0	235.0	197.5	130.0	79.0	1804.5
	月間平均風速 (m/s)	5.3	3.4	3.6	3.4	4.3	4.1	4.8	5.6	5.2	5.0	5.4	5.3	4.6
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	18	47	34	41	24	42	21	6	7	10	13	14	277
	月間平均気温 (℃)	12.0	15.8	19.7	25.0	27.3	23.5	16.9	10.4	4.3	2.7	2.9	7.9	14.1

表4. 1. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 美浜地区

2012年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間	
丹生	月間降雨時間 (時間)	62	63	65	51	23	44	66	112	180	169	140	32	1007	
	月間感雨時間 (時間)	170	122	98	91	31	90	106	213	330	317	294	85	1947	
	月間降雨量 (mm)	62.0	68.0	122.5	180.0	134.0	180.5	230.5	172.5	253.5	228.0	150.0	82.5	1864.0	
	月間平均風速 (m/s)	2.8	1.5	1.9	1.7	2.4	1.9	1.6	2.3	2.7	2.0	1.9	2.0	2.1	
	無風 (0.5 m/s未満) 出現回数	143	188	176	219	81	179	185	88	84	122	113	131	1709	
	月間平均気温 (°C)	13.1	17.1	21.3	26.8	29.2	25.2	18.4	12.0	5.9	4.1	4.2	9.1	15.6	
	月間降雨時間 (時間)	68	76	76	61	22	53	67	114	178	181	150	38	1084	
	月間感雨時間 (時間)	149	123	112	94	31	88	111	222	345	325	312	92	2004	
	月間降雨量 (mm)	72.0	91.0	136.0	189.0	147.5	184.5	215.0	166.0	268.5	233.0	172.5	80.0	1955.0	
	月間平均風速 (m/s)	1.6	1.2	1.1	0.9	1.0	0.9	1.0	1.0	1.5	1.5	1.5	1.3	1.3	
竹波	無風 (0.5 m/s未満) 出現回数	143	181	195	235	144	172	149	109	109	155	138	152	1882	
	月間平均気温 (°C)	12.6	16.5	20.6	25.8	28.2	23.9	17.1	11.1	5.4	3.4	3.7	8.4	14.8	
	月間降雨時間 (時間)	70	69	75	65	22	55	69	104	164	155	151	34	1033	
	月間感雨時間 (時間)	163	135	125	110	38	106	104	263	346	318	325	125	2158	
	月間降雨量 (mm)	80.0	100.0	149.5	218.0	132.0	246.0	221.0	190.5	229.5	189.5	183.5	76.5	2016.0	
	月間平均風速 (m/s)	1.5	1.3	1.1	1.0	1.2	1.4	1.7	1.8	1.9	1.8	2.0	1.9	1.5	
	無風 (0.5 m/s未満) 出現回数	155	180	187	213	157	114	103	107	103	144	130	140	1733	
	月間平均気温 (°C)	12.5	16.5	20.5	25.8	28.0	24.1	17.3	10.9	4.8	3.2	3.5	8.6	14.7	
	坂尻														

表4. 1. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 大飯地区

2012年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間	
小浜	月間降雨時間 (時間)	61	62	74	47	22	49	85	13	0	0	0	14	427	
	月間感雨時間 (時間)	150	121	119	81	38	86	126	29	0	0	0	47	797	
	月間降雨量 (mm)	69.0	62.5	138.5	103.0	167.0	196.0	266.5	12.0	0.0	0.0	0.0	17.0	1031.5	
	月間平均風速 (m/s)	1.6	1.2	1.2	1.2	1.3	1.1	1.1	1.2	1.4	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3
	無風 (0.5 m/s未満) 出現回数	107	133	170	93	110	120	102	10	0	0	0	0	57	902
	月間平均気温 (°C)	13.3	17.4	21.5	27.1	29.3	25.4	18.1	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7	20.7
日角浜	月間降雨時間 (時間)	61	46	77	50	26	43	81	125	184	108	0	29	830	
	月間感雨時間 (時間)	143	101	119	75	39	78	108	223	336	206	0	72	1500	
	月間降雨量 (mm)	68.0	48.0	139.5	115.5	116.0	210.0	305.5	170.5	262.5	155.5	0.0	52.0	1643.0	
	月間平均風速 (m/s)	2.0	1.4	1.4	1.2	1.7	1.5	1.5	1.7	1.9	1.7	0.0	0.0	1.9	1.6
	無風 (0.5 m/s未満) 出現回数	163	164	206	195	138	157	125	83	68	91	0	75	1465	
	月間平均気温 (°C)	12.9	17.0	21.3	27.1	29.3	25.7	18.6	11.8	5.6	4.3	0.0	9.6	17.0	
官留	月間降雨時間 (時間)	57	45	78	50	26	40	80	123	190	144	131	32	996	
	月間感雨時間 (時間)	143	94	110	81	38	77	123	214	326	268	286	98	1858	
	月間降雨量 (mm)	69.5	51.0	143.0	109.5	110.5	203.0	289.5	171.5	281.0	179.0	136.0	63.0	1806.5	
	月間平均風速 (m/s)	2.6	1.9	1.9	2.1	2.4	2.5	2.9	3.0	3.6	2.9	3.0	3.1	2.7	
	無風 (0.5 m/s未満) 出現回数	95	83	120	114	66	61	52	31	38	44	23	65	792	
	月間平均気温 (°C)	12.8	16.8	21.0	26.5	28.9	25.4	18.5	11.9	5.7	4.1	4.3	8.8	15.5	

表4. 1. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 大飯地区

2012年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
阿 納 尻	月間降雨時間 (時間)	58	57	74	53	27	49	84	135	199	148	139	36	1059
	月間感雨時間 (時間)	156	118	119	86	40	88	120	216	327	285	276	102	1933
	月間降雨量 (mm)	71.5	72.0	142.5	123.5	105.0	232.5	268.5	224.0	329.5	176.5	164.5	65.0	1975.0
	月間平均風速 (m/s)	1.9	1.6	1.5	1.3	1.6	1.4	1.6	2.1	2.7	2.4	2.3	2.0	1.9
	無風 (0.5 m/s未満) 出現回数	152	180	156	202	93	140	168	98	84	133	79	131	1616
	月間平均気温 (°C)	12.8	16.8	21.0	26.4	28.7	24.8	17.7	11.3	5.2	3.7	4.1	8.7	15.2
	月間降雨時間 (時間)	67	61	82	51	26	46	89	145	176	145	134	44	1066
	月間感雨時間 (時間)	139	108	127	78	39	79	116	217	317	241	270	111	1842
	月間降雨量 (mm)	75.0	65.5	153.0	121.5	162.0	208.5	288.5	208.0	237.5	214.5	147.5	70.5	1952.0
	月間平均風速 (m/s)	1.9	1.8	1.5	1.6	1.7	1.8	2.5	2.5	2.7	2.5	2.7	2.8	2.2
長 井	無風 (0.5 m/s未満) 出現回数	78	82	98	106	73	51	38	38	39	50	39	49	741
	月間平均気温 (°C)	12.7	16.5	20.7	26.2	28.1	24.6	17.6	11.0	5.0	3.2	3.9	8.7	14.9

表4. 1. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 高浜地区

2012年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
小黒飯	月間降雨時間 (時間)	63	59	81	46	23	61	77	139	202	162	141	47	1101
	月間感雨時間 (時間)	139	107	123	87	38	92	115	226	355	296	283	110	1971
	月間降雨量 (mm)	73.0	70.5	157.0	107.5	82.0	290.5	236.0	197.0	243.5	210.5	142.0	74.5	1884.0
	月間平均風速 (m/s)	0.9	0.6	0.5	0.7	0.8	0.6	0.7	0.8	0.8	0.7	0.6	1.1	0.7
	無風 (0.5 m/s未満) 出現回数	310	336	381	342	291	345	274	212	202	276	258	200	3427
	月間平均気温 (°C)	13.3	16.9	20.9	26.3	28.6	25.2	18.7	11.8	5.7	4.3	4.5	9.4	15.5
	月間降雨時間 (時間)	61	56	79	48	22	63	75	129	157	135	118	34	977
音海	月間感雨時間 (時間)	141	104	120	81	36	89	110	214	327	248	255	91	1816
	月間降雨量 (mm)	69.5	69.0	155.0	124.0	91.5	281.0	281.0	194.5	194.5	175.0	118.5	60.0	1813.5
	月間平均風速 (m/s)	2.1	1.9	1.2	1.7	1.3	1.4	2.1	3.0	3.8	3.7	3.2	2.8	2.3
	無風 (0.5 m/s未満) 出現回数	144	195	238	165	202	161	103	70	48	64	78	103	1571
	月間平均気温 (°C)	12.6	16.4	20.4	26.1	28.0	24.8	18.4	11.6	5.6	4.0	4.3	8.9	15.2

表4. 1. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 高浜地区

2012年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
神野浦	月間降雨時間(時間)	66	61	82	50	23	64	74	145	194	160	134	50	1103
	月間感雨時間(時間)	149	123	127	96	38	96	120	224	347	304	283	110	2017
	月間降雨量(mm)	83.0	80.5	164.0	115.0	78.5	284.5	224.0	198.5	247.5	201.5	139.5	82.0	1898.5
	月間平均風速(m/s)	0.6	0.5	0.3	0.4	0.5	0.5	0.6	0.7	0.8	0.8	0.7	0.9	0.6
	無風(0.5m/s未満)出現回数	271	299	414	360	259	315	258	205	191	172	177	128	3049
	月間平均気温(℃)	12.0	15.7	19.9	25.3	26.6	23.5	16.9	10.4	4.4	2.9	3.5	8.2	14.2
	月間降雨時間(時間)	62	65	80	54	27	64	67	140	206	151	141	55	1112
	月間感雨時間(時間)	140	119	122	89	41	87	111	226	343	262	273	118	1931
	月間降雨量(mm)	80.5	90.0	185.0	118.5	82.0	300.5	274.0	210.0	269.5	201.5	145.5	102.5	2059.5
	月間平均風速(m/s)	2.1	1.8	1.2	1.8	1.6	1.7	2.2	2.6	3.2	2.9	2.5	2.7	2.2
山中	無風(0.5m/s未満)出現回数	54	64	110	78	60	55	29	15	17	22	26	24	554
	月間平均気温(℃)	12.2	15.9	19.8	25.2	27.2	23.6	16.8	9.9	3.6	2.2	2.6	7.7	14.0

表4. 1. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 敦賀地区

2012年度
単位：%

局	期間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
敦賀	4～6月	2.9	1.1	0.2	1.1	1.4	10.9	23.1	7.6	1.3	0.8	1.4	3.3	6.7	6.0	6.8	12.7	12.8
	7～9月	2.4	0.8	0.2	0.8	1.1	18.1	33.4	11.5	1.1	1.1	1.1	2.4	2.1	2.2	4.9	8.5	8.3
	10～12月	2.0	0.8	0.7	0.9	2.0	7.7	17.3	10.2	2.3	1.6	3.1	6.4	5.5	7.6	12.1	9.9	9.9
	1～3月	2.2	0.7	0.4	0.7	1.2	7.8	15.4	8.9	1.8	1.5	1.3	3.8	6.2	9.7	15.2	13.8	9.2
	年間	2.4	0.8	0.4	0.9	1.4	11.2	22.4	9.6	1.6	1.3	1.7	4.0	5.1	6.4	9.7	11.2	10.1
浦底	4～6月	0.8	0.2	0.8	1.0	2.2	4.0	17.4	16.6	0.8	0.1	0.1	1.3	5.4	22.0	3.0	1.0	23.2
	7～9月	0.3	0.5	0.5	0.5	1.3	3.2	29.1	18.9	0.5	0.2	0.0	1.1	4.4	11.1	3.6	0.8	23.8
	10～12月	0.4	0.2	0.2	0.2	0.7	1.8	10.5	13.3	1.9	1.1	1.0	5.7	15.2	28.9	2.9	0.5	15.5
	1～3月	0.4	0.3	0.4	0.6	0.9	1.8	8.4	14.7	1.3	0.7	0.6	5.1	13.7	35.1	2.8	1.1	12.3
	年間	0.5	0.3	0.5	0.6	1.3	2.7	16.4	15.9	1.1	0.5	0.4	3.3	9.7	24.2	3.1	0.9	18.7
立石	4～6月	2.7	1.7	0.3	0.5	8.2	22.0	2.8	3.3	2.6	4.9	3.1	2.4	2.9	2.3	11.0	17.7	11.5
	7～9月	1.4	0.9	0.6	0.4	10.3	31.1	2.8	3.8	3.7	4.8	3.3	2.9	2.2	2.2	8.7	10.8	10.2
	10～12月	4.8	3.3	2.7	1.8	7.3	14.5	2.6	4.6	4.4	3.9	1.7	2.3	2.8	2.6	15.3	21.7	3.7
	1～3月	3.5	2.4	1.3	1.4	9.4	11.3	2.9	3.0	2.9	4.1	2.2	1.7	2.2	2.2	17.6	27.1	4.7
	年間	3.1	2.1	1.3	1.0	8.8	19.8	2.8	3.7	3.4	4.4	2.6	2.3	2.5	2.3	13.1	19.3	7.5
河野	4～6月	0.4	1.4	14.6	25.9	10.4	4.8	2.4	2.5	1.0	1.0	2.0	4.6	14.8	5.0	0.6	0.1	8.6
	7～9月	0.2	1.0	17.2	32.4	6.9	4.6	5.4	5.3	1.1	1.1	1.4	3.7	12.2	1.9	0.6	0.1	4.8
	10～12月	1.1	2.6	20.5	30.9	5.0	2.1	4.1	4.1	0.7	0.8	1.5	5.4	10.1	6.7	1.0	0.5	3.0
	1～3月	1.1	2.7	16.8	32.6	5.7	2.4	3.1	3.4	1.0	1.0	1.5	3.2	10.5	8.4	2.0	0.9	3.6
	年間	0.7	1.9	17.3	30.5	7.0	3.5	3.7	3.9	1.0	1.0	1.6	4.2	11.9	5.5	1.1	0.4	5.0

表4. 1. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 白木、美浜地区

2012年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	caIm
白木	4～6月	6.8	2.7	1.9	1.6	1.4	3.1	14.1	19.0	14.1	3.3	0.7	0.6	0.5	0.5	5.4	20.8	3.3
	7～9月	5.8	2.7	1.4	0.6	1.0	1.9	20.4	26.7	20.4	3.8	0.6	0.2	0.2	0.3	3.1	15.9	2.4
	10～12月	12.1	11.0	4.2	1.8	1.6	2.5	10.4	22.2	22.2	1.9	0.6	0.2	0.3	0.2	3.2	14.9	0.4
	1～3月	14.1	9.4	3.7	2.0	1.4	2.5	7.8	19.0	19.0	1.4	0.4	0.1	0.1	0.4	5.0	21.2	1.6
	年 間	9.7	6.4	2.8	1.5	1.3	2.5	12.4	21.8	21.8	2.6	0.6	0.3	0.3	0.4	4.2	18.2	1.9
白木峠	4～6月	5.7	1.4	0.8	1.1	0.9	5.3	31.0	8.3	0.7	0.2	0.4	0.2	0.2	0.7	5.9	32.6	4.5
	7～9月	3.0	1.0	0.4	0.5	0.7	4.4	44.9	9.3	0.6	0.2	0.2	0.1	0.0	0.3	4.6	24.9	4.8
	10～12月	4.5	1.0	0.8	1.1	1.1	9.1	28.8	6.1	0.5	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	2.0	42.9	1.5
	1～3月	5.1	1.0	0.6	0.5	1.3	6.8	23.6	4.2	0.3	0.2	0.2	0.0	0.2	0.4	3.6	50.4	1.7
	年 間	4.6	1.1	0.6	0.8	1.0	6.4	32.1	7.0	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.4	4.0	37.6	3.2
丹生	4～6月	2.9	2.7	5.1	8.3	17.8	8.6	3.3	3.3	2.7	4.4	6.6	3.1	1.6	1.4	2.2	2.7	23.2
	7～9月	2.5	2.6	4.5	9.7	23.2	10.2	4.0	2.0	2.0	3.7	5.8	1.7	0.6	0.9	1.9	2.9	21.7
	10～12月	6.3	7.0	12.4	8.2	10.1	5.7	2.0	2.7	2.2	6.6	7.0	1.5	1.1	0.9	2.7	7.3	16.2
	1～3月	4.4	6.1	13.0	11.9	10.4	4.3	2.1	2.4	3.4	6.4	4.8	2.1	1.2	1.4	3.5	5.6	17.1
	年 間	4.0	4.6	8.7	9.5	15.4	7.2	2.9	2.6	2.6	5.3	6.1	2.1	1.1	1.1	2.6	4.6	19.6
竹波	4～6月	1.7	3.2	10.4	18.5	1.1	0.4	0.4	0.3	0.5	1.4	19.5	11.0	2.8	2.2	1.4	1.5	23.8
	7～9月	1.9	2.9	10.0	23.3	1.5	0.6	0.1	0.4	0.6	1.2	11.4	9.2	3.9	3.1	2.4	2.4	25.0
	10～12月	1.1	2.7	13.5	23.4	3.6	1.4	1.2	1.1	1.2	2.3	9.2	15.0	3.8	1.3	1.5	0.8	16.8
	1～3月	0.8	2.1	10.7	19.4	3.1	1.3	0.9	1.5	1.6	2.3	11.3	18.7	2.9	1.4	0.5	0.4	21.1
	年 間	1.3	2.7	11.2	21.2	2.3	0.9	0.7	0.8	1.0	1.8	12.8	13.4	3.4	2.0	1.5	1.3	21.7
坂尻	4～6月	9.3	4.7	3.5	3.9	7.2	3.7	2.4	2.2	4.6	8.1	2.5	1.8	2.3	2.2	4.4	13.2	23.9
	7～9月	5.6	2.8	1.8	3.8	11.1	7.7	3.7	2.4	5.7	12.9	2.4	1.7	2.3	2.9	3.2	8.1	21.9
	10～12月	7.1	3.3	2.1	3.7	10.3	6.4	2.7	2.8	4.6	14.2	2.5	2.2	2.7	2.8	5.7	12.4	14.3
	1～3月	10.6	3.6	3.1	4.6	7.5	4.2	1.6	1.8	3.5	8.4	1.5	1.0	1.8	2.8	4.9	19.7	19.4
	年 間	8.1	3.6	2.6	4.0	9.1	5.5	2.6	2.3	4.6	10.9	2.2	1.7	2.3	2.7	4.5	13.3	19.9

表4. 1. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 大飯地区

2012年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	caIm
小 浜	4～6月	0.8	0.7	1.2	35.6	4.9	1.5	1.1	1.7	0.7	0.9	1.7	9.9	10.9	4.6	3.4	1.5	18.8
	7～9月	1.4	1.1	2.4	46.2	6.7	2.3	1.9	2.6	1.4	0.9	0.9	4.7	5.0	2.9	2.6	2.5	14.6
	10～12月	3.9	1.4	0.9	33.6	7.5	1.8	2.1	1.5	1.2	1.4	1.8	4.9	5.5	7.2	6.1	5.9	13.2
	1～3月	7.4	2.5	1.5	21.6	14.5	1.0	3.3	0.5	0.5	0.5	1.0	4.3	7.1	7.4	4.3	8.6	14.5
	年 間	2.0	1.1	1.7	38.4	6.7	1.8	1.8	2.0	2.0	1.0	0.9	1.3	6.7	7.5	4.5	3.6	3.1
日 角 浜	4～6月	0.9	0.5	0.6	1.2	14.3	16.8	3.0	1.0	0.3	0.5	1.1	3.0	19.2	9.7	2.8	0.6	24.4
	7～9月	0.9	0.6	0.3	2.0	12.6	26.2	5.9	1.4	0.7	1.1	0.8	2.4	12.8	7.1	2.0	1.0	22.2
	10～12月	1.0	0.9	0.6	2.7	7.9	12.8	5.2	3.8	2.0	3.1	2.6	6.0	24.0	10.1	3.3	1.3	12.6
	1～3月	0.8	3.0	6.2	7.5	9.5	7.6	5.5	4.0	3.8	3.8	6.4	5.2	13.6	5.4	3.1	0.9	13.7
	年 間	0.9	1.0	1.4	2.8	11.3	16.9	4.9	2.3	1.4	1.4	1.9	2.2	4.0	17.9	8.4	0.9	18.8
宮 留	4～6月	13.8	5.7	3.4	10.7	6.0	3.9	3.1	3.0	4.2	3.8	1.9	2.0	2.2	7.7	7.2	7.8	13.6
	7～9月	12.0	5.7	3.3	11.3	9.6	5.7	4.6	7.0	3.9	2.5	1.4	1.0	1.6	4.3	7.0	8.1	10.9
	10～12月	12.2	7.2	3.2	6.7	3.6	3.4	5.1	6.2	6.2	9.3	2.8	2.1	1.5	3.6	4.5	7.5	5.5
	1～3月	12.6	12.4	2.6	6.3	2.5	2.0	4.1	8.1	8.1	11.1	10.7	3.4	2.5	3.2	4.2	5.9	6.1
	年 間	12.7	7.7	3.1	8.8	5.5	3.7	4.2	6.1	6.1	7.1	8.2	2.4	1.9	4.7	5.7	7.3	9.1
阿 納 尻	4～6月	11.2	8.2	7.2	4.8	4.2	4.0	3.4	1.3	1.2	2.1	3.8	4.6	3.9	4.1	4.8	8.9	22.3
	7～9月	9.6	8.8	9.7	6.6	4.5	5.7	4.3	2.6	1.7	3.6	3.9	3.5	2.3	2.7	3.8	7.1	19.7
	10～12月	4.4	4.4	6.7	5.1	4.6	5.8	6.6	3.6	3.6	4.2	7.2	9.4	7.5	3.9	2.5	3.4	16.0
	1～3月	4.8	4.0	4.2	3.9	2.7	5.3	5.4	4.4	4.4	3.2	6.1	11.4	9.5	4.7	3.6	4.0	16.1
	年 間	7.5	6.4	7.0	5.1	4.0	5.2	4.9	3.0	3.0	2.6	4.7	7.1	6.2	3.8	3.7	5.9	18.5
長 井	4～6月	8.1	17.8	4.9	1.4	1.0	1.5	2.8	13.6	17.3	6.0	1.9	1.4	1.5	2.4	2.6	4.0	11.8
	7～9月	9.1	15.0	3.4	1.4	1.2	1.4	3.5	17.8	21.8	7.0	1.4	0.9	0.7	1.0	1.0	2.9	10.4
	10～12月	9.5	7.6	2.2	0.4	0.5	0.9	2.6	12.0	25.6	17.2	4.0	1.9	2.2	1.1	2.4	4.6	5.2
	1～3月	12.8	8.3	1.8	0.5	0.5	0.4	1.5	8.6	19.7	15.8	4.1	2.9	3.3	2.5	4.1	6.7	6.5
	年 間	9.9	12.2	3.1	1.0	0.8	1.0	2.6	13.1	21.1	11.5	2.8	1.7	1.9	1.7	2.5	4.5	8.5

表4. 1. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 高浜地区

2012年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	caIm
小 黒 飯	4～6月	1.3	2.7	4.6	8.6	7.6	5.3	3.6	3.3	5.1	2.2	1.6	0.4	0.4	0.4	0.2	0.9	47.0
	7～9月	1.3	1.9	2.3	6.1	8.0	5.0	4.9	3.3	10.2	3.7	2.0	0.8	0.8	0.3	1.0	0.9	44.3
	10～12月	2.7	1.7	0.8	1.2	2.5	4.9	9.0	4.9	4.4	16.6	7.6	4.3	1.8	1.4	1.9	2.5	31.8
	1～3月	2.3	2.2	1.7	3.5	4.2	5.5	9.1	5.2	5.1	15.4	3.7	2.1	0.8	0.8	0.9	1.5	36.0
	年 間	1.9	2.1	2.4	4.9	5.6	5.2	6.6	4.2	4.2	11.8	4.3	2.5	1.0	0.7	1.0	1.5	39.9
音 海	4～6月	1.6	1.6	2.0	5.1	20.6	2.2	0.4	0.5	0.4	1.1	4.6	17.1	12.1	12.1	2.0	1.4	26.4
	7～9月	1.4	2.1	3.1	5.8	17.9	2.8	0.6	0.9	0.7	0.9	5.6	13.9	13.5	13.5	3.9	1.9	23.9
	10～12月	1.1	1.1	1.5	2.4	4.3	1.9	1.3	1.1	1.3	1.5	2.5	10.8	38.0	15.4	4.3	1.6	10.0
	1～3月	0.4	0.7	0.8	2.0	5.8	1.7	0.9	0.9	0.7	1.2	2.3	12.0	40.2	15.3	3.3	0.6	11.4
	年 間	1.2	1.4	1.9	3.8	12.2	2.2	0.9	0.8	0.9	0.9	1.7	8.2	27.2	14.1	3.4	1.4	18.0
神 野 浦	4～6月	2.1	7.3	6.7	3.6	2.6	1.3	13.8	7.4	0.7	1.2	2.0	1.6	1.7	1.7	1.3	0.7	45.1
	7～9月	2.3	8.7	5.8	3.7	2.6	2.2	16.5	7.2	1.0	1.7	1.3	0.7	1.4	1.4	1.0	0.6	42.3
	10～12月	5.3	9.6	2.0	2.5	2.2	0.4	16.8	4.3	4.3	5.5	4.9	4.2	3.8	3.8	2.1	1.2	30.2
	1～3月	6.6	12.2	2.5	2.2	1.2	0.8	13.5	5.9	0.3	3.4	3.9	5.3	5.7	7.2	3.1	3.0	23.3
	年 間	4.0	9.4	4.3	3.0	2.1	1.2	15.2	6.2	0.7	2.3	3.0	3.3	3.0	3.5	1.9	1.4	35.4
山 中	4～6月	1.3	3.5	7.7	9.8	8.0	5.4	1.5	0.8	8.9	19.2	11.5	5.2	2.7	2.7	1.8	1.1	10.4
	7～9月	0.8	4.2	8.1	6.0	6.8	6.8	2.7	1.6	9.2	24.6	12.6	3.0	1.4	1.4	0.7	1.0	8.7
	10～12月	2.0	4.6	10.4	1.8	1.4	1.5	1.4	0.9	10.8	28.1	22.1	6.7	1.9	1.9	1.3	1.9	2.8
	1～3月	2.1	4.4	9.3	3.1	2.0	1.6	0.8	0.5	7.3	26.8	22.0	8.6	4.3	4.3	1.7	1.4	3.5
	年 間	1.5	4.2	8.8	5.2	4.6	3.9	1.6	1.0	9.1	24.7	17.0	5.8	2.5	2.5	1.4	1.4	6.4

図4. 1. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2012年4月~2013年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

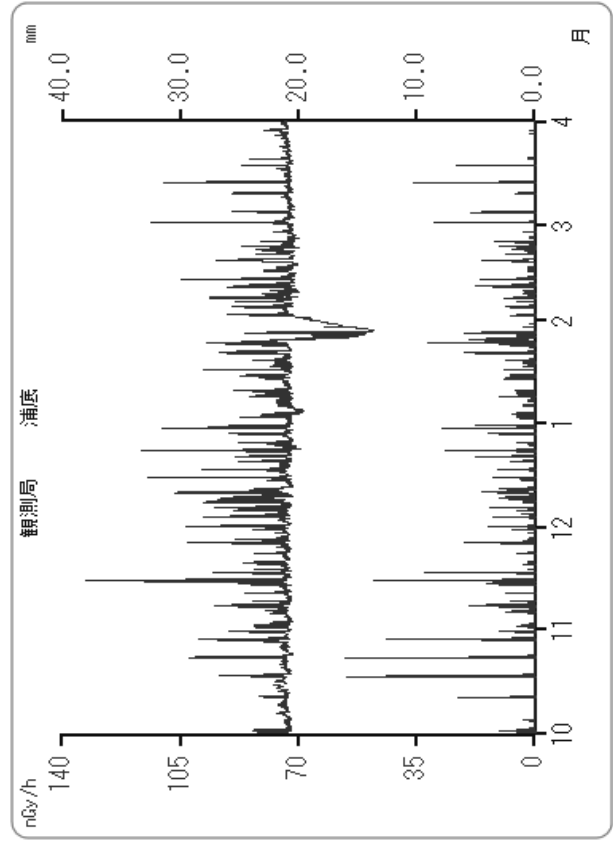
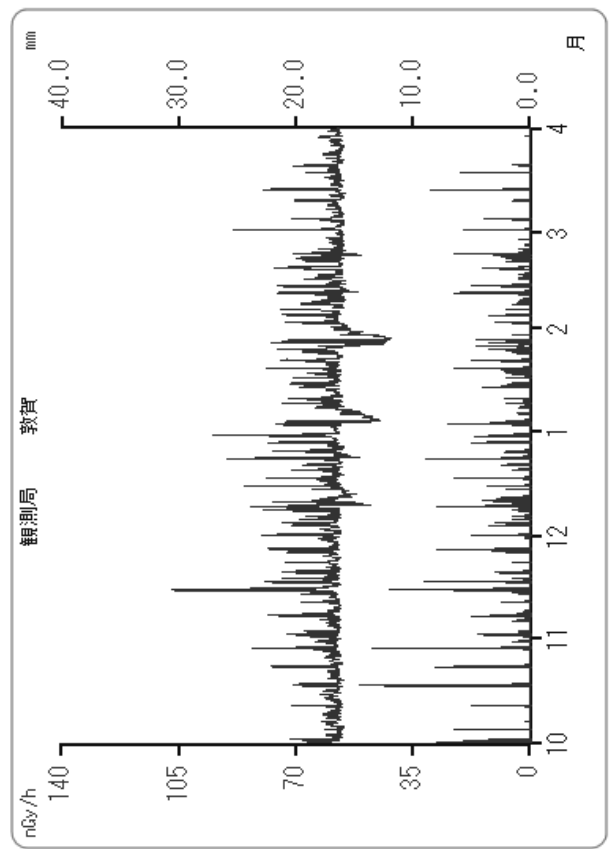
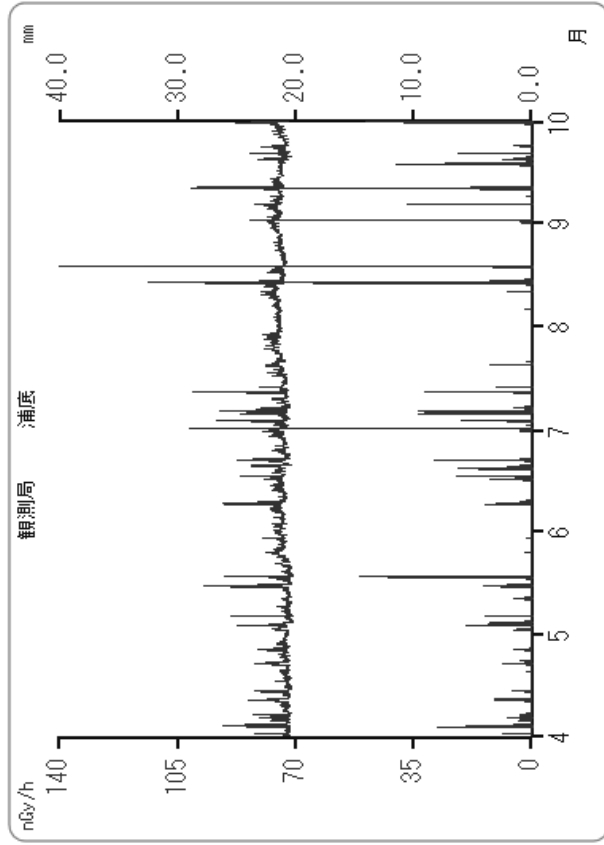
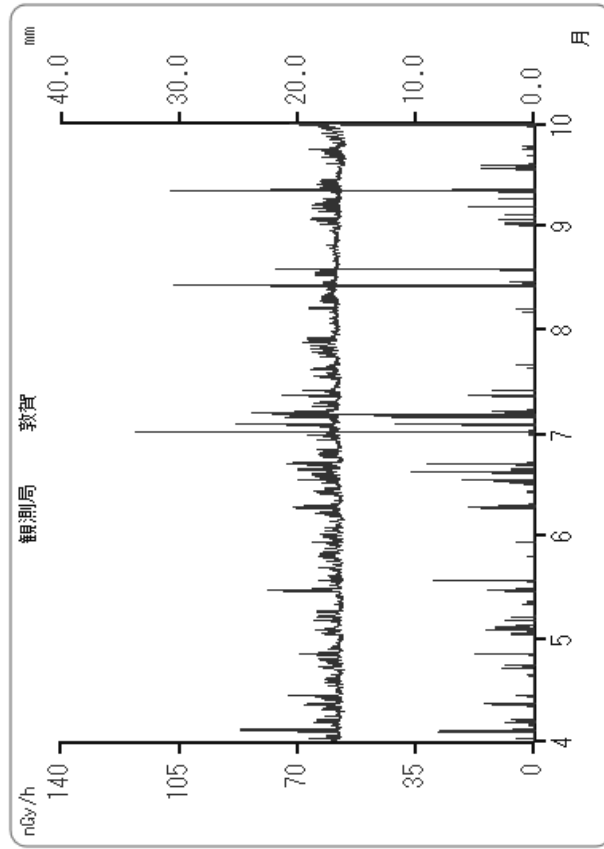


図4. 1. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2012年4月～2013年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

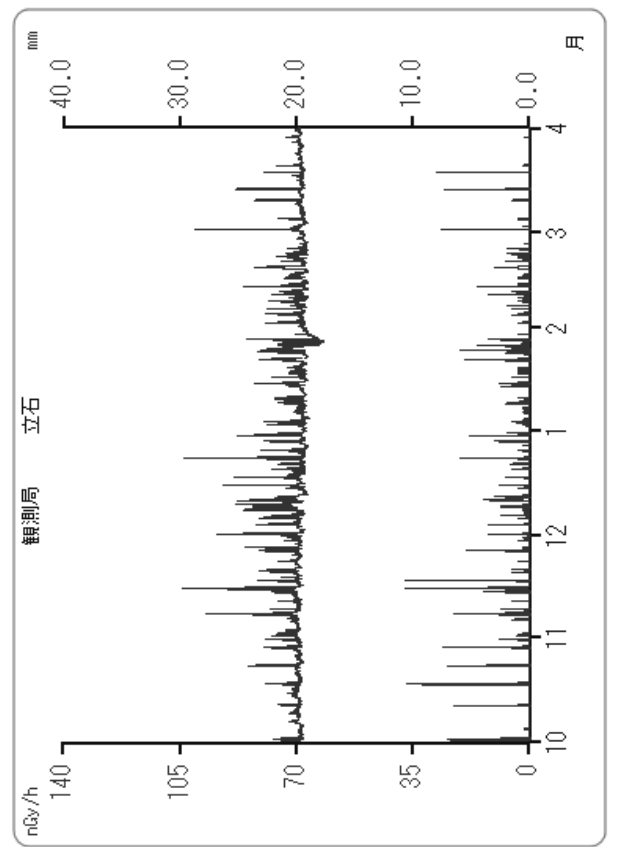
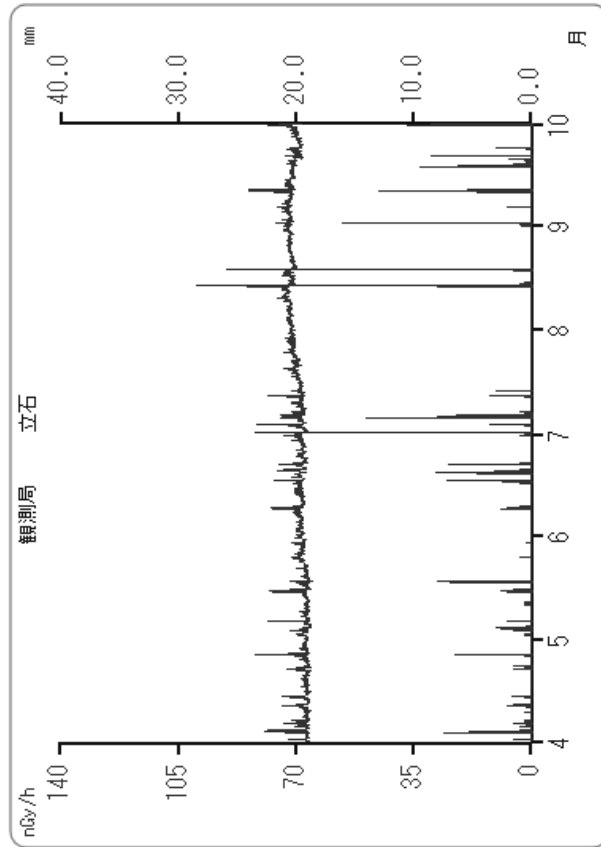
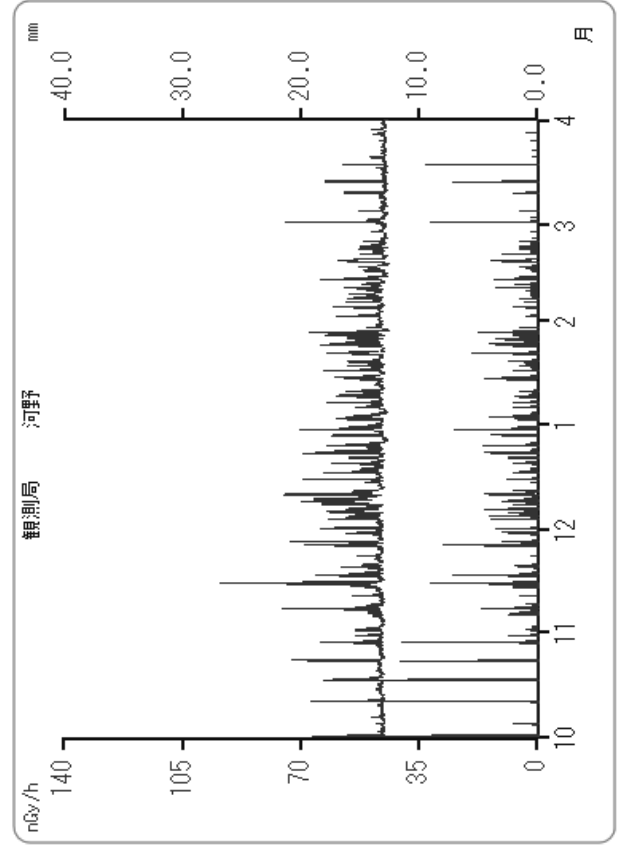
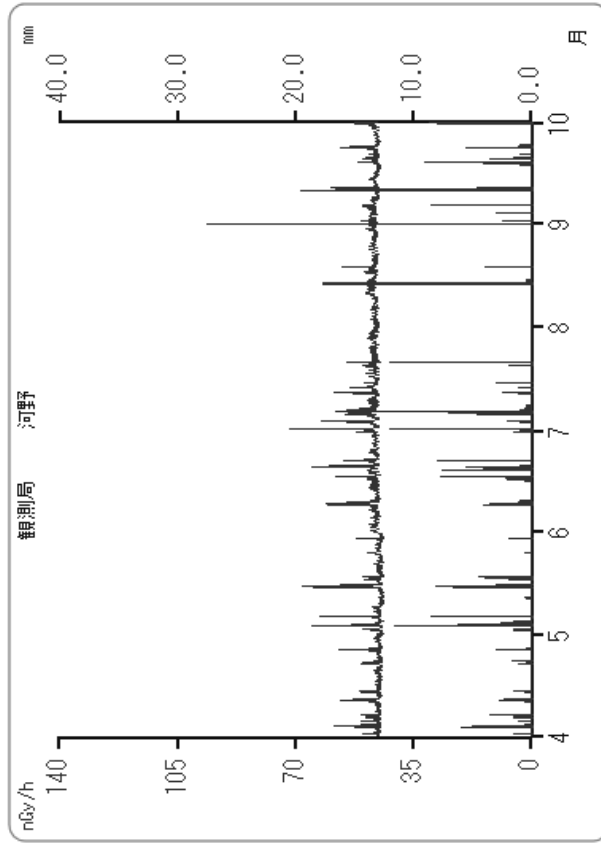


図4. 1. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2012年4月~2013年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

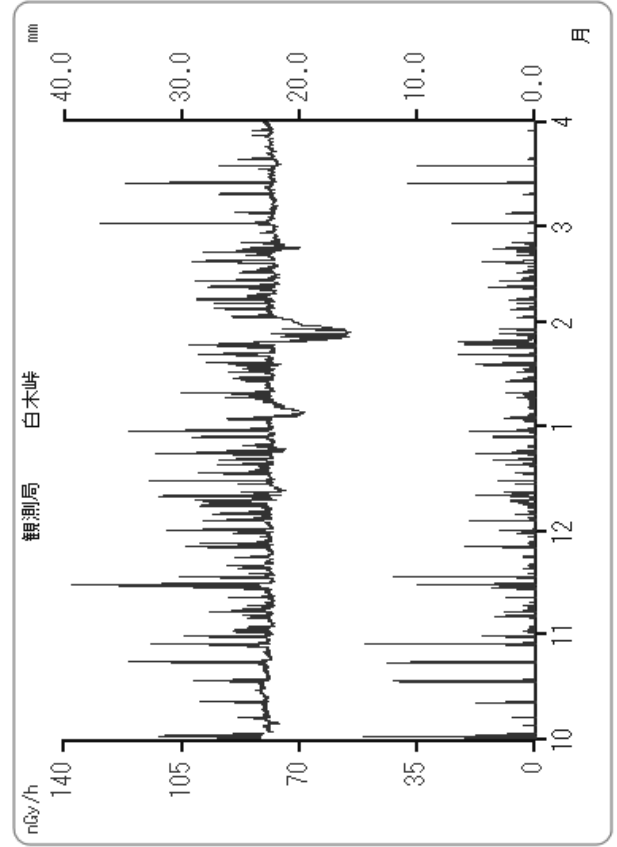
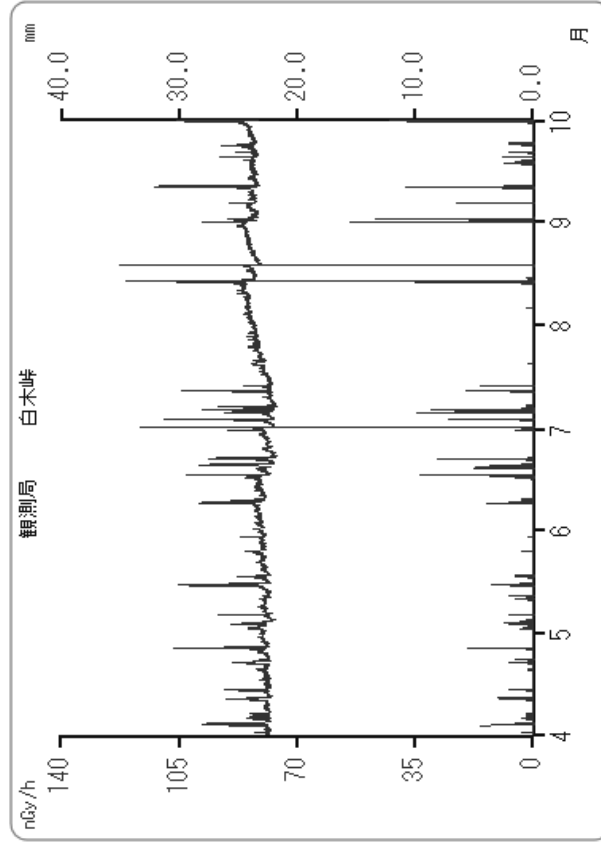
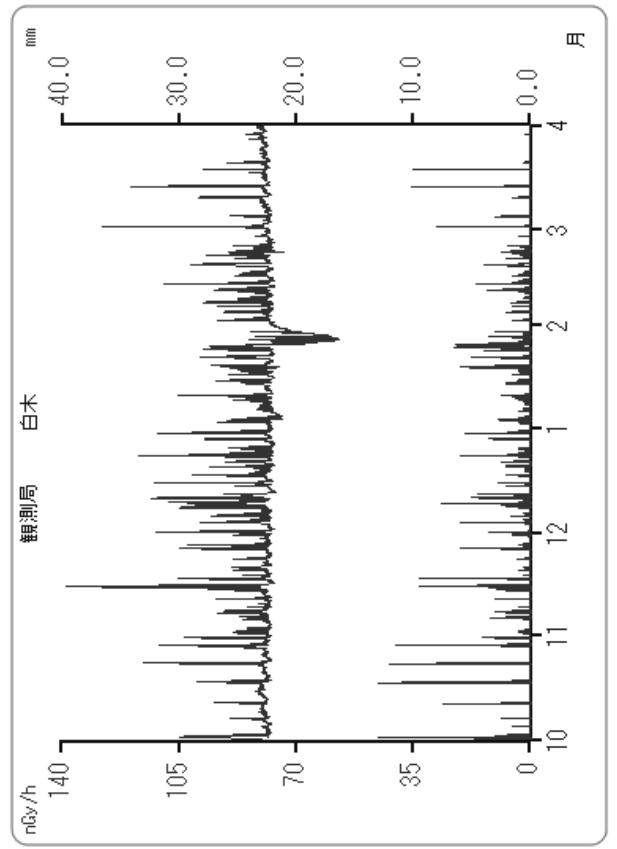
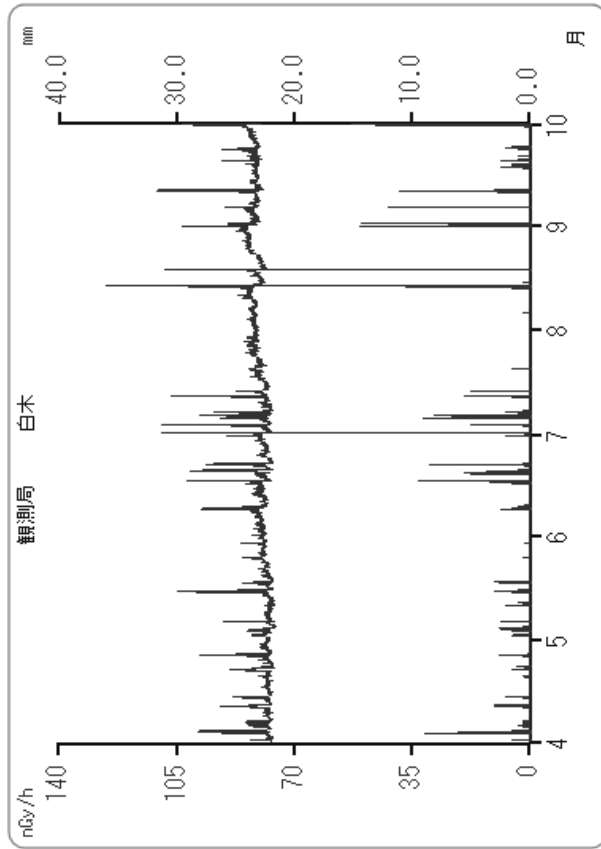


図4. 1. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2012年4月~2013年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

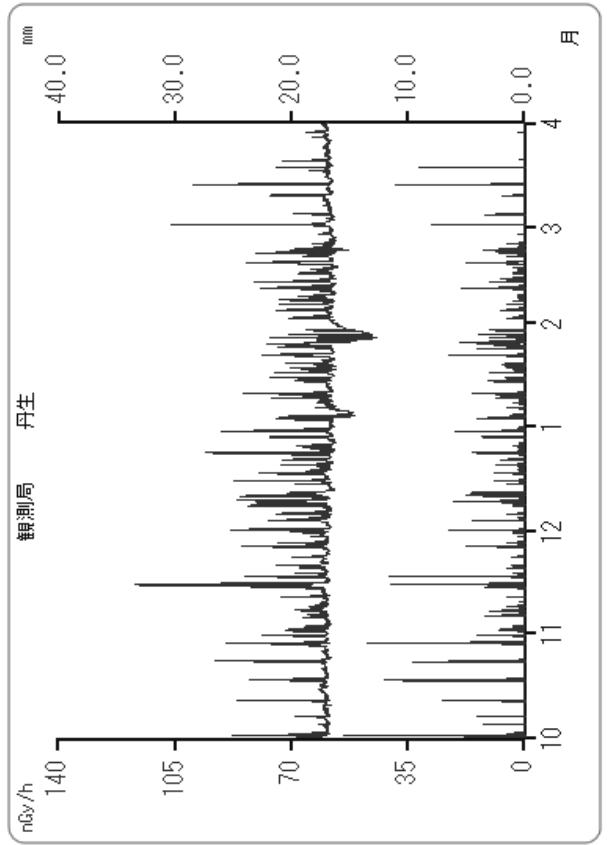
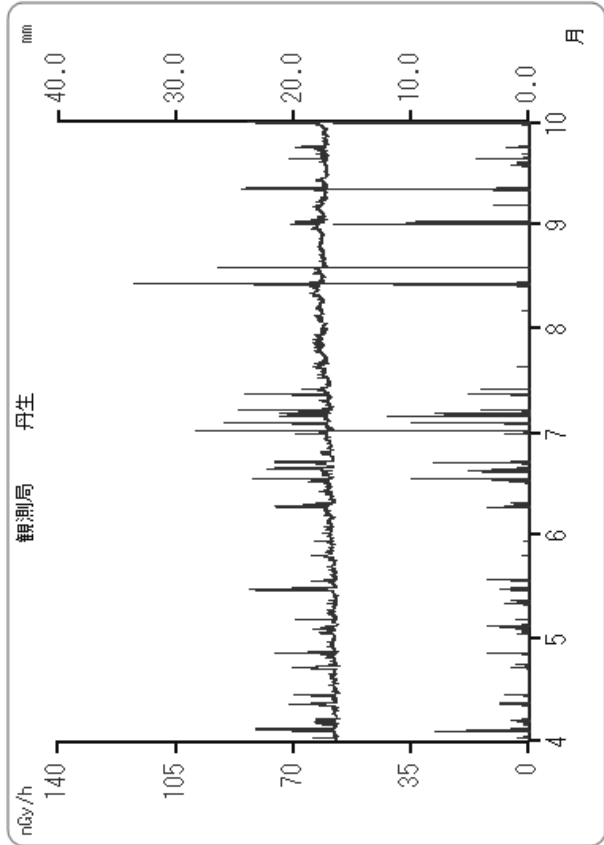
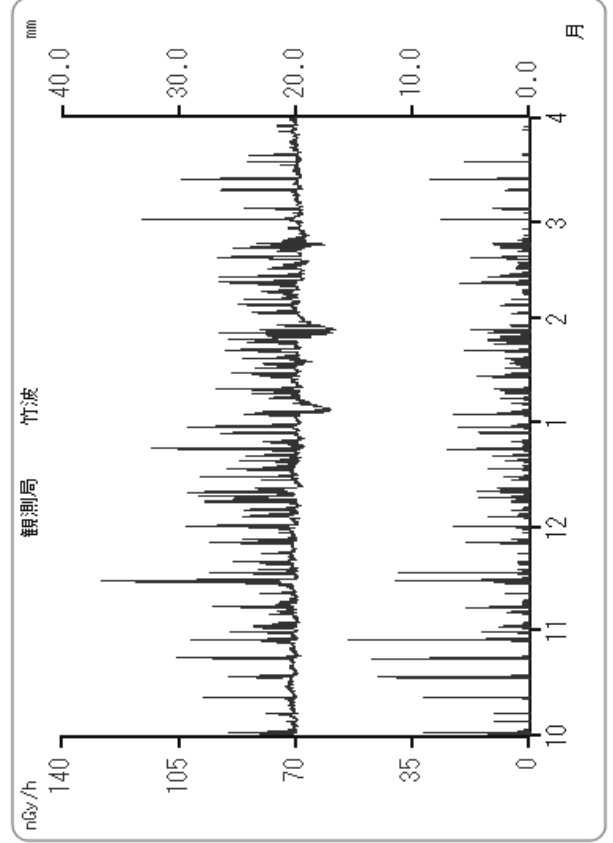
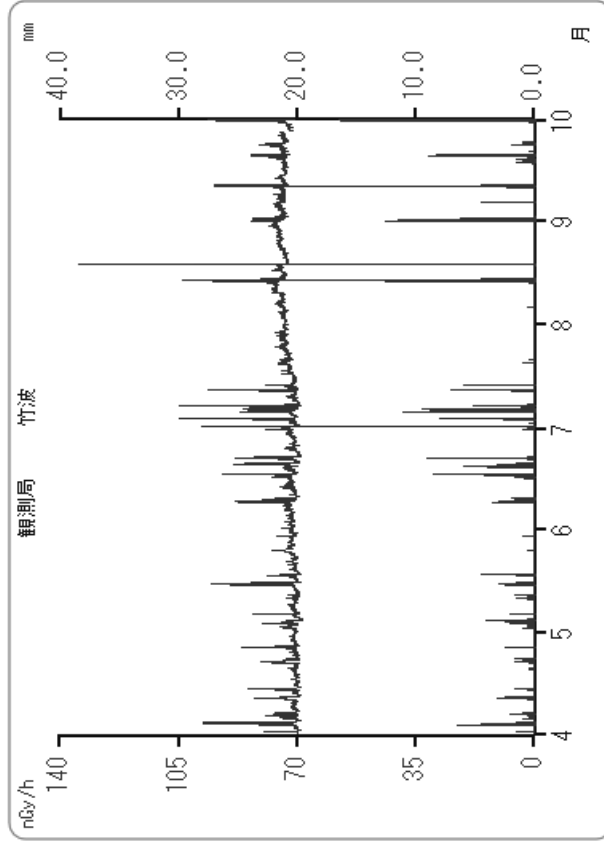


図4. 1. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2012年4月～2013年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

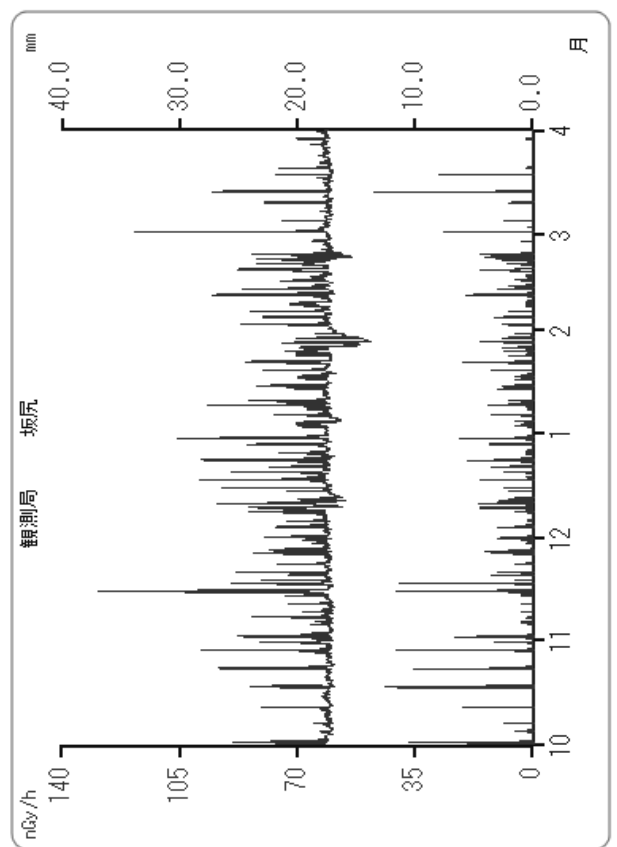
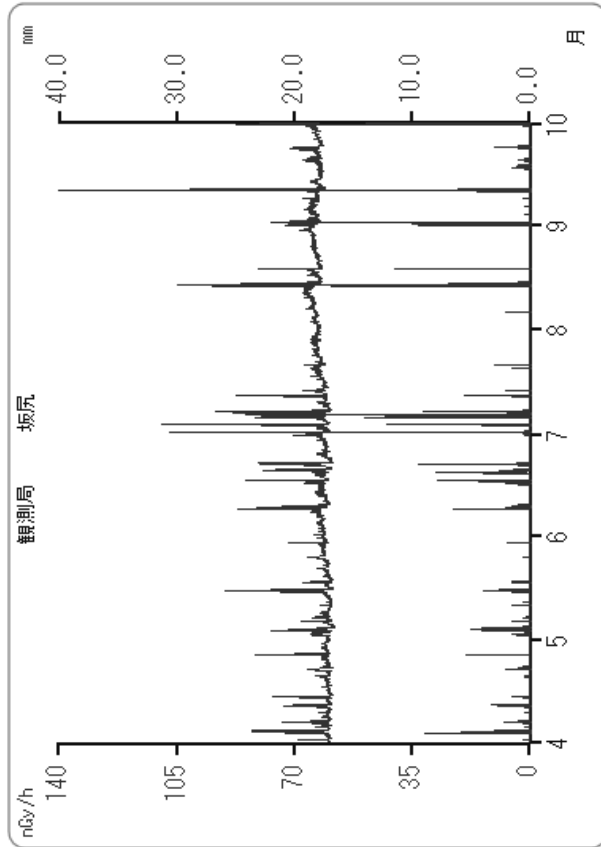
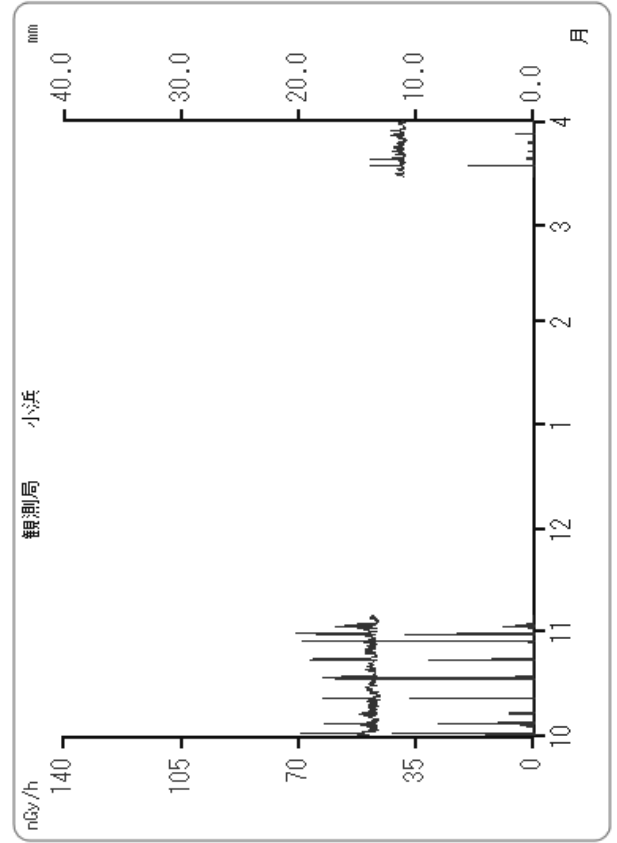
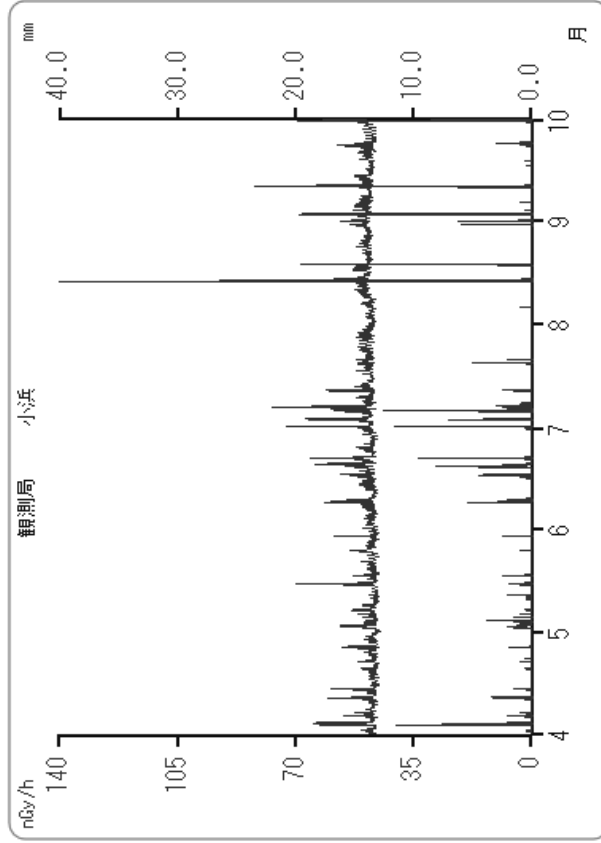


図4. 1. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2012年4月～2013年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

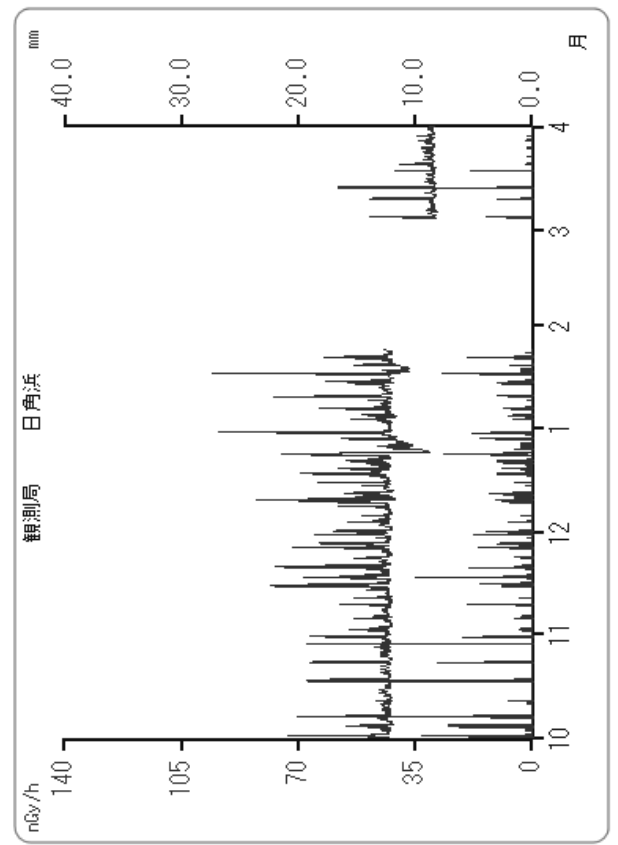
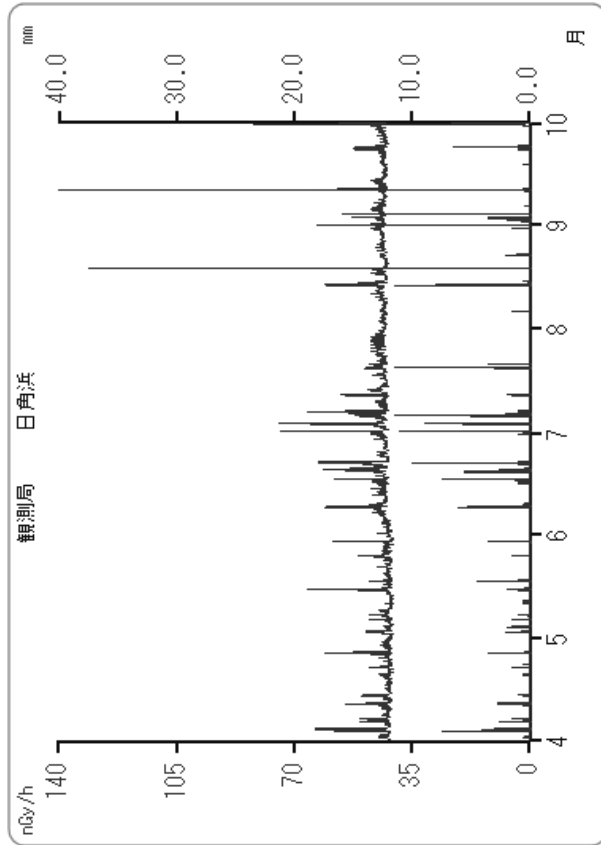
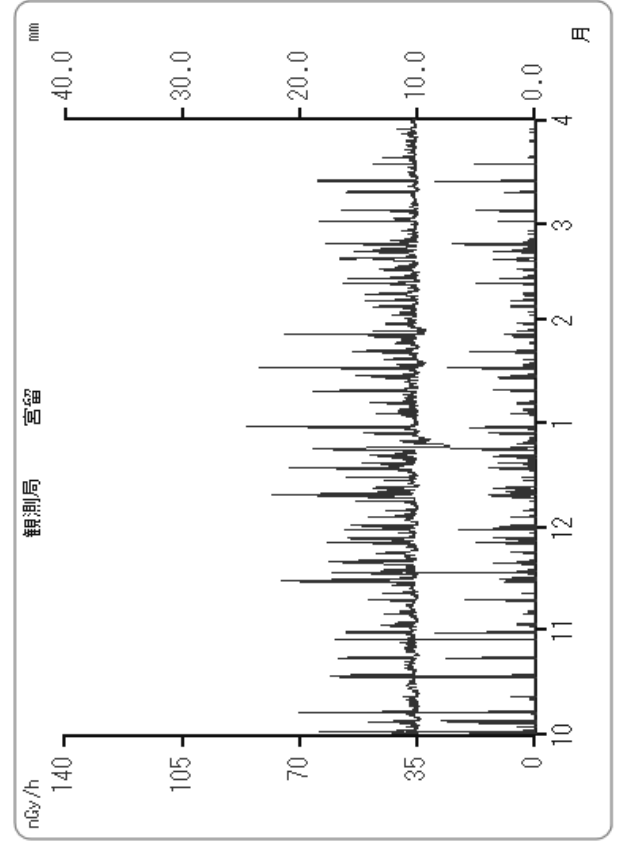
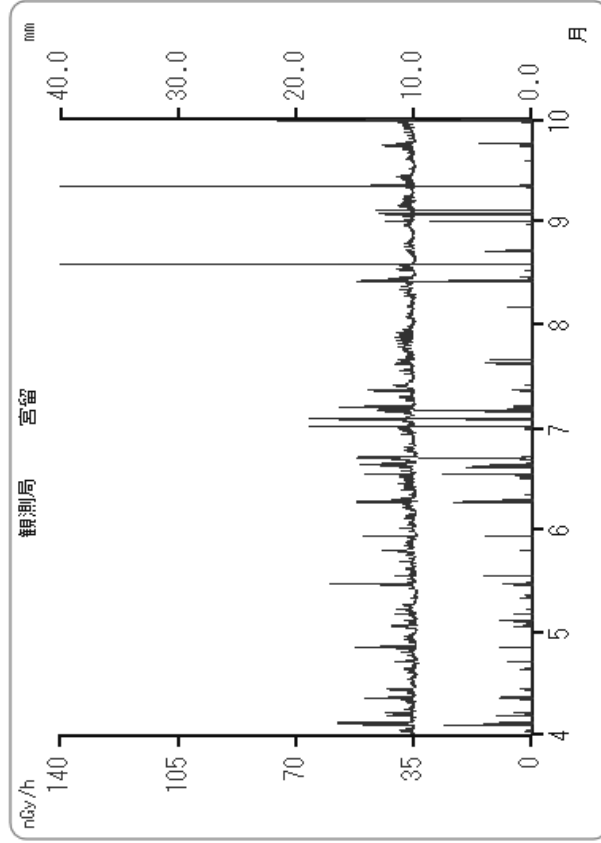


図4. 1. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2012年4月～2013年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

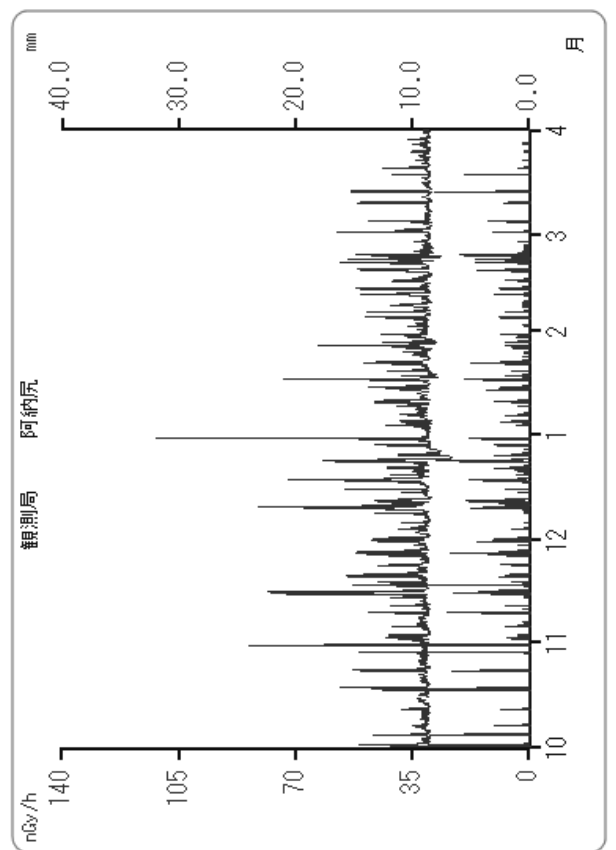
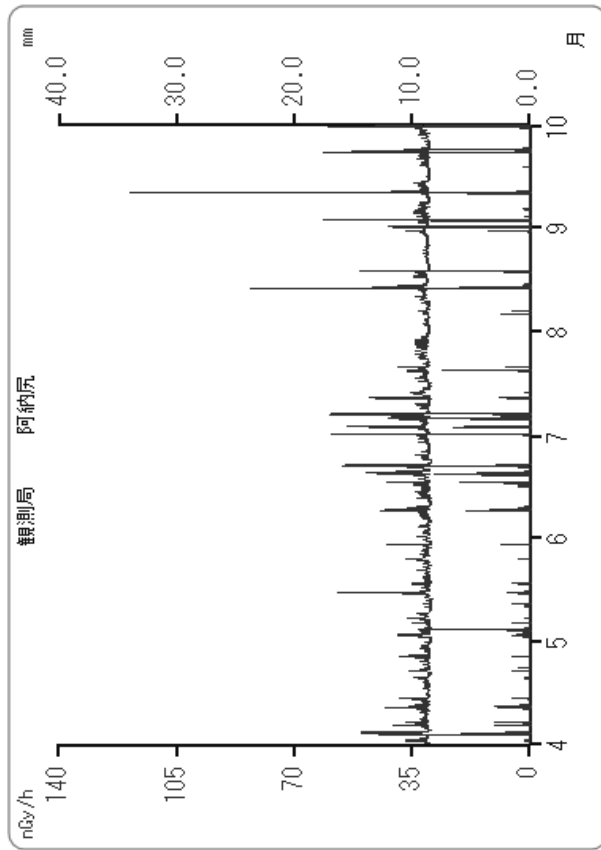
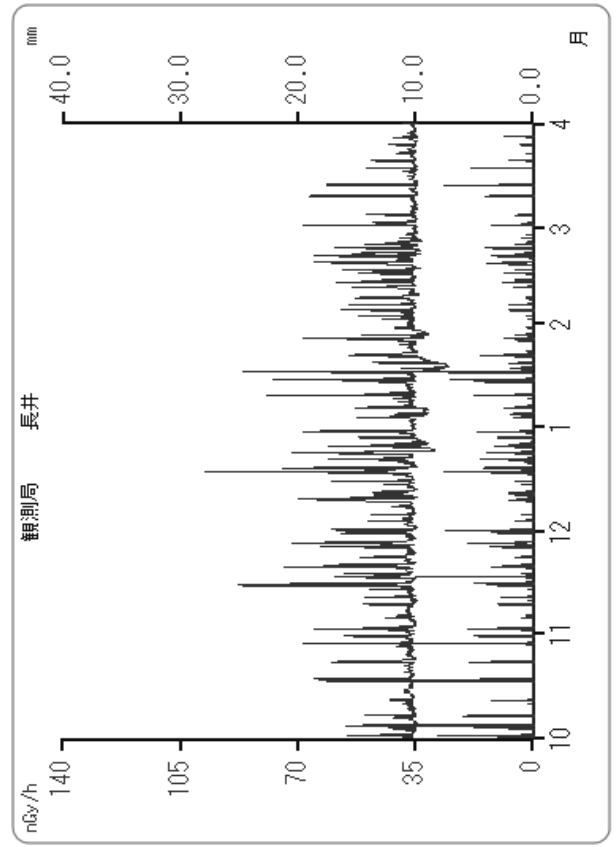
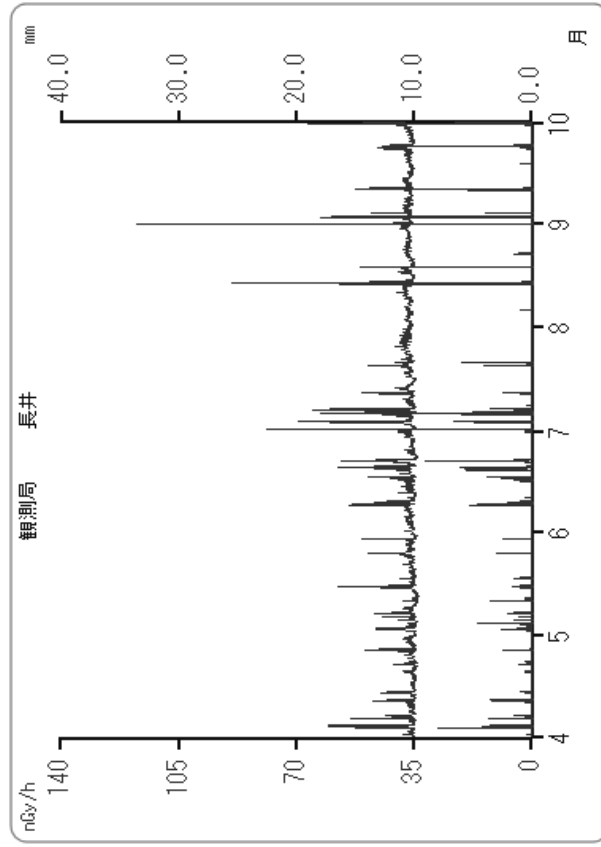


図4. 1. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2012年4月～2013年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

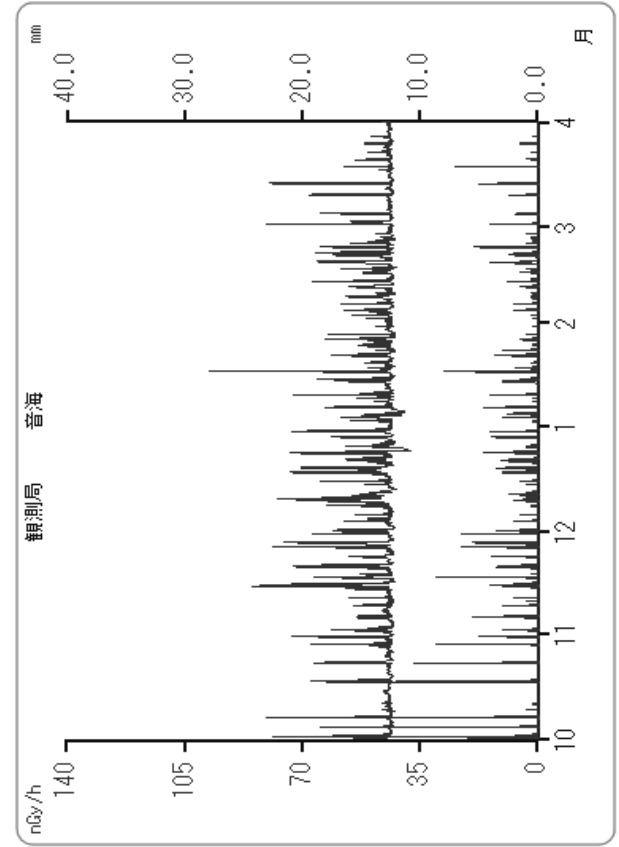
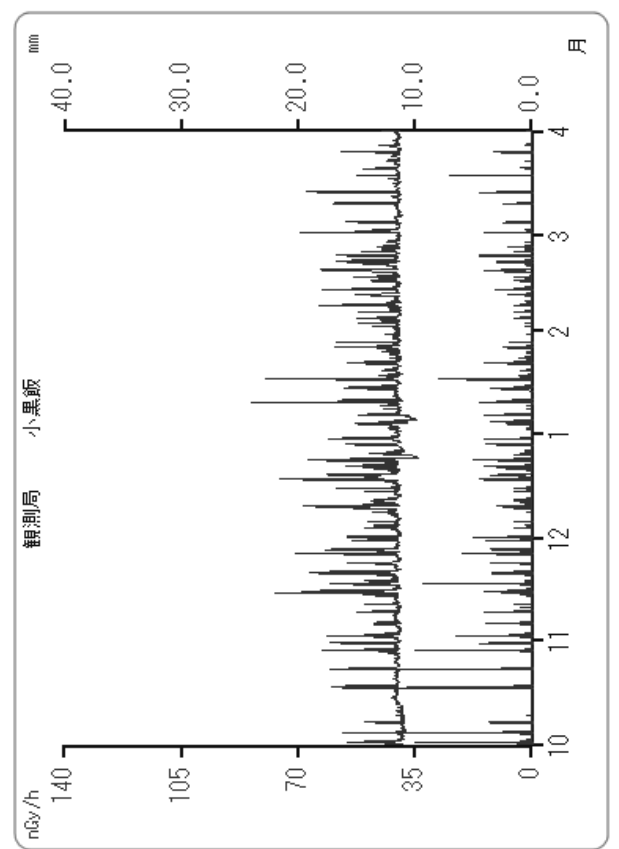
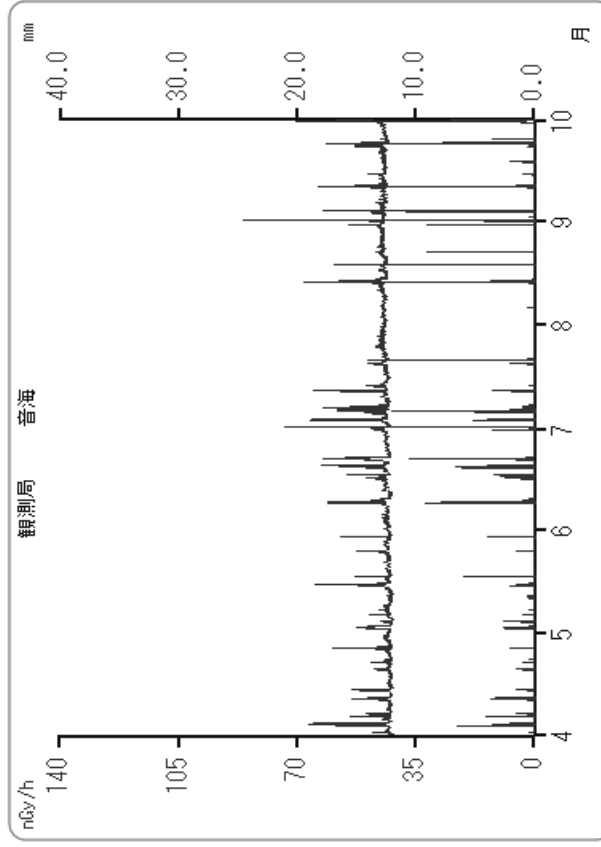
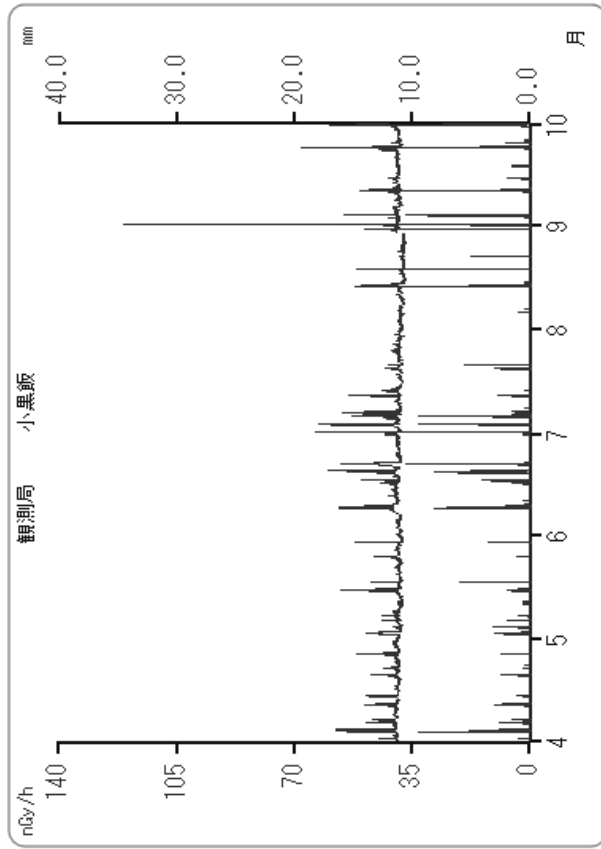


図4. 1. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2012年4月～2013年3月) 上段：線量率 下段：降雨量

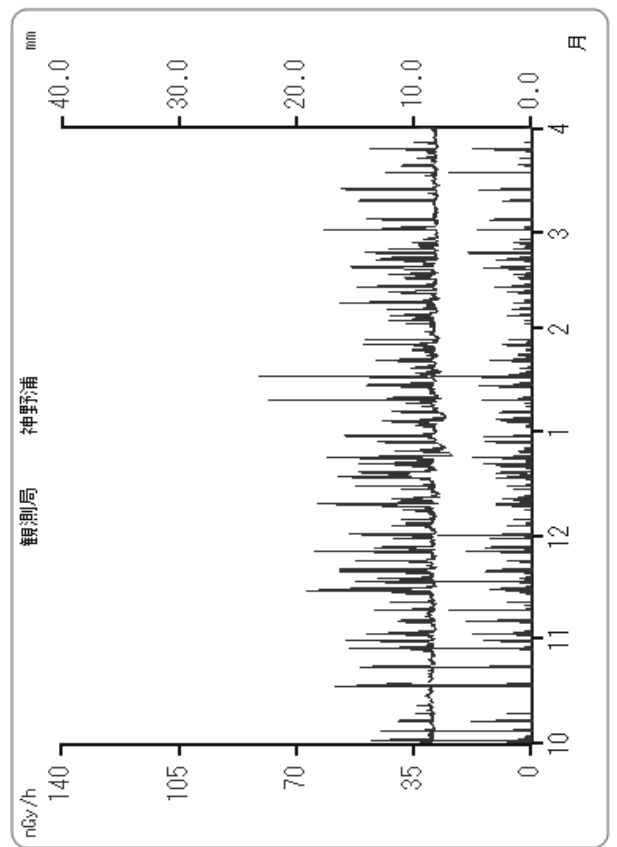
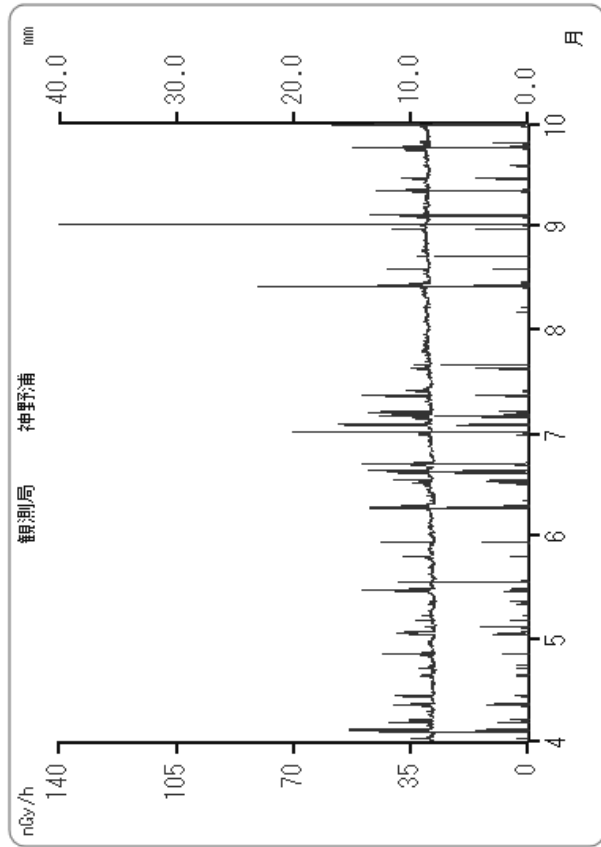
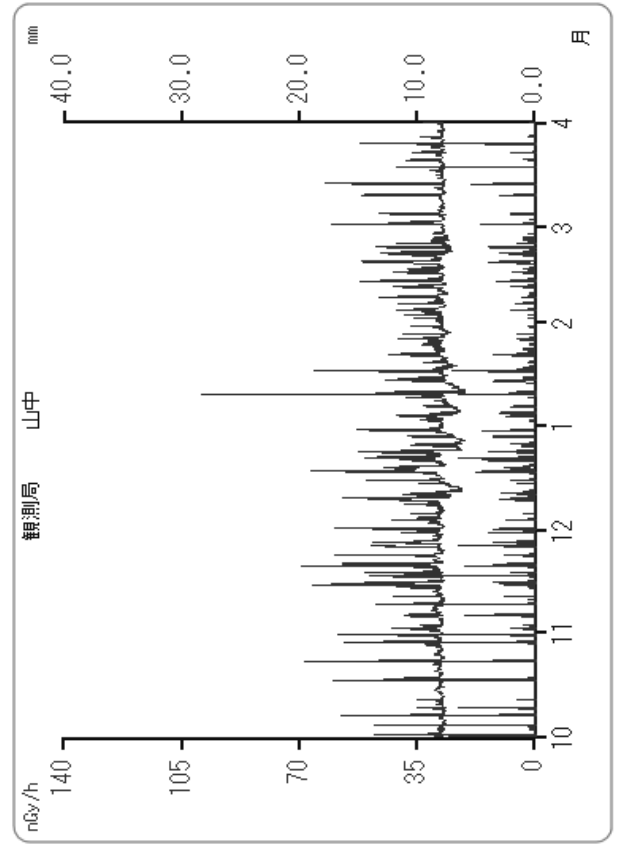
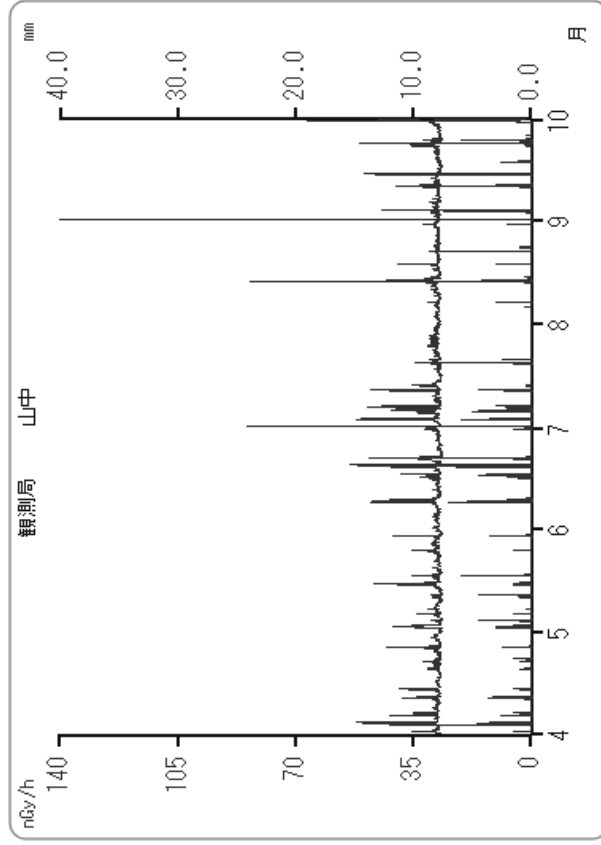
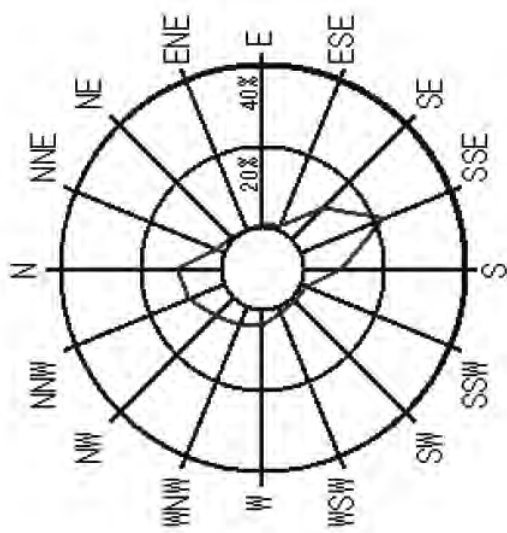
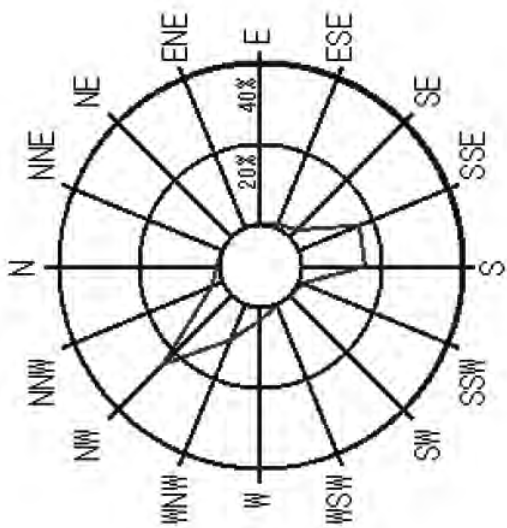


図4. 1. 2 各地の風配図 敦賀地区

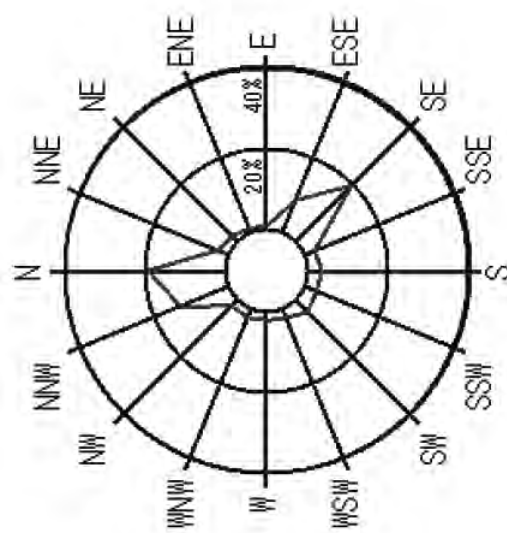
敦賀観測局



浦底観測局



立石観測局



河野観測局

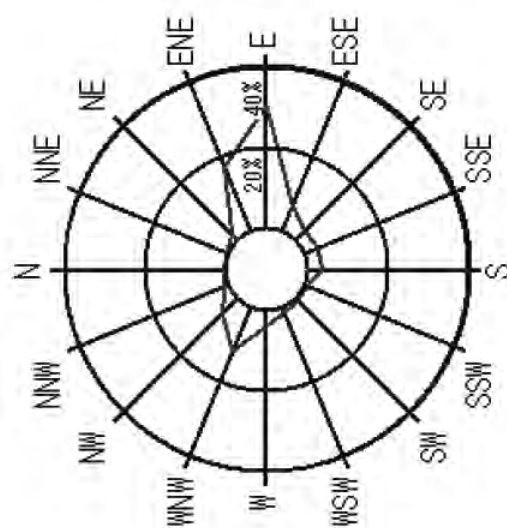
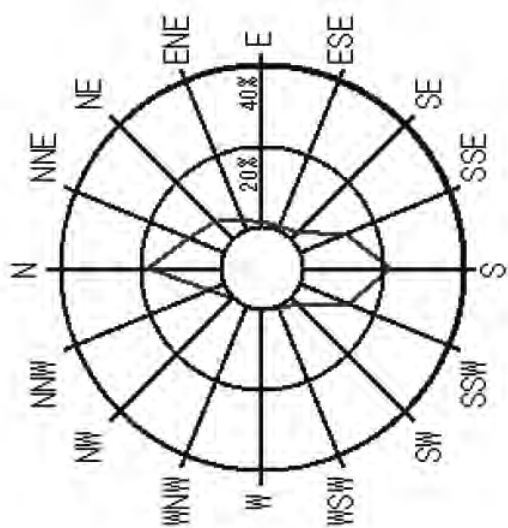


図4. 1. 2 各地の風配図 白木地区

白木観測局



白木峠観測局

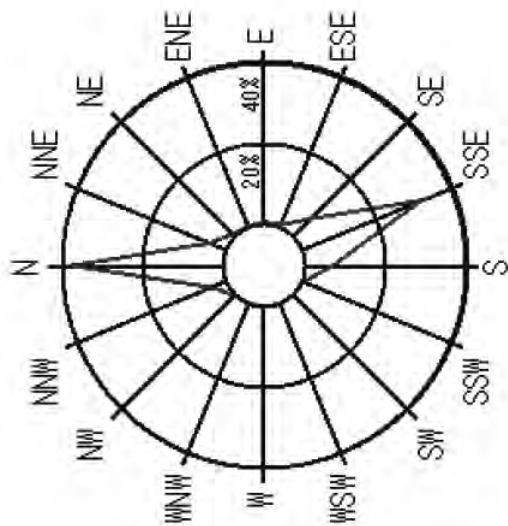
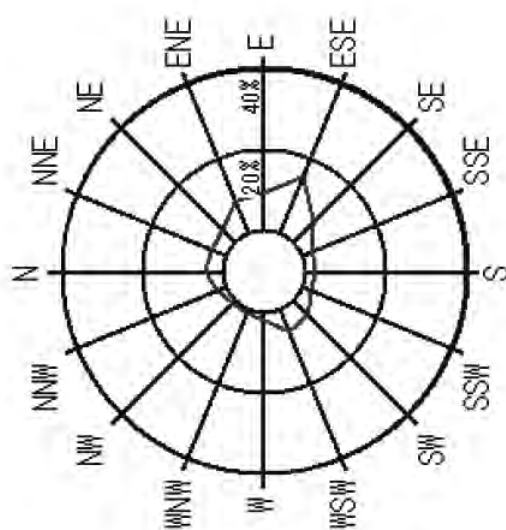
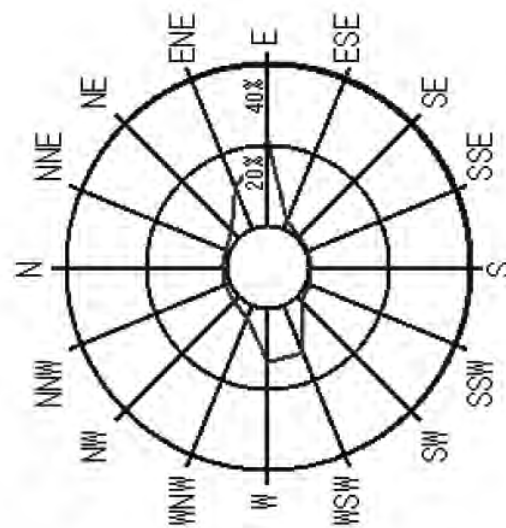


図4. 1. 2 各地の風配図 美浜地区

丹生観測局



竹波観測局



坂尻観測局

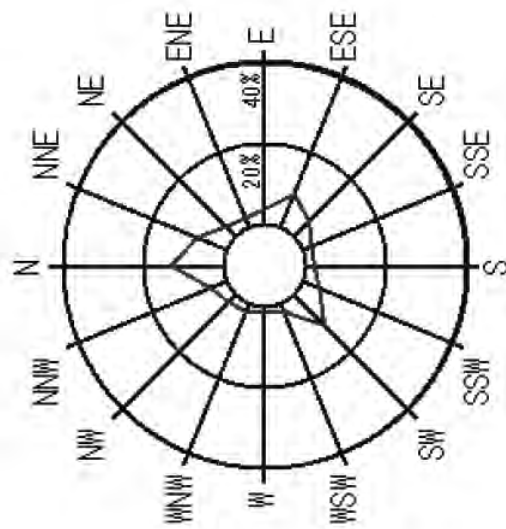
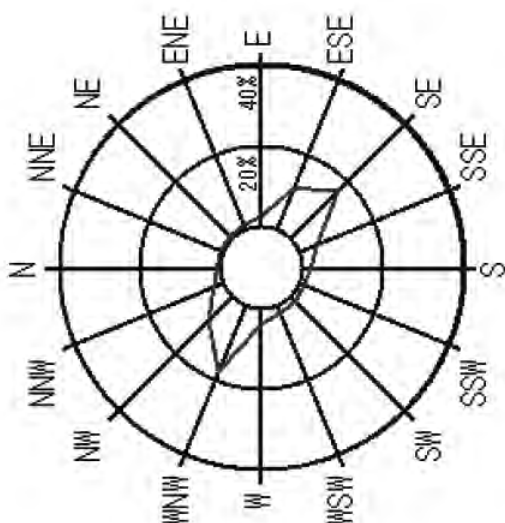


図4. 1. 2 各地の風配図 大飯地区

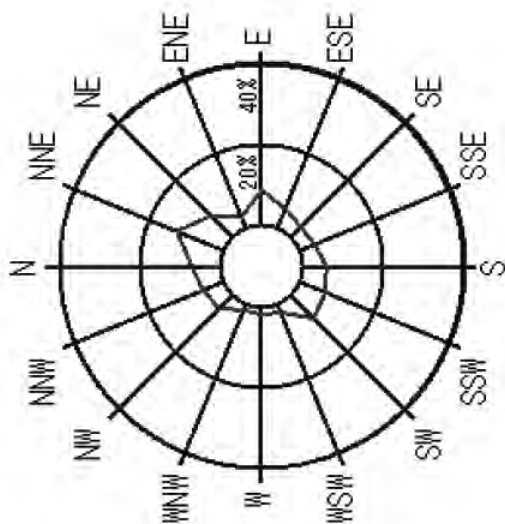
小浜観測局



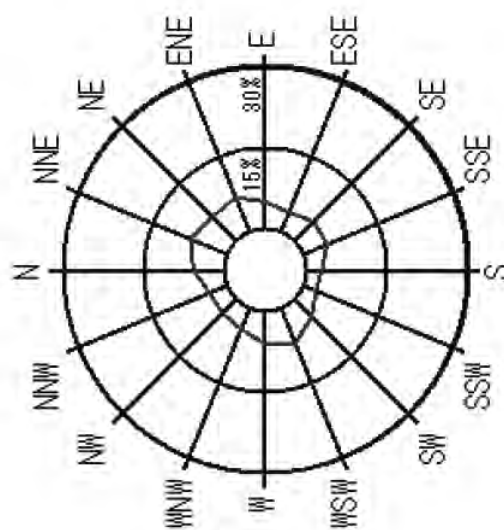
日角浜観測局



宮留観測局



阿納尻観測局



長井観測局

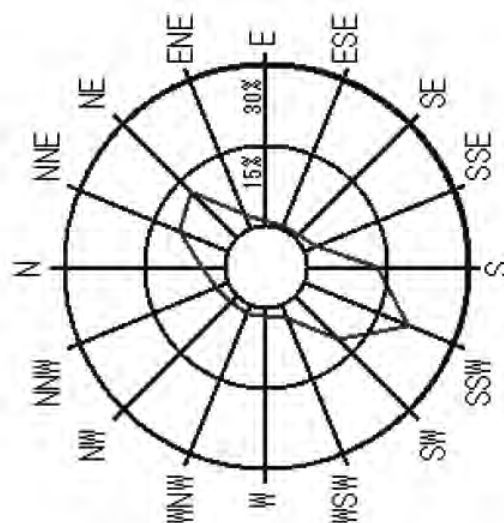
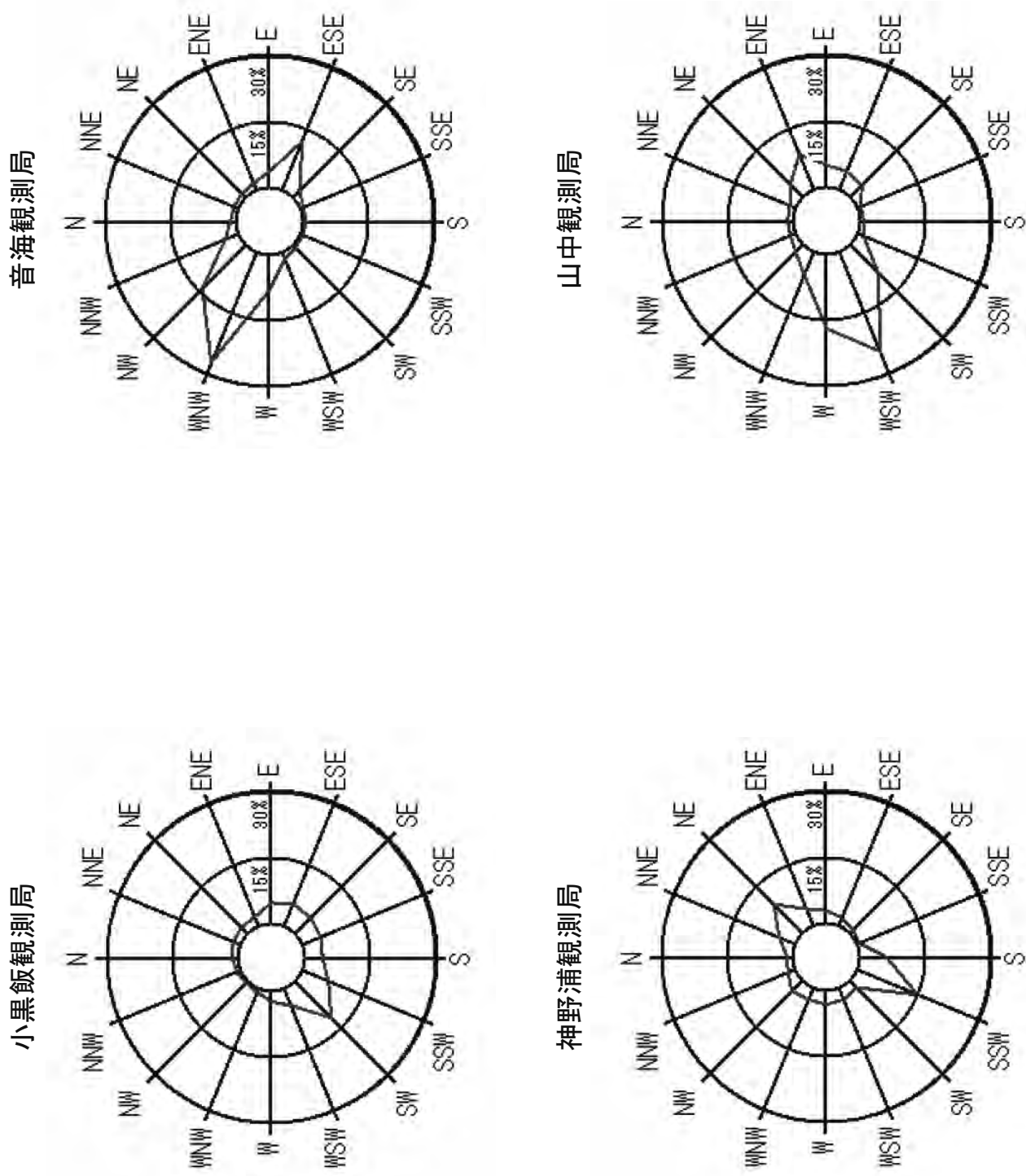


図4. 1. 2 各地の風配図 高浜地区



4. 2 大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について

【測定の目的・経緯】

大気中水分、雨水（降下物）のトリチウムの測定については、平成8年度から定期調査として報告を開始し、平成17年度からは、大気中水分を期間調査から月間調査に、雨水を月間調査から期間調査に変更した。

トリチウムは表-1に示すように、単位放射能当たりの線量への寄与が他の主要な核種と比べ数百分の1～数千分の1と小さく、環境安全上大きな問題となるものではないが、放射性ヨウ素や ^{60}Co 等の放射性核種の放出がほとんどなくなったことから、環境モニタリングにおいて相対的にトリチウムの比重が高くなっており、また、希ガスを除けば、定常的に放出される唯一の核種であるので、定期調査に加えたものである。

県内で多数を占める軽水型原子炉施設を例にとれば、気体廃棄物中のトリチウムは、海への液体廃棄物の放出とは異なり、使用済燃料プールや定期検査時の原子炉キャビティからの蒸発や格納容器パージがあるため、ほぼ定常的に発生し、放出される。

大気中水分のトリチウム分析は、吸入に伴う内部被ばく線量を把握するためであり、雨水（降下物）については、雨によるウォッシュアウト（洗い落とし）効果によって大気中のトリチウムが地表にもたらされることや、空気中の水蒸気と地表面に溜まった水とが比較的容易に入れ代わること等から、大気中水分の測定結果を解釈する際の参考として分析しているものである。トリチウムの存在形態としてはHTや T_2 のようなガス状の存在も考えられるが、環境では速やかにHTOに変換するとされているので、水分を採取することとしている。

表-1 1 Bqを経口または吸入摂取した場合の成人の実効線量係数 (mSv/Bq)

	経口摂取	吸入摂取
^3H	1.8×10^{-8}	1.8×10^{-8}
^{60}Co	3.4×10^{-6} (^3H に対する倍数 190)	3.1×10^{-5} (^3H に対する倍数 1,700)
^{131}I	1.6×10^{-5} (// 890)	1.5×10^{-5} (// 830)
^{137}Cs	1.3×10^{-5} (// 720)	3.9×10^{-5} (// 2200)

【試料の採取・測定法】

大気中水分は、線量率連続モニタの観測局等に設置した除湿器により月毎に採取したものを測定試料としている。雨水は、降下物の核種分析用の水盤または別の水盤から月毎に分取し、それを3ヶ月分まとめたもの（集合試料）を測定試料としている。測定試料を蒸留後、40ml分取して60mlの乳化シンチレータと混合、静置し、低バックグラウンド液体シンチレーション検出器により原則として計500分(50分×10回)測定している。検出限界値は測定条件によって多少異なるが、およそ0.5～1Bq/lである。

【数値の取扱い・大気中濃度への換算方法】

分析結果はBq/l（水）で報告する。

測定値は、有効数字2桁または表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。

トリチウム濃度をN、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq 3 \Delta N$ の場合を検出されたものとし、通常は過去3年間の最低値～最高値と比べ、これを超えた場合はそれ以前の値を参考に、発電所寄与について検討する。

なお、大気中水分のトリチウム濃度(Bq/l)は、空気中の水分量が気温、相対湿度によって変動するため季節によって3～4倍値が違い、大気中濃度(Bq/m³)が一定であっても冬季は大きな値となるため、測定結果を見る場合は注意を要する。

大気中水分のトリチウム(Bq/l)を大気中濃度(Bq/m³)に換算するには、当該期間の平均気

温と平均相対湿度を用いて求めた空気中の水分量 (ℓ / m^3) を乗じる。2012年度の月毎の平均的な空気中の水分量は表-2の通りである。過去に報告された大気中水分のトリチウム濃度 (Bq/ℓ) も、同様に当該期間中の空気中の水分量を用いて大気中濃度 (Bq/m^3) に換算することができる。

表-2 月毎および年間の平均的な空気中の水分量 (単位: $m\ell / m^3$) *

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月平均	8.0	10.7	14.0	19.2	19.2	17.1	10.7	7.1	5.1	4.6	4.7	5.4
年平均	10.5											

* : 敦賀特別地域気象観測所における2012年度の平均気温および平均相対湿度を基に計算した。

【線量評価】

大気中水分を吸入することによる預託実効線量は、仮に $100 Bq/\ell$ のトリチウム濃度の水分を含む空気を成人が年間連続して呼吸し続けると仮定した場合、表-1の線量換算係数および1日の呼吸量を用いれば、

$(100Bq/\ell \times 0.0105 \ell / m^3) \times 22.2m^3/\text{日} \times 365\text{日} \times 1.8 \times 10^{-8} mSv/Bq = 1.5 \times 10^{-4} mSv$ と計算される。これは、公衆の線量限度 $1 mSv$ あるいは2008年国連科学委員会報告によるラドン等の吸入による内部被ばく線量 $1.26 mSv$ と比べ、無視し得るくらいの極めて小さな値である。

【過去の実績およびバックグラウンドレベル】

表-3に過去の実績として1975~2011年度の間での最高値を、また、参考として「表-4」に対照地点の調査結果を示す。

表-3 過去の実績(1975~2011年度の最高値)

	地区	水中濃度	大気中濃度
大気中	高浜	52 Bq/ℓ 07年11月小黒飯	0.38 Bq/m^3
水分	対照	5.4 Bq/ℓ 81年4月福井	0.062 Bq/m^3
雨水	大飯	24.1 Bq/ℓ 99年3月宮留	
	対照	6.5 Bq/ℓ 75年6月福井	

表-4 対照地点の測定結果(2009~11年度)

	試料数	平均濃度±標準偏差
大気中水分	36	0.64±0.29 Bq/ℓ
雨水	12	0.53±0.24 Bq/ℓ

(検出限界値未満の場合を含む全試料の平均)

4.3 東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所事故に関連した放射能調査

平成24年度に実施した定期調査において、福島第一原子力発電所事故起因核種として検出されているセシウム-134については、セシウム-134が海水試料においてのみ参考核種とされているが、それ以外の試料については記載がないため、本付録にて結果の収録を行う。海産食品において検出された銀-110mについても併せて掲載した。

第1表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	検出人工核種		過去実績		機関	
			¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs		
敦賀	立石B	13.01.04~13.02.04	—	—	ND~0.8	ND~0.7	B	
	〃	13.02.04~13.03.04	—	—				
	〃	13.03.04~13.04.05	—	—				
	浦底A	浦底A	13.01.10~13.02.07	—	—	ND~0.5	ND~0.6	A
		〃	13.02.07~13.03.06	—	—			
		〃	13.03.06~13.04.11	0.0	0.0			
	浦底B	浦底B	13.01.04~13.02.04	—	—	ND~0.8	ND~0.7	B
		〃	13.02.04~13.03.04	—	—			
		〃	13.03.04~13.04.05	—	—			
	色ヶ浜B	色ヶ浜B	13.01.04~13.02.04	—	—	ND~0.8	ND~0.7	B
〃		13.02.04~13.03.04	—	—				
〃		13.03.04~13.04.05	—	—				
白木	白木A	13.01.09~13.02.07	—	—	ND~0.7	ND~0.7	A	
	〃	13.02.07~13.03.06	—	—				
	〃	13.03.06~13.04.10	—	—				
	松ヶ崎D	松ヶ崎D	13.01.07~13.02.01	—	—	ND~0.5	ND~0.5	D
		〃	13.02.01~13.03.01	—	—			
〃		13.03.01~13.04.01	—	—				
美浜	竹波A	13.01.09~13.02.07	—	—	ND~0.5	ND~0.6	A	
	〃	13.02.07~13.03.06	—	—				
	〃	13.03.06~13.04.10	—	—				
	丹生	丹生	13.01.04~13.02.01	—	—	ND~0.8	ND~0.7	C
		〃	13.02.01~13.03.01	—	—			
〃		13.03.01~13.04.01	—	—				
大飯	宮留A	13.01.09~13.02.05	—	—	ND~0.5	ND~0.4	A	
	〃	13.02.05~13.03.05	—	—				
	〃	13.03.05~13.04.10	—	—				
	宮留	宮留	13.01.07~13.02.04	—	—	ND~0.5	ND~0.4	C
		〃	13.02.04~13.03.04	—	—			
〃		13.03.04~13.04.02	—	—				
高浜	音海	13.01.07~13.02.04	—	—	ND~0.5	ND~0.4	C	
	〃	13.02.04~13.03.04	—	—				
	〃	13.03.04~13.04.02	—	—				
	小黒飯A	小黒飯A	13.01.09~13.02.05	—	—	ND~0.4	ND~0.4	A
		〃	13.02.05~13.03.05	—	—			
		〃	13.03.05~13.04.09	—	—			
	小黒飯	小黒飯	13.01.07~13.02.04	—	—	ND~0.5	ND~0.4	C
		〃	13.02.04~13.03.04	—	—			
〃		13.03.04~13.04.02	—	—				
対照	原目町(福井分析管理室)	13.01.04~13.01.05	—	—	ND~0.1	ND~0.2	A	
	〃	13.02.04~13.02.05	—	—				
	〃	13.03.04~13.03.05	—	—				

過去実績：2009~2011年度

第2表 核種分析結果 その2 陸土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	検出人工核種		過去実績		機関
				¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
敦賀	浦底（明神寮）	土床	12.05.10	8.6	—	7.5～12	—	A
	〃	〃	12.11.05	8.6	—			
	〃	〃	12.07.10	8.1	—			B
	〃	〃	13.01.04	8.6	—			
	発電所北端周辺	山土	12.05.16	28	—	19～28	—	D
	〃	〃	12.08.10	21	—			
	〃	〃	12.11.07	18	—			
〃	〃	13.02.13	20	—				
白木	松ヶ崎	土床	12.05.09	1.3	—	0.9～1.9	—	A
	〃	〃	12.11.05	1.8	—			
	〃	〃	12.07.11	1.7	—			D
	〃	〃	13.01.16	1.9	—			
美浜	丹生	〃	〃	3.3	—	2.5～5.7	—	A
	〃	〃	12.11.07	3.2	—			
	〃	〃	12.09.03	4.6	—			C
	〃	〃	13.03.01	4.1	—			
大飯	日角浜	未耕土	12.05.08	65	—	51～70	ND～0.7	A
	〃	〃	12.11.06	62	—			
	畑村	未耕土	12.09.04	2.9	0.6	2.4～4.6	ND～0.8	C
	〃	〃	13.03.04	3.3	0.7			
高浜	小黒飯	山土	12.05.08	4.3	—	3.6～7.1	—	A
	〃	〃	12.11.06	7.7	0.6			
	〃	未耕土	12.09.04	9.0	—	4.3～6.6	ND～0.5	C
	〃	〃	13.03.04	9.0	1.0			
対照	原目町（衛環研）	未耕土	12.05.23	3.3	0.3	3.0～3.9	ND～0.3	A
	〃	〃	12.11.28	4.7	0.5			
	奥越高原牧場（堆肥舎南西）	山土	12.06.28	13	0.9	/	/	

過去実績：2009～2011年度

（注）0～5cmで採取した試料の粒径2mm以下を分析した。

第3表 核種分析結果 その3 指標植物

単位： Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	検出人工核種		過去実績		機関
				¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
敦賀	浦底	ヨモギ	12.05.10	—	—	ND~0.6	ND~0.5	A
	〃	〃	12.06.04	—	—			
白木	松ヶ崎	〃	12.05.09	—	—	ND~0.7	ND~0.2	A
	〃	〃	12.06.06	—	—			
美浜	竹波	〃	12.05.09	0.2	—	ND~0.6	ND~0.3	A
	〃	〃	12.06.04	0.3	—			
大飯	日角浜	〃	12.05.08	0.2	0.1	ND~0.6	ND~0.6	A
	〃	〃	12.06.05	—	—			
高浜	小黒飯	〃	12.05.08	—	—	ND~1.4	ND~1.2	A
	〃	〃	12.06.05	0.1	—			
対照	原目町 (福井分析管理室付近)	〃	12.05.16	0.1	—	ND~0.7	ND~0.7	A
	〃	〃	12.06.07	—	—			

過去実績：2009~2011年度

第4表 核種分析結果 その4 松葉 (2年葉)

単位： Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	検出人工核種		過去実績		機関
				¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	
敦賀	浦底 (明神寮)	松葉	12.06.05	—	—	ND~1.3	ND~1.1	B
美浜	丹生	〃	12.06.04	0.4	—	ND~1.3	ND~1.1	C
大飯	畑村	〃	12.06.05	0.3	0.3	ND~1.5	ND~1.7	C
高浜	小黒飯	〃	〃	0.5	0.3	ND~2.4	ND~2.2	C

過去実績：2009~2011年度

第5表 核種分析結果 その5 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	検出人工核種		過去実績		機関	
			¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs		
敦賀	浦底（水試）	12.04.05～12.05.09	—	—	ND～14	ND～15	A	
	〃	12.05.09～12.06.06	—	—				
	〃	12.06.06～12.07.05	—	—				
	浦底（明神寮）	12.04.02～12.05.02	—	—	ND～14	ND～13	B	
		〃	12.05.02～12.06.01	—				—
		〃	12.06.01～12.07.02	—				—
白木	松ヶ崎	12.04.05～12.05.09	—	—	ND～9.4	ND～9.6	A	
	〃	12.05.09～12.06.06	—	—				
	〃	12.06.06～12.07.04	—	—				
	〃	12.04.02～12.05.01	—	—	ND～9.8	ND～9.4	D	
		〃	12.05.01～12.06.01	—				—
		〃	12.06.01～12.07.02	—				—
美浜	竹波（落合川取水場）	12.04.04～12.05.09	—	—	ND～14	ND～15	A	
	〃	12.05.09～12.06.06	—	—				
	〃	12.06.06～12.07.04	—	—				
	丹生	12.04.02～12.05.02	—	—	ND～15	ND～13	C	
		〃	12.05.02～12.06.04	—				—
		〃	12.06.04～12.07.02	—				—
大飯	宮留	12.04.04～12.05.08	—	—	ND～24	ND～25	A	
	〃	12.05.08～12.06.05	—	—				
	〃	12.06.05～12.07.04	—	—				
	日角浜	12.04.03～12.05.07	—	—	ND～24	ND～21	C	
		〃	12.05.07～12.06.05	—				—
		〃	12.06.05～12.07.03	—				—
高浜	小黒飯	12.04.04～12.05.08	—	—	ND～27	ND～28	A	
	〃	12.05.08～12.06.05	—	—				
	〃	12.06.05～12.07.04	—	—				
	小和田	12.04.03～12.05.07	—	—	ND～36	ND～33	C	
		〃	12.05.07～12.06.05	—				—
		〃	12.06.05～12.07.03	—				—
対照	原目町（福井分析管理室）	12.04.02～12.05.07	0.1	0.1	ND～23	ND～25	A	
	〃	12.05.07～12.06.05	—	—				
	〃	12.06.05～12.07.03	0.0	—				

過去実績：2009～2011年度

第6表 核種分析結果 その6 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	検出人工核種			過去実績			機関
					¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	^{110m} Ag	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	^{110m} Ag	
敦賀	えりヶ崎	メジナ	肉	12.04.02	0.1	—	—	0.1～0.8	ND～0.5	—	A
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	〃	12.06.05	0.5	0.3	—				A
	〃	〃	〃	12.09.05	0.4	0.2	—				A
	立石漁港	カマス	全身	12.10.04	0.1	—	—				A
	〃	サワラ	肉	〃	0.1	—	—				A
	立石沖	ハマチ	〃	12.10.10	0.1	—	—				B
	〃	ハマチ	〃	〃	0.1	—	—				D
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	〃	12.12.05	0.5	0.2	—				A
	〃	〃	〃	13.03.06	0.3	0.1	—	A			
	立石岬	サザエ	除殻	12.06.05	—	—	—	ND～0.0	—	ND～0.1	A
	えりヶ崎	〃	〃	12.06.06	—	—	—				A
	立石沖	〃	〃	12.07.04	—	—	—				B
	えりヶ崎	〃	〃	〃	—	—	—				A
	立石岬	ワカメ	除根	12.04.02	—	—	—	ND～0.1	ND～0.0	—	A
	立石沖	〃	〃	12.04.10	—	—	—				B
	えりヶ崎	〃	〃	12.05.02	—	—	—				A
	立石岬	〃	〃	12.05.04	—	—	—				A
	立石漁港	ナマコ	全身	12.04.02	—	—	—				—
白木	アジゴ崎	ホオボウ	〃	12.04.20	0.1	—	—	0.0～0.3	—	—	A
	白木沖	アジ	〃	12.07.25	0.1	—	—				D
	もんじゅ放水口沖	〃	肉	12.10.03	0.1	—	—				A
	〃	カマス	〃	〃	0.1	—	—				A
	白木沖	フクラギ	〃	12.10.09	0.1	—	—				D
	サビ崎	アワビ	除殻	12.06.02	—	—	—	ND～0.0	—	ND～0.1	A
	アジゴ崎	サザエ	〃	12.06.08	—	—	—				A
	〃	〃	〃	12.07.06	—	—	—				A
	白木沿岸	〃	〃	〃	—	—	—				D
	白木漁港	ワカメ	除根	12.04.08	—	—	—				ND～0.1
	門ヶ崎	〃	〃	12.05.07	—	—	—	A			
	松ヶ崎	〃	〃	12.05.14	—	—	—	A			
	白木沿岸	〃	〃	12.05.24	—	—	—	D			
	アジゴ崎	カレイ類	全身	12.04.20	0.1	—	—	/	/	/	
	美浜	1, 2号放水口沖	アジ	〃	〃	0.1	—	—	0.0～0.1	—	—
〃		クサフグ	〃	〃	0.1	—	—	A			
1, 2号放水口		アジ	〃	12.06.06	0.1	—	—	C			
3号放水口		〃	〃	〃	0.1	—	—	C			
1, 2号放水口		〃	〃	12.07.04	0.0	—	—	A			
1, 2号放水口沖		〃	〃	12.10.02	0.1	—	—	A			
〃		カワハギ	〃	〃	0.0	—	—	A			
1, 2号放水口		アジ	〃	12.10.09	0.1	—	—	C			
3号放水口		〃	〃	〃	0.1	—	—	C			
1, 2号放水口		サザエ	除殻	12.06.03	—	—	—	ND～0.1			
3号放水口	アワビ	〃	〃	0.0	—	—	A				

過去実績：2009～2011年度

(注) 実績欄の値は、地区毎の魚、貝、藻別にまとめて求めたものである。各放水口は放水口付近を含む。

第6表 核種分析結果 その6 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	検出人工核種			過去実績			機関
					¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	^{110m} Ag	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	^{110m} Ag	
美浜	3号放水口	サザエ	除殻	12.07.03	—	—	—	ND~0.1	—	ND~0.1	A
	1, 2号放水口	〃	〃	12.07.09	—	—	—				C
	3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—				C
	1, 2号放水口沖	ワカメ	除根	12.04.02	—	—	—	—	—	—	A
	1, 2号放水口	〃	〃	12.05.06	—	—	—				A
	3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—				A
	1, 2号放水口	〃	〃	13.03.31	—	—	—				C
	3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—				C
大飯	髻島	アジ	肉	12.04.02	0.1	—	—	ND~0.2	—	—	A
	〃	スズキ	〃	〃	0.2	—	—				A
	放水口	アジ	〃	12.06.07	0.1	—	—				C
	髻島沖	ニギス	全身	12.10.02	0.1	—	—				A
	〃	ホオボウ	〃	〃	0.1	—	—				A
	放水口	アジ	肉	12.10.14	0.1	—	—				C
	赤礁崎	サザエ	除殻	12.06.05	—	—	0.1	ND~0.0	—	0.1~0.2	A
	〃	アワビ	〃	〃	—	—	0.0				A
	〃	サザエ	〃	12.07.03	—	—	0.1				A
	放水口	〃	〃	12.07.05	—	—	—				C
	赤礁崎	ワカメ	除根	12.04.02	—	—	—	ND~0.0	ND~0.0	—	A
	〃	〃	〃	12.05.07	—	—	—				A
	〃	モズク	全体	〃	—	—	—				A
	放水口	ワカメ	除根	13.03.27	—	—	—				C
高浜	取水口	アジ	全身	12.04.23	0.1	—	—	0.0~0.2	—	ND~0.1	A
	〃	ブリ	肉	12.04.29	0.3	0.1	—				A
	内浦湾	アジ	全身	12.06.07	0.1	—	—				C
	小黒飯	キジハタ	肉	12.10.05	0.1	—	—				A
	内浦湾	アジ	全身	12.10.09	0.1	—	—				C
	取水口	メジナ	肉	12.12.02	0.1	—	—				A
	内浦湾	サザエ	除殻	12.07.07	—	—	—	ND~0.1	—	ND~0.1	C
	取水口	〃	〃	12.07.10	—	—	—				A
	名島	〃	〃	12.07.20	—	—	0.1				A
	取水口	〃	〃	12.07.29	—	—	0.1				A
	難波江	ワカメ	除根	12.05.20	—	—	—				A
	小黒飯漁港	〃	〃	12.05.26	—	—	—				A
	内浦湾	〃	〃	13.03.17	—	—	—				C
	小黒飯漁港	〃	〃	13.03.24	—	—	—				A
対照	越前町	ハマチ	肉	12.05.10	0.1	—	—	0.1~0.3	—	—	A
	〃	トビウオ	〃	12.05.17	0.1	—	—				A
	福井市	ハマチ	〃	13.01.16	0.1	—	—				A
	越廼沖	サザエ	除殻	12.06.04	—	—	0.0	—	—	ND~0.1	A
	河野沖	ワカメ	除根	12.05.10	—	—	—	—	—	—	A
〃	モズク	全体	12.05.17	—	—	—	—	—	—	A	

過去実績：2009~2011年度

(注) 実績欄の値は、地区毎の魚、貝、藻別にまとめて求めたものである。各放水口は放水口付近を含む。

4. 4 環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果

1 はじめに

線量評価は、「環境放射線モニタリング指針(平成20年3月、原子力安全委員会、以下、「モニタリング指針」という)」に掲げられた環境放射線モニタリングの第1の目標であり、また最終的な帰結であって、次元(単位)の異なる空間放射線や環境試料の放射能のモニタリング結果を、人体への影響の程度(リスク)を表す「実効線量(Sv)」という共通の尺度で示すため実施される。この報告書では、既に本文で、「施設運転に起因する主要な放射性核種が検出されず、特に線量評価の必要はない」としながらも、検出された値に目安をつけるために評価を行い、安全を確認している。

ここでは、核実験フォールアウトの実態や寄与の内訳までを読み取れるよう、内部被ばくに係るモニタリング結果をもとに行った線量評価を0.001mSv以下までの算出された数値そのもので示す。

なお、評価法の変遷の詳細や施設稼働開始時点まで遡る評価結果は、この形で最初に示した平成16年度年報(FERC第37巻5号)に記載している。

2 内部被ばく預託実効線量の評価方法

内部被ばくは、預託実効線量(摂取後50年間にわたって個人が受ける積算の線量)で表される。預託実効線量は、基本的には、吸入または経口摂取された放射性核種について、核種毎に、空気試料(大気中 ^{131}I ・大気浮遊じん並びに空気中水分)または飲食物区分毎に、

$$\text{試料中核種濃度}(C) \times \text{呼吸量又は飲食物日摂取量}(V) \times \text{摂取期間}(t) \times \\ \text{実効線量係数}(f) \times \text{各種補正係数}(k) \cdots \text{式}(1)$$

の積を求め、それをすべて加算して得られる。

但し、モニタリング指針等に規定がなく、ところによっては実効線量計算に供する対象核種の平均濃度の求め方等が異なる場合があることから、以下に、当技術会議が採用している内部被ばく線量評価の計算法・計算条件および留意点を示す。

- ①実効線量係数(f)は、指針が示した吸入/経口摂取別に核種毎の値を用いる。なお、モニタリング指針では化学形等によって複数の値が示されている場合は、最大の値を引用している。
- ②大気中トリチウムについては、大気中水分トリチウム濃度から大気中濃度に換算している。
- ③本文の評価同様、指針にも示された代表的年齢群の「成人」を評価対象とし、摂取経路もモニタリング指針及び「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針(評価指針)」に示された「呼吸、飲料水、葉菜、牛乳、魚類、貝類、藻類」とした。それぞれの摂取量はモニタリング指針の値を用いた(後出)。
- ④評価に供した濃度は、本文の評価同様、検出されたもの(すなわち、検出限界値以上)だけの年間単純平均であり、農産物、海産物にはそれぞれ形状や性状がよく似ていて過去に食品と同等の検出実績があり、補完試料としても用いている指標生物(ヨモギ、ホンダワラ)の結果を加えている。
- ⑤従って、平均濃度自体が高め・安全側であり、①のモニタリング指針における実効線量係数採択の条件と合わせ、潜在的上限を示すものといえる。
- ⑥貝類・藻類の ^{137}Cs については、通常測定では検出限界以下となった試料についても、アンチコインシデンスの測定結果がある場合はその結果を用いた平均値とした。
- ⑦この方法は、ほぼどの試料にも含まれる ^{137}Cs 等の核実験フォールアウト核種、あるいは施設起因核種であっても初期の数年間のようにほぼ年間連続で検出され続けた場合には比較の実態と

よく合う方法であるが、検出が散発的となった場合は過大な評価となる。

⑧摂取期間は、殆どのものは1年としたが、葉菜のみは栽培期間と同じ0.5年とした。ただし、大気試料のように一過性とみなせる試料の場合、検出されたものだけの平均濃度を1年間摂取すると仮定すると過大評価になりすぎるため、吸入における被ばく評価では、摂取期間を検出期間(=大気試料採取期間)に限定した。

⑨式(1)では各種補正係数(k)として市場希釈補正や調理(洗浄)に伴う補正が加味されるが、前者については実態を捉えられないので1とし、後者では葉菜について実際に観測例があり一般的にも用いられている0.5を用いた。

3 モニタリング結果とそれに基づく線量評価結果

モニタリング結果は核種の起源等により、(1)トリチウム(^3H)を除く一般的な施設起因核種、(2)チェルノブイリ事故影響を含む核実験フォールアウト核種、(3)トリチウム、に大別される。トリチウムでは核実験寄与と施設寄与が競合・混在する。表(1)～表(3)に2007年度以降の過去5ヵ年と今年度における評価対象区分毎の年間平均濃度および内部被ばく預託実効線量評価結果を示す。今年度も福島第一原子力発電所事故の影響と考えられる ^{134}Cs 等が検出されているが、対照地区を含めた試料から検出されており、県内の施設に起因する核種ではないことから、昨年度同様、(2)に含めて評価を行った。

(1)では1994年度以降、評価対象となる生物試料等から県内施設の起因核種は全く検出されていない。(2)では ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、Puの3核種について集計、評価してきたが、今年度も昨年度に引き続き、福島第一原子力発電所事故の影響と考えられる ^{134}Cs が検出されたため、評価に追加した。(2)、(3)では、対照地区を含めた県内平均値を用いた評価結果を示した。いずれもモニタリング結果が得られたものだけについて評価を行っており、調査の対象としていないものは含まれていない。従って、魚貝類の ^{90}Sr は評価に含まれていないが、濃度が葉菜の約1/100、藻類の約1/2という過去の結果から類推して、線量評価結果を大きく左右する因子とはならないものと考えられる。表(4)では、海水中トリチウムが海産物に移行し、これを摂取した場合の今年度の預託実効線量評価結果を示す。

4 まとめ

今年度の内部被ばくの線量評価結果の概況をまとめれば、

- ① トリチウムを除く県内施設起因核種は評価対象の大気・各種飲食物並びに生物試料からは、1994年以降全く検出されていない。
- ② トリチウムの内部被ばくに対する寄与は、呼吸・飲用では $2.2 \times 10^{-5}\text{mSv}$ となり、変化は認められない。海産物摂取では $0.4 \times 10^{-5}\text{mSv}$ となり、これらの合計では $2.6 \times 10^{-5}\text{mSv}$ となった。水道水のトリチウムでは明白な施設寄与は観測されず、バックグラウンドレベルとみなせるが、空气中水分の吸入や海水中トリチウムの移行による海産物摂取では施設寄与が認められる。
- ③ 核実験フォールアウトの ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、Puに福島第一原子力発電所事故起因核種 ^{134}Cs を追加した結果では、それぞれ $0.7 \sim 2.7 \times 10^{-4}\text{mSv}$ 、4核種合わせ $6.1 \times 10^{-4}\text{mSv}$ の寄与がある。と集約される。

以上の評価結果を、県内原子力発電所稼働開始時点までに遡った結果と併せ図-1に示す。図-1では、(1)のトリチウムを除く施設起因核種は地区毎に、(2)の核実験フォールアウト等の ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、Puや(3)のトリチウムは県内全平均で示した。チェルノブイリ事故影響の飛来時は、 ^{137}Cs 以上に ^{131}I 、 ^{103}Ru 、 ^{106}Ru 、 ^{134}Cs の寄与が大きく、それらによる預託実効線量を書き加えている。

表(1) ³Hを除く県内施設起因核種の年間平均濃度の推移と線量評価結果

平均濃度単位：空気試料—mBq/m³、水道水—mBq/l、その他—Bq/kg生

年度	地区	空気試料/水道水/葉菜/海産魚・貝・藻類 中間平均濃度					預託実効線量 (mSv)
		⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	
2007	敦賀・白木・美浜・大飯・高浜	左記の年度の、 いずれの地区の、いずれの試料からも 県内施設起因上記核種は検出されず					—
2008	〃						—
2009	〃						—
2010	〃						—
2011	〃						—
2012	〃						—

(注) —は検出例が1例もないもの。

葉菜には指標植物(ヨモギ)を、海産物にはホンダワラ・ムササビ等の指標海産生物を含む。

表(2) 福井県内の¹³⁷Cs, ⁹⁰Sr, Pu, ¹³¹I, ¹³⁴Cs平均濃度と線量評価結果

平均濃度単位：(大気mBq/m³, 海水および原乳mBq/l, その他mBq/Kg生)

年度	Cs-137平均濃度						Sr-90平均濃度		Pu平均濃度				I-131平均濃度			Cs-134平均濃度				海水Cs-137濃度	
	大気	葉菜	原乳	魚類	貝類	藻類	葉菜	藻類	葉菜	魚類	貝類	藻類	大気	葉菜	藻類	大気	葉菜	魚類	藻類		
2007	—	140	/	100	26	42	480	46	0.39	—	40	13	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8
2008	—	160	/	100	21	53	520	38	0.34	—	30	7.8	—	—	—	—	—	—	—	—	1.6
2009	—	220	—	100	20	48	290	49	0.42	—	37	10	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7
2010	0.034	170	—	94	24	58	220	41	0.41	0.097	24	9.0	0.30	—	0.47	0.052	—	—	—	—	1.7
2011	0.30	370	55	130	35	61	190	45	0.56	—	38	9.1	0.23	272	689	0.29	384	360	52	—	1.9
2012	0.01	190	—	130	22	43	230	28	0.75	2.4	29	2.2	—	—	—	0.01	140	180	—	—	1.7

年度	預託実効線量 (単位:mSv)					
	Cs-137	Sr-90	Pu	I-131	Cs-134	合計
2007	1.3 E-4	1.4 E-4	1.2 E-4	—	—	3.9 E-4
2008	1.3 E-4	1.5 E-4	8.4 E-5	—	—	3.6 E-4
2009	1.3 E-4	9.4 E-5	1.0 E-4	—	—	3.2 E-4
2010	1.2 E-4	7.4 E-5	7.9 E-5	1.2 E-5	6.9 E-7	2.9 E-4
2011	2.6 E-4	6.6 E-5	1.0 E-4	1.8 E-4	5.9 E-4	1.2 E-3
2012	1.6 E-4	7.0 E-5	1.0 E-4	—	2.7 E-4	6.1 E-4

注) 各年度の濃度は指標生物を含む検出値があるものだけの単純平均。PuはPu-(239+240)。—: 検出例が1例もないもの。

貝類、藻類のCs-137はアンチコインシデンス測定によるものも含む。

海水のCs-137は濃縮を通じたより一般化した評価をするための参考値。その際使用する濃縮係数(cf)は、評価指針によれば、Cs-137では、魚類30、貝類20、藻類20である。

大気試料中I-131濃度はガス状と粒子状の合計。

表(3) 大気中水分・水道水のトリチウム濃度とその吸入・飲用による預託実効線量

預託実効線量単位: 10⁻⁶mSv

年度	大気中水分のトリチウム平均濃度 (Bq/l)							水道水トリチウム平均濃度 (Bq/l)							(参考) 県内平均線量 (×10 ⁻⁶ mSv)			吸入最高地区線量	
	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均	海水平均	吸入	飲用		合計
2007	5.3	2.4	2.8	4.6	15	0.80	5.6	1.1	0.9	0.9	0.7	0.9	—	0.91	1.2	8.3	16	24	22
2008	3.4	2.1	3.4	5.2	14	0.87	4.9	1.0	1.0	1.4	1.0	1.1	0.7	1.10	1.8	7.2	19	26	21
2009	2.7	2.3	3.4	5.6	13	0.95	4.6	1.1	1.1	1.3	1.2	1.1	0.70	1.1	18	7.2	19	26	20
2010	3.4	1.9	3.0	5.5	14	0.78	4.7	0.9	0.9	1.0	0.7	0.8	0.60	0.9	1.8	6.9	15	22	21
2011	4.6	2.4	2.9	4.8	13	0.74	5.3	1.0	0.7	1.2	0.8	0.7	0.56	0.86	3.1	7.9	15	23	20
2012	3.6	1.8	2.4	3.8	12	0.66	4.3	0.9	0.8	1.0	0.7	0.8	0.60	0.84	0.9	6.6	15	22	18

注) トリチウムの大気中水分濃度から大気中濃度への換算には、2012年度の年間平均空気中水分量を用いた。—は検出例がないもの。

海水中濃度から海産物経由のトリチウム(濃縮係数1)による内部被ばくを計算することができる。魚貝藻類の総摂取量は0.26kgである。

表(4) 海水中トリチウム濃度と海産物摂取による預託実効線量

年度	海水中トリチウムの平均濃度(Bq/l)						預託実効線量 (×10 ⁻⁶ mSv)							
	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均
2010	3.0	1.0	2.5	1.2	1.2	—	1.8	12	4.0	10	4.8	4.8	—	7.2
2011	6.8	1.0	3.4	1.1	2.3	—	3.1	27	4.0	14	4.4	9.2	—	12
2012	0.6	0.7	1.0	0.8	1.2	0.6	0.9	2.4	2.8	4.0	3.2	4.8	2.4	3.6

注) 海水中トリチウム濃度から海産物経由のトリチウムによる内部被ばくを計算することができる。
魚貝藻類の総摂取量は0.26kgである。

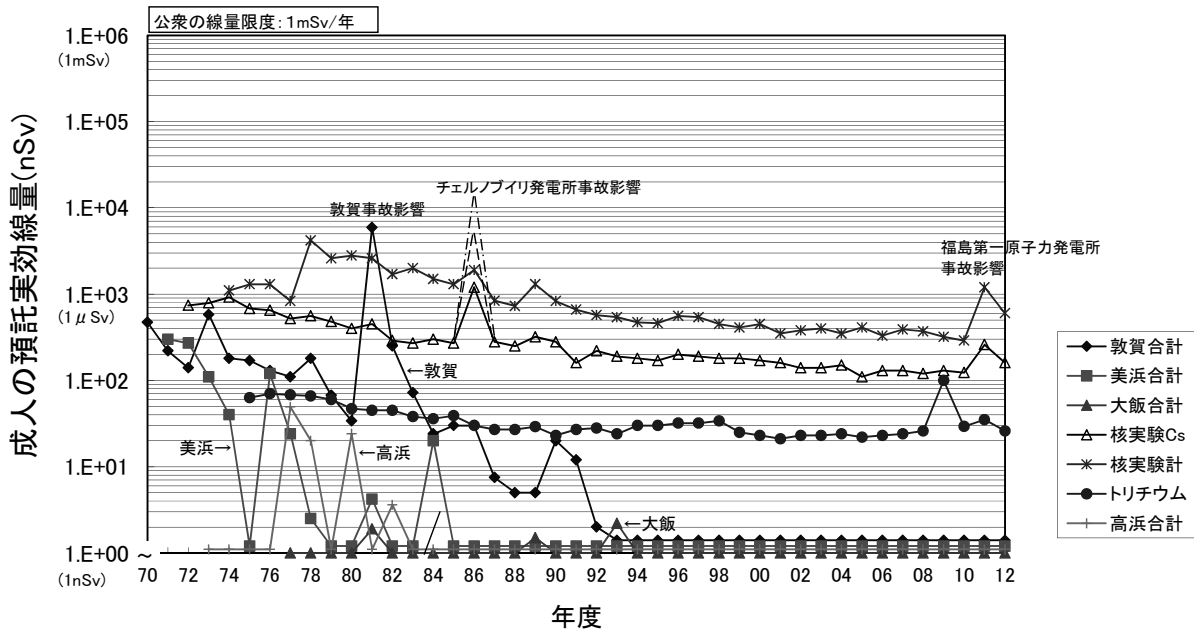


図-1 各種試料中核種濃度から計算した内部被ばく預託実効線量(nSv)

(図-1の注)

- 核実験 Cs: 過去の核実験フォールアウト核種である Cs-137 による預託実効線量評価結果。1986 年のチェルノブイリ発電所事故影響では、Cs-137 の他に I-131 や Ru-103、Ru-106、Cs-134 の評価を加えた結果 (図中、破線部) と、陸上への各放射性核種の蓄積量から求めた外部被ばく線量の評価を加えた結果 (図中、一点鎖線部) もあわせて示した。
2010 年度結果に福島第一原子力発電所事故影響による Cs-137、Cs-134 寄与を含めた。
- 核実験計: 過去の核実験フォールアウト核種である Cs-137、Sr-90、Pu-239 による預託実効線量評価結果。2010 年度～2012 年度の結果には福島第一原子力発電所事故影響による I-131、Cs-134 寄与を含めた。
- トリチウム: 大気中トリチウムの吸入、水道水中トリチウムの飲用による預託実効線量評価結果の合計。1990 年頃までは核実験影響が支配的であった。2009 年度からは、これらに海産物摂取による預託実効線量評価結果を加えた(表(4)参照)。
- 各地区における過去の施設寄与は、主として Co-60 によるものであり、その他は Mn-54、Co-58 によるものであった。一部の試料には I-131、Fe-59 があった。

なお、線量評価に用いた「モニタリング指針」が示す摂取量モデル及び線量係数を以下に示す。

「環境放射線モニタリング指針」による摂取モデル（成人1人1日当たりの摂取量）

	呼吸	葉菜	牛乳	魚類	無脊椎類	海藻類	飲料水
成人	22.2 m ³	100 g	200 ml	200 g	20 g	40 g	2,650 ml

注) 穀類、肉・卵・その他の摂取量は記述なし。成人以外の乳児(3ヶ月児)・幼児(5才児)の年齢群の評価を行う場合は、「評価指針」の摂取量による。但し、線量係数も年齢群別のものを用いる必要があり、放射性ヨウ素はモニタリング指針の値を用いる。
 なお、乳幼児の飲料水摂取量は平成10年11月までの旧「防災指針」に1%と既述されていたが、現在は記述はない。

線量評価の対象とした核種の「モニタリング指針」が示す実効線量係数
 (mSv/Bq)

核種	吸入摂取	経口摂取
³ H	2.6×10 ⁻⁷ (エアロゾル)	4.2×10 ⁻⁸ (有機物)
	1.8×10 ⁻⁸ (水)	1.8×10 ⁻⁸ (水)
⁵⁴ Mn	1.5×10 ⁻⁶	7.1×10 ⁻⁷
⁵⁹ Fe	4.0×10 ⁻⁶	1.8×10 ⁻⁶
⁵⁸ Co	2.1×10 ⁻⁶	7.4×10 ⁻⁷
⁶⁰ Co	3.1×10 ⁻⁵	3.4×10 ⁻⁶
⁹⁰ Sr	1.6×10 ⁻⁴	2.8×10 ⁻⁵
¹³¹ I	1.5×10 ⁻⁵ * 1	1.6×10 ⁻⁵ * 1
¹³⁴ Cs	2.0×10 ⁻⁵	1.9×10 ⁻⁵
¹³⁷ Cs	3.9×10 ⁻⁵	1.3×10 ⁻⁵
²³⁹ Pu	1.2×10 ⁻¹	2.5×10 ⁻⁴

* 1 ヨウ素が体液から甲状腺へ達する割合を0.2として計算した値である。

5 参考資料

5. 1 平成24年度福井県環境放射能測定技術会議議事経過
5. 2 (1)各発電所の設備の概要、建設経過
(2)主要設備の改造および新設工事
5. 3 (1)原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）廃止措置作業状況
(2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況
5. 4 各発電所の運転実績
5. 5 各発電所の発電停止状況
5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）
5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）
5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比
5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量
5. 10 緊急時モニタリングルートでの線量率調査

5. 1 福井県環境放射能測定技術会議議事経過

I 定例会議

第218回 平成24年8月31日

場所：原子力安全システム研究所（INS S）

議題 (1)平成24年度第1四半期の定期調査結果について

- ①第1期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②白木地区モニタリングポストの機器更新について（原子力機構）
 - ③新TLD素子データの採用について（監視センター）
 - ④金津A3の積算線量が平常の範囲を下回った事例について（監視センター）
 - ⑤積算線量測定地点「沓B5」の地点移動について（原電）
 - ⑥今期の核種分析結果において人工放射性核種が検出された件について（監視センター）
 - ⑦松葉の核種分析結果においてCs-134、Cs-137を検出した件について（関電）
 - ⑧大飯地区「宮留A」における大気中水分トリチウムの採取不具合について（監視センター）
- (2)各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
 - (3)平成24年度第1四半期報告書の検討
 - (4)その他

第219回 平成24年11月27日

場所：日本原子力研究開発機構
原子力緊急時支援・研修センター 福井支所

議題 (1)平成24年度第2四半期の定期調査結果

- ①第2期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②空間線量率の降水影響以外の「平均値+3 σ 」オーバーについて（監視センター）
 - ③空間線量率連続測定における降水時以外の「平均値+3 σ 」超過について（原電）
 - ④美浜地区 空間線量率連続測定装置取替工事に伴う線量率変化について（関電）
 - ⑤白木地区モニタリングポストの機器更新について（原子力機構）
 - ⑥高浜地区の音海A4、山中A4、高浜町役場A4ならびに対照地区の金津A3において積算線量が平常の範囲を下回った事例について（監視センター）
 - ⑦今期の核種分析結果において人工放射性核種が検出された件について（監視センター）
 - ⑧陸土の核種分析結果においてCs-134、Cs-137を検出した件について（関電）
 - ⑨大飯地区「宮留A」における大気中水分トリチウムの採取不具合について（監視センター）
- (2)各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
 - (3)平成24年度第2四半期報告書の検討
 - (4)その他

第220回 平成25年2月8日

場所：福井県原子力環境監視センター

議題 (1)平常時環境放射線モニタリングの見直しについて

- (2)各機関の平成25年度環境放射能調査計画について
- (3)平成25年度原子力発電所周辺の環境放射能調査計画書の検討
- (4)その他

第221回 平成25年2月28日

場所：日本原子力発電 敦賀総合研修センター

議題 (1) 平成24年度第3四半期の定期調査結果

- ①第3期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②坂尻Aおよび阿納尻Aにおける過去最大値（1時間値）の観測について（監視センター）
 - ③小浜A観測地点のモニタリングポスト局舎建替工事に伴うデータ欠測について（監視センター）
 - ④美浜地区 空間線量率連続測定装置取替工事に伴う線量率変化について（関電）
 - ⑤白木地区モニタリングポストの機器更新について（原子力機構）
 - ⑥対照地区の金津A3において積算線量が平常値の範囲を下回った事例について（監視センター）
 - ⑦「原子力館B」積算線量計のバッテリーコネクタ不良について（原電）
 - ⑧白木地区における積算線量の測定結果について（原子力機構）
 - ⑨核種分析試料から過去実績を超えるCs-137等が検出されたことについて（監視センター）
 - ⑩松葉の核種分析結果においてCs-137を検出した件について（原電）
 - ⑪敦賀地区「猪ヶ池B」における大気中水分トリチウムの採水不具合について（原子力機構）
- (2) 各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
 - (3) 平成24年度第3四半期報告書の検討
 - (4) その他
 - ①災害現場確認用ロボットの説明およびデモンストレーション（原電）

講演会 演題 「放射線障害防護剤の最新の開発状況」

講師 松本英樹

(独) 福井大学 高エネルギー医学研究センター がん病態制御・治療部門 准教授

第222回 平成25年5月30日

場所：福井県原子力環境監視センター

議題 (1) 平成24年度第4四半期の定期調査結果

- ①第4期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②小浜A、日角浜A観測局舎建替工事に伴う欠測および線量率の変化について（監視センター）
 - ③美浜地区 空間線量率連続測定装置取替工事に伴う線量率変化について（関電）
 - ④核種分析におけるCs-137等の検出について（監視センター）
 - ⑤陸土の核種分析結果においてCs-134、Cs-137を検出した件について（関電）
- (2) 各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
 - (3) 平成24年度第4四半期報告書の検討
 - (4) 検討事項
 - ①環境放射線モニタリング用試料の枯渇への対応について（監視センター）
 - (4) その他

II 小委員会
年報検討小委員会 平成 25 年 8 月 2 日

場所：福井県原子力環境監視センター

- 議題 (1) 平成 24 年度放射化学分析結果の検討
(2) 平成 24 年度年報の検討

福井県環境放射能測定技術会議規定

(会の名称)

第1条 本会議は、福井県環境放射能測定技術会議と称する。

(目的)

第2条 本会議は、福井県の関係機関ならびに原子力施設設置者が県内の施設周辺で実施する環境放射線モニタリングについて技術的に検討し、環境放射能の状況を常時確認することを目的とする。

(所掌事務)

第3条 本会議は前条の目的を達成するため、次の事項を行う。

- 1 原子力施設の平常運転時における環境放射線モニタリング項目の調整
- 2 放射能測定の方法の検討および調査
- 3 環境放射線モニタリングの結果の評価
- 4 報告書の作成ならびに福井県原子力環境安全管理協議会への提出
- 5 その他環境放射線モニタリングに関する技術的事項

(構成)

第4条 本会議は、次の機関の専門技術者をもって構成する。

福井県安全環境部原子力安全対策課 日本原子力発電株式会社

福井県原子力環境監視センター 関西電力株式会社

福井県水産試験場 独立行政法人日本原子力研究開発機構

なお、オブザーバーとして原子力規制委員会 原子力規制庁 地方放射線モニタリング対策官（福井）の出席を得る。また、必要に応じて専門機関の意見を求めることができる。

(議長および事務局)

第5条 本会議の議長は、福井県原子力環境監視センター所長をもってあてる。本会議の事務局を、議長の属する機関に置く。

(会議の開催)

第6条 本会議は四半期ごとに定例会議を、また構成員が必要と認めた場合はその都度会議を開催する。

(定例会議以外の会議)

第7条 本会議には四半期ごとの定例会議以外に、必要に応じ小委員会、幹事会、作業部会を置くことができる。

(報告書の作成)

第8条 本会議は、年度開始に先立ち調査計画書を、また環境放射線モニタリングの結果に関し、四半期および年度ごとに報告書を作成する。

(規定の改廃)

第9条 この規定に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は議長が会議にはかって定める。

附則

この規定は、昭和44年2月12日から施行する。

昭和48年8月2日一部改定

平成7年5月31日一部改定

平成10年7月1日一部改定

平成10年10月1日一部改定

平成15年4月1日一部改定

平成17年4月1日一部改定

平成17年10月1日一部改定

平成24年5月28日一部改定

平成25年4月1日一部改定

会議の出席者（平成24年度（2012年度））

議長	福井県原子力環境 監視センター	前川 素一	日本原子力発電株式会社 敦賀発電所	立松 篤 阿久澤 尚久
	原子力安全対策課	有房 諒栄 清水 健彦		浜中 祐一 中村 里美 武田 敏之
	福井県原子力環境 監視センター	田賀 幹生 青木 靖 河寄 正利 岩井 直樹 西村 祐子	発電管理室	阿部 歩
	福井分析管理室	大西 勝基 高橋 暁美 玉柿 励治 大久保 裕章 大森 靖子 加藤 明日香	関西電力株式会社 環境モニタリングセンター	中山 芳昌 谷口 豊 辛島 裕司 矢谷 浩康 生駒 英也 金森 俊貴 三浦 晃三 藤田 博文 中村 晃
	福井県水産試験場	木下 仁徳	美浜発電所 大飯発電所 高浜発電所	片岡 秀哉 高浪 誠
			日本原子力研究開発機構 安全品質推進部 環境監視課	大久保 浩一 國分 祐司
			高速増殖炉研究開発センター プラント管理部 安全管理課	前川 嘉治
			原子炉廃止措置研究開発センター 環境管理課	森田 聡
			(オブザーバー)	
			文部科学省 原子力安全課 (平成24年3月まで)	
			原子力規制庁 監視情報課 (平成24年4月より)	
			地方放射線モニタリング対策官 (福井)	吉田 敏雄

5. 2 (1) 各発電所の設備の概要, 建設経過

		敦賀発電所		原子炉廃止措置研究 開発センター(ふげん)	高速増殖原型炉 (もんじゅ)
		1号機	2号機		
設備の概要	炉型	BWR	PWR	ATR	FBR
	定格電気出力(万kW)	35.7	116.0	16.5	28.0
	減速剤	軽水	軽水	重水	—
	冷却剤	〃	〃	軽水	ナトリウム
	燃料(材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	混合酸化物燃料体	混合酸化物燃料体
	燃料装荷量(t)	約60	約89	39	約23 ^{*3}
	燃料集合体数	308	193	224	370 ^{*4}
	蒸気発生器数	—	4	—	6 ^{*5}
	復水器冷却水流量(t/秒)	21	83	11	15
建設経過	着工	1966.4	1982.4	1970.12	1985.10
	格納容器組立開始	1967.2	1983.4	1972.8	1986.7
	燃料装荷開始	69.9.20	86.4.17	78.3.15	1993.10
	初臨界	69.10.3	86.5.28	78.5.9	94.4.5
	営業運転開始	70.3.14	87.2.17	79.3.20 ^{*2}	性能試験中
定格熱出力一定運転運用開始		03.3.14	02.7.15		

*1 低濃縮二酸化ウランも使用 *2 本格運転開始 *3 炉心燃料集合体約10t, ブランケット燃料集合体約13t

*4 炉心燃料集合体 198体、ブランケット燃料集合体 172体 *5 蒸発器 3基、過熱器 3基

*6 新型転換炉ふげん発電所は、2008年2月12日に廃止措置計画の認可を受け、原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)に改組した。

		美浜発電所		
		1号機	2号機	3号機
設備の概要	炉型	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力(万kW)	34.0	50.0	82.6
	減速材	軽水	軽水	軽水
	冷却材	〃	〃	〃
	燃料(材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量(t)	約40	約48	約71
	燃料集合体数	121	121	157
	蒸気発生器数	2	2	3
	復水器冷却水流量(t/秒)	21	36	51
建設経過	着工	1967.8	1968.12	1972.7
	格納容器組立開始	1968.11	1969.1	1972.12
	燃料装荷開始	70.7.4	72.3.6	75.12.11
	初臨界	70.7.29	72.4.10	76.1.28
	営業運転開始	70.11.28	72.7.25	76.12.1
定格熱出力一定運転運用開始		02.11.21	02.7.17	03.6.19

5. 2 (1) 各発電所の設備の概要, 建設経過 (つづき)

		大 飯 発 電 所			
		1号機	2号機	3号機	4号機
設備の概要	炉 型	PWR	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力 (万 Kw)	117.5	117.5	118.0	118.0
	減 速 材	軽 水	軽 水	軽 水	軽 水
	冷 却 材	〃	〃	〃	〃
	燃 料 (材 料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量 (t)	約 89	約 89	約 89	約 89
	燃 料 集 合 体 数	193	193	193	193
	蒸 気 発 生 器 数	4	4	4	4
	復水器冷却水流量(t/秒)	71	71	81	81
建設経過	着 工	1972. 10	1972. 11	1987. 5	1987. 5
	格納容器組立開始	1973. 1	1973. 5	1988. 6	1989. 4
	燃 料 装 荷 開 始	77. 10. 14	78. 7. 28	91. 4. 1	92. 4. 13
	初 臨 界	77. 12. 2	78. 9. 14	91. 5. 17	92. 5. 28
	営 業 運 転 開 始	79. 3. 27	79. 12. 5	91. 12. 18	93. 2. 2
定格熱出力一定運転運用開始		03. 6. 4	02. 12. 18	03. 2. 25	02. 4. 16

		高 浜 発 電 所			
		1号機	2号機	3号機	4号機
設備の概要	炉 型	PWR	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力(万 Kw)	82.6	82.6	87.0	87.0
	減 速 材	軽 水	軽 水	軽 水	軽 水
	冷 却 材	〃	〃	〃	〃
	燃 料 (材 料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量 (t)	約 71	約 71	約 72	約 72
	燃 料 集 合 体 数	157	157	157	157
	蒸 気 発 生 器 数	3	3	3	3
	復水器冷却水流量(t/秒)	51	51	63	63
建設経過	着 工	1970. 4	1971. 2	1980. 11	1980. 11
	格納容器組立開始	1970. 8	1971. 7	1981. 6	1981. 12
	燃 料 装 荷 開 始	74. 2. 2	74. 11. 15	84. 3. 1	84. 8. 31
	初 臨 界	74. 3. 14	74. 12. 20	84. 4. 17	84. 10. 11
	営 業 運 転 開 始	74. 11. 14	75. 11. 14	85. 1. 17	85. 6. 5
定格熱出力一定運転運用開始		03. 2. 15	02. 6. 6	02. 11. 6	03. 6. 17

5. 2 (2) 主要設備の改造および新設工事

(日本原電(株) 敦賀発電所)

設 備 名	概 要	使用開始 年 月 日
希ガスホールドアップ装置	希ガスホールドアップ装置（活性炭を充填した放射能減衰装置）を設置、気体廃棄物の低減化	1971. 11. 30
ランドリードレンフィルター	洗濯排水処理系に活性炭式フィルターを新設 液体廃棄物の低減化	1975. 9. 9
放射性廃棄物処理設備	電磁濾過器，超濾過器，蒸発濃縮器，アスファルト固化装置， 雑固体焼却炉，サイトバンカーを増設，廃棄物発生量の低減化， 廃棄物の減容および長期貯蔵対策	1977. 9. 20 全 設 備 使用開始
低圧タービングランドシール	低圧タービン軸シール蒸気を主蒸気から蒸気発生器蒸気に変更 気体廃棄物の低減化	1977. 11. 15
ランドリードレンフィルター	既設フィルターを撤去し，活性炭式フィルターを更新	1981. 12. 13
放射性液体廃棄物 放出ライン	敦賀発電所 1. 2 号の放射性液体廃棄物放出系の共用化に伴い 液体廃棄物放出を 2 号放水口に一元化	1996. 3. 14
ランドリードレンフィルター	既設フィルターを撤去し，活性炭式ロータリーフィルターを設 置	1996. 9. 1
雑固体減容処理設備	雑固体減容処理設備（プラズマ熔融システム採用）を設置し、 放射性雑固体廃棄物量の低減化	2005. 4. 28
原子炉容器上部ふた保管庫	敦賀発電所 2 号機原子炉容器上部ふたの取替に伴い、原子炉容 器上部ふた保管庫を設置し、旧原子炉容器上部ふた保管を保管	2007. 9. 15

(日本原子力研究開発機構 原子炉廃止措置研究開発センター)

設 備 名	概 要	運用開始 年 月 日
固体廃棄物貯蔵庫	雑固体廃棄物貯蔵庫の設置	1977. 3. 20
重水精製装置	高濃度劣化重水を再濃縮する装置の設置	1979. 5. 1
第 2 固体廃棄物貯蔵庫	増設	1985. 4. 1
重水精製装置 (II)	低濃度劣化重水を再濃縮する装置の設置	1986. 12. 20
廃液フィルター	プレコートタイプから中空糸膜フィルターに変更 二次廃棄物発生量の低減化	1989. 8. 24
ドライクリーニング装置	ドライクリーニング装置の容量増量。液体廃棄物の低減化	1989. 8. 24
廃棄物処理建屋	雑固体廃棄物焼却設備、廃樹脂貯蔵設備および収納建屋の設置	1989. 9. 22
放射線測定設備	モニタリングポストの 1 基増設	2002. 11. 29

5. 2 (2) 主要設備の改造および新設工事 (つづき)

(関西電力, 美浜・大飯・高浜発電所)

設備名	概要	運用開始年月日		
		美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
廃液蒸発処理装置	廃液蒸発処理装置を増設し、処理能力を強化	1974. 12. 18 (1, 2号共用)		
雑固体焼却設備	雑固体焼却設備を設置し、固体棄物量の低減化	1978. 10. 27 (1～3号共用)	1991. 12. 18 (1～4号共用)	1984. 8. 31 (1～4号共用)
アスファルト固化装置	アスファルト固化装置を設置し、固体棄物量の低減化	1978. 10. 27 (1～3号共用)	1982. 1. 19 (1, 2号共用)	1984. 9. 5 (1, 2号共用) 1985. 1. 17 (3, 4号共用)
洗濯排水処理設備	洗濯排水処理設備を設置し、液体棄物量を低減化	1996. 5. 22 (1, 2号共用) 1997. 4. 16 (3号用)	1982. 1. 14 (1, 2号共用) 2009. 9. 18 (3, 4号共用)	1981. 7. 31 (1, 2号共用) 1985. 1. 17 (3, 4号共用)
液体廃棄物放出ライン	美浜 3号放射性液体廃棄物放出ラインの1, 2号機側への連絡配管設置	1984. 10. 25		
気体フィルタ圧縮用ベアラ	気体フィルタ圧縮用ベアラを設置し、固体棄物量の低減化	1987. 2. 27 (1～3号共用)	1991. 12. 18 (1～4号共用)	1985. 1. 17 (1～4号共用)
廃棄物庫	廃棄物庫を増設		1986. 9. 18 (C廃棄物庫) 1992. 11. 27 (C廃棄物庫2階部分)	1985. 1. 17 (D廃棄物庫)
ドライクリーニング装置	ドライクリーニング装置を設置し、液体棄物量の低減化			1985. 3. 10 (3, 4号共用)
廃樹脂貯蔵タンク	廃樹脂貯蔵タンクの増設	1988. 1. 22 (1, 2号共用)		1985. 12. 18 (1, 2号共用)
乾燥造粒装置	乾燥造粒装置を設置し、固体棄物量の低減化		1991. 12. 18 (3, 4号共用)	
液体廃棄物放出ライン	美浜 1, 2号機放射性液体廃棄物放出ラインを3号機からも放出可能なように改造	1993. 4. 19		
蒸気発生器保管庫	蒸気発生器の取り替えに伴い、蒸気発生器保管庫を設置し、旧蒸気発生器を保管	1993. 12. 15 (2号用) 1995. 5. 31 (1～3号共用)	1994. 4. 25 (1, 2号共用) 1996. 11. 20 (1, 2号共用)	1994. 1. 25 (1, 2号共用) 1995. 12. 25 (1, 2号共用)
廃樹脂処理装置	廃樹脂処理装置を設置し、固体棄物量の低減化	2001. 4. 9 (1～3号共用)	1994. 9. 27 (1, 2号共用)	2000. 3. 10 (1, 2号共用)
雑固体固型化装置	雑固体固型化装置を設置し、固体棄物を固型化。	2001. 4. 9 (1～3号共用)	1999. 11. 12 (1～4号共用)	2004. 12. 20 (1～4号共用)
低線量使用済樹脂排出配管	排出配管を設置し、低線量の使用済樹脂の焼却減容処理		2005. 3. 30 (1, 2号共用)	2005. 3. 25 (1, 2号共用) 2004. 6. 15 (3, 4号共用)

5. 3 (1)原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）廃止

措置作業状況

廃止措置作業状況（廃止措置以降）

区分	年月日	概要説明
廃止措置	2008年2月12日～	廃止措置作業中
	2009年2月16日～	カランドリアタンク及び重水冷却系のトリチウム除去作業中
	2012年2月27日～	重水浄化系のトリチウム除去作業中
	2012年5月15日～ 2012年6月4日	重水前処理確認試験
	2012年8月29日～ 2013年1月29日	B復水器中部胴等の解体撤去作業
	2012年9月27日～	原子炉建屋内計装機器・配管等の残留重水回収作業中
	2012年10月17日～	重水搬出準備作業中
	2012年12月17日～ 2013年3月15日	タービン補機冷却水ポンプ等の解体工事
定期検査	2012年9月1日～ 2013年1月10日	第25回定期検査作業

※「新型転換炉ふげん発電所」は、2003年3月29日に運転を終了し、2008年2月12日に廃止措置計画及び保安規定の認可を受け、「原子炉廃止措置研究開発センター」に改組した。

5. 3 (2) 高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況

試験進捗状況

区分	年月日	概要説明	進捗率 (%)
性能試験	2010年5月6日～	性能試験中 〔2010年5月6日～7月22日 炉心確認試験 40%出力プラント確認試験準備中〕	10*
	2010年8月11日～ 2012年7月6日	燃料交換作業	
	2010年10月1日～ 2012年7月6日	平成22・23年度設備点検（1次系・2次系等）	
	2011年2月21日～ 2012年8月8日	炉内中継装置引き抜き・復旧工事	
	2012年4月2日～	設備保全対策実施中	

*本格運転開始までに実施される性能試験の試験項目数を考慮し算出したもの。
2010年5月6日の性能試験再開以降の進捗率である。

5. 4 各発電所の運転実績（県内年間発電電力量総計 151.5 億 KWH）

敦賀発電所

2012年4月～2013年3月（年間）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

高速増殖原型炉もんじゅ

2012年4月～2013年3月（年間）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
もんじゅ	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

単位（発電電力量：10⁵MWH、最大電力：MW、稼働率：%、発電日数：日）

美浜発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

大飯発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3号機	発電電力量	0	0	0	7.3	8.8	8.6	9.0	8.8	9.1	9.1	8.3	9.1	78.1
	最大電力	0	0	0	1205	1196	1197	1214	1225	1229	1231	1231	1231	1231
	稼働率	0	0	0	87.7	100	100	100	100	100	100	100	100	74.0
	発電日数	0	0	0	28	31	30	31	30	31	31	28	31	271
4号機	発電電力量	0	0	0	2.7	8.8	8.6	9.0	8.8	9.1	9.1	8.2	9.1	73.4
	最大電力	0	0	0	1200	1198	1199	1212	1223	1226	1227	1227	1227	1227
	稼働率	0	0	0	36.1	100	100	100	100	100	100	100	100	69.6
	発電日数	0	0	0	12	31	30	31	30	31	31	28	31	255

高浜発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(単位) 発電電力量：10⁵MWH，最大電力：MW，稼働率：%，発電日数：日

5. 5 各発電所の発電停止状況

2012年04月 ～ 2013年03月 (年間)

施設名		項目		発電停止状況		その他	
		年月日	概要	年月日	概要		
日本原電(株) 敦賀発電所	1号機	11. 1. 26～	第33回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中			なし	
	2号機	11. 8. 29～	第18回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中			なし	
関西電力(株) 美浜発電所	1号機	10. 11. 24～	第25回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中			なし	
	2号機	11. 12. 18～	第27回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中			なし	
	3号機	11. 5. 14～	第25回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中			なし	
関西電力(株) 大飯発電所	1号機	10. 12. 10～	第24回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中			なし	
	2号機	11. 12. 16～	第24回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中			なし	
	3号機	11. 3. 18～ 12. 7. 5	第15回定期検査作業実施	12. 7. 5～ 12. 8. 3～	調整運転開始 第15回定期検査を終了し、営業 運転再開		
	4号機	11. 7. 22～ 12. 7. 21	第14回定期検査作業実施	12. 7. 21～ 12. 8. 16～	調整運転開始 第14回定期検査を終了し、営業 運転再開		
関西電力(株) 高浜発電所	1号機	11. 1. 10～	第27回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中			なし	
	2号機	11. 11. 25～	第27回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中			なし	
	3号機	12. 2. 20～	第21回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中			なし	
	4号機	11. 7. 21～	第20回定期検査作業実施中 ・福島原子力発電所事故を踏 まえた安全対策対応中			なし	

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2012年4月～2013年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
敦賀発電所 1号機	4月	—	—	—	—	—	—	2.5E+09
	5月	—	—	—	—	—	—	2.7E+09
	6月	—	—	—	—	—	—	3.0E+09
	7月	—	—	—	—	—	—	3.5E+09
	8月	—	—	—	—	—	—	4.0E+09
	9月	—	—	—	—	—	—	4.1E+09
	10月	—	—	—	—	—	—	3.4E+09
	11月	—	—	—	—	—	—	2.5E+09
	12月	—	—	—	—	—	—	1.9E+09
	1月	—	—	—	—	—	—	1.6E+09
	2月	—	—	—	—	—	—	1.3E+09
	3月	—	—	—	—	—	—	1.7E+09
	年間	—	—	—	—	—	—	3.2E+10
敦賀発電所 2号機	4月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	2.5E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	3.4E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	4.7E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	4.3E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	4.1E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	3.1E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	2.4E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	1.6E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	年間	—	—	—	—	—	—	3.2E+12
ふげん	4月	—	—	—	—	—	—	6.0E+08
	5月	—	—	—	—	—	—	8.8E+08
	6月	—	—	—	—	—	—	1.1E+09
	7月	—	—	—	—	—	—	1.4E+09
	8月	—	—	—	—	—	—	1.6E+09
	9月	—	—	—	—	—	—	1.3E+09
	10月	—	—	—	—	—	—	1.2E+10
	11月	—	—	—	—	—	—	7.6E+09
	12月	—	—	—	—	—	—	8.0E+09
	1月	—	—	—	—	—	—	8.4E+09
	2月	—	—	—	—	—	—	4.7E+09
	3月	—	—	—	—	—	—	1.4E+10
	年間	—	—	—	—	—	—	6.1E+10

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

(注) 各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量 (Bq) の和を排気量 (cm³) の和で除して算出している。

(注) 敦賀1号機の気体廃棄物放出量については焼却炉排気筒からの放出も含まれている。

敦賀2号機の気体廃棄物放出量については、雑固体減容処理建屋排気口からの放出も含まれている。

(注) ふげん発電所の気体廃棄物放出量については、重水精製施設および廃棄物処理建屋からの放出も含まれている。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2012年4月～2013年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
高速増殖原型 炉 もんじゅ	4 月	—	—	—	—	—	—	1.5E+07
	5 月	—	—	—	—	—	—	—
	6 月	—	—	—	—	—	—	—
	7 月	—	—	—	—	—	—	—
	8 月	—	—	—	—	—	—	—
	9 月	—	—	—	—	—	—	—
	10月	—	—	—	—	—	—	—
	11月	—	—	—	—	—	—	1.9E+08
	12月	—	—	—	—	—	—	1.6E+07
	1 月	—	—	—	—	—	—	—
	2 月	—	—	—	—	—	—	3.2E+08
	3 月	—	—	—	—	—	—	4.9E+06
	年 間	—	—	—	—	—	—	5.5E+08
美浜発電所 1号機	4 月	—	—	—	—	—	—	5.8E+10
	5 月	—	—	—	—	—	—	7.6E+10
	6 月	—	—	—	—	—	—	8.1E+10
	7 月	—	—	—	—	—	—	8.6E+10
	8 月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	9 月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	9.3E+10
	1 月	—	—	—	—	—	—	6.9E+10
	2 月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	3 月	—	—	—	—	—	—	7.4E+10
	年 間	—	—	—	—	—	—	1.2E+12
美浜発電所 2号機	4 月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	5 月	—	—	—	—	—	—	1.8E+11
	6 月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	7 月	—	—	—	—	—	—	2.5E+11
	8 月	—	—	—	—	—	—	2.7E+11
	9 月	—	—	—	—	—	—	2.4E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	1 月	—	—	—	—	—	—	1.0E+11
	2 月	—	—	—	—	—	—	8.7E+10
	3 月	—	—	—	—	—	—	8.4E+10
	年 間	—	—	—	—	—	—	2.1E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

(注) 各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量 (Bq) の和を排気量 (cm³) の和で除して算出している。

(注) もんじゅの気体廃棄物には、一般換気系排気口からの放出も含まれている。

(注) 美浜発電所の気体廃棄物には、固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2012年4月～2013年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
美浜発電所 3号機	4月	—	—	—	—	—	—	7.9E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	9.1E+10
	6月	2.3E-07	5.4E+07	—	—	—	—	1.1E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	1.6E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	1.8E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	2.3E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	1.0E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	年間	1.9E-08	5.4E+07	—	—	—	—	1.6E+12
大飯発電所 1号機	4月	—	—	—	—	—	—	4.5E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	4.6E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	4.7E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	5.8E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	8.0E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	6.7E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	5.6E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	4.0E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	2.8E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	4.2E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	4.6E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	2.4E+11
	年間	—	—	—	—	—	—	5.8E+12
大飯発電所 2号機	4月	—	—	—	—	—	—	1.2E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	1.2E+10
	6月	—	—	—	—	—	—	1.5E+10
	7月	—	—	—	—	—	—	1.9E+10
	8月	—	—	—	—	—	—	2.3E+10
	9月	—	—	—	—	—	—	2.2E+10
	10月	—	—	—	—	—	—	2.5E+10
	11月	—	—	—	—	—	—	2.6E+10
	12月	—	—	—	—	—	—	2.5E+10
	1月	—	—	—	—	—	—	2.2E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	2.1E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	2.0E+10
	年間	—	—	—	—	—	—	2.4E+11

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

(注) 各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量 (Bq) の和を排気量 (cm³) の和で除して算出している。

(注) 美浜および大飯発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2012年4月～2013年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
大飯発電所 3号機	4月	—	—	—	—	—	—	5.1E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	7.4E+10
	6月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	9.7E+10
	1月	—	—	—	—	—	—	7.4E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	6.2E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	5.3E+10
	年間	—	—	—	—	—	—	1.3E+12
大飯発電所 4号機	4月	—	—	—	—	—	—	6.7E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	2.3E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.4E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	2.2E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.6E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	9.0E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	7.2E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	6.0E+10
	年間	—	—	—	—	—	—	1.7E+12
高浜発電所 1号機	4月	1.4E-06	2.8E+08	—	—	—	—	1.5E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	2.3E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	2.7E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	12月	8.1E-07	1.7E+08	—	—	—	—	2.3E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	年間	1.9E-07	4.5E+08	—	—	—	—	2.2E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

(注) 各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量 (Bq) の和を排気量 (cm³) の和で除して算出している。

(注) 大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2012年4月～2013年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
高浜発電所 2号機	4月	—	—	—	—	—	—	2.2E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	2.3E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	2.7E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.5E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	9.9E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	8.5E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	8.9E+10
	年間	—	—	—	—	—	—	2.1E+12
高浜発電所 3号機	4月	—	—	—	—	—	—	2.9E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	2.2E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	2.6E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	3.1E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.8E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	3.0E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	2.3E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	年間	—	—	—	—	—	—	2.6E+12
高浜発電所 4号機	4月	—	—	—	—	—	—	5.6E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	8.6E+10
	6月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	1.6E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.0E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	9.6E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	6.8E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	6.7E+10
	年間	—	—	—	—	—	—	1.5E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

(注) 各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量 (Bq) の和を排気量 (cm³) の和で除して算出している。

(注) 高浜発電所の気体廃棄物には、固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2012年4月～2013年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq
敦賀発電所	4 月	—	—	4.9E-03	2.1E+10
	5 月	—	—	9.3E-03	4.0E+10
	6 月	—	—	7.4E-03	3.1E+10
	7 月	—	—	2.5E-02	1.1E+11
	8 月	—	—	2.2E-02	9.7E+10
	9 月	—	—	2.1E-02	8.6E+10
	10月	—	—	6.5E-03	2.8E+10
	11月	—	—	1.3E-02	5.3E+10
	12月	—	—	3.5E-02	1.5E+11
	1 月	—	—	5.5E-02	2.4E+11
	2 月	—	—	1.1E-02	4.4E+10
	3 月	—	—	5.6E-03	2.4E+10
	年 間	—	—	1.8E-02	9.3E+11
ふげん	4 月	—	—	3.1E-03	6.8E+09
	5 月	—	—	8.9E-02	2.0E+11
	6 月	—	—	9.5E-03	1.7E+10
	7 月	—	—	1.3E-03	1.6E+09
	8 月	—	—	3.0E-03	3.7E+09
	9 月	—	—	1.9E-02	2.3E+10
	10月	—	—	3.8E-03	4.9E+09
	11月	—	—	8.8E-03	1.0E+10
	12月	—	—	4.8E-03	5.8E+09
	1 月	—	—	2.7E-02	3.4E+10
	2 月	—	—	7.9E-03	9.1E+09
	3 月	—	—	8.8E-03	1.1E+10
	年 間	—	—	1.9E-02	3.2E+11
高速増殖原型 炉 もんじゅ	4 月	—	—	1.9E-07	6.3E+05
	5 月	—	—	—	—
	6 月	—	—	—	—
	7 月	—	—	—	—
	8 月	—	—	2.3E-05	6.9E+07
	9 月	—	—	1.2E-05	3.2E+07
	10月	—	—	2.6E-06	9.1E+06
	11月	—	—	5.3E-06	1.3E+07
	12月	—	—	5.2E-06	1.1E+07
	1 月	—	—	6.5E-07	1.4E+06
	2 月	—	—	5.7E-07	9.0E+05
	3 月	—	—	3.5E-06	9.5E+06
	年 間	—	—	4.4E-06	1.5E+08

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

(注) 敦賀発電所の液体廃棄物放出量については、雑固体減容処理設備からの放出も含まれている。

(注) ふげん発電所の液体廃棄物放出量については、重水精製施設からの放出も含まれている。

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2012年4月～2013年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq
美浜発電所 1, 2号機* ¹	4 月	/	/	/	/
	5 月	/	/	/	/
	6 月	/	/	/	/
	7 月	/	/	/	/
	8 月	—	—	1.5E-03	9.2E+10
	9 月	—	—	3.8E-03	3.7E+11
	10月	—	—	9.5E-04	9.5E+10
	11月	—	—	—	—
	12月	—	—	3.1E-03	3.1E+11
	1 月	—	—	5.0E-03	5.1E+11
	2 月	—	—	3.7E-03	3.4E+11
	3 月	—	—	2.3E-03	2.3E+11
	年 間	—	—	2.5E-03	1.9E+12
美浜発電所 3号機* ²	4 月	—	—	3.4E-07	4.6E+07
	5 月	—	—	4.3E-03	6.0E+11
	6 月	—	—	5.6E-03	7.7E+11
	7 月	—	—	2.9E-03	4.1E+11
	8 月	—	—	5.4E-03	6.2E+11
	9 月	—	—	1.4E-07	4.6E+06
	10月	/	/	/	/
	11月	/	/	/	/
	12月	/	/	/	/
	1 月	/	/	/	/
	2 月	/	/	/	/
	3 月	/	/	/	/
	年 間	—	—	3.3E-03	2.4E+12
大飯発電所 1, 2号機	4 月	—	—	4.3E-03	4.6E+11
	5 月	—	—	2.1E-03	2.2E+11
	6 月	—	—	2.7E-03	2.7E+11
	7 月	—	—	8.7E-04	9.3E+10
	8 月	—	—	5.5E-03	5.9E+11
	9 月	—	—	9.7E-04	1.0E+11
	10月	—	—	4.7E-02	5.1E+12
	11月	—	—	3.8E-02	3.9E+12
	12月	—	—	2.3E-02	2.4E+12
	1 月	—	—	2.2E-02	2.3E+12
	2 月	—	—	5.4E-03	5.3E+11
	3 月	—	—	4.9E-03	5.4E+11
	年 間	—	—	1.3E-02	1.7E+13

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

*1 美浜1, 2号機の定期検査に伴い、連絡配管により美浜3号機放水口から放出した。(4/1～8/19)

*2 美浜3号機の定期検査に伴い、連絡配管により美浜1, 2号機放水口から放出した。(9/13～3/31)

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2012年4月～2013年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq
大飯発電所 3, 4号機	4 月	—	—	1.7E-04	3.5E+10
	5 月 ^{*1}	/	/	/	/
	6 月	—	—	2.1E-03	4.9E+11
	7 月	—	—	4.0E-03	1.7E+12
	8 月	—	—	5.7E-04	2.7E+11
	9 月	—	—	3.7E-04	1.7E+11
	10月	—	—	9.7E-04	4.4E+11
	11月	—	—	3.5E-03	1.5E+12
	12月	—	—	1.3E-03	6.0E+11
	1 月	—	—	4.0E-04	1.8E+11
	2 月 ^{*2}	/	/	—	—
	3 月	—	—	4.2E-04	1.9E+11
	年 間	—	—	1.2E-03	5.6E+12
高浜発電所 1, 2号機	4 月	—	—	2.4E-03	1.5E+11
	5 月	—	—	1.2E-03	7.7E+10
	6 月	—	—	7.1E-04	4.4E+10
	7 月	—	—	2.9E-03	1.8E+11
	8 月	—	—	5.7E-04	3.7E+10
	9 月	—	—	1.7E-03	1.3E+11
	10月	—	—	2.1E-03	1.3E+11
	11月	—	—	1.2E-03	7.1E+10
	12月	—	—	1.5E-03	8.7E+10
	1 月	—	—	2.0E-03	1.4E+11
	2 月	—	—	2.5E-03	1.4E+11
	3 月	—	—	1.7E-03	9.9E+10
	年 間	—	—	1.7E-03	1.3E+12
高浜発電所 3, 4号機	4 月	—	—	1.5E-02	2.0E+12
	5 月	—	—	2.5E-03	4.1E+11
	6 月	—	—	1.1E-02	1.5E+12
	7 月	—	—	1.6E-02	9.2E+11
	8 月	—	—	2.0E-03	1.2E+11
	9 月	—	—	1.4E-03	1.0E+11
	10月	—	—	1.0E-03	7.6E+10
	11月	—	—	2.6E-04	1.9E+10
	12月	—	—	9.1E-04	6.9E+10
	1 月 ^{*3}	/	/	/	/
	2 月	—	—	1.4E-03	9.3E+10
	3 月	—	—	2.6E-03	1.9E+11
	年 間	—	—	5.2E-03	5.5E+12

（注）加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

*1 大飯3, 4号機、5月に放出した実績なし。

*2 大飯3, 4号機、2月に1次系から放出した実績なし。

*3 高浜3, 4号機、1月に放出した実績なし。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2012年4月～2013年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²² Na	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他
敦賀発電所	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ふげん	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高速増殖原型炉 もんじゅ	4 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

/は対象外であることを示す。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2012年4月～2013年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²² Na	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他
美浜発電所 1, 2号機*1	4 月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	5 月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	6 月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	7 月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美浜発電所 3号機*2	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	11月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	12月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	1 月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	2 月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	3 月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大飯発電所 1, 2号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-

/は対象外であることを示す。

*1 美浜1、2号機の定期検査に伴い、連絡配管により美浜3号機放水口から放出した。(4/1～8/19)

*2 美浜3号機の定期検査に伴い、連絡配管により美浜1、2号機放水口から放出した。(9/13～3/31)

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2012年4月～2013年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²²	⁵¹	⁵⁴	⁵⁹	⁵⁸	⁶⁰	¹³¹	¹³⁴	¹³⁷	その他
		Na	Cr	Mn	Fe	Co	Co	I	Cs	Cs	
大飯発電所 3, 4号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月 ^{*1}	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月 ^{*1}	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高浜発電所 1, 2号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高浜発電所 3, 4号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月 ^{*2}	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-

/は対象外であることを示す。

*1：大飯3, 4号機から5月および2月に放出した実績なし。

*2：高浜3, 4号機から1月に放出した実績なし。

(液体廃棄物中のストロンチウム-89、90)

2012年4月～2013年3月

区分 施設		ストロンチウム-89		ストロンチウム-90	
		平均濃度 (Bq/cm ³)	放 出 量 (Bq)	平均濃度 (Bq/cm ³)	放 出 量 (Bq)
敦賀発電所	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
ふげん	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高速増殖 原型炉 もんじゅ	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
美浜発電所 1・2号機	4～6月	/	/	/	/
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
美浜発電所 3号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	/	/	/	/
	1～3月	/	/	/	/
大飯発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
大飯発電所 3・4号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高浜発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高浜発電所 3・4号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（気体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	気体廃棄物（希ガス）					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69	6.3×10^{13}					
70	4.8×10^{15}			3.3×10^{13}		
71	1.6×10^{15}			5.2×10^{13}		
72	1.8×10^{14}			3.3×10^{13}		
73	1.9×10^{14}			3.1×10^{13}		
74	2.1×10^{14}			1.5×10^{13}		3.6×10^{12}
75	4.4×10^{13}			1.1×10^{13}		7.8×10^{12}
76	6.7×10^{13}			4.9×10^{13}		7.6×10^{12}
77	7.4×10^{12}			1.5×10^{13}	1.1×10^{12}	5.6×10^{12}
78	2.0×10^{13}	3.1×10^{10}		5.5×10^{12}	9.5×10^{12}	5.1×10^{12}
79	5.6×10^{11}	8.9×10^{10}		2.1×10^{12}	5.0×10^{12}	5.3×10^{12}
80	1.9×10^{10}	4.1×10^{11}		3.0×10^{13}	1.4×10^{12}	7.7×10^{11}
81	1.4×10^{11}	2.2×10^{10}		3.1×10^{12}	2.7×10^{12}	9.6×10^{11}
82	2.1×10^{11}	9.6×10^{10}		1.1×10^{12}	2.2×10^{12}	2.9×10^{12}
83	4.7×10^{10}	2.4×10^{10}		2.4×10^{12}	1.7×10^{12}	3.7×10^{12}
84	2.5×10^9	—		1.9×10^{12}	1.9×10^{12}	1.4×10^{12}
85	1.6×10^9	—		1.4×10^{12}	1.3×10^{12}	2.0×10^{12}
86	8.9×10^{10}	—		1.5×10^{12}	3.8×10^{12}	6.4×10^{11}
87	2.6×10^9	—		9.1×10^{11}	1.5×10^{12}	4.8×10^{11}
88	5.8×10^9	—		2.8×10^{11}	9.1×10^{11}	1.1×10^{12}
89	8.9×10^9	1.2×10^9		2.5×10^{11}	1.0×10^{12}	3.5×10^{11}
90	1.0×10^{10}	—		2.7×10^{11}	6.8×10^{11}	3.5×10^{11}
91	1.0×10^{10}	2.2×10^{10}		2.8×10^{11}	5.6×10^{11}	1.8×10^{12}
92	2.9×10^9	—		1.1×10^{12}	5.3×10^{11}	4.4×10^{11}
93	2.7×10^9	—		2.0×10^{11}	4.7×10^{11}	6.2×10^{11}
94	3.6×10^9	—	—	1.1×10^{11}	6.0×10^{11}	2.0×10^{11}
95	3.8×10^8	—	—	1.6×10^{11}	5.1×10^{11}	2.1×10^{11}
96	3.8×10^9	—	—	1.9×10^{11}	4.3×10^{11}	3.3×10^{11}
97	3.0×10^9	—	—	1.9×10^{11}	4.3×10^{11}	3.7×10^{11}
98	8.4×10^8	—	—	1.7×10^{11}	6.1×10^{11}	4.2×10^{11}
99	—	—	—	2.3×10^{11}	1.2×10^{11}	4.0×10^{11}
00	2.6×10^9	—	—	1.6×10^{10}	5.7×10^{10}	1.6×10^{10}
01	8.8×10^8	—	—	1.4×10^{10}	1.5×10^{10}	1.8×10^{10}
02	9.1×10^8	1.2×10^{10}	—	1.1×10^{10}	2.8×10^{10}	1.2×10^{10}
03	1.6×10^9	—	—	6.1×10^9	1.8×10^{10}	1.1×10^{10}
04	7.4×10^8	—	—	1.9×10^9	4.1×10^{11}	1.6×10^{10}
05	—	—	—	1.2×10^9	6.2×10^9	1.2×10^{10}
06	—	—	—	2.3×10^9	2.9×10^9	1.5×10^{10}
07	—	—	—	4.6×10^9	2.2×10^9	1.8×10^{10}
08	—	—	—	2.8×10^9	1.9×10^{10}	9.3×10^{11}
09	7.4×10^8	—	—	4.7×10^9	5.0×10^{11}	3.3×10^{11}
10	—	—	—	3.8×10^{10}	9.0×10^{11}	9.6×10^9
11	4.9×10^9	—	—	3.4×10^9	6.8×10^{10}	1.7×10^9
12	—	—	—	5.4×10^7	—	4.5×10^8

（注）ふげんの希ガスはアルゴン-41である。美浜、大飯、高浜の各発電所では1979年度までは検出限界以下の場合、検出限界値を加算していたが、1980年度以降0として集計している（液体廃棄物も同じ）。

美浜、大飯、高浜発電所の気体廃棄物にはそれぞれの発電所の固体廃棄物処理建屋からの放出量も含まれている。1990年度の美浜発電所の希ガスの放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる補助建屋排気筒からの放出分、および排気筒以外からの放出分を含む。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（気体廃棄物）

（単位：Bq／年）

年度	気体廃棄物のヨウ素-131					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69						
70	1.4×10^{10}					
71	4.1×10^{10}					
72	8.9×10^9					
73	7.4×10^9					
74	1.0×10^{10}					—
75	7.4×10^8			5.6×10^7		5.9×10^7
76	6.7×10^8			2.5×10^8		8.4×10^7
77	2.7×10^8			1.2×10^8	2.5×10^6	1.9×10^7
78	2.0×10^8			3.5×10^7	8.1×10^7	1.4×10^7
79	1.3×10^8	—		3.7×10^7	1.3×10^8	1.3×10^7
80	2.7×10^7	—		1.3×10^9	1.4×10^7	8.0×10^6
81	1.0×10^7	—		9.4×10^7	2.6×10^8	1.4×10^6
82	9.1×10^6	—		6.2×10^7	6.3×10^7	3.4×10^6
83	3.9×10^6	—		4.6×10^6	5.6×10^6	9.0×10^7
84	4.0×10^5	—		8.9×10^7	5.0×10^5	1.8×10^6
85	2.0×10^5	—		2.7×10^7	5.9×10^6	2.1×10^7
86	4.4×10^7 * (1)	5.6×10^7 * (1)		6.8×10^7 * (1)	2.2×10^8 * (1)	1.1×10^8 * (1)
87	1.3×10^6	—		3.8×10^6	1.6×10^6	2.7×10^6
88	—	—		1.3×10^6	5.7×10^7	2.0×10^7
89	—	—		2.5×10^6	1.2×10^6	2.2×10^5
90	4.8×10^5	—		3.5×10^8	8.8×10^5	2.9×10^5
91	5.7×10^4	—		6.1×10^6	1.1×10^6	2.2×10^8
92	—	—		1.9×10^7	3.4×10^6	4.3×10^7
93	—	—		1.0×10^7	2.8×10^5	4.4×10^5
94	—	—	—	2.7×10^5	2.2×10^5	3.1×10^5
95	—	—	—	1.6×10^5	—	2.4×10^5
96	—	—	—	—	—	—
97	—	—	—	1.8×10^6	8.6×10^5	3.8×10^6
98	—	—	—	2.4×10^6	1.2×10^5	9.9×10^6
99	—	—	—	3.2×10^5	1.6×10^5	2.7×10^5
00	3.8×10^5	—	—	—	1.1×10^6	—
01	—	—	—	9.9×10^4	2.7×10^5	1.9×10^5
02	—	—	—	3.8×10^5	—	3.4×10^5
03	—	—	—	2.3×10^5	—	—
04	—	—	—	—	1.9×10^8	—
05	—	—	—	—	—	—
06	—	—	—	—	—	—
07	—	—	—	—	—	—
08	—	—	—	1.2×10^5	1.7×10^6	—
09	—	—	—	8.4×10^4	—	—
10	—	—	9.8×10^4 * (2)	1.2×10^5	2.7×10^5 * (2)	1.4×10^4 * (2)
11	6.8×10^5 * (2)	2.0×10^5 * (2)	2.1×10^3 * (2)	1.2×10^6 * (2)	2.2×10^6 * (2)	1.4×10^6 * (2)
12	—	—	—	—	—	—

(注) * (1)印の1986年度の気体状ヨウ素-131の放出実績には、チェルノブイリ原子力発電所の影響が含まれている。

* (2)当該期間においてヨウ素放出されるような作業・操作は行っていないことから、各所に起因したものではなく、福島第一発電所による影響と推測される。

1990年度の美浜発電所のヨウ素-131の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる補助建屋排気筒からの放出分、および排気筒以外からの放出分を含む。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（液体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	トリチウムを除く液体廃棄物					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69	1.1×10^{11}					
70	6.7×10^{10}			5.9×10^{10}		
71	6.3×10^9			5.6×10^9		
72	7.8×10^9			1.1×10^9		
73	7.4×10^9			1.1×10^9		
74	1.1×10^{10}			9.6×10^8		1.1×10^8
75	1.7×10^{10}			5.6×10^8		1.5×10^8
76	3.4×10^9			2.8×10^8		3.6×10^8
77	2.7×10^9			3.3×10^8	1.8×10^7	8.5×10^7
78	8.9×10^8	3.3×10^7		3.0×10^8	3.7×10^7	7.0×10^7
79	4.8×10^8	5.3×10^7		4.5×10^8	6.3×10^7	6.3×10^7
80	2.6×10^8	3.7×10^7		1.4×10^8	5.9×10^7	4.8×10^7
81	1.4×10^8	2.9×10^8		8.8×10^7	1.9×10^8	1.1×10^7
82	1.8×10^7	3.1×10^7		8.6×10^7	2.9×10^7	7.0×10^6
83	2.9×10^7	4.8×10^7		1.0×10^8	2.2×10^7	8.9×10^6
84	2.5×10^7	1.9×10^7		3.8×10^7	1.9×10^7	6.2×10^6
85	1.9×10^7	1.0×10^8		2.2×10^7	2.1×10^7	8.2×10^6
86	1.2×10^7	4.8×10^7		1.5×10^7	1.6×10^7	1.3×10^7
87	1.1×10^7	1.9×10^7		1.7×10^7	4.4×10^6	2.6×10^6
88	1.1×10^7	4.8×10^7		2.1×10^7	2.1×10^5	—
89	4.2×10^6	5.8×10^7		6.5×10^6	—	—
90	5.6×10^6	1.4×10^7		1.6×10^7	7.4×10^5	—
91	6.6×10^6	4.7×10^6		5.1×10^5	—	—
92	2.5×10^6	1.1×10^7		3.0×10^6	7.8×10^4	—
93	1.5×10^5	1.6×10^6		3.4×10^5	1.4×10^5	—
94	—	—	—	1.0×10^5	—	—
95	9.4×10^4	—	—	4.8×10^5	—	—
96	—	—	—	—	—	—
97	—	—	—	—	—	—
98	—	—	—	—	—	—
99	—	—	—	—	—	—
00	—	—	—	—	—	—
01	—	—	—	—	—	—
02	—	—	—	—	—	—
03	—	—	—	—	—	—
04	—	—	—	—	—	3.1×10^5
05	—	—	—	—	—	—
06	—	—	—	—	—	—
07	—	—	—	—	—	—
08	—	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—

（注）ふげんの液体廃棄物放出実績については、1984年度年報より重水精製施設からの放出量も含めて記載した。
1990年度の美浜発電所の「トリチウムを除く液体廃棄物」の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる蒸気発生器ブローダウンからの放出分、および2次系へ流出した1次冷却材を含む2次系統水の処理分を含む。
2004年度の高浜発電所については、4号機タービンサンプ水モニタ指示上昇事象時の放出による。1981年の敦賀発電所の放出実績には、一般排水口からの放射能漏えい量は含まれていない。一般排水路の流出放射能は十数から数十mCi（1mCi=3.7×10⁷Bq）と推定されている。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（液体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	トリチウム（液体）					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69						
70	5.2×10^{11}			1.2×10^{12}		
71	2.3×10^{11}			5.2×10^{12}		
72	2.0×10^{11}			8.9×10^{12}		
73	3.0×10^{11}			1.1×10^{13}		
74	7.8×10^{11}			1.0×10^{13}		4.8×10^{12}
75	1.6×10^{12}			2.4×10^{12}		1.3×10^{13}
76	1.9×10^{12}			8.4×10^{12}		1.3×10^{13}
77	8.5×10^{11}			7.8×10^{12}	6.3×10^{11}	1.1×10^{13}
78	1.1×10^{12}	2.6×10^{11}		1.4×10^{13}	4.8×10^{12}	1.7×10^{13}
79	1.2×10^{12}	2.7×10^{11}		1.2×10^{13}	1.5×10^{13}	1.1×10^{13}
80	1.3×10^{12}	7.7×10^{11}		1.3×10^{13}	2.2×10^{13}	1.1×10^{13}
81	1.2×10^{12}	8.5×10^{11}		1.4×10^{13}	1.1×10^{13}	1.4×10^{13}
82	5.0×10^{11}	1.2×10^{12}		9.8×10^{12}	3.1×10^{13}	1.4×10^{13}
83	4.3×10^{11}	1.3×10^{12}		1.0×10^{13}	3.4×10^{13}	1.6×10^{13}
84	4.2×10^{11}	2.6×10^{12}		1.9×10^{13}	3.0×10^{13}	2.1×10^{13}
85	3.5×10^{11}	3.6×10^{12}		1.6×10^{13}	2.9×10^{13}	3.7×10^{13}
86	5.9×10^{12}	2.2×10^{12}		2.2×10^{13}	4.1×10^{13}	4.3×10^{13}
87	2.4×10^{13}	1.9×10^{12}		2.4×10^{13}	3.3×10^{13}	4.9×10^{13}
88	4.5×10^{12}	4.4×10^{12}		2.1×10^{13}	3.0×10^{13}	7.0×10^{13}
89	1.2×10^{13}	7.0×10^{12}		1.3×10^{13}	2.6×10^{13}	4.0×10^{13}
90	2.3×10^{13}	3.3×10^{12}		2.0×10^{13}	1.6×10^{13}	3.5×10^{13}
91	3.1×10^{13}	1.8×10^{12}		1.3×10^{13}	2.0×10^{13}	3.0×10^{13}
92	7.9×10^{12}	3.9×10^{12}		1.2×10^{13}	2.8×10^{13}	5.5×10^{13}
93	1.6×10^{13}	3.5×10^{12}		1.8×10^{13}	4.2×10^{13}	6.9×10^{13}
94	1.3×10^{13}	4.7×10^{12}	—	1.1×10^{13}	6.3×10^{13}	3.3×10^{13}
95	1.9×10^{13}	4.1×10^{12}	3.9×10^9	1.7×10^{13}	6.1×10^{13}	3.7×10^{13}
96	1.4×10^{13}	5.9×10^{12}	9.7×10^7	1.7×10^{13}	5.9×10^{13}	5.7×10^{13}
97	2.1×10^{13}	5.5×10^{12}	1.3×10^9	1.6×10^{13}	4.6×10^{13}	6.4×10^{13}
98	2.0×10^{13}	3.5×10^{12}	4.7×10^8	1.6×10^{13}	5.7×10^{13}	6.2×10^{13}
99	1.1×10^{13}	4.1×10^{12}	2.7×10^8	2.0×10^{13}	6.9×10^{13}	7.1×10^{13}
00	1.4×10^{13}	3.8×10^{12}	2.7×10^8	2.0×10^{13}	6.6×10^{13}	4.1×10^{13}
01	1.0×10^{13}	4.1×10^{12}	6.2×10^5	1.7×10^{13}	1.3×10^{14}	5.3×10^{13}
02	1.4×10^{13}	1.8×10^{12}	9.3×10^6	1.8×10^{13}	6.4×10^{13}	6.3×10^{13}
03	2.2×10^{13}	4.3×10^{11}	4.9×10^8	2.3×10^{13}	9.0×10^{13}	5.9×10^{13}
04	2.6×10^{13}	1.0×10^{12}	1.3×10^8	1.6×10^{13}	9.8×10^{13}	6.3×10^{13}
05	9.2×10^{12}	1.2×10^{12}	4.7×10^8	1.5×10^{13}	6.6×10^{13}	6.9×10^{13}
06	1.5×10^{13}	1.6×10^{12}	2.0×10^8	1.4×10^{13}	7.7×10^{13}	6.8×10^{13}
07	1.3×10^{13}	1.0×10^{12}	2.1×10^7	2.0×10^{13}	8.9×10^{13}	6.0×10^{13}
08	4.9×10^{12}	2.7×10^{12}	2.1×10^8	1.8×10^{13}	7.4×10^{13}	4.0×10^{13}
09	1.5×10^{13}	2.1×10^{12}	2.7×10^8	2.3×10^{13}	8.1×10^{13}	4.3×10^{13}
10	1.2×10^{13}	8.7×10^{11}	1.5×10^8	1.3×10^{13}	5.7×10^{13}	6.5×10^{13}
11	6.0×10^{12}	9.1×10^{11}	7.7×10^7	2.2×10^{13}	5.6×10^{13}	3.8×10^{13}
12	9.3×10^{11}	3.2×10^{11}	1.5×10^8	4.3×10^{12}	2.2×10^{13}	6.8×10^{12}

（注）1990年度の美浜発電所の「トリチウム（液体）」の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる蒸気発生器ブローダウンからの放出分、および2次系へ流出した1次冷却材を含む2次系水の処理分を含む。2004年度の高浜発電所については、4号機タービンサンプ水モニタ指示上昇事象時の放出分 1.1×10^7 Bqを含む。

5. 10 緊急時モニタリングルートでの線量率調査

1. 調査方法

(1) 調査期間

平成24年6月～平成25年3月

(2) 調査項目

空間 γ 線量率

(3) 測定器等

① 測定器

各機関が有するモニタリングカーに搭載の線量率計による。

機 関 名	検 出 器	検出器位置
県監視センター	2"φ×2"NaI(Tl)検出器	屋根（地上高 2.1m）
原 電	2"φ×2"NaI(Tl)検出器	屋根（地上高 1.5m）
関 電	2"φ×2"NaI(Tl)検出器	屋根（地上高 2.5m）
原子力機構	2"φ×2"NaI(Tl)検出器	屋根（地上高 2.9m）

② 測定法

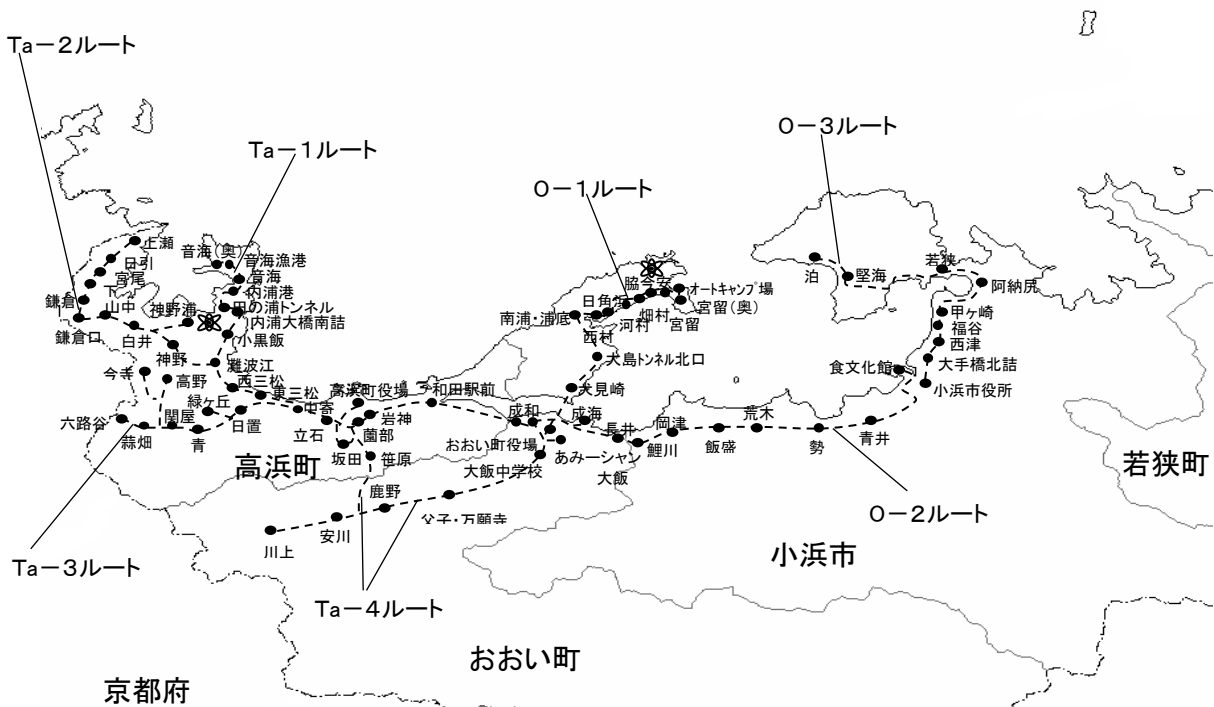
停車し、2分～5分間測定。

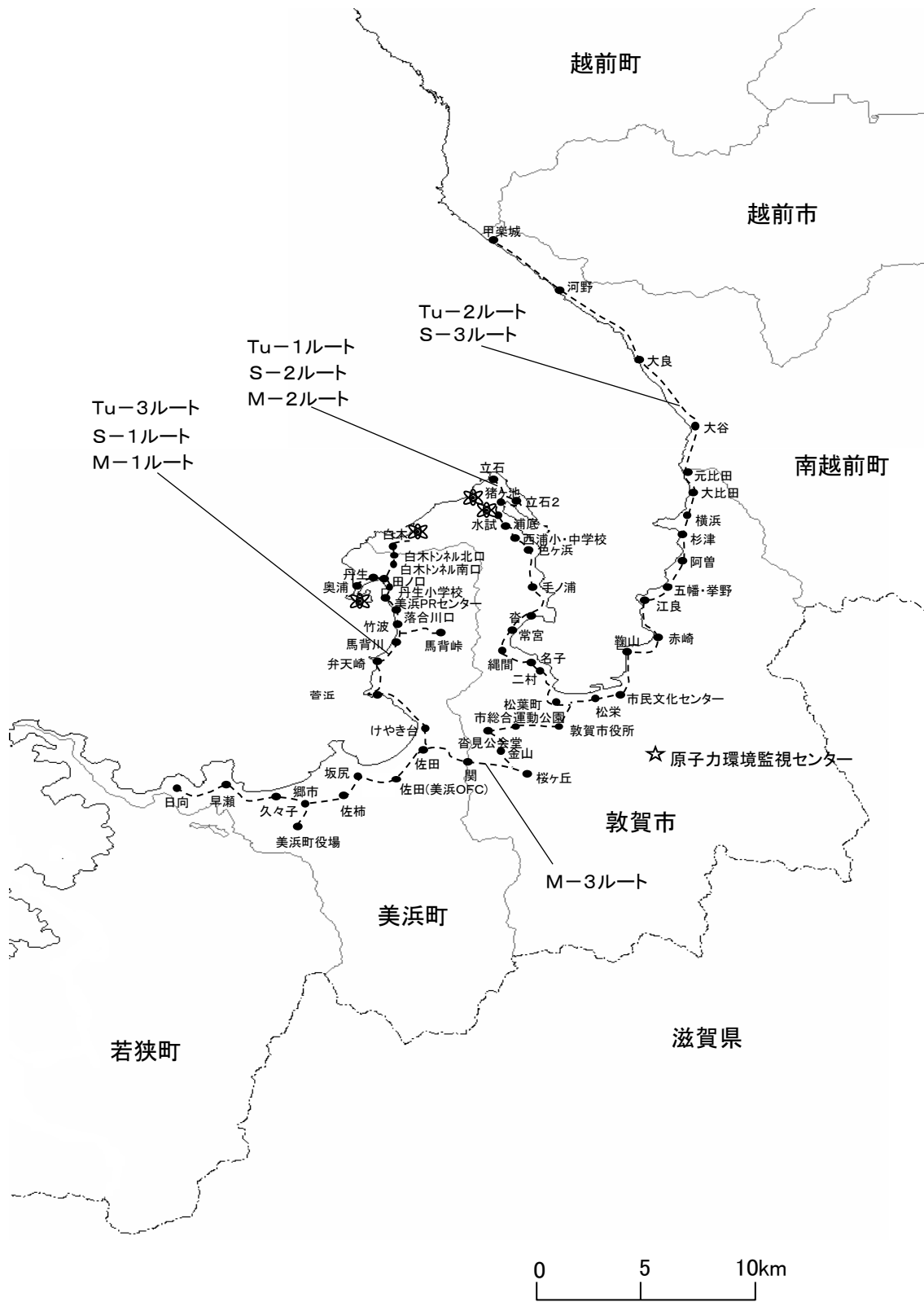
(4) 測定地点

第1図に、各ルートの測定地点を示す。

第1図 緊急時モニタリングルート調査地点

Tu-1ルート	立石	～	縄間	～	敦賀市役所	～	金山(敦賀OFC)
Tu-2ルート	松栄	～	杉津	～	大谷	～	甲楽城
Tu-3ルート	白木	～	竹波	～	馬背峠	～	菅浜
S-1ルート	白木	～	丹生小学校	～	竹波	～	馬背峠
S-2ルート	立石	～	縄間	～	敦賀市役所	～	金山(敦賀OFC)
S-3ルート	松栄	～	杉津	～	大谷	～	甲楽城
M-1ルート	白木	～	丹生	～	馬背峠	～	けやき台
M-2ルート	立石	～	縄間	～	敦賀市役所	～	市民文化センター
M-3ルート	敦賀市総合運動公園	～	佐田	～	郷市	～	日向
O-1ルート	赤礁崎オートキャンプ場	～	日角浜	～	犬見崎	～	大飯中学校
O-2ルート	高浜町役場	～	長井	～	荒木	～	食文化館
O-3ルート	小浜市役所	～	西津	～	阿納尻(内外海小学校)	～	泊
Ta-1ルート	音海(奥)	～	灘波江	～	東三松	～	高浜町役場
Ta-2ルート	灘波江	～	神野浦	～	下	～	上瀬
Ta-3ルート	六路谷	～	高野	～	青	～	坂田
Ta-4ルート	園部(高浜OFC)	～	川上	～	鹿野	～	おい町役場





調査結果その1 敦賀白木美浜地区

単位:nGy/h

市町	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	立石	立石	立石バス停(八坂神社前)	Tu-1・M-2・S-2	3月12日	晴	66.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	52.2	B
敦賀市	立石	立石2	恵比寿神社前	Tu-1	3月12日	晴	75.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	72.4	B
敦賀市	浦底	猪ヶ池	原電・敦賀原子力館上り口	Tu-1	3月12日	晴	59.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	56.0	B
敦賀市	浦底	水試	県水産試験場玄関前	Tu-1	3月12日	晴	52.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	48.2	B
敦賀市	浦底	浦底	原電・明神寮上り口	Tu-1・M-2・S-2	3月12日	晴	64.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	59.2	B
敦賀市	色	西浦小・中学校	西浦小・中学校正門前	Tu-1	3月12日	晴	56.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	51.6	B
敦賀市	色	色ヶ浜	旅館みずしま前	Tu-1・M-2・S-2	3月12日	晴	57.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	58.4	B
敦賀市	手	手ノ浦	あけぼの旅館前	Tu-1・M-2・S-2	3月12日	晴	54.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	47.2	B
敦賀市	沓	沓	ひがし旅館駐車場入口	Tu-1・M-2・S-2	3月12日	晴	60.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	60.0	B
敦賀市	常宮	常宮	常宮小学校校門	Tu-1・M-2・S-2	3月12日	晴	50.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	48.6	B
敦賀市	縄間	縄間	西浦児童館前	Tu-1・M-2・S-2	3月12日	晴	50.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	37.1	D
敦賀市	名子	名子	ファーストハーバーツルガ南駐車帯	Tu-1・M-2・S-2	3月12日	晴	65.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	62.1	D
敦賀市	二村	二村	二村バス停	Tu-1・M-2・S-2	3月12日	晴	61.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	47.6	D
敦賀市	松葉町	松葉町	市立体育館駐車場	Tu-1・M-2・S-2	3月12日	晴	52.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	39.4	D
敦賀市	中央2丁目	敦賀市役所	敦賀市役所正門玄関横	Tu-1・M-2・S-2	3月12日	晴	50.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	42.0	D
敦賀市	金山	金山(敦賀OFC)	敦賀原子力防災センター駐車場	Tu-1・M-3・S-2	3月29日	曇	62.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	54.4	D
敦賀市	松栄町	松栄	県漁連敦賀支所製氷冷蔵工場横	Tu-2・M-2・S-3	3月12日	晴	38.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	39.9	D
敦賀市	桜町	市民文化センター	敦賀市民文化センター北側駐車場	Tu-2・M-2・S-3	3月12日	晴	63.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	50.4	D
敦賀市	鞠山	鞠山	フェリー乗り場駐車場	Tu-2・S-3	3月12日	晴	45.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	47.8	B
敦賀市	赤崎	赤崎	赤崎小学校入口	Tu-2・S-3	3月12日	晴	58.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	43.4	B

調査結果その2 敦賀白木美浜地区(つづき)

単位:nGy/h

市町	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	江良	江良	おもや旅館駐車場横	Tu-2・S-3	3月12日	晴	52.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	48.2	B
敦賀市	五幡	五幡・拳野	東浦公民館前	Tu-2・S-3	3月12日	晴	45.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	40.0	B
敦賀市	阿曾	阿曾	JA敦賀市北部営農センター	Tu-2・S-3	3月12日	晴	44.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	40.8	B
敦賀市	杉津	杉津	杉津集落入り口国道脇	Tu-2・S-3	3月12日	晴	41.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	36.6	B
敦賀市	横浜	横浜	ドライブイン越前やべ清前駐車場	Tu-2・S-3	3月12日	晴	44.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	38.6	B
敦賀市	大比田	大比田	大比田集落下 非常用駐車帯	Tu-2・S-3	3月12日	晴	43.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	40.0	B
敦賀市	元比田	元比田	非常用駐車帯	Tu-2・S-3	3月12日	晴	54.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	41.6	B
南越前町	大谷	大谷	大谷集落北端 (旧管理事務所横)	Tu-2・S-3	3月12日	晴	42.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	38.0	B
南越前町	大良	大良	河野洞門南駐車帯	Tu-2・S-3	3月12日	晴	43.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	39.0	B
南越前町	河野	河野	南越前町役場河野総合事務所 駐車場入口	Tu-2・S-3	3月12日	晴	51.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	38.4	B
南越前町	甲楽城	甲楽城	下長谷洞門前駐車場	Tu-2・S-3	3月12日	晴	42.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月25日	晴	38.8	B
敦賀市	白木1丁目	白木	白木区営駐車場	Tu-3・M-1・ S-1	11月12日	晴	64.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	53.2	D
敦賀市	白木1丁目	白木トンネル北口	白木トンネル北口交差点	S-1	11月12日	晴	65.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	56.5	D
美浜町	丹生	白木トンネル南口	白木トンネル南口	Tu-3・M-1・ S-1	11月12日	晴	79.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	70.9	D
美浜町	丹生	奥浦	丹生漁協飼料保管解凍施設前 (奥浦公園上り)	M-1	11月12日	晴	60.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	47.5	D
美浜町	丹生	丹生	丹生バス停(県丹生観測局前)	M-1	11月12日	晴	51.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	40.8	D
美浜町	丹生	田ノ口	丹生漁協ニューポート(売店)前 (県道丹生三叉路)	Tu-3・M-1・ S-1	11月12日	晴	46.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	36.3	D
美浜町	丹生	丹生小学校	丹生小学校・美浜中学校丹生分校校門	Tu-3・M-1・ S-1	11月12日	晴	60.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	55.3	D
美浜町	丹生	美浜PRセンター	関電・美浜原子力PRセンター玄関前	M-1・S-1	11月12日	晴	61.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	48.5	D
美浜町	竹波	落合川口	落合橋右岸たもと	M-1	11月12日	晴	57.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	45.9	D

調査結果その3 敦賀白木美浜地区(つづき)

単位:nGy/h

市町	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
美浜町	竹波	竹波	庄屋旅館駐車場	Tu-3・M-1・S-1	11月12日	晴	50.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	39.9	D
美浜町	竹波	馬背峠	馬背峠トンネル西側旧道登口	Tu-3・M-1・S-2	11月12日	晴	87.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	81.7	D
美浜町	竹波	馬背川(水晶浜)	関電・水晶浜クラブ門前	Tu-3・M-1・S-1	11月12日	晴	57.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	48.7	D
美浜町	菅浜	弁天崎	弁天崎駐車帯	Tu-3・M-1・S-1	11月12日	晴	51.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	41.3	D
美浜町	菅浜	菅浜	農業構造改善センター玄関	Tu-3・M-1・S-1	11月12日	晴	42.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	32.1	D
美浜町	佐田	けやき台	関電社宅前バス停	M-1・S-1	11月12日	晴	40.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	30.6	D
敦賀市	杓見	敦賀市総合運動公園	敦賀市総合運動公園体育館正門前	Tu-1・M-3・S-2	11月12日	晴	54.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	46.1	D
敦賀市	杓見	杓見公会堂	杓見公会堂前駐車場	Tu-1・S-2・M-3	11月12日	晴	58.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	45.3	D
敦賀市	桜ヶ丘	桜ヶ丘	桜ヶ丘団地入り口	M-3	11月12日	晴	61.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	47.5	D
敦賀市	関	関	関峠散水融雪設備横(市町境)	M-3	11月12日	晴	51.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月14日	晴	42.1	D
美浜町	佐田	佐田	山東郵便局前	M-3	11月12日	晴	45.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月24日	晴	37.8	C
美浜町	佐田	佐田(美浜OFC)	美浜原子力防災センター駐車場	M-3	11月12日	晴	47.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月24日	晴	38.2	C
美浜町	坂尻	坂尻	坂尻バス停	M-3	11月12日	晴	44.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月24日	晴	34.8	C
美浜町	佐柿	佐柿	山本工業所前(佐柿口バス停前)	M-3	11月12日	晴	37.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月24日	晴	28.9	C
美浜町	郷市	美浜町役場	美浜町役場駐車場	Tu-3・M-1・S-1	11月12日	晴	42.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月24日	晴	31.5	C
美浜町	郷市	郷市	関電原子力事業本部前	M-3	11月12日	晴	48.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月24日	晴	39.1	C
美浜町	久々子	久々子(松原)	美浜町勤労者体育センター	M-3	11月12日	晴	40.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月24日	晴	33.1	C
美浜町	早瀬	早瀬	美浜漁協美浜漁業センター玄関前(早瀬港)	M-3	11月12日	晴	53.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月24日	晴	44.7	C
美浜町	日向	日向	日向バス停 (ゲートボール場・排水処理場前)	M-3	11月12日	晴	43.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月24日	晴	32.7	C

調査結果その4 大飯地区

単位:nGy/h

市町	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
おおい町	赤礁崎	赤礁崎 オートキャンプ場	赤礁崎オートキャンプ場管理事務所前 (関電・わかさ大飯あかぐり崎クラブ前)	O-1	3月14日	曇	28.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	29.0	C
おおい町	宮留	宮留(奥)	塩浜海水浴場入口(海岸道路終端)	O-1	3月14日	曇	21.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	18.9	C
おおい町	宮留	宮留	県環境放射線監視テレメータ 宮留観測局前	O-1	3月14日	曇	27.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	24.5	C
おおい町	脇今安	脇今安	脇今安バス停	O-1	3月14日	曇	26.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	21.9	C
おおい町	畑村	畑村	畑村バス停	O-1	3月14日	曇	22.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	19.5	C
おおい町	日角浜	日角浜	日角浜バス停	O-1	3月14日	曇	24.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	18.8	C
おおい町	河村	河村	河村バス停	O-1	3月14日	曇	24.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	19.7	C
おおい町	西村	西村	西村バス停	O-1	3月14日	曇	26.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	22.3	C
おおい町	南浦	南浦・浦底	南浦バス停	O-1	3月14日	曇	24.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	21.1	C
おおい町	大島	大島トンネル北口	大島トンネル北口駐車場	O-1	3月14日	曇	25.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	25.4	C
おおい町	犬見	犬見崎	犬見トンネル南口駐車帯	O-1	3月14日	曇	34.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	33.4	C
おおい町	本郷	おおい町役場	おおい町役場玄関前	O-1・Ta-4	11月8日	晴	38.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	31.6	C
おおい町	本郷	あみーシャン大飯	いさいき長寿村あみーシャン大飯 (本郷幼稚園)	O-1	11月8日	晴	37.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	30.1	C
おおい町	野尻	大飯中学校	大飯中学校校門前バス停	O-1	11月8日	晴	37.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	30.3	C
おおい町	成和	成和(大飯OFC)	大飯原子力防災センター駐車場	O-2・Ta-3	11月8日	晴	31.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	24.3	C
おおい町	成和	成和 (プレーパーク大飯)	おおい町総合運動公園体育館 フィットネスセンター・アクアマリン前駐車場	O-2	11月8日	晴	30.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	22.5	C
おおい町	成海	成海(こども家族館)	こども家族館(南側)駐車場	O-2	11月8日	晴	31.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	23.9	C
おおい町	長井	長井	長井バス停(東駐車帯)	O-2	11月8日	晴	36.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	30.3	C
小浜市	鯉川	鯉川	鯉川海水浴場入口駐車場	O-2	11月8日	晴	32.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	25.7	C
小浜市	岡津	岡津	ローソン岡津店駐車場	O-2	11月8日	晴	36.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	27.7	C

調査結果その5 大飯地区(つづき)

単位:nGy/h

市町	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
小浜市	飯盛	飯盛	加斗小学校前バス停(飯盛信号東)	O-2	11月8日	晴	35.7	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴	27.5	C
小浜市	飯盛(荒木)	荒木	荒木バス停	O-2	11月8日	晴	35.7	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴	31.2	C
小浜市	勢	勢	西勢バス停	O-2	11月8日	晴	32.4	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴	25.3	C
小浜市	青井	青井	リパティールズ浜美台横三叉路	O-2	11月8日	晴	33.2	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴	26.4	C
小浜市	川崎	食文化館	食文化館(西側)海岸駐車場	O-2	11月8日	曇	28.9	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴	21.6	C
小浜市	大手町6	小浜市役所	小浜市役所玄関前	O-3	11月8日	曇	44.1	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴	30.5	C
小浜市	城内	大手橋北詰	小浜簡易裁判所玄関前	O-3	11月8日	曇	38.7	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴	32.7	C
小浜市	西津	西津	西津公民館・保育所前 (西津小学校)	O-3	11月8日	曇	34.4	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴	28.1	C
小浜市	福谷	福谷	箸のふるさと館駐車場	O-3	11月8日	曇	29.9	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴	23.4	C
小浜市	甲ヶ崎	甲ヶ崎	内外海郵便局前 (甲ヶ崎口バス停)	O-3	11月8日	曇	30.1	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴	23.6	C
小浜市	阿納尻	阿納尻 (内外海小学校)	内外海小学校入口	O-3	11月8日	曇	28.0	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴	21.8	C
小浜市	若狭	若狭	若狭土地改良事業記念碑前 (若狭バス停)	O-3	11月8日	曇	34.1	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴	28.4	C
小浜市	堅海	堅海	堅海バス停	O-3	11月8日	曇	30.7	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴	23.0	C
小浜市	泊	泊	集落西端県道終端 (漁業集落排水泊処理施設)	O-3	11月8日	曇	29.8	A
"	"	"	"	"	9月26日	晴	22.3	C

調査結果その6 高浜地区

単位:nGy/h

市町	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	音海	音海(奥)	音海集落奥漁協倉庫横 (音海断崖遊歩道入口前)	Ta-1	3月21日	晴	35.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	26.3	C
高浜町	音海	音海漁港	漁協音海支所・音海郵便局前	Ta-1	3月21日	晴	31.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	27.1	C
高浜町	音海	音海	県環境放射線監視テレメータ 音海観測局前	Ta-1	3月21日	晴	39.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	27.4	C
高浜町	音海	内浦港	日本海港湾(株)保税上屋入口門付近	Ta-1	3月21日	晴	32.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	28.7	C
高浜町	田ノ浦	田ノ浦トンネル	高浜発電所北門前山側駐車帯 (田ノ浦トンネル北口)	Ta-1	3月21日	晴	29.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	24.8	C
高浜町	田ノ浦	内浦大橋南詰	高浜発電所正門前	Ta-1	3月21日	晴	27.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	22.9	C
高浜町	小黒飯	小黒飯(白浜トンネル)	白浜トンネル北(海側)駐車帯	Ta-1	3月14日	曇	33.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	26.7	C
高浜町	難波江	難波江	難波江海水浴場(北側)銅像前	Ta-1・Ta-2	3月14日	曇	28.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	23.5	C
高浜町	西三松	西三松	三松センター 玄関前	Ta-1	3月14日	雪	36.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	31.8	C
高浜町	東三松	東三松	青郷農協三松支所駐車場	Ta-1	3月14日	曇	24.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	28.6	C
高浜町	中寄	中寄(中津海)	中津海山側バス停(中寄信号横)	Ta-1	3月21日	晴	26.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	21.9	C
高浜町	宮崎	高浜町役場	高浜町役場前	O-2・Ta-1	3月21日	晴	37.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	28.8	C
高浜町	神野	神野	内浦電話交換所前駐車帯	Ta-2	3月14日	曇	25.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	19.5	C
高浜町	神野浦	神野浦	気比神社前	Ta-2	3月14日	曇	28.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	22.9	C
高浜町	山中・白井	白井	山中集落排水処理場	Ta-2	3月14日	曇	25.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	21.6	C
高浜町	山中	山中	五色山公園入口看板前 (内浦保育所北三叉路)	Ta-2	3月14日	曇	21.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	17.9	C
高浜町	鎌倉	鎌倉口	鎌倉・塩波峠三叉路	Ta-2	3月14日	曇	29.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	24.2	C
高浜町	鎌倉	鎌倉	鎌倉集落排水処理場	Ta-2	3月14日	雪	28.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	23.2	C
高浜町	下	下	下集落入口三叉路(区標識)	Ta-2	3月14日	曇	24.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	21.1	C
高浜町	宮尾	宮尾	産霊神社参道前(大きな岩前)	Ta-2	3月14日	曇	27.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	20.7	C

調査結果その7 高浜地区(つづき)

単位:nGy/h

市町	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	日引	日引	旧・日引小学校下駐車帯 (日引集落入口三叉路)	Ta-2	3月14日	曇	32.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	26.1	C
高浜町	上瀬	上瀬	山神神社石段前(海門寺横)(県道終端)	Ta-2	3月14日	曇	25.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	20.6	C
高浜町	六路谷	六路谷	六路谷検問所(バス停)	Ta-3	3月21日	晴	24.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	18.9	C
高浜町	蒜島	蒜島	蒜島バス停(喫茶らんぶる横)	Ta-3	3月21日	晴	24.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	21.2	C
高浜町	高野	高野	高野川青葉1号橋脇	Ta-3	3月21日	晴	19.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	16.1	C
高浜町	今寺	今寺	今寺集落生活改善センター	Ta-3	3月21日	晴	27.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	23.4	C
高浜町	関屋	関屋	関屋バス停	Ta-3	3月21日	晴	24.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	20.1	C
高浜町	青	青(青郷公民館)	青郷公民館駐車場	Ta-3	3月21日	晴	25.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	22.4	C
高浜町	緑が丘	緑が丘(社会福祉センター)	高浜町社会福祉センター駐車場	Ta-3	3月21日	晴	29.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	24.9	C
高浜町	日置	日置	日置バス停(青海神社参道)	Ta-3	3月21日	晴	25.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	21.3	C
高浜町	立石	立石 (文化会館)	高浜町中央図書館・文化会館前	Ta-3	3月21日	晴	34.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	25.7	C
高浜町	坂田	坂田	坂田グリーンタウングラント横(駐車場)	Ta-3	3月21日	晴	28.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	24.1	C
高浜町	菌部	菌部 (高浜OFC)	高浜原子力防災センター駐車場	Ta-3・Ta-4	3月21日	晴	27.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	25.3	C
高浜町	岩神	岩神	国土交通省高浜スノーベース前	Ta-3	3月21日	晴	28.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	26.2	C
高浜町	和田	和田駅前	JR小浜線若狭和田駅前	O-2・Ta-3	3月21日	晴	25.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	24.3	C
高浜町	笠原	笠原	高浜町浄化ランド	Ta-4	3月21日	晴	39.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月27日	晴	39.8	C
おおい町	川上	川上	川上公民館	Ta-4	11月8日	晴	40.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	32.6	C
おおい町	安川	安川	安川・久保バス停	Ta-4	11月8日	晴	31.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	23.5	C
おおい町	鹿野	鹿野	鹿野バス停	O-1・Ta-4	11月8日	晴	30.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	23.3	C
おおい町	父子	父子・万願寺	さぶり川公園前バス停	O-1・Ta-4	11月8日	晴	34.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月26日	晴	29.0	C

平成24年度に刊行した福井県環境放射能測定技術会議報告書の訂正

報告書	ページ	項目または表題	行数または欄	誤	正
平成24年度 第4四半期報告書	73	4-4 各発電所の放射性 廃棄物放出実績（気体廃 棄物）	敦賀発電所1号機 3月 トリチウム放出量	1.2E+09	1.7E+09
			敦賀発電所1号機 3ヶ月 トリチウム放出量	4.1E+09	4.6E+09

（注）敦賀1号機の気体廃棄物放出量については焼却炉排気筒からの放出も含まれている。

原子力発電所周辺の環境放射能調査

平成24年度（2012年度）年報

〔FERC第45巻 5号〕

福井県環境放射能測定技術会議

Fukui Environmental Radiation Monitoring Council
(FERC)

平成25年10月 発行

発行所 福井県環境放射能測定技術会議事務局
敦賀市吉河37-1 (〒914-0024)
福井県原子力環境監視センター
TEL. (0770) 25-6110

発行責任者 前川 素一

